第7.2.(5)「異動」処理

8.婚姻届

標準仕様書修正履歴

平成１０年２月

項番	業務（届書）名	修正内容	ページ	添付資料NO
1	第7.2.(5).8 （婚姻届）	1．システム処理の概要説明 （1）婚姻業務処理範囲外の処理の追加 ・渉外婚姻の場合に外国人からのみ証書提出された場合は、「審査結果入力処理」で対応する （2）その他の追加 ・従前構成員であった者が新戸籍を編製して筆頭者となると同時に氏の文字更正申出があった場合は旧の氏で一旦新戸籍を編製し、別途更正処理を行う 2．審査 （1）関連チェック ・NO.20-1,22-1　追加 夫又は妻が日本人の時、筆頭者氏名に入力があること ・NO.32-1　追加 外国の方式による証書提出期間関連 （2）外国の方式による証書提出期間の審査を追加 （3）備考欄の「不受理」を削除（審査結果で不受理としていた） （4）外国人と婚姻している者の重婚の審査を追加 （5）中間ファイル編集（届書）修正 ・指示日、許可日の編集を削除 3．入力確認 （1）中間ファイル編集（仮受付） ・届後戸籍の筆頭者の編集条件修正 氏を称する者の氏名ではわかりにくいため、具体的に条件を提示 ・届出人区分の編集条件修正 報告的渉外婚姻において外国人に届出人区分を設定しない ・筆頭者項目及び編集条件を追加 （2）夫の身分事項（除籍）の編集 ・特記事項編集条件を追加（審査結果入力の例） 妻証書提出 （3）夫の身分事項（入籍）の編集 ・特記事項編集条件を追加（審査結果入力の例） 妻証書提出 （4）夫の身分事項（変動なし）の編集 ・特記事項編集条件を追加（審査結果入力の例） 妻証書提出 （5）妻の身分事項（除籍）の編集 ・特記事項編集条件を追加（審査結果入力の例） 夫証書提出 （6）妻の身分事項（入籍）の編集 ・特記事項編集条件を追加（審査結果入力の例） 夫証書提出 （7）妻の身分事項（変動なし）の編集 ・特記事項編集条件を追加（審査結果入力の例） 夫証書提出 （8）中間ファイル編集（夫：９条２項） ・受理日編集条件修正 （9）中間ファイル編集（妻：９条２項） ・受理日編集条件修正	001 001 008 009 010 011 015 040 041 043 045 047 049 051 053 054 056	

標準仕様書修正履歴

平成１１年３月

項番	業務（届書）名	修正内容	ページ	添付資料No.
	第 5. 7. (5). 8 （婚姻届）	公職選挙法改正によるシステムの対応（サンプル提示） 1．入力確認 （1）システム環境仕様書 ・詳細フロー及び使用ＤＢ・ファイル一覧に入力ファイルとして附票データベース、出力ファイルとして中間ファイル（３０条の１２第１項）を追加 ・処理概要、機能体系に中間ファイル（30条の１２第１項）の編集に関する記述追加 （2）本紙の処理内容 ・夫または妻が在外選挙人の場合の中間ファイル（３０条の１２第１項）の編集・出力処理の追加 妻証書提出 （3）中間ファイル編集（３０条の１２第１項） ・夫、妻に関して新規追加	 019 019 020, 021 057-1 057-2	

標準仕様書修正履歴

平成12年3月

項番	業務(届書)名	修正内容	ページ	添付資料NO
1	第7.2.(5).8 (婚姻届)	成年後見法施行によるシステムの対応 1.審査 (1)法32条第2項が廃止されることによる審査の削除 ・夫が禁治産者であるときの確認メッセージを削除 審査(3／6)の(25)～(28)を削除 ・妻が禁治産者であるときの確認メッセージを削除 審査(4／6)の(43)～(46)を削除	011 012	

標準仕様書修正履歴

平成16年3月

項番	業務(届書)名	修正内容	ページ	添付資料NO
1	第7. 2. (5). 8 (婚姻届)	1. 標準仕様書修正 住所世帯主の関連チェックの追加 「世帯主≠スペースの場合, 住所≠スペースであること」 「(No.18) 夫の住所＝スペース の場合, (No.20) 夫の世帯主＝スペース であること	008	
		「(No.20) 夫の世帯主≠スペースの場合, (No.18) 夫の住所≠スペースであること」	008	
		「(No.31) 妻の住所＝スペース の場合, (No.33) 妻の世帯主＝スペース であること」	008	
		「(No.33) 妻の世帯主≠スペースの場合, (No.31) 妻の住所≠スペースであること	008	
		2. 概要説明の修正 1. (2)「に外国人(男)と日本人(女)が婚姻した旨」の文言を削除	001	

標準仕様書修正履歴

平成16年11月

項番	業務(届書)名	修　正　内　容	ページ	添付資料NO
1	第7. 2. (5). 8 (婚姻届)	「続柄の記載更正(申出)」に伴うシステムへの対応 (1) 要件ワークシート(審査) 3.0 審査(3/6) 審査追加(18-1)～(18-11) (25)～(29)を書式から抹消※備考欄にその旨記載 3.0 審査(4/6) 審査追加(36-1)～(36-11) (43)～(47)を書式から抹消※備考欄にその旨記載 3.0 審査(4-1/6) 審査追加に伴う頁追加	 011 012 012-1	

標準仕様書修正履歴

平成19年 3月

項番	業務(届書)名	修正内容	ページ	添付資料NO
1	第7.2.(5).8 (婚姻届)	標準仕様書修正 1 要件定義ワークシート (1) 3.0 審査 受領日と送付日が同一の場合の審査を追加。 上記審査を追加したことによるページ漏れのため、「009」を修正。 それに伴い「010」を修正。	009 010	

標準仕様書修正履歴

平成20年 3月

項番	業務(届書)名	修　正　内　容	ページ	添付資料NO
1	第7. 2. (5). 8 (婚姻届)	標準仕様書修正 1. システム処理の概要説明書 (1) 3.　その他 日本に在住する外国人が日本においてその外国の方式により日本に居住する日本人と婚姻した場合は、証書提出による報告的婚姻届は受理できないのでその旨を記載する。 2. データチェック単体表 夫又は妻が外国人の場合、夫又は筆頭者区分の入力をさせない仕様としたため、単体表で必須入力項目から除外する。 ※離婚66に準じて婚姻も修正する。 3. データチェック関連表 上記単体表で必須入力項目を外したため、夫又は妻が日本人の場合、夫又は妻の筆頭者区分に入力があることをチェックを追加する。 夫又は妻が外国人の場合、夫又は妻の筆頭者区分に入力がないことをチェックを追加する。 ※離婚66に準じて婚姻も修正する。 3. 要件定義ワークシート (1) 3.0 審査 11版の修正で、余分な行を残したため削除する。 (2) 3.0 審査 誤植を発見したので修正する。 (3) 3.0 審査 同一人が再婚した場合、共同親権に服する子の確認を促すために、メッセージを出力する。	001 4 5 8 010 012 014	

標準仕様書修正履歴

平成22年 3月

項番	業務(届書)名	修　正　内　容	ページ	添付資料NO
1	第7. 2. (5). 8 (婚姻届)	標準仕様書修正 1. 要件定義ワークシート (婚姻124) (1) 3.0 審査 国籍法改正前の渉外婚姻により父母の戸籍に 在籍したまま婚姻し離婚している者から、 別の外国人との婚姻届が送付されてきた。 この入力で「重婚です。～」のメッセージが出力されて 受理ができなかった。 受理できるように審査を変更する。 (婚姻125) (2) 3.0審査 2版での対応が11版で欠落したので、追加する。 (その他) (3) 4.0 中間ファイル(届書)編集・出力 誤植を発見したので修正する。 (4) 1.0確認画面(婚姻届)表示 誤植を発見したので修正する。	011 012 009 010 015 017 018 022 023 024	

(その他)の修正はシステムに影響しないと思われる。

50008-2

標準仕様書修正履歴

平成23年 3月

項番	業務(届書)名	修　正　内　容	ページ	添付資料NO
1	第7.2.(5).8 (婚姻届)	標準仕様書修正 1. データチェック(関連表) (婚姻128) 夫(妻)外国人区分＝0(日本人)の場合、 夫(妻)の戸籍の筆頭者氏名＝スペースでも そのまま審査を通過し、戸籍ができてしまう。 関連チェックを修正する。	008	

標準仕様書修正履歴

平成26年 3月

項番	業務(届書)名	修　正　内　容	ページ	添付資料NO
1	第7. 2. (5). 8 (婚姻届)	標準仕様書修正 1. 要件定義ワークシート (婚姻130)婚姻の審査(滞婚期間6ヶ月)について 外国人で待婚期間の審査を実施していない。 →創設的届出の場合には、外国人でも滞婚期間の審査は必要である。 夫日本人、妻外国人の場合でも確認メッセージを表示する。 ※今回の修正で、日本人妻の審査について、 創設的届出の場合に審査するよう仕様を追加した。 ※今回の修正と同時に誤植を修正する。 (56) 同一人再婚区分(0:同一人区分, 1:同一人) ↓ (56) 同一人再婚区分(0:同一人**以外**, 1:同一人)	012-1	

標準仕様書修正履歴

平成27年 3月

項番	業務(届書)名	修　正　内　容	ページ	添付資料NO
1	第7. 2. (5). 8 (婚姻届)	標準仕様書修正 1. 関連チェック表 (婚姻131) 入籍届の指摘事項「筆頭者の氏と構成員の氏のチェックがされていない。」を受け、修正を実施。 入籍届の指摘に類するチェックは婚姻届は対象外。 ただし、受付帳記録誤りに対するチェックを追加。 2. その他 (誤植の修正) 関連チェック表8－1頁№33 1行目が養子離縁同時73の2の項番を誤使用。 ※何版での誤りか不明であるが、初版に戻した。 履歴対象とはしない	008-1 008-1	

標準仕様書修正履歴

平成28年 3月

項番	業務(届書)名	修　正　内　容	ページ	添付資料NO
1	第7.2.(5).8 (婚姻届)	標準仕様書修正 1. 関連チェック表 (婚姻132) P008-1の関連チェック33の(No.25) 夫の外人区分は (No.25) 妻の外人区分の誤りである。	008-1	

標準仕様書修正履歴

平成29年 3月

項番	業務(届書)名	修　正　内　容	ページ	添付資料NO
1	第7. 2. (5). 8 (婚姻届)	標準仕様書修正 1. 関連チェック表 (婚姻137) 処理日は受領日を含まない日付とする。 2. 要件定義ワークシート (婚姻134) 届出起算日の調査において、(10-1)の項目名が 誤っていたため修正 (婚姻135) 平成28年6月1日民法第733条改正の対応 (1) 審査の修正 ①民法第733条第1項 待婚期間の変更(6箇月→100日)に伴う修正 起算日の変更(初日起算)に伴う修正 ②民法第733条第2項 100日を経過しない婚姻届について特記事項を 記録する修正 －身分事項の特記事項記録のため、 記録処理上のフラグを追加する。 →民法733条フラグ:'1'(日本人妻への記録) 民法733条フラグ:'2'(日本人夫への記録) →妻が外国人の場合 －本修正に伴い、ページが追加(012-2)になった (2) 身分事項の特記事項の記録追加 (婚姻136) 年齢算出の表記をロジカルに修正 3. その他 (修正漏れの対応) ・ 要件定義ワークシート12頁 17版の修正において、(53)の行先の修正が未対応 ・ 要件定義ワークシート13頁、14頁 12版3. (3)の修正において、行先の修正が未対応	 007 009 012-1 012-2 043 045 047 049 051 053 011 012 012 013 014	

標準仕様書修正履歴

平成30年 3月

項番	業務(届書)名	修　正　内　容	ページ	添付資料NO
1	第7.2.(5).8 (婚姻届)	標準仕様書修正 1．データ編集表 (婚姻139) 20版までの修正における誤植を修正する。	043	

標準仕様書修正履歴

平成31年 3月

項番	業務(届書)名	修　正　内　容	ページ	添付資料NO
1	第7. 2. (5). 8 (婚姻届)	標準仕様書修正 1. 関連チェック表 (婚姻141) 同一人再婚区分が必須入力でないため、スペースが入力された場合の対応を行う。 2. 要件定義ワークシート (婚姻141) 同一人再婚区分が必須入力でないため、スペースが入力された場合の対応を行う。 3. その他 (記載仕様不統一の修正)	008 012-1 012-2 014 008 009 010 011 012 012-1 012-2	

第 2 3 (1)	システム処理の概要説明書	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		婚姻届	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成20年 3月 1日	12	1/1

1. 婚姻業務処理範囲外の処理

(1) 「受理すべき旨の裁判」による婚姻届

(2) 旧国籍法(明治32年3月16日制定) 施行中 (明治32年4月1日～昭和25年6月30日)の婚姻届(報告的)

(3) 婚姻届を届出た時、既に当事者の一方又は双方が死亡していた場合の婚姻届。

上記 (1) ～ (3) は、審査結果入力で処理を行う。

2. 婚姻届入力画面の意義

(1) その1 画面、婚姻をする当事者 (夫及び妻) の現在の状況の各項目を入力する。

(2) その2 画面、婚姻後の氏の選択及び新本籍等の各項目を入力する。

3. その他

(1) 近親間の婚姻に関する審査 (民734～736) はシステムで行わない

(2) 事件本人の成年擬制チェックはシステムで行わない

(3) 事件本人のみ届出の為、届出人資格は画面上にない

(4) 証人の有無及び資格チェックは画面上にない

(5) 婚姻届に伴う親権記録 (共同親権、準正子) は移記処理または訂正処理 (市区町村長限りの職権) で記録する。

その際、婚姻届の受領番号を関連受領番号として付与し相互関係を明らかにしておくこと。

(同一人との再婚において、婚姻後の戸籍に子が在籍している場合など)

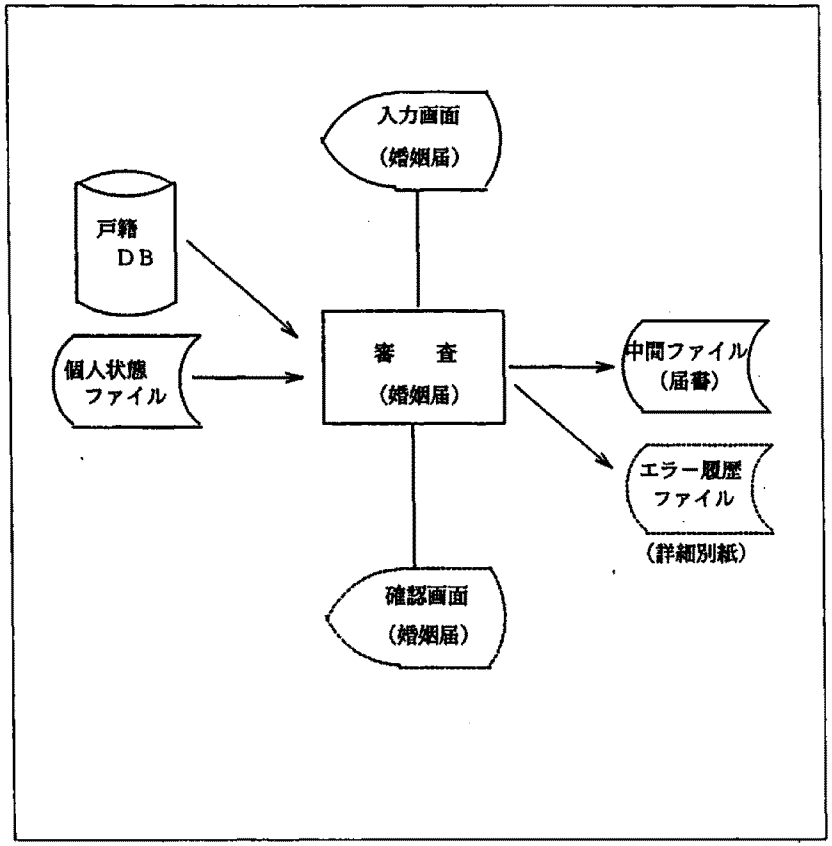
(6) 日本に在住する外国人が日本においてその外国の方式により日本に居住する日本人と婚姻した場合は、

日本での創設的婚姻届が有効な届出であることから証書提出による報告的婚姻届は受理できない。

証書提出による報告的婚姻届出の場合、所在地の審査はシステムで行わないため、受理／不受理は窓口で判断する。

第2章（2）	システム環境仕様書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査（婚姻届）	システム化調査研究会	平成3月11月30日	平成　年　月　日	1	1／16

1．詳細フロー



2．使用ＤＢ・ファイル一覧

名　　称	入出力区分	名　　称	入出力区分
戸籍ＤＢ	入　力		
個人状態ファイル	入　力		
中間ファイル（届書）	出　力		
エラー履歴ファイル	出　力		

3．処理概要

（1）婚姻届の内容を画面入力する。
（2）婚姻届で入力された項目の単体チェックを行う。
（3）婚姻届で入力された項目の関連チェックを行う。
（4）審査（創設的届，報告的届）を行う。
（5）婚姻届から中間ファイル（届書）を編集・出力する。
（6）入力確認（婚姻届）に制御を渡す。

4．機能体系（要件定義書の構成）

0.0 本紙
- 1.0 データチェック（単体表）
- 2.0 データチェック（関連表）
- 3.0 審査
- 4.0 データ編集表（中間ファイル／届書）

5．備考（特記事項含む）

第2章(3)(3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査（婚姻届）	システム化調査研究会	平成６年１２月　１日	平成　年　月　日	1	2／16

処理名	0．0　本紙　1／1										備考
(1)届書内容を画面入力する									／		「届書ﾒﾆｭｰ」で受領番号が入力された場合、届書ﾌｧｲﾙから画面編集を行う。
(2)キー選択（実行キー，ＰＦ1，ＰＦ2，ＰＦ7，ＰＦ8，ＰＦ10，ＰＦ11，ＰＦ12，その他）									／		
実行キー	(3)入力項目の単体チェック（OK：YES，NG：NO）〔1.0〕								／		
	ＹＥＳ	(4)入力項目の関連チェック（OK：YES，NG：NO）〔2.0〕							／		
		ＹＥＳ	(5)画面の入力項目を全て入力禁止とする						／		
			(6)審査（OK：YES，NG：NO）〔3.0〕						／		
			ＹＥＳ	(7)中間ファイル（届書）の編集出力〔4.0〕						(8)入力確認画面に制御を渡す	
			ＮＯ	(9)メッセージの種類（審査ｴﾗｰ，確認）					／		
				審査ｴﾗｰ	(10)エラーメッセージを表示する					(11)同画面を編集する	メッセージをエラー履歴に出力する
				確認	(12)確認メッセージを表示し、メッセージに対して応答の後、以降の審査を続行する。						
		ＮＯ	(13)エラーメッセージを表示する								
	ＮＯ										
ＰＦ1	→									(14)業務選択に制御を渡す	
ＰＦ2	→									(15)届出選択に制御を渡す。	
ＰＦ7	(16)前ページがあるか（ある，なし）								／		
	あ　る	(17)前ページ「婚姻届」画面編集								(18)同画面を編集する	
	な　し	(19)エラーメッセージ「先頭ページです。」を表示する									
ＰＦ8	(20)次ページがあるか（ある，なし）								／		
	あ　る	(21)次ページ「婚姻届」画面編集								(22)同画面を編集する	
	な　し	(23)エラーメッセージ「最終ページです。」を表示する									
ＰＦ10	(24)画面の入力項目の入力禁止を解除する										
ＰＦ11	(25)当該審査エラーの確認後、以降の審査を継続する										入力項目が入力禁止の時のみ有効
ＰＦ12	(26)入力画面を初期化する。										審査エラー発生時のみ有効
その他	(27)エラーメッセージ　「無効なキーが入力されました。」を表示										

第 2 3 (5)	データチェック(単体表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(婚姻届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成20年 3月 1日	12	3/16

処理名	画面名	画面ID	
1. 0単体チェック表(1／3)	婚姻届(その1)		

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	エラーコード	備考
1	支所No.		数字		「項目エラーがあります。 正しく入力して下さい。」		
2	受領No.		数字				
3	受領日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
4	送付日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
5	発送元		漢字				
6	在外送付区分	○	数字	(0:受理分, 1:国内からの送付, 2:在外公館の直接送付, 3:在外公館の国内経由)であること			
7	処理日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
8	本非区分	○	数字	(1:本籍, 2:非本籍)であること			
9	郵送日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
10	動態区分	○	数字	(0:不要, 1:要)であること			
11	届出区分	○	数字	(1:創設的届出, 2:報告的届出)であること			
12	夫の外人区分	○	数字	(0:日本人, 1:外国人)であること			
13	夫の筆頭者区分		数字	(0:構成員, 1:筆頭者)であること			
14	夫の本非区分	○	数字	(1:本籍, 2:非本籍)であること			
15	夫の生年月日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
16	夫のカナ氏名	○	カナ				
17	夫の漢字氏名	○	漢字				
18	夫の住所		漢字				
19	夫の本籍	○	漢字				
20	夫の世帯主		漢字				
21	夫の戸籍の筆頭者		漢字				
22	夫の父の氏名		漢字				
23	夫の母の氏名		漢字				
24	夫の父母との続柄	○	数字	(10:男, 11:長男～29:十九男)であること			
25	妻の外人区分	○	数字	(0:日本人, 1:外国人)であること			

第 2 3 (5)	データチェック(単体表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(婚姻届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成20年 3月 1日	12	4/16

処理名	画面名	画面ID	
1. 0単体チェック表(2／3)	婚姻届(その1)		

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	エラーコード	備考
26	妻の筆頭者区分	○	数字	(0:構成員, 1:筆頭者)であること	「項目エラーがあります。		
27	妻の本非区分	○	数字	(1:本籍, 2:非本籍)であること	正しく入力して下さい。」		
28	妻の生年月日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
29	妻のカナ氏名	○	カナ				
30	妻の漢字氏名	○	漢字				
31	妻の住所		漢字				
32	妻の本籍	○	漢字				
33	妻の世帯主		漢字				
34	妻の戸籍の筆頭者		漢字				
35	妻の父の氏名		漢字				
36	妻の母の氏名		漢字				
37	妻の父母との続柄	○	数字	(30:女, 31:長女～49:十九女)であること			

必須を解除

005

第2 3 (5)	データチェック（単体表）	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査（婚姻届）	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	5／16

処理名	画面名	画面ID	
1.0 単体チェック 3/3	婚姻届（その2）		

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
38	氏区分	○	数字	（1：夫の氏，2：妻の氏，3：変動なし）であること	「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」		称する氏
39	新本籍		漢字				
40	夫の初再婚区分	○	数字	（0：初婚，1：再婚(死別)，2：再婚(離別)）であること			
41	夫の離死別日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
42	妻の初再婚区分	○	数字	（0：初婚，1：再婚(死別)，2：再婚(離別)）であること			
43	妻の離死別日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
44	同一人再婚区分		数字	（0：同一人以外，1：同一人）であること			
45	成立年月日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
46	証書提出日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
47	婚姻の方式		漢字				

第 2 3 (6)	データチェック(関連表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(婚姻届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成29年 3月31日	20	6/16

処理名	画面名	画面ＩＤ	
2.0関連チェック表(1／2)	婚姻届		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	(No.4) 送付日＝スペース の時，(No.5) 発送元＝スペース であること	「関連エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
2	(No.4) 送付日≠スペース の時，(No.5) 発送元≠スペース であること			
3	(No.4) 送付日≠スペース の時，(No.4) 送付日≧(No.3) 受領日 であること			
4	(No.4) 送付日＝スペース の時，(No.6) 在外送付区分＝0（受理分）であること			
5	(No.4) 送付日＝スペース の時，(No.10) 動態区分＝1（要）であること			
6	(No.5) 発送元≠スペース の時，(No.6) 在外送付区分≠0（受理分）であること			
7	(No.5) 発送元≠スペース　かつ（No.5) 発送元の最終文字が「市」「区」「町」「村」 の時， (No.6) 在外送付区分＝1（国内からの送付） であること			
8	(No.5) 発送元≠スペース　かつ（No.5) 発送元の最終文字が「市」「区」「町」「村」 以外の時， (No.6) 在外送付区分＝2（在外公館の直接送付） または (No.6) 在外送付区分＝3（在外公館の国内経由） であること			
9	(No.5) 発送元≠スペース　かつ（No.6) 在外送付区分＝2（在外公館の直接送付） の時， (No.10) 動態区分＝1（要）であること			
10	(No.5) 発送元≠スペース　かつ（No.6) 在外送付区分＝1（国内からの送付） または (No.6) 在外送付区分＝3（在外公館の国内経由） の時， (No.10) 動態区分＝0（不要） であること			
11	【空白】			
12	【空白】			
13	(No.7) 処理日≠スペース の時，(No.7) 処理日＞(No.3) 受領日 であること			
14	(No.9) 郵送日≠スペース の時，(No.4) 送付日＝スペース であること			
15	(No.9) 郵送日≠スペース の時，(No.9) 郵送日≦(No.3) 受領日 であること			
16	(No.8) 本非区分＝1（本籍） の時， (No.19) 夫の本籍又は(No.32) 妻の本籍又は(No.39) 新本籍　のいずれかが管内であること			
17	(No.11) 届出区分＝1（創設） の時、 (No.45) 成立年月日＝スペース かつ (No.46) 証書提出日＝スペース かつ (No.47) 婚姻の方式＝スペース であること			

第 2 3 (6)	データチェック(関連表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(婚姻届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成31年 3月31日	22	7/16

処理名	画面名	画面ID	
2.0関連チェック表(2／2)	婚姻届		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
18	(No.11) 届出区分＝2 (報告) の時, (No.45) 成立年月日≠スペース かつ (No.46) 証書提出日≠スペース かつ (No.47) 婚姻の方式≠スペースであること	「関連エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
19	(No.12) 夫の外人区分＝0 (日本人) の時, (No.13) 夫の筆頭者区分≠スペース かつ (No.15) 夫の生年月日＝和暦 かつ (No.19) 夫の本籍 ＝ 本籍 かつ (No.21) 夫の戸籍の筆頭者≠スペースであること			
20	(No.12) 夫の外人区分＝1 (外国人) の時, (No.13) 夫の筆頭者区分＝スペース かつ (No.15) 夫の生年月日＝西暦 かつ (No.19) 夫の本籍 ＝ 国籍 かつ (No.21) 夫の戸籍の筆頭者＝スペースであること			
21	(No.25) 妻の外人区分＝0 (日本人) の時, (No.26) 妻の筆頭者区分≠スペース かつ (No.28) 妻の生年月日＝和暦 かつ (No.19) 妻の本籍 ＝ 本籍 かつ (No.34) 妻の戸籍の筆頭者≠スペースであること			
22	(No.25) 妻の外人区分＝1 (外国人) の時, (No.26) 妻の筆頭者区分＝スペース かつ (No.28) 妻の生年月日＝西暦 かつ (No.19) 妻の本籍 ＝ 国籍 かつ (No.34) 妻の戸籍の筆頭者＝スペースであること			
23	(No.14) 夫の本非区分＝1 (本籍)の時, (No.19) 夫の本籍＝管内であること			
24	(No.14) 夫の本非区分＝2 (非本籍)の時, (No.20) 夫の本籍＝管外であること			
25	(No.27) 妻の本非区分＝1 (本籍)の時, (No.32) 妻の本籍＝管内であること			
26	(No.27) 妻の本非区分＝2 (非本籍)の時, (No.32) 妻の本籍＝管外であること			
26-1	(No.18) 夫の住所＝スペース の場合, (No.20) 夫の世帯主＝スペース であること			
26-2	(No.20) 夫の世帯主≠スペースの場合, (No.18) 夫の住所≠スペースであること			
26-3	(No.31) 妻の住所＝スペース の場合, (No.33) 妻の世帯主＝スペース であること			
26-4	(No.33) 妻の世帯主≠スペースの場合, (No.31) 妻の住所≠スペースであること			
27	(No.40) 夫の初再婚区分＝0 (初婚)の時, (No.41) 夫の離死別日＝スペースであること			
28	(No.40) 夫の初再婚区分＝1 (再婚(死別)) または 2 (再婚(離別))の時, (No.28) 夫の離死別日≠スペースであること			
29	(No.42) 妻の初再婚区分＝0 (初婚)の時, (No.43) 妻の離死別日＝スペースであること			
30	(No.42) 妻の初再婚区分＝1 (再婚(死別)) または 2 (再婚(離別))の時, (No.28) 妻の離死別日≠スペースであること			
31	(No.44) 同一人再婚区分＝1 (同一人) の時, (No.40) 夫の初再婚区分＝2 (再婚(離別)) かつ (No.42) 妻の初再婚区分＝2 (再婚(離別)) であること			

50016

800

第 2 3 (6)	データチェック(関連表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(婚姻届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成28年 3月 31日	19	7-1/16

処理名	画面名	画面ＩＤ	
2.0関連チェック表(2－1／2)	婚姻届		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
32	(No.11) 届出区分＝2 (報告) の時, (No.45) 成立年月日≦ (No.46) 証書提出日であること			
33	(No.12) 夫の外人区分＝1(外国人) かつ (No.25) 妻の外人区分＝1(外国人) かつ (No.11) 届出区分＝1 (創設) の時, (No.38) 氏区分＝ 3 (変動なし) かつ (No.39) 新本籍＝スペース であること			
34	(No.12) 夫の外人区分＝0 (日本人) かつ (No.13) 夫の筆頭者区分＝1(筆頭者)の時, (No.17) 夫の漢字氏名 ＝ (№21)夫の戸籍の筆頭者 であること			
35	(No.12) 夫の外人区分＝0 (日本人) かつ (No.13) 夫の筆頭者区分＝0(構成員)の時, (No.17) 夫の漢字氏名の「氏」 ＝ (№21)夫の戸籍の筆頭者の「氏」 であること			
36	(No.25) 妻の外人区分＝0 (日本人) かつ (No.26) 妻の筆頭者区分＝1(筆頭者)の時, (No.30) 妻の漢字氏名 ＝ (№34)妻の戸籍の筆頭者 であること			
37	(No.25) 妻の外人区分＝0 (日本人) かつ (No.26) 妻の筆頭者区分＝0(構成員)の時, (No.30) 妻の漢字氏名の「氏」 ＝ (№34)妻の戸籍の筆頭者の「氏」 であること			

第 2 3 (3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(婚姻届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成31年 3月31日	22	8-1/16

処理名	3.0 審査 (1／6)			根拠法令 (マニュアル処理)
(0-1)受領日＝送付日の場合、 確認メッセージ(YES, NO)「受領日と送付日が同一です。処理をしてよろしいですか。」			(0-2) 本紙へ	
YES	(0-3) → (1) へ			
NO	(0-4) →		(0-5) 本紙へ	
(1) 届出区分 (1:創設, 2:報告)		／		
1	(2) → (11)へ	／		
2	(3) 成立年月日 ＜ 昭和25年7月1日(YES, NO)	／		
YES	(4) エラーメッセージ 「審査結果入力で処理して下さい。」		(5) 本紙へ	
NO	(6) 成立年月日 ＜ 昭和27年4月28日(YES, NO)	／		
YES	(7) 確認メッセージ(YES, NO) 「平和条約発行に該当する国ですか？」		(8) 本紙へ	
YES	(9) エラーメッセージ 「審査結果入力で処理して下さい。」			
NO	(10) → (11)へ	／		
NO	(10-1) 成立年月日＋3箇月 ＞ 受領日(YES, NO)	／		戸41, 戸43, 大4. 1. 14
YES	(10-2) → (11)へ	／		
NO	(10-3) 確認メッセージ(YES, NO) 「届出期間を経過していますがよろしいですか？」を表示		(10-4) 本紙へ	戸規65
YES	(10-5) → (11)へ	／		
NO	(10-6) →		(10-7) 本紙へ	不受理
(11) 届出区分 (1:創設, 2:報告)		／		
1	(12) 夫の外人区分 (0:日本人, 1:外国人)	／		
0	(13) 妻の外人区分 (0:日本人, 1:外国人)	／		
0	(14) → (18)へ	／		
1	(15) 確認メッセージ(YES, NO) 「婚姻要件具備証明書等が添付されていますか？」		(16) 本紙へ	法令13I、昭和22.6.25民事甲595号回答 「N」の時、不受理
1				

第 2 3 (3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(婚姻届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成31年 3月31日	22	8-2/16

処理名	3.0 審査 (2／6)		根拠法令 (マニュアル処理)
2	(17) 確認メッセージ(YES, NO) 「婚姻を証明する書類が添付されていますか？」		(17-1) 本紙へ
YES	(17-2) → (17-5)へ	／	
NO	(17-3) →		(17-4) 本紙へ
(17-5) 夫の外人区分 (0:日本人, 1:外国人)		／	
0	(17-6) 妻の外人区分 (0:日本人, 1:外国人)	／	
0	(17-7) → (18)へ	／	
1	(17-8) 確認メッセージ(YES, NO) 「証書提出者は外国人配偶者のみからの届出ですか？」		(17-9) 本紙へ
YES	(17-10) エラーメッセージ 「審査結果入力で処理して下さい」		不受理
NO	(17-11) → (18)へ	／	
1	(17-12) 妻の外人区分 (0：日本人, 1: 外国人)	／	
0	(17-13) 確認メッセージ(YES, NO) 「証明提出者は外国人配偶者のみからの届出ですか？」		(17-14) 本紙へ
YES	(17-15) エラーメッセージ 「審査結果入力で処理して下さい」		不受理
NO	(17-16) → (18)へ	／	
1	(17-17) エラーメッセージ 「外国人同士の外国における婚姻届は受理できません」		(17-18) 本紙へ 不受理

第 2 3 (3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(婚姻届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成31年 3月31日	22	9/16

処理名	3.0 審査 (3／6)			根拠法令 (マニュアル処理)
(18) 夫の外人区分(0:日本人, 1:外国人)		／		
0	(18-1) 夫の父氏名＝スペース 又は 夫の母氏名＝スペース (YES, NO)	／		
YES	(18-2) 確認メッセージ (YES, NO) 「父又は母の氏名が空欄ですが、父母との続柄に間違いはありませんね？」		(18-3) 本紙へ	
YES	(18-4) → (19) へ	／		
NO	(18-5) →		(18-6) 本紙へ	不受理
NO	(18-7)夫の父母との続柄＝10(男)である(YES, NO)	／		
YES	(18-8) 確認メッセージ (YES, NO) 「父母氏名双方に入力があります。父母との続柄が 男又は女ですが間違いはありませんね？」		(18-9) 本紙へ	
YES	(18-10) → (19) へ	／		
NO	(18-11) →		(18-12) 本紙へ	不受理
NO	(18-13) → (19) へ	／		
(19) 夫の本非区分(1:本籍, 2:非本籍)		／		
1	(20) 夫の配偶者区分(1:夫, その他)	／		民732
1	(21) エラーメッセージ 「重婚です。婚姻届は受理できません。」を表示する		(22) 本紙へ	不受理
	(24-1)	／		
	(24-2)		(24-4)	
その他	(24-3) → (30) へ	／		
2				(25)～(29)を削除※未成年後見制度対応(平成12年3月1日第4版)
(30) 成立年月日≠スペースの場合、夫の生年月日＋20年(20歳未満) ＞ 成立年月日 または、成立年月日＝スペースの場合、夫の生年月日＋20年(20歳未満) ＞ 受領日(YES, NO)		／		
YES	(31) 成立年月日≠スペースの場合、夫の生年月日＋18年(18歳未満) ＞ 成立年月日 または、成立年月日＝スペースの場合、夫の生年月日＋18年(18歳未満) ＞ 受領日(YES, NO)	／		民731
YES	(32) エラーメッセージ 「婚姻適齢に達していません。」を表示する		(33) 本紙へ	不受理
N O	(34) 確認メッセージ(YES, NO) 「未成年者の婚姻ですが同意はありますか。又は、成年擬制者ですか？」を表示する			民737, 昭24.11.11民事甲2641号回答 戸381ただし書き, 大6.7.13民事853号回答 「N」の時、不受理
N O	(35) → (36) へ	／		
1				

50020

110

第 2 3 (3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(婚姻届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成31年 3月31日	22	10/16

処理名	3.0 審査 (4／6)			根拠法令 (マニュアル処理)
(36) 妻の外人区分(0:日本人, 1:外国人)		／		
0	(36-1) 妻の父氏名＝スペース 又は 妻の母氏名＝スペース (YES, NO)	／		
YES	(36-2) 確認メッセージ (YES, NO) 「父又は母の氏名が空欄ですが、父母との続柄に間違いはありませんね？」		(36-3) 本紙へ	
YES	(36-4) → (37) へ	／		
NO	(36-5) →		(36-6) 本紙へ	不受理
NO	(36-7) 妻の父母との続柄＝30(女)である(YES, NO)	／		
YES	(36-8) 確認メッセージ (YES, NO) 「父母氏名双方に入力があります。父母との続柄が 男又は女ですが間違いはありませんね？」		(36-9) 本紙へ	
YES	(36-10) → (37) へ	／		
NO	(36-11) →		(36-12) 本紙へ	不受理
NO	(36-13) → (37) へ	／		
(37) 妻の本非区分(1:本籍, 2:非本籍)		／		
1	(38) 妻の配偶者区分(2:妻, その他)	／		民732
2	(39) エラーメッセージ 「重婚です。婚姻届は受理できません。」を表示する		(40) 本紙へ	不受理
	(42-1)	／		
	(42-2)		(42-4)	
その他	(42-3) → (48) へ	／		
2				(43)～(47)を削除※未成年後見制度対応(平成12年3月1日第4版)
(48) 成立年月日≠スペースの場合、妻の生年月日＋20年(20歳未満) ＞ 成立年月日 または、成立年月日＝スペースの場合、妻の生年月日＋20年(20歳未満) ＞ 受領日(YES, NO)		／		
YES	(49) 成立年月日≠スペースの場合、妻の生年月日＋16年(16歳未満) ＞ 成立年月日 または、成立年月日＝スペースの場合、妻の生年月日＋16年(16歳未満) ＞ 受領日(YES, NO)	／		民731
YES	(50) エラーメッセージ 「婚姻適齢に達していません。」を表示する		(51) 本紙へ	不受理
N O	(52) 確認メッセージ(YES, NO) 「未成年者の婚姻ですが同意はありますか。又は、成年擬制者ですか？」を表示する			民737, 昭24.11.11民事甲2641号回答 戸381ただし書き, 大6.7.13民事853号回答 「N」の時、不受理
N O	(53) → (53-1) へ	／		

50021

012

第２３（３）	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(婚姻届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成31年 3月31日	22	10-1/16

処理名	3.0 審査 (4－1／6)			根拠法令（マニュアル処理）
	(53-1) 届出区分(1:創設的届出, 2:報告的届出)	／		
1	(54) 妻の初再婚区分(0:初婚, 1:再婚(死別), 2:再婚(離別))	／		
1, 2	(55) 妻の離死別日＋100日＞婚姻日(YES, NO)	／		民733Ⅰ 平成28年6月1日民法改正対応
YES	(56) 同一人再婚区分＝0(同一人以外) または スペースである (YES, NO)	／		大元.11.25民事708号回答
YES	(57) 確認メッセージ(YES, NO) 「待婚期間が100日を経過していません。 再婚が可能か確認しましたか？」を表示する		(57-1) 本紙へ	民733Ⅱ 平成28年6月1日民法改正対応
YES	(57-2) 確認メッセージ(YES, NO) 「民法733条第2項に該当する再婚ですか？」を表示する。		(57-3) 本紙へ	民733Ⅱ 平成28年6月1日民法改正対応
YES	(57-4)民法733条フラグに'1'を移送 → (65)へ	／		身分事項の特記事項記録用フラグを追加(第20版)
ＮＯ	(57-5)民法733条フラグに'0'を移送 → (65)へ	／		
ＮＯ	(57-6) →		(58) 本紙へ	不受理
ＮＯ	(59) → (65) へ	／		
ＮＯ	(60) 妻の本非区分(1:本籍, 2:非本籍)	／		
1	(61) 妻の現戸籍の入籍日＋100日＞婚姻日(YES, NO)	／		
YES	(62) 確認メッセージ(YES, NO) 「入籍日から100日を超えていませんが、 離死別日に間違いはありませんね？」を表示する		(62-1) 本紙へ	
YES	(62-2) → (65) へ	／		
ＮＯ	(62-3) →		(63) 本紙へ	不受理
ＮＯ	(64) → (65) へ	／		
2				
0				
2				

50022

012－1

第２３（３）	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(婚姻届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成31年 3月31日	22	10-2/16

処理名	3.0 審査 (4－2／6)			根拠法令（マニュアル処理）
1	(64-1) 届出区分(1:創設的届出, 2:報告的届出)		／	民733Ⅰ 平成28年6月1日民法改正対応
1	(64-2) 妻の初再婚区分(0:初婚, 1:再婚(死別), 2:再婚(離別))		／	外国人の場合も、創設的届出の時に
1, 2	(64-3) 妻の離死別日＋100日＞婚姻日(YES, NO)		／	待婚期間をチェックする。(第17版)
YES	(64-4) 同一人再婚区分＝0(同一人以外) または スペースである(YES, NO)		／	
YES	(64-5) 確認メッセージ(YES, NO) 「待婚期間が100日を経過していません。 再婚が可能か確認しましたか？」を表示する		(64-6) 本紙へ	民733Ⅱ 平成28年6月1日民法改正対応
YES	(64-7) 確認メッセージ(YES, NO) 「民法733条第2項に該当する再婚ですか？」を表示する。		(64-8) 本紙へ	民733Ⅱ 平成28年6月1日民法改正対応
YES	(64-9)民法733条フラグに'2'を移送 → (65)へ	／		身分事項の特記事項記録用フラグを追加(第20版) 妻が外国人のため、夫の身分事項に記録する
ＮＯ	(64-10)民法733条フラグに'0'を移送 → (65)へ	／		
ＮＯ	(64-11) →		(64-12) 本紙へ	不受理
ＮＯ	(64-13) → (65) へ	／		
ＮＯ				
0				
2				

第 2 3 (3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(婚姻届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成29年 3月31日	20	11/16

処理名	3.0 審査 (5／6)			根拠法令 (マニュアル処理)
(65) 夫の外人区分(0:日本人, 1:外国人)		／		
0	(66) 妻の外人区分(0:日本人, 1:外国人)	／		
0	(67) 氏区分(1:夫の氏, 2:妻の氏, 3:変更なし)	／		民750, 戸16
1	(68) 夫の筆頭者区分(0:構成員, 1:筆頭者)	／		
0	(69) 新本籍に記録がある(YES, NO)	／		
YES	(69-1) → (105)へ	／		
N O	(70) エラーメッセージ 「新本籍を入力して下さい。」 を表示		(71) 本紙へ	
1	(72) 新本籍に記録がある(YES, NO)	／		
YES	(73) エラーメッセージ 「新本籍には入力できません。」 を表示		(74) 本紙へ	
N O	(74-1) → (105)へ	／		
2	(75) 妻の筆頭者区分(0:構成員, 1:筆頭者)	／		
0	(76) 新本籍に記録がある(YES, NO)	／		
YES	(77) → (105)へ	／		
N O	(78) エラーメッセージ 「新本籍を入力して下さい。」 を表示		(79) 本紙へ	戸16 I
1	(80) 新本籍に記録がある(YES, NO)	／		
YES	(81) エラーメッセージ 「新本籍には入力できません。」 を表示		(82) 本紙へ	
N O	(82-1) → (105)へ	／		
3	(83) エラーメッセージ 「氏区分に誤りがあります。正しく入力して下さい。」 を表示		(83-1) 本紙へ	
1	(84) 氏区分(1:夫の氏, 2:妻の氏, 3:変更なし)	／		
1	(85) エラーメッセージ 「氏区分に誤りがあります。正しく入力して下さい。」 を表示		(86) 本紙へ	民750, 戸16
2				

第 2 3 (3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(婚姻届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成31年 3月31日	22	12/16

処理名	3.0 審査 (6／6)					根拠法令 (マニュアル処理)
0	1	3	(87) 夫の筆頭者区分(0:構成員, 1:筆頭者)	／		
			0	(88) 新本籍に記録がある(YES, NO)	／		
				YES (88-1) → (105)へ	／		
				N O (89) エラーメッセージ 「新本籍を入力して下さい。」 を表示		(90) 本紙へ	戸16 I
			1	(91) 新本籍に記録がある(YES, NO)	／		
				YES (92) エラーメッセージ 「新本籍には入力できません。」 を表示		(93) 本紙へ	
				N O (93-1) → (105)へ	／		
1	(94) 妻の外人区分(0:日本人, 1:外国人)				／		
	0	(95) 氏区分(1:夫の氏, 2:妻の氏, 3:変更なし)			／		
		1	(96) エラーメッセージ 「氏区分に誤りがあります。正しく入力して下さい。」 を表示			(97) 本紙へ	民750, 戸16
		2					
		3	(98) 妻の筆頭者区分(0:構成員, 1:筆頭者)		／		
			0	(99) 新本籍に記録がある(YES, NO)	／		
				YES (99-1) → (105)へ	／		
				N O (100) エラーメッセージ 「新本籍を入力して下さい。」 を表示		(101) 本紙へ	戸16 I
			1	(102) 新本籍に記録がある(YES, NO)	／		
				YES (103) エラーメッセージ 「新本籍には入力できません。」 を表示		(104) 本紙へ	
				N O (104-1) → (105)へ	／		
	1	(104-2) → (105)へ			／		
(105) 同一人再婚区分＝0(同一人以外) または スペースである(YES, NO)					／		
YES	(106) →					(107) 本紙へ	
N O	(108) メッセージ 「子(養子)に共同親権の記録が必要か確認して下さい。」 を表示						

50024

014

第 2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(婚姻届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成22年 3月 1日	13	13/16

処理名	4.0中間ファイル(届書)編集・出力 1／4	(受取側)中間ファイル(届書)／共通 ← (引渡側)婚姻届入力画面

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.，	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
中間ファイル(届書) 共通	受領番号		婚姻届入力画面	受領NO				
	選択事件コード			――――――				「09」をセット
	出張所番号			支所NO				
	受領日			受領日				
	送付日			送付日				
	発送元			発送元				
	在外送付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日				
	指示日		届出画面ﾒﾆｭｰ	指示日				
	許可日			許可日				
	受理送付区分		婚姻届入力画面	――――――				在外送付区分＝0の時、 1 在外送付区分≠0の時、 2
	本非区分			本非区分				
	郵送日			郵送日				
	動態区分			動態区分				0:不要
	届区分			届出区分				
	渉外区分			夫の外人区分 妻の外人区分				夫外人区 / 妻外人区 / 渉外区分 0 / 0 / 0 0 / 1 / 1 1 / 0 / 1 1 / 1 / 2
	同時決裁受領番号			――――――				
	ロック戸籍番号(1)			戸籍番号				本籍人の時、夫と妻の戸籍番号を
	ロック戸籍番号(2)			戸籍番号				セット
	ロック戸籍番号(3)			――――――				
	ロック戸籍番号(4)			――――――				
	ロック戸籍番号(5)			――――――				
	事件別内容							3／4～4／4参照

50025

015

第2-3(4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査（婚姻届）	システム化調査研究会	平成６年１２月　１日	平成　年　月　日	1	１４／１６

処理名	4.0 中間ファイル（届書）編集・出力 ２／４	（受取側）中間ファイル（届書）	← （引渡側）婚姻届入力画面

受取側			引渡側			コード	出力形態	
DB・ファイル名	項目		DB・ファイル名	項目		変換有無		備考
画面名称	名称	記号名	画面名称	名称	記号名	ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	Ｚ９．，	
中間ファイル（届書）共通	不受理申出処分区分		婚姻届入力画面	――――				
	処分区分			――――				審査の結果により、１＝受理または２＝不受理をセットする。＊
	決裁区分			――――				ＺＥＲＯ
	届書排他区分			――――				０：未　１：排他

＊審査において一つでもエラーがある場合は不受理とする。

第 2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(婚姻届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成22年 3月 1日	13	15/16

処理名	4.0中間ファイル(届書)編集・出力 3／4	(受取側)中間ファイル(届書)／共通 ← (引渡側)婚姻届入力画面

受取側			引渡側			コード変換有無 (ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.，	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
中間ファイル(届書)	夫個人番号							本籍人のとき、戸籍個人番号を設定
事件別内容	外人区分(夫)		婚姻届入力画面	夫の外人区分				
	筆頭者区分(夫)		(その1)	夫の筆頭者区分				
	本非区分(夫)			夫の本非区分				
	生年月日(夫)			夫の生年月日				
	カナ氏名(夫)			夫のカナ氏名				
	漢字氏名(夫)			夫の漢字氏名				
	本籍コード(夫)			夫の本籍				
	本籍地番(夫)							
	筆頭者(夫)			夫の戸籍の筆頭者				
	父(夫)			夫の父の氏名				
	母(夫)			夫の母の氏名				
	父母との続柄(夫)			夫の父母との続柄				
	住所コード(夫)			夫の住所				
	住所地番(夫)							
	世帯主(夫)			夫の世帯主				
	妻個人番号							本籍人のとき、戸籍個人番号を設定
	外人区分(妻)			妻の外人区分				
	筆頭者区分(妻)			妻の筆頭者区分				
	本非区分(妻)			妻の本非区分				
	生年月日(妻)			妻の生年月日				
	カナ氏名(妻)			妻のカナ氏名				
	漢字氏名(妻)			妻の漢字氏名				
	本籍コード(妻)			妻の本籍				
	本籍地番(妻)							
	筆頭者(妻)			妻の戸籍の筆頭者				

第 2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(婚姻届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成22年 3月 1日	13	16/16

処理名	4.0中間ファイル(届書)編集・出力 4／4	(受取側)中間ファイル(届書)／共通 ← (引渡側)婚姻届入力画面

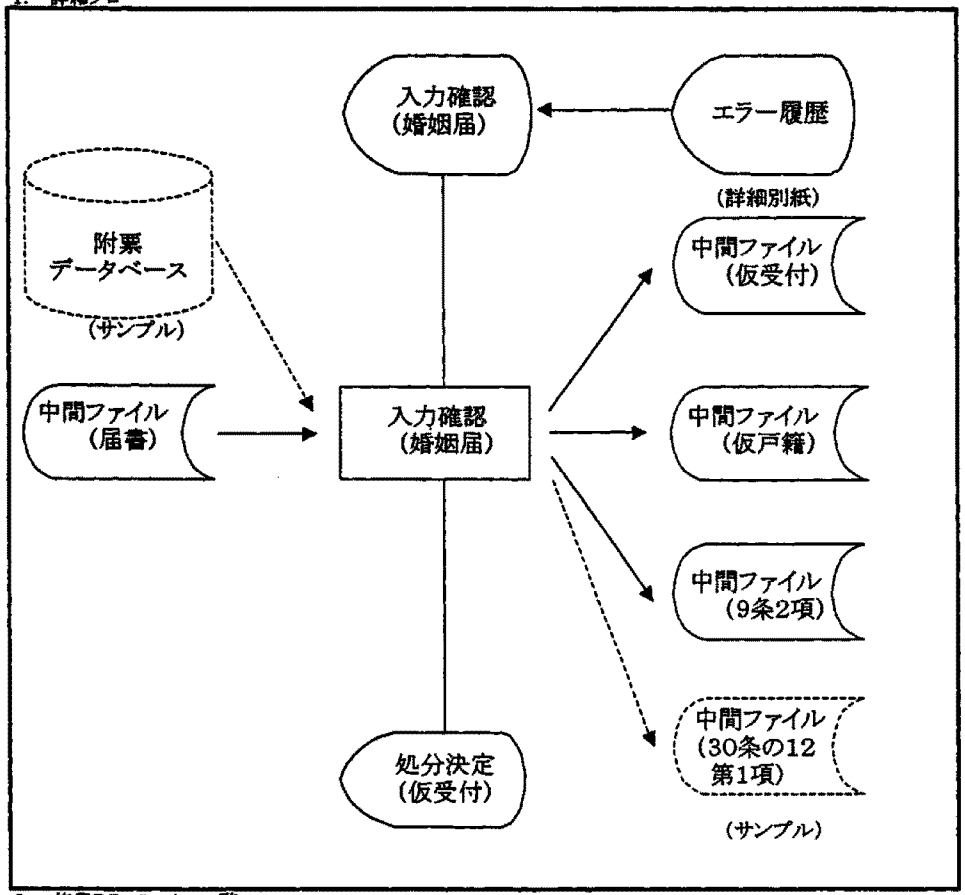
受取側			引渡側			コード変換有無 (ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.，	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
中間ファイル(届書) 事件別内容	父(妻)		婚姻届入力画面 (その1)	妻の父の氏名				
	母(妻)			妻の母の氏名				
	父母との続柄(妻)			妻の父母との続柄				
	住所コード(妻)			妻の住所				
	住所地番(妻)							
	世帯主(妻)			妻の世帯主				
	氏区分		婚姻届入力画面 (その2)	氏区分				
	新本籍コード			新本籍				
	新本籍地番							
	初再婚区分(夫)			夫の初再婚区分				
	離死別日(夫)			夫の離死別日				
	初再婚区分(妻)			妻の初再婚区分				
	離死別日(妻)			妻の離死別日				
	同一人再婚区分			同一人再婚区分				
	婚姻成立日			成立年月日				
	証書提出日			証書提出日				
	婚姻の方式			婚姻の方式				

50028

018

第 2 3 (2)	システム環境仕様書	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(婚姻届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成11年 3月 1日	2.1	1/37

1. 詳細フロー



2. 使用DB・ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ファイル(届書)	入 力	中間ファイル (30条の12第1項)	出 力 (サンプル)
附票データベース	入 力 (サンプル)		
中間ファイル(仮受付)	出 力		
中間ファイル(仮戸籍)	出 力		
中間ファイル(9条2項)	出 力		

3. 処理概要

(1) 中間ファイル(届書)を画面表示する。
(2) 戸籍変動状況を確定する。
(3) 中間ファイル(仮受付)を編集・出力する。
(4) 中間ファイル(仮戸籍)を編集・出力する。
(5) 中間ファイル(9条2項)を編集・出力する。
(6) 中間ファイル(30条の12第1項)を編集・出力する。---------- (サンプル提示)
(7) 処分決定処理に制御を渡す。

4. 機能体系(要件定義書の構成)

- 0.0 本紙
  - 1.0 データ編集表(入力確認画面)
  - 2.0 戸籍編製マトリックス表
  - 3.0 データ編集表(中間ファイル/仮受付)
  - 4.0 データ編集表(中間ファイル/仮戸籍 (夫))
    - 4.1 身分事項 (除籍)
    - 4.2 身分事項 (入籍)
    - 4.3 身分事項 (変動なし)
  - 5.0 データ編集表(中間ファイル/仮戸籍 (妻))
    - 5.1 身分事項 (除籍)
    - 5.2 身分事項 (入籍)
    - 5.3 身分事項 (変動なし)
  - 6.0 データ編集表(中間ファイル/9条2項)
    - 6.1 夫
    - 6.2 妻
  - 7.0 データ編集表(中間ファイル/30条の12第1項)---------- (サンプル提示)
    - 7.1 夫
    - 7.2 妻

5. 備考(特記事項含む)

第2 3 (3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(婚姻届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成11年 3月 1日	2.1	2/37

処理名	0.0 本紙 1/2			備考
(1) 中間ファイル(届書)の内容を確認画面に出力し、メッセージ「入力項目を確認し、よければ実行キーを押下して下さい。」を表示する [1.0]			／	
(2) キー選択(実行キー、 PF1、 PF2、 PF5、 PF7、 PF8、 PF11、その他)			／	
実行キー	(3) 中間ファイル(届書)の内容から戸籍編製マトリックス表を参照し、事件本人の戸籍変動状況を決定する [2.0]		／	
	(4) 中間ファイル(仮受付)を編集・出力する [3.0]		／	
	(5) 夫は本籍人である (YES, NO)		／	
	YES	(6) 夫の戸籍変動をもとに、中間ファイル(仮戸籍)を編集・出力する	／	
		身分事項(除籍)	(7) 夫の除籍事項の編集 [4.1]	／
		身分事項(入籍)	(8) 夫の入籍事項の編集 [4.2]	／
		身分事項(変動なし)	(9) 夫の変動なし事項の編集 [4.3]	／
		(9-1) 夫は在外選挙人である (YES, NO)		／
		YES	(9-2) 夫について中間ファイル(30条の12第1項)を編集・出力する [7.1]	／
		N O	(10) → (11)	／
	N O			
	(11)妻は本籍人である (YES, NO)			／
	YES	(12) 妻の戸籍変動をもとに中間ファイル(仮戸籍)を編集・出力する		／
		身分事項(除籍)	(13) 妻の除籍事項の編集 [5.1]	／
		身分事項(入籍)	(14) 妻の入籍事項の編集 [5.2]	／
		身分事項(変動なし)	(15) 妻の変動なし事項の編集 [5.3]	／
		(15-1) 妻は在外選挙人である (YES, NO)		／
		YES	(15-2) 妻について中間ファイル(30条の12第1項)を編集・出力する [7.1]	／
		N O	(16) → (17)	／
	N O			
	(17) 在外送付区分＝0：受理分 又は 2：在外公館の直接送付である (YES, NO)			／
	YES	(18) 夫の外人区分＝0：日本人である (YES, NO)		／
		YES	(19) 夫について中間ファイル(9条2項)を編集・出力する [6.1]	／
		N O	(20)	／
		(21) 妻の外人区分=0：日本人である (YES, NO)		／
		YES	(22) 妻について中間ファイル(9条2項)を編集・出力する [6.2]	(23) 処分決定に制御を渡す
		N O	→	
	N O			

※サンプル提示
附票情報との連動により在外選挙人関連の対応が戸籍システムで可能な場合処理 (9-1) (9-2)

※サンプル提示
附票情報との連動により在外選挙人関連の対応が戸籍システムで可能な場合処理 (15-1) (15-2)

020

第2 3 (3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(婚姻届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成11年 3月 1日	2.1	3/37

処理名	0.0 本紙 2/2			備考
PF1	→		(24) 業務選択に制御を渡す	
PF2	→		(25) 届出選択に制御を渡す	
PF5	→		(26) 審査に制御を渡す	
PF7	(27) 前ページがあるか (ある : YES , なし : NO)	/		
	ある	(28) 前ページ分の「婚姻届」画面を編集	(29) 同画面を編集する	
	なし	(30) エラーメッセージ「先頭ページです。」を表示する		
PF8	(31) 次ページがあるか (ある : YES , なし : NO)	/		
	ある	(32) 次ページ分の「婚姻届」画面を編集	(33) 同画面を編集する	
	なし	(34) エラーメッセージ「最終ページです。」を表示する		
PF11	→		(35) エラー履歴表示に制御を渡す	
その他	(36) エラーメッセージ「無効なキーが入力されました。」		(37) 同画面を編集する	

第23(4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(婚姻届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成22年 3月 1日	13	4/37

処理名	1.0確認画面(婚姻届)表示 1／3	(受取側)婚姻届確認画面 ← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.，	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
婚姻届入力画面(その1)	画面ID			画面ID				
	システム日付			システム日付				
	支所NO		中間ファイル(届書) 共通	支所番号				
	受領NO			受領番号				
	受領日			受領日				
	送付日			送付日				
	発送元			発送元				
	在外送付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日				
	本非区分			本非区分				
	郵送日			郵送日				
	動態区分			動態区分				
	届出区分			届区分				
	夫の外人区分		中間ファイル(届書) 事件別内容	外人区分(夫)				
	夫の筆頭者区分コード			筆頭者区分(夫)				
	夫の筆頭者区分名称							
	夫の本非区分			本非区分(夫)				
	夫の生年月日			生年月日(夫)				
	夫のカナ氏名			カナ氏名(夫)				
	夫の漢字氏名			漢字氏名(夫)				
	夫の住所			住所コード(夫)				
				住所地番(夫)				
	夫の本籍			本籍コード(夫)				
				本籍地番(夫)				
	夫の世帯主			世帯主(夫)				

50032

022

第 2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(婚姻届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成22年 3月 1日	13	5/37

処理名	1.0確認画面(婚姻届)表示 2／3	(受取側)婚姻届確認画面 ← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 (ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.，	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
婚姻届入力画面 (その1)	夫の戸籍の筆頭者		中間ファイル (届書) 事件別内容	筆頭者(夫)				
	夫の父の氏名			父(夫)				
	夫の母の氏名			母(夫)				
	夫の父母との続柄コード			父母との続柄(夫)				
	夫の父母との続柄名称							
	妻の外人区分			外人区分(妻)				
	妻の筆頭者区分コード			筆頭者区分(妻)				
	妻の筆頭者区分名称							
	妻の本・非区分			本非区分(妻)				
	妻の生年月日			生年月日(妻)				
	妻のカナ氏名			カナ氏名(妻)				
	妻の漢字氏名			漢字氏名(妻)				
	妻の住所			住所コード(妻)				
				住所(妻)				
	妻の本籍			本籍コード(妻)				
				本籍(妻)				
	妻の世帯主			世帯主(妻)				
	妻の戸籍の筆頭者			筆頭者(妻)				
	妻の父の氏名			父(妻)				
	妻の母の氏名			母(妻)				
	妻の父母との続柄コード			父母との続柄(妻)				
	妻の父母との続柄名称							
婚姻届入力画面 (その2)	氏区分コード			氏区分				
	氏区分名称							
	新本籍			新本籍コード				
				新本籍地番				

50033

023

第 2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(婚姻届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成22年 3月 1日	13	6/37

処理名	1.0確認画面(婚姻届)表示 3／3	(受取側)婚姻届確認画面 ← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 (ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.，	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
婚姻届入力画面 (その2)	夫の初再婚区分コード		中間ファイル (届書) 事件別内容	初再婚区分(夫)				
	夫の初再婚区分名称							
	夫の離死別日			離死別日(夫)				
	妻の初再婚区分コード			初再婚区分(妻)				
	妻の初再婚区分名称							
	妻の離死別日			離死別日(妻)				
	同一人再婚区分コード			同一人再婚区分				
	同一人再婚区分名称							
	成立年月日			婚姻成立日				
	証書提出日			証書提出日				
	婚姻の方式			婚姻の方式				

50034

024

第23(7)	補足説明書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認（婚姻届）	システム化調査研究会	平成６年１２月　１日	平成　年　月　日	1	7／37

処理名　2.0 戸籍編製マトリックス表　1-1/7

項番	氏区分			夫							妻							夫・妻同一戸籍	新戸籍編製	
	夫	妻	変動なし	日本人						日本人以外	日本人						日本人以外		管内	管外
				本籍		構成		他の在籍者			本籍		構成		他の在籍者					
				本籍人	非本籍人	筆頭者	構成員	有	無		本籍人	非本籍人	筆頭者	構成員	有	無				
1	○			○			○	○			○			○	○			○	○	
2	○			○			○	○			○			○	○			○		○
3	○			○			○		○		○			○		○		○	○	
4	○			○			○		○		○			○		○		○		○
5	○				○	−	−	−	−			○	−	−	−	−			○	
6	○				○	−	−	−	−			○	−	−	−	−				○
7		○		○			○	○			○			○	○			○	○	
8		○		○			○	○			○			○	○			○		○
9		○		○			○		○		○			○		○		○	○	
10		○		○			○		○		○			○		○		○		○
11		○			○	−	−	−	−			○	−	−	−	−			○	
12		○			○	−	−	−	−			○	−	−	−	−				○
13	○			○		○		−	−		○		○		○					

第23(7)	補足説明書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認（婚姻届）	システム化調査研究会	平成６年１２月　１日	平成　年　月　日	1	8／37

処理名　2.0 戸籍編製マトリックス表　1-2/7

項番	夫の父母の戸籍（養父母）		妻の父母の戸籍（養父母）		夫の戸籍				妻の戸籍				新戸籍編製 A.1 B.1 C.1 D.1
	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	一部記載 C.1 D.1	変動なし	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	一部記載 C.1 D.1	変動なし	
1	夫（4.1） 妻（5.1）												夫（4.2） 妻（5.2）
2	夫（4.1） 妻（5.1）												
3		夫（4.1） 妻（5.1）											夫（4.2） 妻（5.2）
4		夫（4.1） 妻（5.1）											
5													夫（4.2） 妻（5.2）
6													
7	妻（5.1） 夫（4.1）												妻（5.2） 夫（4.2）
8	妻（5.1） 夫（4.1）												
9		妻（5.1） 夫（4.1）											妻（5.2） 夫（4.2）
10		妻（5.1） 夫（4.1）											
11													妻（5.2） 夫（4.2）
12													
13							妻（5.2）	夫（4.3）	妻（5.1）				

第23(7)	補足説明書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認（婚姻届）	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	9／37

処理名　2.0 戸籍編製マトリックス表　2-1/7

項番	氏区分			夫							妻							夫・妻同一戸籍	新戸籍編製	
	夫	妻	変動なし	日本人						日本人以外	日本人						日本人以外		管内	管外
				本籍		構成		他の在籍者			本籍		構成		他の在籍者					
				本籍人	非本籍人	筆頭者	構成員	有	無		本籍人	非本籍人	筆頭者	構成員	有	無				
14	○			○		○		－	－		○		○			○				
15	○			○		○		－	－		○			○	○					
16	○			○		○		－	－		○			○		○				
17	○			○		○		－	－			○	－	－	－	－				
18	○			○			○	○			○		○		○				○	
19	○			○			○	○			○		○		○					○
20	○			○			○	○			○		○			○			○	
21	○			○			○	○			○		○			○				○
22	○			○			○		○		○		○		○				○	
23	○			○			○		○		○		○		○					○
24	○			○			○		○		○		○			○			○	
25	○			○			○		○		○		○			○				○
26	○			○			○	○			○			○	○				○	
27	○			○			○	○			○			○	○					○
28	○			○			○	○			○			○		○			○	
29	○			○			○	○			○			○		○				○

50037
027

第2 3 (7)	補足説明書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認（婚姻届）	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	10／37

処理名 2.0 戸籍編製マトリックス表 2-2/7

項番	夫の父母の戸籍（養父母）		妻の父母の戸籍（養父母）		夫の戸籍				妻の戸籍				新戸籍編製 A.1 B.1 C.1 D.1
	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	一部記載 C.1 D.1	変動なし	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	一部記載 C.1 D.1	変動なし	
14							妻 (5.2)	夫 (4.3)		妻 (5.1)			
15			妻 (5.1)				妻 (5.2)	夫 (4.3)					
16				妻 (5.1)			妻 (5.2)	夫 (4.3)					
17							妻 (5.2)	夫 (4.3)					
18	夫 (4.1)		妻 (5.1)										夫 (4.2) 妻 (5.2)
19	夫 (4.1)		妻 (5.1)										
20	夫 (4.1)			妻 (5.1)									夫 (4.2) 妻 (5.2)
21	夫 (4.1)			妻 (5.1)									
22		夫 (4.1)	妻 (5.1)										夫 (4.2) 妻 (5.2)
23		夫 (4.1)	妻 (5.1)										
24		夫 (4.1)		妻 (5.1)									夫 (4.2) 妻 (5.2)
25		夫 (4.1)		妻 (5.1)									
26	夫 (4.1)		妻 (5.1)										夫 (4.2) 妻 (5.2)
27	夫 (4.1)		妻 (5.1)										
28	夫 (4.1)			妻 (5.1)									夫 (4.2) 妻 (5.2)
29	夫 (4.1)			妻 (5.1)									

第2 3 (7)	補足説明書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認（婚姻届）	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	11／37
処理名	2.0 戸籍編製マトリックス表 3-1/7						

項番	氏区分			夫							妻							夫・妻同一戸籍	新戸籍編製	
	夫	妻	変動なし	日本人						日本人以外	日本人						日本人以外		管内	管外
				本籍		構成		他の在籍者			本籍		構成		他の在籍者					
				本籍人	非本籍人	筆頭者	構成員	有	無		本籍人	非本籍人	筆頭者	構成員	有	無				
30	○			○			○		○		○			○	○				○	
31	○			○			○		○		○			○	○					○
32	○			○			○		○		○			○		○			○	
33	○			○			○		○		○			○		○				○
34	○			○			○	○				○	−	−	−	−			○	
35	○			○			○	○				○	−	−	−	−				○
36	○			○			○		○			○	−	−	−	−			○	
37	○			○			○		○			○	−	−	−	−				○
38	○				○	−	−	−	−		○			○	○				○	
39	○				○	−	−	−	−		○			○	○					○
40	○				○	−	−	−	−		○			○		○			○	
41	○				○	−	−	−	−		○			○		○				○
42		○		○		○		○			○		○		−	−				
43		○		○		○			○		○		○		−	−				
44		○		○			○	○			○		○		−	−				
45		○		○			○		○		○		○		−	−				
46		○			○	−	−	−	−		○		○		−	−				

第２３（７）	補足説明書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認（婚姻届）	システム化調査研究会	平成６年１２月　１日	平成　年　月　日	1	１２／３７
処理名	2.0 戸籍編製マトリックス表　3-2/7						

項番	夫の父母の戸籍（養父母）		妻の父母の戸籍（養父母）		夫の戸籍				妻の戸籍				新戸籍編製 A.1 B.1 C.1 D.1
	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	一部記載 C.1 D.1	変動なし	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	一部記載 C.1 D.1	変動なし	
30		夫（4.1）	妻（5.1）										夫（4.2） 妻（5.2）
31		夫（4.1）	妻（5.1）										
32		夫（4.1）		妻（5.1）									夫（4.2） 妻（5.2）
33		夫（4.1）		妻（5.1）									
34	夫（4.1）												夫（4.2） 妻（5.2）
35	夫（4.1）												
36		夫（4.1）											夫（4.2） 妻（5.2）
37		夫（4.1）											
38			妻（5.1）										夫（4.2） 妻（5.2）
39			妻（5.1）										
40				妻（5.1）									夫（4.2） 妻（5.2）
41				妻（5.1）									
42					夫（4.1）						夫（4.2）	妻（5.3）	
43						夫（4.1）					夫（4.2）	妻（5.3）	
44	夫（4.1）										夫（4.2）	妻（5.3）	
45		夫（4.1）									夫（4.2）	妻（5.3）	
46											夫（4.2）	妻（5.3）	

第23(7)	補足説明書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認（婚姻届）	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	13／37

処理名　2.0 戸籍編製マトリックス表　4-1/7

項番	氏区分			夫							妻							夫・妻同一戸籍	新戸籍編製	
	夫	妻	変動なし	日本人						日本人以外	日本人						日本人以外		管内	管外
				本籍		構成		他の在籍者			本籍		構成		他の在籍者					
				本籍人	非本籍人	筆頭者	構成員	有	無		本籍人	非本籍人	筆頭者	構成員	有	無				
47		○		○		○		○			○			○	○				○	
48		○		○		○		○			○			○	○					○
49		○		○		○			○		○			○	○				○	
50		○		○		○			○		○			○	○					○
51		○		○		○		○			○			○		○			○	
52		○		○		○		○			○			○		○				○
53		○		○		○			○		○			○		○			○	
54		○		○		○			○		○			○		○				○
55		○		○			○	○			○			○	○				○	
56		○		○			○	○			○			○	○					○
57		○		○			○		○		○			○	○				○	
58		○		○			○		○		○			○	○					○
59		○		○			○	○			○			○		○			○	
60		○		○			○	○			○			○		○				○
61		○		○			○		○		○			○		○			○	

第2 3 (7)	補足説明書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認（婚姻届）	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	14／37

処理名　2.0 戸籍編製マトリックス表　4-2/7

項番	夫の父母の戸籍（養父母）		妻の父母の戸籍（養父母）		夫の戸籍				妻の戸籍				新戸籍編製 A.1 B.1 C.1 D.1
	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	一部記載 C.1 D.1	変動なし	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	一部記載 C.1 D.1	変動なし	
47			妻 (5.1)		夫 (4.1)								妻 (5.2) 夫 (4.2)
48			妻 (5.1)		夫 (4.1)								
49			妻 (5.1)			夫 (4.1)							妻 (5.2) 夫 (4.2)
50			妻 (5.1)			夫 (4.1)							
51				妻 (5.1)	夫 (4.1)								妻 (5.2) 夫 (4.2)
52				妻 (5.1)	夫 (4.1)								
53				妻 (5.1)		夫 (4.1)							妻 (5.2) 夫 (4.2)
54				妻 (5.1)		夫 (4.1)							
55	夫 (4.1)		妻 (5.1)										妻 (5.2) 夫 (4.2)
56	夫 (4.1)		妻 (5.1)										
57		夫 (4.1)	妻 (5.1)										妻 (5.2) 夫 (4.2)
58		夫 (4.1)	妻 (5.1)										
59	夫 (4.1)			妻 (5.1)									妻 (5.2) 夫 (4.2)
60	夫 (4.1)			妻 (5.1)									
61		夫 (4.1)		妻 (5.1)									妻 (5.2) 夫 (4.2)

第23(7)	補足説明書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認（婚姻届）	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	15／37

処理名　2.0 戸籍編製マトリックス表　5-1/7

項番	氏区分			夫							妻							夫・妻同一戸籍	新戸籍編製	
	夫	妻	変動なし	日本人						日本人以外	日本人						日本人以外		管内	管外
				本籍		構成		他の在籍者			本籍		構成		他の在籍者					
				本籍人	非本籍人	筆頭者	構成員	有	無		本籍人	非本籍人	筆頭者	構成員	有	無				
62		○		○			○		○		○			○		○				○
63		○			○	−	−	−	−		○			○	○				○	
64		○			○	−	−	−	−		○			○	○					○
65		○			○	−	−	−	−		○			○		○			○	
66		○			○	−	−	−	−		○			○		○				○
67		○		○			○	○				○	−	−	−	−			○	
68		○		○			○	○				○	−	−	−	−				○
69		○		○			○		○			○	−	−	−	−			○	
70		○		○			○		○			○	−	−	−	−				○
71			○	○		○		−	−								○			
72			○	○			○	○									○		○	
73			○	○			○	○									○			○
74			○	○			○		○								○		○	
75			○	○			○		○								○			○
76			○		○	−	−	−	−								○		○	
77			○		○	−	−	−	−								○			○
78			○							○	○		○		−	−				
79			○							○	○			○	○				○	
80			○							○	○			○	○					○

第2(3)(7)	補足説明書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認（婚姻届）	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	16／37
処理名	2.0 戸籍編製マトリックス表 5-2/7						

項番	夫の父母の戸籍（養父母）		妻の父母の戸籍（養父母）		夫の戸籍				妻の戸籍				新戸籍編製 A.1 B.1 C.1 D.1
	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	一部記載 C.1 D.1	変動なし	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	一部記載 C.1 D.1	変動なし	
62		夫（4.1）		妻（5.1）									
63			妻（5.1）										妻（5.2） 夫（4.2）
64			妻（5.1）										
65				妻（5.1）									妻（5.2） 夫（4.2）
66				妻（5.1）									
67	夫（4.1）												妻（5.2） 夫（4.2）
68	夫（4.1）												
69		夫（4.1）											妻（5.2） 夫（4.2）
70		夫（4.1）											
71								夫（4.3）					
72	夫（4.1）												夫（4.2）
73	夫（4.1）												
74		夫（4.1）											夫（4.2）
75		夫（4.1）											
76													夫（4.2）
77													
78												妻（5.3）	
79			妻（5.1）										妻（5.2）
80			妻（5.1）										

50044

第2章3節（7）	補足説明書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認（婚姻届）	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	17／37

処理名　2.0 戸籍編製マトリックス表　6-1/7

項番	氏区分			夫							妻							夫・妻同一戸籍	新戸籍編製	
	夫	妻	変動なし	日本人						日本人以外	日本人						日本人以外		管内	管外
				本籍		構成		他の在籍者			本籍		構成		他の在籍者					
				本籍人	非本籍人	筆頭者	構成員	有	無		本籍人	非本籍人	筆頭者	構成員	有	無				
81			○							○	○			○		○			○	
82			○							○	○			○		○				○
83			○							○		○	−	−	−	−			○	
84			○							○		○	−	−	−	−				○
85										○							○			
86	○				○	−	−	−	−			○	−	−	−	−				
87		○			○	−	−	−	−			○	−	−	−	−				
88	○				○	−	−	−	−		○		○		○				○	
89	○				○	−	−	−	−		○		○		○					○
90	○				○	−	−	−	−		○		○			○			○	
91	○				○	−	−	−	−		○		○			○				○
92		○		○		○		○				○	−	−	−	−			○	
93		○		○		○		○				○	−	−	−	−				○
94		○		○		○			○			○	−	−	−	−			○	
95		○		○		○			○			○	−	−	−	−				○
96			○		○	−	−	−	−								○			
97			○							○		○	−	−	−	−				
98	○				○	−	−	−	−		○			○	○					
99	○				○	−	−	−	−		○			○		○				

第2 3 (7)	補足説明書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認（婚姻届）	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	18-1／37

処理名　2.0 戸籍編製マトリックス表　6-2/7

項番	夫の父母の戸籍（養父母）		妻の父母の戸籍（養父母）		夫の戸籍				妻の戸籍				新戸籍編製 A.1 B.1 C.1 D.1
	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	一部記載 C.1 D.1	変動なし	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	一部記載 C.1 D.1	変動なし	
81				妻（5.1）									妻（5.2）
82				妻（5.1）									
83													妻（5.2）
84													
85													
86													
87													
88									妻（5.1）				夫（4.2） 妻（5.2）
89									妻（5.1）				
90										妻（5.1）			夫（4.2） 妻（5.2）
91										妻（5.1）			
92					夫（4.1）								妻（5.2） 夫（4.2）
93					夫（4.1）								
94						夫（4.1）							妻（5.2） 夫（4.2）
95						夫（4.1）							
96													
97													
98			妻（5.1）										
99				妻（5.1）									

第2 (37)	補足説明書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認（婚姻届）	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	18-2／37

処理名　2.0 戸籍編製マトリックス表　7-1/7

項番	氏区分			夫							妻							夫・妻同一戸籍	新戸籍編製	
	夫	妻	変動なし	日本人						日本人以外	日本人						日本人以外		管内	管外
				本籍		構成		他の在籍者			本籍		構成		他の在籍者					
				本籍人	非本籍人	筆頭者	構成員	有	無		本籍人	非本籍人	筆頭者	構成員	有	無				
100		○		○			○	○				○	−	−	−	−				
101		○		○			○		○			○	−	−	−	−				
102	○				○	−	−	−	−		○		○		○					
103	○				○	−	−	−	−		○		○			○				
104		○		○		○		○				○	−	−	−	−				
105		○		○		○			○			○	−	−	−	−				

第23(7)	補足説明書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認（婚姻届）	システム化調査研究会	平成６年１２月　１日	平成　年　月　日	1	18-3／３７

処理名　2.0 戸籍編製マトリックス表　7-2/7

項番	夫の父母の戸籍（養父母）		妻の父母の戸籍（養父母）		夫の戸籍				妻の戸籍				新戸籍編製 A.1 B.1 C.1 D.1
	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	一部記載 C.1 D.1	変動なし	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	一部記載 C.1 D.1	変動なし	
100	夫（4.1）												
101		夫（4.1）											
102									妻（5.1）				
103										妻（5.1）			
104					夫（4.1）								
105						夫（4.1）							

第2(3)(4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認（婚姻届）	システム化調査研究会	平成６年１２月　１日	平成　年　月　日	1	１９／３７

処理名　3.0 中間ファイル（仮受付）編集・出力 1/3　（受取側）中間ファイル（仮受付）／共通　←（引渡側）中間ファイル（届書）

受取側 DB・ファイル名 / 画面名称	項目 名称	項目 記号名	引渡側 DB・ファイル名 / 画面名称	項目 名称	項目 記号名	コード変換有無 サブルーチン	出力形態 Z9..	備考
中間ファイル（仮受付）	受領番号		中間ファイル（届書）	受領番号				
	支所番号			支所番号				
	受付事件コード			――――				「０９０１」をセット
	受付日			送付日 受領日				送付日≠空白の時、送付日 送付日＝空白の時、受領日
	事件発生日			婚姻成立日				報告区分＝２の時、移送
	事件発生時分			――――				ＺＥＲＯ
	事件発生日時			――――				
	受理送付区分			受理送付区分				
	本非区分			本非区分				
	渉外区分			渉外区分				０：日本人 １：渉外 ２：外国人
	証書提出区分							婚姻の方式≠スペースのとき、１ 上記以外は、０（届出）
	発送日			送付日				
	郵送日			郵送日				
	発日			――――				ＺＥＲＯをセット
	収日			――――				ＺＥＲＯをセット
	指示日			――――				ＺＥＲＯをセット
	許可日			――――				ＺＥＲＯをセット
	関連受領番号			――――				ＺＥＲＯをセット
	届出人資格区分１			――――				届出人資格区分には、「ＺＥＲＯ」
	届出人資格名称１			――――				届出人資格名称には、「ＳＰＡＣＥ」
	届出人氏名１			――――				届出人氏名には、「ＳＰＡＣＥ」
	届出人資格区分２			――――				
	届出人資格名称２			――――				

第23(4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(婚姻届)	システム化調査研究会	平成6年12月1日	平成10年 2月27日	2	20／37

処理名	3.0中間ファイル(仮受付) 編集・出力 2／3	(受取側)中間ファイル(仮受付) ／ 共通	← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側 DB・ファイル名 / 画像名称	項目 名称	記号名	引渡側 DB・ファイル名 / 画面名称	項目 名称	記号名	コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
中間ファイル (仮受付)	届出人氏名2		中間ファイル (届書)					
	届後本籍区分							1:入籍 2:新戸籍編製
	届後本籍コード			新本籍コード				
	届後本籍			新本籍				
	届後戸籍の筆頭者			――――				新本籍＝スペースの場合、未設定 新本籍≠スペースの場合、
	送達確認1			――――				届後本籍が非本 かつ 在外送付区分＝0(受理分)の場合 1(未到着)を設定。 上記以外は、0(不要)を設定。
	届書送付目録区分							本非区分＝1(本籍)の場合、1(送付要)を設定。 上記以外は、0(送付不要)を設定。 ＊本非区分は、共通部を用いる。
	処分区分			処分区分				
	決裁区分			決裁区分				

氏区分	夫の外国人区分	妻の外国人区分	設定内容
1	―	―	夫の漢字氏名
2	―	―	妻の漢字氏名
3	0	1	夫の漢字氏名
	1	0	妻の漢字氏名

第2 3 (4)	データ編集表	作業者	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(婚姻届)	システム化調査研究会	平成6年12月1日	平成10年 2月27日	2	21／37

処理名	3.0中間ファイル(仮受付) 編集・出力 3／3	(受取側)中間ファイル(仮受付) ／ 事件本人	← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード	出力形態	備考
DB・ファイル名 画像名称	項目 名称	記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	変換有無 ｻｰｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	Z9.，	
中間ファイル (仮受付) 事件本人	受領番号		中間ファイル (届書)	受領番号				該当データーは事件本人の人数分作成
	行番号			――				
	事件本人区分			――				夫の時、「12」を 妻の時、「13」をセット
	届出人区分			――				夫の時、届出区分=2:報告 かつ 夫の外人区分=1:外国人 かつ 妻の外人区分=0:日本人の場合、「0:なし」を設定 妻の時、届出区分=2:報告 かつ 妻の外人区分=1:外国人 かつ 夫の外人区分=0:日本人の場合、「0:なし」を設定 上記以外は「1:事件本人が届出人」を設定
	カナ氏名			――				夫の時、カナ氏名（夫） 妻の時、カナ氏名（妻）
	漢字氏名			――				夫の時、漢字氏名（夫） 妻の時、漢字氏名（妻）
	生年月日			――				夫の時、生年月日（夫） 妻の時、生年月日（妻）
	本籍コード			――				夫の時、本籍コード（夫） 妻の時、本籍コード（妻）
	本籍			――				夫の時、本籍（夫） 妻の時、本籍（妻）
	筆頭者			――				夫の時、筆頭者（夫） 妻の時、筆頭者（妻）
	送達確認2							事件本人の現本籍が、 (本非区分＝2) かつ (在外送付区分＝0)の 場合、1(未到着)を設定。 上記以外は、0(不要)を設定。

＊事件本人情報の出力順位は、氏を改めない者を先に出力する。

第2(3)(4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認（婚姻届）	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	22／37

処理名：4.1 身分事項（除籍）の編集・出力 1/2　（受取側）中間ファイル（仮戸籍）身分事項 ← （引渡側）中間ファイル（届書）

受取側 DB・ファイル名 / 画面名称	項目 名称		記号名	引渡側 DB・ファイル名 / 画面名称	項目 名称	記号名	コード変換有無 サブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
中間ファイル（仮戸籍）身分事項	個人番号			中間ファイル（届書）	個人番号（夫）				
	行番号				―――				
	出力区分				―――				「0」ゼロを移送
	タイトルコード				―――				「0901」を移送
	記録コード				―――				「0901」を移送
	管掌者コード				―――				
	事件発生日				婚姻成立日 受領日				婚姻成立日≠空白の時、婚姻成立日 婚姻成立日＝空白の時、受領日
	婚姻	婚姻日			婚姻成立日 受領日				婚姻成立日≠空白の時、婚姻成立日 婚姻成立日＝空白の時、受領日
	婚姻	婚姻の委託確認の裁判確定日			―――				
	婚姻	配偶者氏名			漢字氏名（妻）				
	婚姻	配偶者の死亡日			―――				
	婚姻	配偶者の国籍			本籍（妻）				妻が外国人の時、配偶者の国籍
	婚姻	配偶者の生年月日			生年月日（妻）				妻が外国人の時、当該項目を移送
	婚姻	婚姻の方式			婚姻の方式				
	婚姻	裁判所			―――				
	届出	証書提出日			証書提出日				
	届出	届書提出日			―――				
	届出	届書提出者 資格			―――				
	届出	届書提出者 氏名			―――				
	届出	届書提出者 資格			―――				
	届出	届書提出者 氏名			―――				
	送付	送付を受けた日			送付日				
	送付	受理者			発送元				

第２３（４）	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認（婚姻届）	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成30年 3月31日	21	23/37

処理名	4.1 身分事項（除籍）の編集・出力 2/2	（受取側） 中間ファイル（仮戸籍）身分事項 ← （引渡側）中間ファイル（届書）

受取側 DB・ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	引渡側 DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	コード変換有無 (ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.，	備考
中間ファイル（仮戸籍）身分事項	許可	許可日		中間ﾌｧｲﾙ（届書）	－				
		許可書謄本の送付を受けた日			－				
		許可を受けた者			－				
	入籍	入籍日			－				
	入戸籍	従前戸籍 本籍			－				
		従前戸籍 筆頭者			－				
	除籍	除籍日			処理日				
	除戸籍	新本籍			新本籍				新戸籍編製の時、セット
		称する氏			氏区分				
		入籍戸籍 本籍			本籍（妻）				配偶者の戸籍に入籍する時、セット
		入籍戸籍 筆頭者			筆頭者（妻）				
	記録	**記録日**			－				
	特記	**特記事項**			－				・（年月日）受理を命ずる裁判確定 ・妻死亡後受理、死亡後受理 ・妻証書提出 （上記内容は審査結果入力で設定） **・民法733条フラグ=2のとき、** **「民法第733条第2項」を記録する**

50053

043

第2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認（婚姻届）	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	24／37

処理名	4.2 身分事項（入籍）の編集・出力 1/2	（受取側）中間ファイル（仮戸籍）身分事項 ← （引渡側）中間ファイル（届書）

受取側				引渡側			コード変換有無	出力形態	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	サーチサブルーチン	Z9..	
中間ファイル（仮戸籍）身分事項	個人番号			中間ファイル（届書）	個人番号（夫）				（決裁処理で付番）
	行番号				―――				
	出力区分				―――				「0」ゼロを移送
	タイトルコード				―――				「0901」を移送
	記録コード				―――				「0901」を移送
	管掌者コード				―――				
	事件発生日				婚姻成立日 受領日				婚姻成立日≠空白の時、婚姻成立日 婚姻成立日＝空白の時、受領日
	婚姻 婚姻日				婚姻成立日 受領日				婚姻成立日≠空白の時、婚姻成立日 婚姻成立日＝空白の時、受領日
	婚姻 婚姻の委託確認の裁判確定日				―――				
	婚姻 配偶者氏名				漢字氏名（妻）				
	婚姻 配偶者の死亡日				―――				
	婚姻 配偶者の国籍				本籍（妻）				妻が外国人の時、配偶者の国籍
	婚姻 配偶者の生年月日				生年月日（妻）				妻が外国人の時、当該項目を移送
	婚姻 婚姻の方式				婚姻の方式				
	婚姻 裁判所				―――				
	届出 証書提出日				証書提出日				
	届出 届書提出日				―――				
	届出 届書提出者 資格				―――				
	届出 届書提出者 氏名				―――				
	届出 届書提出者 資格				―――				
	届出 届書提出者 氏名				―――				
	送付 送付を受けた日				送付日				
	送付 受理者				発送元				

第２３（４）	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認（婚姻届）	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成29年 3月31日	20	25/37

処理名	4.2 身分事項（入籍）の編集・出力 2/2	（受取側） 中間ファイル（仮戸籍）身分事項 ← （引渡側）中間ファイル（届書）

受取側 DB・ファイル名 画面名称	項目 名称			引渡側 DB・ファイル名 画面名称	項目 名称		コード変換有無 (ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.，	備考
中間ファイル（仮戸籍）身分事項	許可	許可日		中間ファイル（届書）	－				
		許可書謄本の送付を受けた日			－				
		許可を受けた者			－				
	入籍	入籍日			処理日				
	入戸籍	従前戸籍 本籍			本籍（夫）				
		従前戸籍 筆頭者			筆頭者（夫）				
	除籍	除籍日							
	除戸籍	新本籍			－				
		称する氏			－				
		入籍戸籍 本籍			－				
		入籍戸籍 筆頭者			－				
	記録	記録日			－				
	特記	**特記事項**			－				・（年月日）受理を命ずる裁判確認 ・妻死亡後受理、死亡後受理 ・婚姻により国籍取得（取得の際の国籍xxxxxx） ・妻証書提出 （上記内容は審査結果入力で設定） **・民法733条フラグ=2のとき、「民法第733条第2項」を記録する**

第2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認（婚姻届）	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	26／37

処理名	4.3 身分事項（変動なし）の編集・出力 1/2	（受取側）中間ファイル（仮戸籍）身分事項	← （引渡側）中間ファイル（届書）

受取側			引渡側			コード	出力形態	
DB・ファイル名	項目		DB・ファイル名	項目		変換有無		備考
画面名称	名称	記号名	画面名称	名称	記号名	ｻｰｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	Z9..	
中間ファイル（仮戸籍）身分事項	個人番号		中間ファイル（届書）	個人番号（夫）				
	行番号			――――				
	出力区分			――――				「0」ゼロを移送
	タイトルコード			――――				「0901」を移送
	記録コード			――――				「0901」を移送
	管掌者コード			――――				
	事件発生日			婚姻成立日 受領日				婚姻成立日≠空白の時、婚姻成立日 婚姻成立日＝空白の時、受領日
	婚姻 婚姻日			婚姻成立日 受領日				婚姻成立日≠空白時、婚姻成立日を上記以外は、受領日をセット
	婚姻 婚姻の委託確認の裁判確定日			――――				
	婚姻 配偶者氏名			漢字氏名（妻）				
	婚姻 配偶者の死亡日			――――				
	婚姻 配偶者の国籍			本籍（妻）				妻が外国人の時、配偶者の国籍
	婚姻 配偶者の生年月日			生年月日（妻）				妻が外国人の時、当該項目を移送。
	婚姻 婚姻の方式			婚姻の方式				
	婚姻 裁判所			――――				
	届出 証書提出日			証書提出日				
	届出 届書提出日			――――				
	届出 届書提出者 資格			――――				
	届出 届書提出者 氏名			――――				
	届出 届書提出者 資格			――――				
	届出 届書提出者 氏名			――――				
	送付 送付を受けた日			送付日				
	送付 受理者			発送元				

第２３（４）	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認（婚姻届）	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成29年 3月31日	20	27/37

処理名	4.3 身分事項（変動なし）の編集・出力 2/2	（受取側） 中間ファイル（仮戸籍）身分事項 ← （引渡側）中間ファイル（届書）

受取側 DB・ファイル名 画面名称	項目 名称			引渡側 DB・ファイル名 画面名称	項目 名称		コード変換有無 (ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.，	備考
中間ファイル（仮戸籍）身分事項	許可	許可日		中間ファイル（届書）	－				
		許可書謄本の送付を受けた日			－				
		許可を受けた者			－				
	入籍	入籍日			－				
	入戸籍	従前戸籍 本籍			－				
		従前戸籍 筆頭者			－				
	除籍	除籍日			－				
	除戸籍	新本籍				－			
		称する氏							
		戸籍入籍 本籍							
		戸籍入籍 筆頭者							
	記録	記録日			処理日				
	特記	**特記事項**			－				・（年月日）受理を命ずる裁判確定 ・妻死亡後受理、死亡後受理 ・妻証書提出 （上記内容は審査結果入力で設定） **・民法733条フラグ=2のとき、** **「民法第733条第2項」を記録する**

50057
047

第2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認（婚姻届）	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	28／37

処理名	5.1 身分事項（除籍）の編集・出力 1/2	（受取側）中間ファイル（仮戸籍）身分事項	← （引渡側）中間ファイル（届書）

受取側			引渡側			コード変換有無	出力形態	備考
DB・ファイル名	項目		DB・ファイル名	項目				
画面名称	名称	記号名	画面名称	名称	記号名	ｻｰﾁﾌﾞﾙｰﾁﾝ	Z9..	
中間ファイル（仮戸籍）身分事項	個人番号		中間ファイル（届書）	個人番号（夫）				
	行番号			―――				
	出力区分			―――				「0」ゼロを移送
	タイトルコード			―――				「0901」を移送
	記録コード			―――				「0901」を移送
	管掌者コード			―――				
	事件発生日			婚姻成立日 受領日				婚姻成立日≠空白の時、婚姻成立日 婚姻成立日＝空白の時、受領日
婚姻	婚姻日			婚姻成立日 受領日				婚姻成立日≠空白の時、婚姻成立日 婚姻成立日＝空白の時、受領日
婚姻	婚姻の委託確認の裁判確定日			―――				
婚姻	配偶者氏名			漢字氏名（夫）				
婚姻	配偶者の死亡日			―――				
婚姻	配偶者の国籍			本籍（夫）				夫が外国人の時、配偶者の国籍
婚姻	配偶者の生年月日			生年月日（夫）				夫が外国人の時、当該項目を移送
婚姻	婚姻の方式			婚姻の方式				
婚姻	裁判所			―――				
届出	証書提出日			証書提出日				
届出	届書提出日			―――				
届出	届書提出者 資格			―――				
届出	届書提出者 氏名			―――				
届出	届書提出者 資格			―――				
届出	届書提出者 氏名			―――				
送付	送付を受けた日			送付日				
送付	受理者			発送元				

第 2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(婚姻届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成29年 3月31日	20	29/37

処理名	5.1 身分事項(除籍)の編集・出力 2/2	(受取側) 中間ファイル(仮戸籍)身分事項 ← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側 DB・ファイル名 画面名称	項目 名称			引渡側 DB・ファイル名 画面名称	項目 名称		コード変換有無 (ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.，	備考
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	許可	許可日		中間ファイル (届書)	－				
		許可書謄本の送付を受けた日			－				
		許可を受けた者			－				
	入籍	入籍日			－				
	入戸籍	従前戸籍 本籍			－				
		従前戸籍 筆頭者			－				
	除籍	除籍日			処理日				
	除戸籍	新本籍			新本籍				新戸籍編製の時、セット
		称する氏			氏区分				
		戸籍入籍 本籍			本籍(夫)				配偶者の戸籍に入籍する時、セット
		戸籍入籍 筆頭者			筆頭者(夫)				
		記録日			－				
	特記	特記事項			－				・(年月日)受理を命ずる裁判確定 ・夫死亡後受理、死亡後受理 ・夫証書提出 (上記内容は審査結果入力で設定) **・民法733条フラグ=1のとき、** **「民法第733条第2項」を記録する**

第2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認（婚姻届）	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	30／37

処理名	5.2 身分事項（入籍）の編集・出力 1/2	（受取側）中間ファイル（仮戸籍）身分事項	← （引渡側）中間ファイル（届書）

受取側			引渡側			コード変換有無	出力形態	備考
DB・ファイル名	項目		DB・ファイル名	項目				
画面名称	名称	記号名	画面名称	名称	記号名	ｻｰｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	Z9.,	
中間ファイル（仮戸籍）身分事項	個人番号		中間ファイル（届書）	個人番号（夫）				（決裁処理で付番）
	行番号			―――				
	出力区分			―――				「0」ゼロを移送
	タイトルコード			―――				「0901」を移送
	記録コード			―――				「0901」を移送
	管掌者コード			―――				
	事件発生日			婚姻成立日 受領日				婚姻成立日≠空白の時、婚姻成立日 婚姻成立日＝空白の時、受領日
	婚姻 婚姻日			婚姻成立日 受領日				婚姻成立日≠空白の時、婚姻成立日 婚姻成立日＝空白の時、受領日
	婚姻 婚姻の委託確認の裁判確定日			―――				
	婚姻 配偶者氏名			漢字氏名（夫）				
	婚姻 配偶者の死亡日			―――				
	婚姻 配偶者の国籍			本籍（夫）				夫が外国人の時、配偶者の国籍
	婚姻 配偶者の生年月日			生年月日（夫）				夫が外国人の時、当該項目を移送
	婚姻 婚姻の方式			婚姻の方式				
	婚姻 裁判所			―――				
	届出 証書提出日			証書提出日				
	届出 届書提出日			―――				
	届出 届書提出者 資格			―――				
	届出 届書提出者 氏名			―――				
	届出 届書提出者 資格			―――				
	届出 届書提出者 氏名			―――				
	送付 送付を受けた日			送付日				
	送付 受理者			発送元				

第 2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(婚姻届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成29年 3月31日	20	31/37

処理名	5.2 身分事項(入籍)の編集・出力 2/2	(受取側) 中間ファイル(仮戸籍)身分事項 ← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側 DB・ファイル名 画面名称	項目 名称			記号名	引渡側 DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	コード変換有無 (ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.，	備考
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	許可	許可日			中間ファイル (届書)	－				
		許可書謄本の送付を受けた日				－ －				
		許可を受けた者				処理日				
	入籍	入籍日				本籍(妻)				
	入戸籍	従前戸籍	本籍			筆頭者(妻)				
			筆頭者			－				
	除籍	除籍日				－				
	除戸籍	新本籍				－				
		称する氏				－				
		入戸籍	本籍			－				
			筆頭者			－				
	記録	記録日				－				(年月日)受理を命ずる裁判確定 ・夫死亡後受理、死亡後受理 ・夫証書提出 ・婚姻により国籍取得(取得の際の国籍xxxxxx) (上記内容は審査結果入力で設定) **・民法733条フラグ=1のとき、「民法第733条第2項」を記録する**
	特記	特記事項								

第２３（４）	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認（婚姻届）	システム化調査研究会	平成６年１２月　１日	平成　年　月　日	1	３２／３７

処理名：5.3 身分事項（変動なし）の編集・出力 1/2　　（受取側）中間ファイル（仮戸籍）身分事項　←　（引渡側）中間ファイル（届書）

受取側 DB・ファイル名 / 画面名称	項目 名称	項目 記号名	引渡側 DB・ファイル名 / 画面名称	項目 名称	項目 記号名	コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z９．，	備考
中間ファイル（仮戸籍）身分事項	個人番号		中間ファイル（届書）	個人番号（夫）				
	行番号							
	出力区分							「０」ゼロを移送
	タイトルコード							「０９０１」を移送
	記録コード							「０９０１」を移送
	管掌者コード							
	事件発生日			婚姻成立日 受領日				婚姻成立日≠空白の時、婚姻成立日 婚姻成立日＝空白の時、受領日
	婚姻 婚姻日			婚姻成立日 受領日				婚姻成立日≠空白の時、婚姻成立日 婚姻成立日＝空白の時、受領日
	婚姻 婚姻の委託確認の裁判確定日			―――――				
	婚姻 配偶者氏名			漢字氏名（夫）				
	婚姻 配偶者の死亡日			―――――				
	婚姻 配偶者の国籍			本籍（夫）				夫が外国人の時、配偶者の国籍
	婚姻 配偶者の生年月日			生年月日（夫）				夫が外国人の時、当該項目を移送。
	婚姻 婚姻の方式			婚姻の方式				
	婚姻 裁判所			―――――				
	届出 証書提出日			証書提出日				
	届出 届書提出日			―――――				
	届出 届書提出者 資格			―――――				
	届出 届書提出者 氏名			―――――				
	届出 届書提出者 資格			―――――				
	届出 届書提出者 氏名			―――――				
	送付 送付を受けた日			送付日				
	送付 受理者			発送元				

第 2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(婚姻届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成29年 3月31日	20	33/37

処理名	5.3 身分事項(変動なし)の編集・出力 2/2	(受取側) 中間ファイル(仮戸籍)身分事項 ← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側 DB・ファイル名 / 画面名称	項目 名称		記号名	引渡側 DB・ファイル名 / 画面名称	項目 名称	記号名	コード変換有無 (ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.，	備考
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	許可	許可日		中間ファイル (届書)	－				
		許可書謄本の送付を受けた日			－				
		許可を受けた者			－				
	入籍	入籍日			－				
	入戸籍	従前戸籍 本籍			－				
		従前戸籍 筆頭者			－				
	除籍	除籍日			－				
	除戸籍	新本籍							
		称する氏							
		入籍戸籍 本籍							
		入籍戸籍 筆頭者							
	記録	記録日			処理日				
	特記	特記事項			－				・(年月日)受理を命ずる裁判確定 ・夫死亡後受理、死亡後受理 ・夫証書提出 (上記内容は審査結果入力で設定) **・民法733条フラグ=1のとき、** **「民法第733条第2項」を記録する**

第23(4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(婚姻届)	システム化調査研究会	平成6年12月1日	平成10年 2月27日	2	34／37

処理名	6.1 夫　　編集・出力 1/2	(受取側)中間ファイル(9条2項)／(夫)	←(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側 DB・ファイル名 画面名称	受取側 項目 名称	受取側 項目 記号名	引渡側 DB・ファイル名 画面名称	引渡側 項目 名称	引渡側 項目 記号名	コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.，	備考
中間ファイル(9条2項) 夫	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード			住所コード				市区町村部分だけのコード
	宛名							市区町村を宛名に変換した項目
	事件コード							09(婚姻届)
	受理日			送付日又は受領日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号			個人番号				本籍人の場合は個人番号を設定
	新氏名			夫の漢字氏名　又は 妻の氏＋夫の名				氏区分＝1の時　夫の漢字氏名 ＝2の時、妻の氏＋夫の名 ＝3の時、夫の漢字氏名
	旧氏名			夫の漢字氏名				
	新生年月日			夫の生年月日				
	旧生年月日			夫の生年月日				
	新父母との続柄			夫の父母との続柄コード				
	旧父母との続柄			夫の父母との続柄コード				
	新本籍コード			新本籍コード				
	新本籍			新本籍				
	旧本籍コード			夫の本籍コード				
	旧本籍			夫の本籍				
	新筆頭者			夫の漢字氏名　又は 妻の漢字氏名				氏区分＝1の時　夫の漢字氏名 ＝2の時　妻の漢字氏名 ＝3の時　夫の漢字氏名
	旧筆頭者			夫の筆頭者				
	住所コード			夫の住所コード				
	住所			夫の住所				
	方書							
	住定日							
	住民日							

第2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認（婚姻届）	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	35／37

処理名	6.1 夫　　編集・出力 2/2	（受取側）中間ファイル（9条2項）／（夫）	←（引渡側）中間ファイル（届書）

受取側			引渡側			コード変換有無	出力形態	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	ｻﾆﾀｲｽﾞﾙｰﾁﾝ	Z9.，	
中間ﾌｧｲﾙ(9条2項)（夫）	世帯主		中間ﾌｧｲﾙ（届書）	夫の世帯主				
	世帯主との続柄							

第23(4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(婚姻届)	システム化調査研究会	平成6年12月1日	平成10年 2月27日	2	36／37

処理名 6.2 妻 編集・出力 1/2 (受取側)中間ファイル(9条2項)／(妻) ←(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側 DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	引渡側 DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	コード変換有無 ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Z9.，	備考
中間ﾌｧｲﾙ(9条2項)妻	受領番号		中間ﾌｧｲﾙ(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード			住所コード				市区町村部分だけのコード
	宛名							市区町村を宛名に変換した項目
	事件コード							09(婚姻届)
	受理日			送付日又は受領日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号			個人番号				本籍人の場合は個人番号を設定
	新氏名			妻の漢字氏名 又は 夫の氏＋妻の名				氏区分＝1の時、夫の氏＋妻の名 ＝2の時、妻の漢字氏名 ＝3の時、妻の漢字氏名
	旧氏名			妻の漢字氏名				
	新生年月日			妻の生年月日				
	旧生年月日			妻の生年月日				
	新父母との続柄			妻の父母との続柄コード				
	旧父母との続柄			妻の父母との続柄コード				
	新本籍コード			新本籍コード				
	新本籍			新本籍				
	旧本籍コード			妻の本籍コード				
	旧本籍			妻の本籍				
	新筆頭者			夫の漢字氏名 又は 妻の漢字氏名				氏区分＝1の時 夫の漢字氏名 ＝2の時 妻の漢字氏名 ＝3の時 妻の漢字氏名
	旧筆頭者			妻の筆頭者				
	住所コード			妻の住所コード				
	住所			妻の住所				
	方書							
	住定日							
	住民日							

056

第2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認（婚姻届）	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	37／37

処理名：6.2 妻　編集・出力 2/2

（受取側）中間ファイル（9条2項）／（妻）　←（引渡側）中間ファイル（届書）

受取側			引渡側			コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9..	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
中間ファイル(9条2項)（妻）	世帯主		中間ファイル（届書）	妻の世帯主				
	世帯主との続柄							

第2 3 (4)	データ編集表 (サンプル提示)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(婚姻届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成11年 3月 1日	2.1	37-1/37

処理名	7.1 夫　編集・出力	(受取側) 中間ファイル(30条の12第1項)/(夫)	←	(引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無	出力形態	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	(サブルーチン)	Z9.,	
中間ファイル (30条の12第1項) 夫	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード		附票データベース	在外選挙人名簿 登録市区町村コード				
	宛名							市区町村を宛名に変換した項目
	事件コード		中間ファイル(届書)					09(婚姻届)
	受理日			送付日又は受領日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号							本籍人の場合は個人番号を設定
	新氏名			夫の漢字氏名　又は 妻の氏+夫の名				氏区分=1の時、夫の漢字氏名 =2の時、妻の氏+夫の名 =3の時、夫の漢字氏名
	旧氏名			夫の漢字氏名				
	新生年月日							
	旧生年月日			夫の生年月日				
	新性別							
	旧性別							夫の父母との続柄を性別に 変換して性別コードを設定
	新本籍コード			新本籍コード				
	新本籍			新本籍				
	旧本籍コード			夫の本籍コード				
	旧本籍			夫の本籍				
	新筆頭者			夫の漢字氏名　又は 妻の漢字氏名				氏区分=1の時　夫の漢字氏名 =2の時　妻の漢字氏名 =3の時　夫の漢字氏名
	旧筆頭者			夫の筆頭者				
	住所コード			夫の住所コード				
	住所			夫の住所				
	方書							
	転入届出日							

057-1

第2 3 (4)	データ編集表 (サンプル提示)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(婚姻届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成11年 3月 1日	2.1	37-2／37

処理名 7.2 妻 編集・出力　　(受取側) 中間ファイル(30条の12第1項)／(妻) ← (引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(サブルーチン)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
中間ファイル (30条の12第1項) 妻	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード		附票データベース	在外選挙人名簿 登録市区町村コード				
	宛名							市区町村を宛名に変換した項目
	事件コード		中間ファイル(届書)					09(婚姻届)
	受理日			送付日又は受領日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号							本籍人の場合は個人番号を設定
	新氏名			妻の漢字氏名　又は 夫の氏＋夫の名				氏区分＝1の時、夫の氏＋妻の名 ＝2の時、妻の漢字氏名 ＝3の時、妻の漢字氏名
	旧氏名			妻の漢字氏名				
	新生年月日							
	旧生年月日			妻の生年月日				
	新性別							
	旧性別							妻の父母との続柄を性別に 変換して性別コードを設定
	新本籍コード			新本籍コード				
	新本籍			新本籍				
	旧本籍コード			妻の本籍コード				
	旧本籍			妻の本籍				
	新筆頭者			妻の漢字氏名　又は 夫の漢字氏名				氏区分＝1の時　夫の漢字氏名 ＝2の時　妻の漢字氏名 ＝3の時　妻の漢字氏名
	旧筆頭者			妻の筆頭者				
	住所コード			妻の住所コード				
	住所			妻の住所				
	方書							
	転入届出日							

50070

第7.2.(5)「異動」処理

9.離婚届

標準仕様書修正履歴

平成１０年２月

項番	業務（届書）名	修正内容	ページ	添付資料NO
1	第7.2.(5).9 （離婚届）	1．システム処理の概要説明 （1）離婚業務処理範囲外の処理の追加 ・実方の戸籍が１０７条１項等により氏の変更を行っていたときに、その戸籍には復籍せずに申出により新戸籍を編製する場合は、「審査結果入力処理」で対応する ・渉外離婚の場合に外国人からのみ証書提出された場合は、「審査結果入力処理」で対応する ・外国の方式で離婚したときに未成年者の親権が外国法で共同親権となる場合は、「審査結果入力処理」で対応する 2．審査 （1）単体チェック ・NO.14,26,36の修正 必須チェックを外した （2）関連チェック ・NO.14-1,16-1　追加 夫（妻）が筆頭者のとき夫（妻）の漢字氏名と筆頭者氏名が等しいこと ・NO.18-1,18-2　追加 外国人区分，本籍，筆頭者のチェック追加 ・NO.31　修正及びNO.31-1　追加 届出区分と離婚種別のチェック修正・追加 ・NO.38　修正 誤植修正 （3）外国の方式による証書提出期間の審査を追加 メッセージ追加「外国の方式により離婚が成立した旨の証書または証明書の添付がありますか？」 「証書提出は外国人のみからの届出ですか？」 「外国人同士が国外で協議離婚した旨の届出は受理できません」 （4）親権者指定の確認審査を追加 夫氏名と未成年者の父氏名・養父氏名及び妻氏名と未成年者の母氏名・養母氏名を比較 （5）中間ファイル編集（届書）修正 ・指示日、許可日の編集を削除 3．入力確認 （1）中間ファイル編集（仮受付） ・指示日、許可日の編集を削除 ・届出人区分の編集条件修正 報告的渉外離婚において外国人に届出人区分を設定しない報告的届出の際の設定条件修正 ・筆頭者項目及び編集条件を追加 ・本籍の編集条件修正 渉外離婚の場合の条件を追加 （2）夫の身分事項（除籍）の編集 ・特記事項編集条件を追加（審査結果入力の例） 妻証書提出 （3）夫の身分事項（入籍）の編集 ・特記事項編集条件を追加（審査結果入力の例） 妻証書提出 （4）夫の身分事項（変動なし）の編集 ・特記事項編集条件を追加（審査結果入力の例） 妻証書提出 （5）妻の身分事項（除籍）の編集 ・特記事項編集条件を追加（審査結果入力の例） 夫証書提出	001 004,005 008 009 010 010 011,012, 011-1 015,016 021 036 038 038 038 040 042 044 046	

標準仕様書修正履歴

平成１０年２月

項番	業務（届書）名	修正内容	ページ	添付資料NO
1	第7.2.(5).9 （離婚届）	（６）妻の身分事項（入籍）の編集 ・特記事項編集条件を追加（審査結果入力の例） 夫証書提出 （７）妻の身分事項（変動なし）の編集 ・特記事項編集条件を追加（審査結果入力の例） 夫証書提出 （８）中間ファイル編集（夫：９条２項） ・受理日編集条件修正 （９）中間ファイル編集（妻：９条２項） ・受理日編集条件修正	048 050 053 055	

標準仕様書修正履歴

平成１１年３月

項番	業務（届書）名	修正内容	ページ	添付資料No.
1	第 7. 2. (5). 9 （離婚届）	公職選挙法改正によるシステムの対応（サンプル提示） １．入力確認 （１）システム環境仕様書 ・詳細フロー及び使用ＤＢ・ファイル一覧に入力ファイルとして附票データベース、出力ファイルとして中間ファイル（３０条の１２第１項）を追加 ・処理概要、機能体系に中間ファイル（３０条の１２第１項）の編集に関する記述を追加 （２）本紙の処理内容 ・夫または妻が在外選挙人の場合の中間ファイル（３０条の１２第１項）の編集・出力処理の追加 （３）中間ファイル編集（３０条の１２第１項） ・夫、妻に関して新規追加	 026 027 028 057～060	

標準仕様書修正履歴

平成12年3月

項番	業務(届書)名	修正内容	ページ	添付資料NO
1	第7.2.(5).9 (離婚届)	成年後見法施行によるシステムの対応 1.システム処理の概要説明 (1)離婚業務処理範囲外の処理の追加 ・(8) 事件本人の成年後見人から報告的離婚届出がされた場合。 →「審査結果入力処理」で対応する。 2.審査 (1)法32条第2項が廃止されることによる審査の削除 ・夫が禁治産者であるときの確認メッセージを削除 審査(3／8)の(49)～(53)を削除 ・妻が禁治産者であるときの確認メッセージを削除 審査(3／8)の(59)～(63)を削除	1 13	

標準仕様書修正履歴

平成16年4月

項番	業務(届書)名	修正内容	ページ	添付資料NO
1	第7.2.(5).9 (離婚届)	人事訴訟法制定(H16.4.1)に伴い、離婚の種別区分に(5:和解、6:認諾)が追加になる修正を、単体チェック、関連チェック部分に追加 1.0単体チェック表(3/4) 2.0関連チェック表(2/3) 2.0関連チェック表(3/3)	 006 009 010	
	第7.2.(5).9 (離婚届)	人事訴訟法制定(H16.4.1)に伴い、離婚の種別区分に関する審査にメッセージ追加 ※メッセージC04013に関して文言修正有 3.0 審査 (1/8) 3.0 審査 (2/8)	 011 012	
	第7.2.(5).9 (離婚届)	人事訴訟法制定(H16.4.1)に伴い、中間ファイル(共通)の編集において、受付事件コード並びに訴提起者の編集を修正 3.1 中間ファイル(仮受付)編集・出力 1/3	 036	
	第7.2.(5).9 (離婚届)	人事訴訟法制定(H16.4.1)に伴い、中間ファイル(仮戸籍)身分事項(夫・妻)に離婚の和解成立日、離婚の請求認諾日の編集を追加 4.1 身分事項(除籍)の編集・出力 1/2 4.2 身分事項(入籍)の編集・出力 1/2+1-1/2 4.3 身分事項(変動なし)の編集・出力 1/2+1-1/2 5.1 身分事項(除籍)の編集・出力 1/2+1-1/2 5.2 身分事項(入籍)の編集・出力 1/2+1-1/2 5.3 身分事項(変動なし)の編集・出力 1/2+1-1/2	 039 041 041-1 043 043-1 045 045-1 047 047-1 049 049-1	

標準仕様書修正履歴

平成16年7月

項番	業務(届書)名	修　正　内　容	ページ	添付資料NO
1	第7.2.(5).9 (離婚届)	1.平成15年法律第111号3条に伴う審査追加	020	
		(43)～(55)性同一性障害の身分事項チェックを追加	020	

標準仕様書修正履歴

平成16年11月

項番	業務(届書)名	修正内容	ページ	添付資料NO
1	第7.2.(5).9 (離婚届)	「続柄の記載更正(申出)」に伴うシステムへの対応 (1) 要件ワークシート(審査) 3.0 審査(3/8) 誤植に伴う修正 (44),(54) 行き先の変更 (63) 3.0 審査(3-1/8) 審査追加(63-1)～(63-26)	013 013-1	

標準仕様書修正履歴

平成16年11月

項番	業務(届書)名	修正内容	ページ	添付資料NO
1	第7.2.(5).9 (離婚届)	1.標準仕様書修正 (離婚38) 証書提出において外国人が事件本人の場合、 その者は届出人とならない。	38	

標準仕様書修正履歴

平成18年3月

項番	業務(届書)名	修　正　内　容	ページ	添付資料NO
1	第7．2．(5)．9 (離婚届)	1．標準仕様書修正 (離婚43) 審査の11頁が8．1版の修正から頁全体が抜けていた。 →再度追加する。 (離婚44) 関連チェックでチェックしている項目が審査対象となっていたため、審査項目を削除する。 →該当の審査を削除した。 (離婚46) 離婚の方式、裁判所所在国、外国裁判所の関連チェックで、いずれか入力がある場合は、3箇所全てに入力があることとされていた。 →離婚の方式と裁判所所在国、外国裁判所の入力について見直しを実施した。	 11 16 17 10 10－1	

標準仕様書修正履歴

平成19年3月

項番	業務(届書)名	修正内容	ページ	添付資料NO
1	第7.2.(5).9 (離婚届)	1.標準仕様書修正 1 要件定義ワークシート (1) 2.0 関連チェック表 ①離婚の裁判確定日と受領日の大小チェックを追加 ②筆頭者区分の判定チェックを追加 ③新戸籍の筆頭者の名前と離婚除籍者の名前が同一であることのチェックを追加 (2) 3.0 審査 受領日と送付日が同一の場合の審査を追加。 上記審査を追加したことによるページ漏れのため、「11」「11-1」を修正。 (3) 3.0 審査 戸籍法30条3項の審査を追加。 上記審査は新しいページを作成した「13-2」。 また本審査を追加したことにより、審査の行き先を変更した「13-1」。	10 10－1 11 11－1 13－1 13－2	

標準仕様書修正履歴

平成20年3月

項番	業務(届書)名	修正内容	ページ	添付資料NO
1	第7.2.(5).9 (離婚届)	1. 標準仕様書修正 1. データチェック単体表 夫又は妻が外国人の場合、夫又は筆頭者区分の入力をさせない仕様としたため、単体表で必須入力項目から除外し、スペース入力も許すため属性を変更した。 2. データチェック関連表 上記単体表の修正により、夫又は妻が外国人の場合、夫又は妻の筆頭者区分に入力がないことのチェックを追加する。 データチェック関連表の誤りがあったため、修正する。 3. 要件定義ワークシート 外国の裁判による届出の場合の届出期間の審査を追加した(3箇月以内)。 この修正で、届出期間の審査と、届出期間経過後の相手方からの届出の審査を分けた。 4. 要件定義ワークシート 審査の判定に誤りがあったため、修正した。 誤植及びロジックの記述を分かりやすく修正した。 5. データ編集表 外国方式での離婚の場合、【親権者を定めた日】には離婚の成立日・確定日を移送する。 離婚における親権記録において、届出人資格の編集を再度提示する。 →親権49, 離婚67の指摘事項 届出人が父と母の場合は、父母で編集するが、それ以外の組み合わせの場合は、各々の資格で編集する。	 4 5 10-1 9 17 18 19 20 51 52	

標準仕様書修正履歴

平成22年3月

項番	業務(届書)名	修　正　内　容	ページ	添付資料NO
1	第7．2．(5)．9 (離婚届)	1．標準仕様書修正 1．システム処理の概要説明書 (離婚65) 婚姻中の筆頭者が国籍喪失となっている戸籍の処理について 上記状態の夫婦が離婚した場合、戸籍変動区分の選択によって、関連チェックエラーまたは戸籍編製エラーとなる。 この場合は審査結果入力処理での対応とするため、範囲外処理として、システム処理の概要説明書に記述する。 2．データ編集表 (離婚71) 12版で修正した備考欄の記述誤り。 3．データチェック単体表 (離婚75) 本籍が必須入力であるため、外国人同士の離婚入力が単体チェックエラーとなり、それ以降に進めない。 (過去の変更漏れ)の対応 4．データ編集表 (離婚76) 12版の修正(離婚67)で届出人資格で編集を修正したが、届出人が養父・養母の場合は氏名の編集が必要となる。 5．要件定義ワークシート (離婚78) 10版、12版の修正で削除された審査の飛び先を設けてもらいたい。 6．要件定義ワークシート (離婚79) 過去の修正で分かりにくかった部分を修正。 5．要件定義ワークシート (離婚80) 外国方式の離婚の場合、届出期間の審査が11頁と17頁で2回行われている。	 1 51 5 51 52 17 18 11 17	

50081-2

標準仕様書修正履歴

平成23年3月

項番	業務(届書)名	修　正　内　容	ページ	添付資料NO
1	第7．2．(5)．9 (離婚届)	1．標準仕様書修正 1．データ編集表 (離婚84) 離婚届「事件発生日」について 外国の方式(協議)で成立した離婚事項の事件発生日について、【証書提出日】として記載されている日付(届書入力画面での受領日)が事件発生日として設定されている。 事件発生日は、離婚日(成立・確定日)である。 2．データ編集表 (離婚86) 裁判離婚で審判・判決の確定から10日を過ぎた場合、相手方から届出が出来ますが(戸籍法63の②)、現在、届出人区分の設定パターンがありません。 届出人資格の参照が必要ではないでしょうか。 申立人で届出人を判断していたが、届出人資格での判断に変える。 2．要件定義ワークシート (その他) メッセージの文言の誤りを修正。 E11006のメッセージの標記を間違えていた。 (誤)「～国外で裁判離婚した～」 (正)「～国外で協議離婚した～」	039 041 043 045 047 049 051 038 011-1	

標準仕様書修正履歴

平成24年3月

項番	業務(届書)名	修　正　内　容	ページ	添付資料NO
1	第7．2．(5)．9 (離婚届)	1．標準仕様書修正 1．要件定義ワークシート (離婚87) 外国人同士の協議離婚について 夫婦の本国法が同一の場合で日本法で協議離婚ができるが、「在留期間(1年)を過ぎていますか」のメッセージは妥当か？ 通達では常居所や在留期間に関係なく「証明」の添付があれば、受理するとある。 →メッセージを変更する。 2．要件定義ワークシート (離婚88) 外国人同士の協議離婚について 夫婦の本国法が同一でなくとも日本法で協議離婚ができるが、「在留期間(1年)を過ぎていますか」のメッセージは妥当か？ 通達によると「引き続き5年」「引き続き1年」「常居所がある者として取り扱う者」とあり、1年に限定する必要はないのでは？ →メッセージを変更する。 ※離婚87，88の対応で、行があふれたため、あふれた行を13頁に移した。 →内容の修正は無いが、項番に不備があったのでこの機会に修正した。(41－1)～(42－4) 3．データ編集表 (離婚90) 親権届と同様に親権者氏名を身分事項欄項目に追加し、移送条件を設定する。	12 12 13 51	

標準仕様書修正履歴

平成25年3月

項番	業務(届書)名	修　正　内　容	ページ	添付資料NO
1	第7．2．(5)．9 (離婚届)	1．標準仕様書修正 1．要件定義ワークシート (離婚91) 戸籍法41条証書提出による審査について 11頁「3．0審査(1-1/8)」の審査(1-2)は、「外国の方式により離婚が成立した旨の証書、又は証明書の添付がありますか？」 の表示後のYES、NO応答時の仕様が 記載されていません 、	11	

標準仕様書修正履歴

平成26年3月

項番	業務(届書)名	修　正　内　容	ページ	添付資料NO
1	第7．2．(5)．9 (離婚届)	1．標準仕様書修正 1．データ編集表 (離婚97) 離婚と同時に記録される親権事項について、 親権者氏名の編集を15.0版で追加した。 同様の修正を離婚同時77条の2でも実施しているが、 双方の編集内容が異なっている。 離婚を同時77の2の仕様で修正する。 (同時77の2に合わせる理由) 離婚で採用の「夫(妻)の漢字氏名」は氏が固定。 77の2で採用の「未成年者nの養父(母)の氏名」は 離婚後の氏へも変更が可能。 →「夫(妻)の漢字氏名」と「未成年者nの養父(母) の氏名」異なる場合は、確認メッセージが出力される 仕様となっている。 このことから、離婚後の氏も選択できる「未成年者n の養父(母)の氏名」に統一すべきと考える。	51	

標準仕様書修正履歴

平成27年3月

項番	業務(届書)名	修　正　内　容	ページ	添付資料NO
1	第7.2.(5).9 (離婚届)	1.標準仕様書修正 1.データ編集表 (離婚98) 離婚届の受付帳の記載について 外国の方式で成立した協議離婚について、受付帳の届出人氏名、届出人資格、届出人区分が正しく設定されない。 【事例】 ・離婚の種別:協議 ・離婚の方式:外国人 ・夫:日本人(管内人)妻:外国人 ・届出人:夫のみ P036の条件(1-2)に該当し、届出人資格へ「夫」が設定されますが、夫は事件本人となるため、受付帳の届出人氏名、届出人資格の設定ではなく、事件本人の届出人区分の設定のみで問題ないと考えます。 2.関連チェック表 (離婚96) 入籍届の指摘事項「筆頭者の氏と構成員の氏のチェックがされていない。」を受け、修正を実施。 入籍届の指摘に類するチェックは実施済。 ただし、受付帳記録誤りに対するチェックを追加。 【チェック済】 ・筆頭者である夫婦の氏名と筆頭者氏名が同一 ・新戸籍を編製する者の名と新筆頭者の名が同一 【チェック未】(今回修正) ・夫、妻が日本人である時、夫婦の「氏」が同一 №43-1を追加。従前の№43-1は№43-2に変更 【対象外】 ・未成年者と離婚の事件本人の「氏」、未成年者の(養)父母氏名と離婚の事件本人の「氏名」は、戸籍、受付帳の記録に関係ないため、チェックは不要とする。 →未成年者の身分事項に親権記録がされるだけ。 3.その他 (誤植の修正) 単体チェック表6頁№41:戸籍変動区分 (誤)2:元の戸籍に戻る(妻) (正)3:元の戸籍に戻る(妻) 関連チェック表10頁№34 間違いやすい文言を削除(赤の抹消線対応) ※いずれも履歴対象とはしない	36 10-1 6 10	

50081-7

標準仕様書修正履歴

平成28年3月

項番	業務(届書)名	修　正　内　容	ページ	添付資料NO
1	第7．2．(5)．9 (離婚届)	1．標準仕様書修正 1．要件定義ワークシート (メッセージ93)→(離婚105(予定)) 平成24年に外国人登録制度が廃止されたため、 「外国人登録済証」という表現は「在留カード」や 「住民票」等の表記に変更した方がよいのではないか？ →メッセージ一覧が18.0版で修正された。 この対応を離婚届に反映する。 2．その他 (全頁PDF未反映修正) 16頁の(116-1)～(117-7)、(117-1)～(117-4)が 10.0版で削除されたが、18版(全頁PDF)はそれ以前の 設計書であるため、18版(全頁PDF)修正用に10.0版の 設計書を再提示する。 ※18版(全頁PDF)は15頁も手書き版であるため、 印刷用に再提示する。 同様、10.0版の修正履歴も18版(全頁PDF)に無い ため、再提示する。	11-1 16 15	

標準仕様書修正履歴

平成29年3月

項番	業務(届書)名	修　正　内　容	ページ	添付資料NO
1	第7．2．(5)．9 (離婚届)	1．標準仕様書修正 1．関連チェック表 (離婚109) 処理日は受領日を含まない日付とする。 2．要件定義ワークシート (離婚108) 年齢算出の表記をロジカルに修正 ※修正により15ページの最終3行を次ページに移動 (離婚107) 届出起算日の調査による対応 →等号／不等号記号の左右の比較項目名が、他届の表記と比較すると逆であるだけのため、修正は不要とする。	 008 015 016 －	

標準仕様書修正履歴

平成30年3月

項番	業務(届書)名	修　正　内　容	ページ	添付資料NO
1	第7．2．(5)．9 (離婚届)	1．標準仕様書修正 1．関連チェック (離婚110) 20版までの修正における誤植を修正する。 (離婚113) 住所と世帯主の関連チェックが無かったため追加する。 2．要件定義ワークシート (離婚110) 20版までの修正における誤植を修正する。 (離婚112) 離婚の申立人区分がスペースである場合の処理を 追加	 010 010-1 016 017 018	

標準仕様書修正履歴

平成31年3月

項番	業務(届書)名	修　正　内　容	ページ	添付資料NO
1	第7．2．(5)．9 (離婚届)	1．標準仕様書修正 1．その他 (誤植の修正)ベンダーでの確認(及び修正)が必要 未成年者の親権記載で入力する項目の関連チェック(№23～№25)を分かり易いように見直した。 夫が外国人または妻が外国人の場合の戸籍変動区分の審査が誤っていた。 裁判離婚で相手方の届出が10日以内の場合、発収簿処理して申立人からの届出を待つが、申立人からの届出が無い場合は相手方の届出で処理する。この場合処理日を入力するため、届出期間の計算を処理日で行い、10日以内の届出の確認メッセージを回避するようにしている。 しかし処理日が入力されるのはそれ以外にもあること、確認メッセージの対応のため受理ができることから、処理日での期間計算はせず受領日だけで期間計算するようにする。 元に戻る戸籍が管内のチェックで、元の戸籍に戻る者が構成員の場合(14)の審査が必要であるが、その審査をスルーしていたため、審査するようにする。 (記載仕様不統一の修正)	009 014 017 018 019 007 009 011 011-1 012 013 013-1 013-2 014 015 016 017 018 019 020	

第 2 3 (1)	システム処理の概要説明書	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(離婚届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成22年 3月 1日	13	1／1

1. 離婚業務処理範囲外の処理
(1) 改正国籍法施行中(昭和60年1月1日より前)外国人と婚姻しかつ(養)親の戸籍に在籍する者の離婚届。
(2) 離婚事件本人と同一戸籍でない未成年者の親権指定処理。
(3) 離婚届を届出た時、既に当事者の一方又は双方が死亡していた場合の離婚届。
(4) 実方の戸籍が法107条1項等により氏の変更を行っていた時に、その戸籍には復籍せずに申出により新戸籍を編製する場合。
(5) 渉外婚姻の場合に外国人のみから証書提出された離婚届。
(6) 外国の方式で離婚したときに未成年者の親権が外国法で共同親権となる場合。
(7) 離婚と同時に法77条の2届出をした場合。
(8) 事件本人の成年後見人から報告的離婚届出がされた場合。
(9)夫婦の筆頭者であった者が婚姻中に国籍喪失で除籍となっている場合。
※標準仕様書では戸籍変動区分が「変動無し」以外の場合関連チェック(NO.18)で、戸籍変動区分が「変動無し」の場合は戸籍編製エラーとなる。

上記(1)～(6)、(8)、(9)は、審査結果入力で処理を行う。
上記(7)は、別届書番号(別メニュー)で処理を行う。

2. 離婚届入力画面の意義
(1) その1画面:離婚をする当事者(夫及び妻)の現在の状況の各項目を入力する。
(2) その2画面:離婚種別及び婚前に戻る者等の各項目を入力する。
(3) その3画面:離婚後、未成年者の親権指定の各項目を入力する。

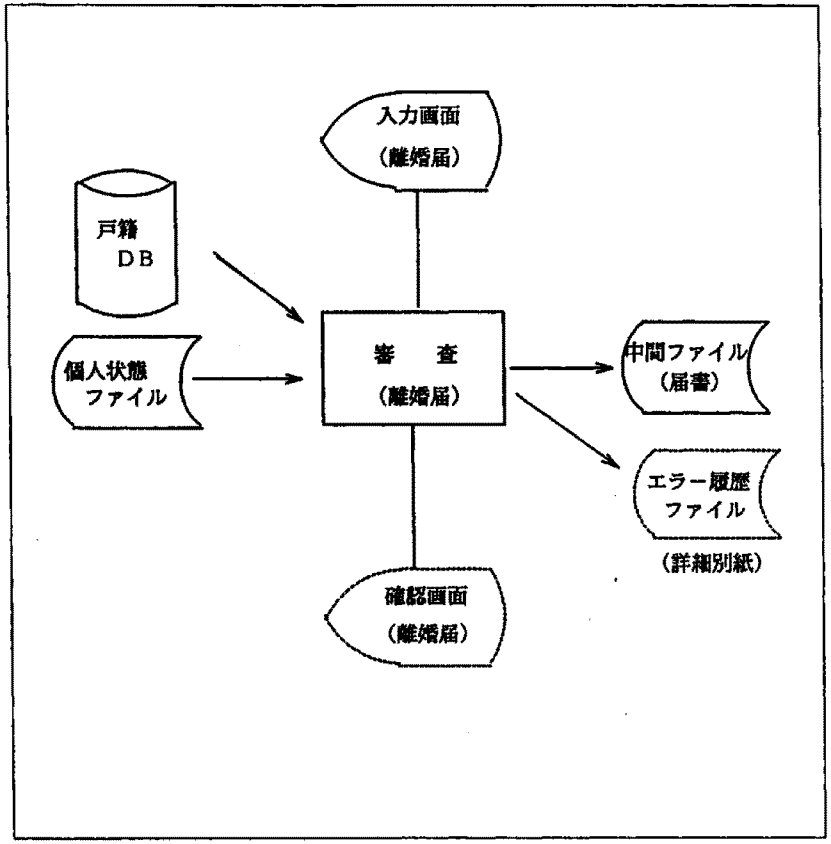
3. その他

50082

001

第２３（２）	システム環境仕様書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査（離婚届）	システム化調査研究会	平成６年１２月　１日	平成　年　月　日	1	1／21

1．詳細フロー



2．使用ＤＢ・ファイル一覧

名　　称	入出力区分	名　　称	入出力区分
戸籍ＤＢ	入　力		
個人状態ファイル	入　力		
中間ファイル	出　力		
エラー履歴ファイル	出　力		

3．処理概要

（１）離婚届の内容を画面入力する。
（２）離婚届で入力された項目の単体チェックを行う。
（３）離婚届で入力された項目の関連チェックを行う。
（４）審査（協議離婚、裁判離婚）を行う。
（５）離婚届から中間ファイル（届書）を編集・出力する。
（６）入力確認（離婚届）に制御を渡す。

4．機能体系（要件定義書の構成）

0.0 本紙
- 1.0 データチェック（単体表）
- 2.0 データチェック（関連表）
- 3.0 審査
- 3.1 審査(復籍先の筆頭者区分・配偶者区分)
- 4.0 データ編集表（中間ファイル／届書）

5．備考（特記事項含む）

（１）未成年者の年齢計算について
・協議離婚時：受領日
・裁判離婚時：離婚の成立日・確定日　を基準日として計算する。
（２）届出期間について
・離婚の成立日・確定日＋１０が閉庁日の場合は、翌開庁日とする。

第2章 3 (3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査（離婚届）	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	2／21

処理名	0.0 本紙 1/1	備考

(1)届書内容を画面入力する									／		「届書ﾒﾆｭｰ」で受領番号が入力された場合、届書ﾌｧｲﾙから画面編集を行う。
(2)キー選択（実行キー，PF1，PF2，PF7，PF8，PF10，PF11，PF12，その他）									／		
実行キー	(3)入力項目の単体チェック（OK：YES，NG：NO）〔1.0〕								／		
	YES	(4)入力項目の関連チェック（OK：YES，NG：NO）〔2.0〕							／		
		YES	(5)画面の入力項目を全て入力禁止とする						／		
			(6)審査（OK：YES，NG：NO）〔3.0〕						／		
			YES	(7)中間ファイル（届書）の編集出力〔4.0〕						(8)入力確認画面に制御を渡す	
			NO	(9)メッセージの種類（審査ｴﾗｰ，確認）					／		
				審査ｴﾗｰ	(10)エラーメッセージを表示する					(11)同画面を編集する	メッセージをエラー履歴に出力する
				確認	(12)確認メッセージを表示し、メッセージに対して応答の後、以降の審査を続行する。						メッセージと応答をエラー履歴に出力する
		NO	(13)エラーメッセージを表示する								
	NO										
PF1	→									(14)業務選択に制御を渡す	
PF2	→									(15)届出選択に制御を渡す。	
PF7	(16)前ページがあるか（ある，なし）								／		
	ある	(17)前ページ「離婚届」画面編集								(18)同画面を編集する	
	なし	(19)エラーメッセージ「先頭ページです。」を表示する									
PF8	(20)次ページがあるか（ある，なし）								／		
	ある	(21)次ページ「離婚届」画面編集								(22)同画面を編集する	
	なし	(23)エラーメッセージ「最終ページです。」を表示する									
PF10	(24)画面の入力項目の入力禁止を解除する										
PF11	(25)当該審査エラーの確認後、以降の審査を継続する										入力項目が入力禁止の時のみ有効
PF12	(26)入力画面を初期化する。										審査エラー発生時のみ有効
その他	(27)エラーメッセージ 「無効なキーが入力されました。」を表示										

第2 3 (5)	データチェック(単体表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(離婚届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成20年 3月 1日	12	3/21

処理名	画面名	画面ID	
1.0単体チェック表(1／4)	離婚届(その1)		

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	エラーコード	備考
1	支所No.		数字		「項目エラーがあります。 正しく入力して下さい。」		
2	受領No.		数字				
3	受領日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
4	送付日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
5	発送元		漢字				
6	在外送付区分	○	数字	(0:受理分, 1:国内からの送付, 2:在外公館の直接送付, 3:在外公館の国内経由)であること			
7	処理日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
8	本非区分	○	数字	(1:本籍, 2:非本籍)であること			
9	郵送日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
10	動態区分	○	数字	(0:不要, 1:要)であること			
11	届出区分	○	数字	(1:創設的届出, 2:報告的届出)であること			
12	夫の外人区分	○	数字	(0:日本人, 1:外国人)であること			
13	夫の国籍		漢字				
14	夫の筆頭者区分		英数	(0:構成員, 1:筆頭者)であること			
15	夫のカナ氏名	○	カナ				
16	夫の漢字氏名	○	漢字				
17	夫の住所		漢字				
18	夫の世帯主		漢字				
19	夫の父の氏名		漢字				
20	夫の母の氏名		漢字				
21	夫の父母との続柄	○	数字	(10:男, 11:長男～29:十九男)であること			
22	夫の生年月日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
23	夫の転婚区分		数字	(0:無, 1:有)であること			
24	妻の外人区分	○	数字	(0:日本人, 1:外国人)であること			
25	妻の国籍		漢字				

第 2 3 (5)	データチェック(単体表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(離婚届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成22年 3月 1日	13	4/21

処理名	画面名	画面ID	
1.0単体チェック表(2／4)	離婚届(その1)		

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	エラーコード	備考
26	妻の筆頭者区分		英数	(0:構成員, 1:筆頭者)であること	「項目エラーがあります。 正しく入力して下さい。」		
27	妻のカナ氏名	○	カナ				
28	妻の漢字氏名	○	漢字				
29	妻の住所		漢字				
30	妻の世帯主		漢字				
31	妻の父の氏名		漢字				
32	妻の母の氏名		漢字				
33	妻の父母との続柄	○	数字	(30:女, 31:長女～49:十九女)であること			
34	妻の生年月日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
35	妻の転婚区分		数字	(0:無, 1:有)であること			
36	本籍		漢字				
37	筆頭者		漢字				

50086

005

第 2 3 (5)	データチェック(単体表)	作　業　名	作　成　者	作　成　日　付	改　訂　日　付	版	頁
		審査 (離婚届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成16年 4月 1日	8.1	5／21

処　理　名	画　面　名	画 面 I D	
1.0単体チェック表　　3／4	離婚届 (その2)		

No	項　目　名	必須	属性	内　容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備　考
38	離婚の種別区分	○	数字	(1:協議, 2:調停, 3:審判, 4:判決, 5:和解, 6:認諾) であること	「項目エラーがあります。 正しく入力して下さい。」		人事訴訟法(H16.4) により、5,6を追加
39	離婚の申立人区分		数字	(1:夫, 2:妻) であること			
40	離婚の成立・確定日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
41	戸籍変動区分	○	数字	(1:元の戸籍に戻る(夫), 2:新戸籍編製(夫) , 3:元の戸籍に戻る(妻), 4:新戸籍編製(妻) , 5:変動なし) であること			
42	新本籍		漢字				
43	新筆頭者		漢字				
43-2	戻る戸籍での筆頭者区分		数字	(0:構成員、 1:筆頭者) であること			
43-3	届後戸籍での配偶者区分		数字	(0:未、 3:生存配偶者) であること			
44	称する氏		漢字				
45	離婚の方式		漢字				
46	裁判所所在国		漢字				
47	外国裁判所名		漢字				
48	親権指定者の有無	○	数字	(0:無し、 1:有り) であること			
49	未成年の子の人数		数字				
50	届出人資格 1		数字	(000:未、 006:夫、 007:妻) であること			
51	届出人資格 2		数字	(000:未、 006:夫、 007:妻) であること			

第 2 3 (5)	データチェック(単体表)	作　業　名	作　成　者	作　成　日　付	改　訂　日　付	版	頁
		審査 (離婚届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成31年 3月31日	22	6／21

処　理　名	画　面　名	画 面 ＩＤ	
1.0単体チェック表　　4／4	離婚届 (その3)		

No	項　目　名	必須	属性	内　容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備　考
52	未成年者のカナ氏名n		カナ		「項目エラーがあります。		№52～№61の項目
53	未成年者の漢字氏名n		漢字		正しく入力して下さい。」		は複数存在する
54	未成年者の父の氏名n		漢字				
55	未成年者の母の氏名n		漢字				
56	未成年者の父母との続柄n		数字	(10:男, 11:長男～29:十九男, 30:女, 31:長女～49:十九女)であること			
57	未成年者の生年月日n		英数	「日付チェックサブルーチン」			
58	未成年者の養父の氏名n		漢字				
59	未成年者の養母の氏名n		漢字				
60	未成年者の養父母との続柄n		数字	(51:養子, 52:養女) であること			
61	未成年者の親権者区分n		数字	(1:父, 2:母, 3:養父, 4:養母) であること			

50088

007

第 2 3 (6)	データチェック(関連表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(離婚届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成29年 3月31日	20	7/21

処理名	画面名	画面ID	
2.0関連チェック表(1／3)	離婚届		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	(No.4) 送付日＝スペース の時, (No.5) 発送元＝スペース であること	「関連エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
2	(No.4) 送付日≠スペース の時, (No.5) 発送元≠スペース であること			
3	(No.4) 送付日≠スペース の時, (No.4) 送付日≧(No.3) 受領日 であること			
4	(No.4) 送付日＝スペース の時, (No.6) 在外送付区分＝0 (受理分) であること			
5	(No.4) 送付日＝スペース の時, (No.10) 動態区分＝1 (要) であること			
6	(No.5) 発送元≠スペース の時, (No.6) 在外送付区分≠0 (受理分以外) であること			
7	(No.5) 発送元≠スペース かつ (No.5) 発送元の最終文字が「市」「区」「町」「村」 の時, (No.6) 在外送付区分＝1 (国内からの送付) であること			
8	(No.5) 発送元≠スペース かつ (No.5) 発送元の最終文字が「市」「区」「町」「村」 以外の時, (No.6) 在外送付区分＝2 (在外公館の直接送付) または (No.6) 在外送付区分＝3 (在外公館の国内経由) であること			
9	(No.5) 発送元≠スペース かつ (No.6) 在外送付区分＝2 (在外公館の直接送付) の時, (No.10) 動態区分＝1 (要) であること			
10	(No.5) 発送元≠スペース かつ (No.6) 在外送付区分＝1 (国内からの送付) または (No.6) 在外送付区分＝3 (在外公館の国内経由) の時, (No.10) 動態区分＝0 (不要) であること			
11	(No.7) 処理日≠スペース の時, (No.7) 処理日＞(No.3) 受領日 であること			
12	(No.9) 郵送日≠スペース の時, (No.4) 送付日＝スペース であること			
13	(No.9) 郵送日≠スペース の時, (No.9) 郵送日≦(No.3) 受領日 であること			
14	(No.12) 夫の外人区分＝0 (日本人) の時, (No.13) 夫の国籍＝スペース かつ (No.22) 夫の生年月日＝和暦 であること			
14-1	(No.12) 夫の外人区分＝0 (日本人) かつ (No.14) 夫の筆頭者区分＝1 (筆頭者)の時, (No.16) 夫の漢字氏名＝(No.37) 筆頭者 であること			
15	(No.12) 夫の外人区分＝1 (外国人) の時, (No.13) 夫の国籍≠スペース かつ (No.22) 夫の生年月日＝西暦 であること			
16	(No.24) 妻の外人区分＝0 (日本人) の時, (No.25) 妻の国籍＝スペース かつ (No.34) 妻の生年月日＝和暦 であること			
16-1	(No.24) 妻の外人区分＝0 (日本人) かつ (No.26) 妻の筆頭者区分＝1 (筆頭者)の時, (No.28) 妻の漢字氏名＝(No.37) 筆頭者 であること			
17	(No.24) 妻の外人区分＝1 (外国人) の時, (No.25) 妻の国籍≠スペース かつ (No.34) 妻の生年月日＝西暦 であること			

第 2 3 (6)	データチェック(関連表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(離婚届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成31年 3月31日	22	8／21

処理名	画面名	画面ＩＤ	
2.0関連チェック表(2／3)	離婚届		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
18	(№12) 夫の外国人区分＝1 (外国人) または (№24) 妻の外国人区分＝1 (外国人)の時, (№41) 戸籍変動区分＝5 (変動なし) かつ (№42) 新本籍＝スペース かつ (№43) 新筆頭者＝スペースであること	「関連エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
18-1	(№12)夫の外国人区分＝1 (外国人) かつ (№24) 妻の外国人区分＝1 (外国人)の時, (№36)本籍＝スペース かつ (№37) 筆頭者＝スペースであること			
18-2	(№12)夫の外国人区分＝0 (日本人) または (№24) 妻の外国人区分＝0 (日本人)の時, (№36)本籍≠スペース かつ (№37) 筆頭者≠スペースであること			
19	(№38) 離婚の種別区分＝1 (協議) かつ (№45)離婚の方式＝スペースの時, (№39) 離婚の申立人区分＝スペース かつ (№40) 離婚の成立・確定日＝スペース かつ (№50) 届出人資格1≠スペース かつ (№51) 届出人資格2≠スペースであること			
19-2	(№38) 離婚の種別区分＝1 (協議) かつ (№45)離婚の方式≠スペースの時, (№39) 離婚の申立人区分＝スペース かつ (№40) 離婚の成立・確定日≠スペース かつ (№50) 届出人資格1, (№51) 届出人資格2 いずれかに入力があること			
20	(№38) 離婚の種別区分＝2 (調停), 3 (審判), 4 (判決), 5 (和解), 6 (認諾) の時, ((№39) 離婚の申立人区分≠スペース かつ (№40) 離婚の成立・確定日≠スペース) かつ ((№50) 届出人資格1、(№51) 届出人資格2 一方が ≠ZERO かつ 他方が ＝ZERO)であること			人事訴訟法(H16.4) により、5,6を追加
21	(№42) 新本籍＝スペースの時, (№43)新筆頭者＝スペースであること			
22	(№48) 親権指定者の有無＝1(有り)の時, (№49)未成年の子の人数＞0であること			
23	(№49) 未成年の子の人数＝0の時, (№48) 親権指定者の有無＝0(無し) かつ (№52) 未成年者のカナ氏名n ～ (№61) 未成年者の親権者区分n が全てスペースであること			22版で見直し
24	(№49) 未成年の子の人数＞0の時, (№52) 未成年者のカナ氏名n≠スペース かつ (№53) 未成年者の漢字氏名n≠スペース かつ (№56) 未成年者の父母との続柄n≠スペース かつ (№57)未成年者の生年月日n≠スペースであること			22版で見直し
24-1				22版で削除
24-2				22版で削除
24-3				22版で削除
25	(№60) 未成年者の養父母との続柄n≠スペースの時, (№58) 未成年者の養父氏名n≠スペース または (№59)未成年者の養母氏名n≠スペース であること			22版で見直し

50090

600

第 2 3 (6)	データチェック(関連表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(離婚届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成30年 3月31日	21	9／21

処理名	画面名	画面ＩＤ	
2.0関連チェック表(3／3)	離婚届		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
26	(№60)未成年者の養父母との続柄n＝スペースの時、 (№58)未成年者の養父氏名n＝スペース かつ (№59)未成年者の養母氏名n＝スペースであること	関連エラーがあります。正しく入力して下さい。		
27	(№61) 未成年者の親権者区分n＝1の時、(№54) 未成年者の父氏名n≠スペースであること			
28	(№61) 未成年者の親権者区分n＝2の時、(№55) 未成年者の母氏名n≠スペースであること			
29	(№61) 未成年者の親権者区分n＝3の時、(№58) 未成年者の養父氏名n≠スペースであること			
30	(№61) 未成年者の親権者区分n＝4の時、(№59) 未成年者の養母氏名n≠スペースであること			
31	(№11) 届出区分＝1 (創設) の時、 (№38) 離婚の種別区分＝1(協議離婚) かつ (№45)離婚の方式＝スペースであること			
31-1	(№11) 届出区分＝2 (報告) の時、 (№38) 離婚の種別区分＝2(調停), 3(審判), 4(判決), 5(和解), 6(認諾) または、 (№38) 離婚の種別区分＝1(協議離婚) かつ (№45)離婚の方式≠スペースであること			人事訴訟法(H16.4) により、5,6を追加
32	(№12) 夫の外国人区分＝0の時、 (№14) 夫の筆頭者区分≠スペースであること			
33	(№24) 妻の外国人区分＝0の時、 (№26) 妻の筆頭者区分≠スペースであること			
34	(№8) 本非区分＝1(本籍)の時、 (№12) 夫の外国人区分＝0 または (№24) 妻の外国人区分＝0(日本人)であること			
35				
35-1	(№46)裁判所所在国＝スペース の時、 (№47) 外国裁判所名＝スペースであること			
35-2	(№46)裁判所所在国≠スペース の時、 (№47) 外国裁判所名≠スペースであること			
35-3	(№45) 離婚の方式≠スペースの時、 (№46)裁判所所在国＝スペース かつ(№47) 外国裁判所名＝スペースであること			
35-4	(№46)裁判所所在国≠スペース かつ(№47) 外国裁判所名≠スペースの時、 (№45) 離婚の方式＝スペースであること。			
36	(№44) 称する氏≠スペースの時、 (№41) 戸籍変動区分＝2 (新戸籍編製 (夫)) または 4 (新戸籍編製 (妻))であること			
37	(№44) 称する氏≠スペースの時、 (№44) 称する氏＝(№43)新筆頭者(氏のみ) であること			

50091

010

第 2 3 (6)	データチェック(関連表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(離婚届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成30年 3月31日	21	9-1/21

処理名	画面名	画面ＩＤ	
2.0関連チェック表(3-1／3)	離婚届		

50092

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
38	(No.41) 戸籍変動区分＝1 (元の戸籍に戻る (夫)) または 3 (元の戸籍に戻る (妻)) かつ (No.42) 新本籍＝管内の時、 (No.43-2) 戻る戸籍での筆頭者区分≠スペースかつ (No.43-3) 届後戸籍での配偶者区分≠スペースであること	関連エラーがあります。正しく入力して下さい。		
39	(No.41) 戸籍変動区分＝2 (新戸籍編製 (夫)) または 4 (新戸籍編製 (妻))または、5(変動なし)の時、 (No.43-2) 戻る戸籍での筆頭者区分＝スペースかつ (No.43-3) 届後戸籍での配偶者区分＝スペースであること			
40	(No.40) 離婚の成立・確定日≦(No.3)受領日 であること			
41	(No.12) 夫の外人区分＝0(日本人) かつ (No.24) 妻の外人区分＝1(外国人)の時、 (No.14) 夫の筆頭者区分＝1(筆頭者) かつ (No.26) 妻の筆頭者区分＝スペース であること			
42	(No.12) 夫の外人区分＝1(外国人) かつ (No.24) 妻の外人区分＝0(日本人)の時、 (No.26) 妻の筆頭者区分＝1(筆頭者) かつ (No.14) 夫の筆頭者区分＝スペース であること			
43	(No.12) 夫の外人区分＝0(日本人) かつ (No.24) 妻の外人区分＝0(日本人)の時、 (No.14) 夫の筆頭者区分＝1(筆頭者) かつ (No.26) 妻の筆頭者区分＝0(構成員) または (No.14) 夫の筆頭者区分＝0(構成員) かつ (No.26) 妻の筆頭者区分＝1(筆頭者) であること			
43-1	(No.12) 夫の外人区分＝0(日本人) かつ (No.24) 妻の外人区分＝0(日本人)の時、 (No.16) 夫の漢字氏名の「氏」 ＝ (No.28) 妻の漢字氏名の「氏」 であること			(No.37) 筆頭者の「氏」とのチェックは No.14-1,No.16-1
43-2	(No.12) 夫の外人区分＝1(外国人) かつ (No.24) 妻の外人区分＝1(外国人)の時、 (No.14) 夫の筆頭者区分＝スペース かつ (No.26) 妻の筆頭者区分＝スペース であること			
44	(No.41) 戸籍変動区分=2(新戸籍編製(夫))の時、 (No.16) 夫の漢字氏名の「名」 ＝ (No.43) 新筆頭者の「名」 であること			
45	(No.41) 戸籍変動区分=4(新戸籍編製(妻))の時、 (No.28) 妻の漢字氏名の「名」 ＝ (No.43) 新筆頭者の「名」 であること			
46	(No.17) 夫の住所＝スペースの時、(No.18) 夫の世帯主＝スペース であること			
47	(No.18) 夫の世帯主≠スペースの時、(No.17) 夫の住所≠スペース であること			
48	(No.29) 妻の住所＝スペースの時、(No.30) 妻の世帯主＝スペース であること			
49	(No.30) 妻の世帯主≠スペースの時、(No.29) 妻の住所≠スペース であること			

第 2 3 (3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(離婚届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成31年 3月31日	22	10／21

処理名	3.0 審査 (1－1／8)			備考
(0-1)受領日＝送付日の場合、 確認メッセージ(YES, NO)「受領日と送付日が同一です。処理をしてよろしいですか。」			(0-2) 本紙へ	
YES	(0-3) → (1) へ		／	
NO	(0-4) →		(0-5) 本紙へ	
(1) 離婚の種別(1:協議, 2:調停, 3:審判, 4:判決, 5:和解, 6:認諾)			／	人事訴訟法(H16.4)により、種別:5,6を追加
1	(1-1) 離婚の成立・確定日≠スペースである(YES, NO)		／	
YES	(1-2) 確認メッセージ 「外国の方式により離婚が成立した旨の証書又は証明書の添付がありますか？」を表示(YES,NO)		(1-3) 本紙へ	
YES	(1-3-1) → (1-4)へ		／	
NO	(1-3-2) →		(1-3-3) 本紙へ	不受理
(1-4) 離婚の成立・確定日＋3箇月＞受領日(YES, NO)			／	戸41、戸43、大4. 1. 14
YES	(1-5) → (1-11)へ		／	
NO	(1-6) 確認メッセージ 「届出期間を経過していますがよろしいですか？」を表示		(1-7) 本紙へ	戸規65
YES	(1-8) → (1-11)へ		／	
NO	(1-9) →		(1-10) 本紙へ	不受理
(1-11) 夫の外人区分(0:日本人、1:外国人)			／	
0	(1-12) 妻の外人区分(0:日本人、1:外国人)		／	
0	(1-13) → (43)へ		／	
1	(1-14) 確認メッセージ 「証書提出は外国人のみからの届出ですか？」を表示(YES,NO)		(1-14-1) 本紙へ	
YES	(1-15) エラーメッセージ 「審査結果入力で処理して下さい。」を表示		(1-16) 本紙へ	審査結果入力へ
NO	(1-17) → (43)へ		／	
1	(1-18) 妻の外人区分(0:日本人、1:外国人)		／	
0	(1-19) 確認メッセージ 「証書提出は外国人のみからの届出ですか？」を表示(YES,NO)		(1-19-1) 本紙へ	
YES	(1-20) エラーメッセージ 「審査結果入力で処理して下さい。」を表示		(1-21) 本紙へ	審査結果入力へ
NO	(1-22) → (43)へ		／	

50093

011

第 2 3 (3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(離婚届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成31年 3月31日	22	10-1／21

処理名		3.0 審査 (1－2／8)					備考
			1	(1-23) エラーメッセージ 「外国人同士が国外で協議離婚した旨の 届出は受理できません。」を表示		(1-24) 本紙へ	不受理
1	NO	(2) 夫の外国人区分 (0 ： 日本人, 1 ： 外国人)			／		法例16・14
		0	(3) 妻の外国人区分 (0 ： 日本人, 1 ： 外国人)		／		平元. 10. 2民二3900号通達第2の1・第8の1(1)
			0	(4) → (43)へ	／		
			1	(5) 確認メッセージ 「夫の住民票の写が添付されていますか？」 を表示		(6) 本紙へ	
				YES (7) → (43)へ	／		
				NO (8) 確認メッセージ 「妻の在留カード等が添付され、在留期間 (1年) を過ぎていますか？」 を表示		(9) 本紙へ	
				YES (10) → (43)へ	／		
				NO (11) エラーメッセージ 「準拠法が不明です。」 を表示		(12) 本紙へ	不受理
		1	(13) 妻の外国人区分 (0 ： 日本人, 1 ： 外国人)		／		
			0	(14) 確認メッセージ 「妻の住民票の写が添付されていますか？」 を表示		(15) 本紙へ	
				YES (16) → (43)へ	／		
				NO (17) 確認メッセージ 「夫の在留カード等が添付され、在留期間 (1年) を過ぎていますか？」 を表示		(18) 本紙へ	
				YES (19) → (43)へ	／		
				NO (20) エラーメッセージ 「準拠法が不明です。」 を表示		(20-1) 本紙へ	不受理

第 2 3 (3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(離婚届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成31年 3月31日	22	11／21

処理名				3.0 審査 (2／8)			備考
1	NO	1	1	(21) 夫の国籍＝妻の国籍 である。 (YES, NO)	／		
				YES (22) 確認メッセージ 「夫婦の本国法により協議離婚を日本法に従って行えますか？」 を表示		(23) 本紙へ	
				YES (23-1) → (43)へ	／		
				NO (23-2) エラーメッセージ 「日本法の方式に従って協議離婚はできません。」 を表示		(23-3) 本紙へ	不受理
				NO (23-4) 確認メッセージ 「夫婦の住所の登録が明らかになる書類が添付され、常居所が日本ですか？」 を表示		(23-5) 本紙へ	
				YES (23-6) → (43)へ	／		
				NO (24) エラーメッセージ 「準拠法が不明です。」 を表示		(25) 本紙へ	不受理
2, 3, 4, 5, 6	(26)夫の外国人区分 (0: 日本人, 1: 外国人)				／		
	0	(27) 妻の外国人区分 (0: 日本人, 1: 外国人)			／		
		0	(28) → (38)へ		／		
		1	(29) 確認メッセージ 「妻の国籍を証明するものがありますか？」 を表示			(30) 本紙へ	Nのとき、不受理
	1	(31) 妻の外国人区分 (0: 日本人, 1: 外国人)			／		
		0	(32) 確認メッセージ 「夫の国籍を証明するものがありますか？」 を表示			(33) 本紙へ	Nのとき、不受理
		1	(34) 確認メッセージ 「日本国内で行われた裁判離婚ですか？」 を表示				
			YES	(35) → (38)へ	／		
			NO	(36) エラーメッセージ 「外国人同士の国外で行われた裁判離婚届は受理できません。」 を表示		(37) 本紙へ	法例16・14
		(38) 離婚の種別(2:調停, 3:審判, 4:判決, 5:和解, 6:認諾)			／		
		2	(39) 確認メッセージ 「調停・和解・認諾調書の謄本の添付がありますか？」を表示			(40) 本紙へ	戸77・63 Nのとき、不受理

50095
012

第 2 3 (3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(離婚届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成31年 3月31日	22	12／21

処理名			3.0 審査 (3／8)			備考
		3	(41) 確認メッセージ 「審判書及び確定証明書がありますか？」を表示		(41-1) 本紙へ	戸77・63 Nのとき、不受理 C03025
		4	(42) 確認メッセージ 「判決の謄本及び確定証明書がありますか？」を表示		(42-1) 本紙へ	戸77・63 Nのとき、不受理 C06011
		5	(42-2) 確認メッセージ 「調停・和解・認諾調書の謄本の添付がありますか？」を表示		(42-3) 本紙へ	人事訴訟法(H16.4) Nのとき、不受理 C04013
		6	(42-4) 確認メッセージ 「調停・和解・認諾調書の謄本の添付がありますか？」を表示		(42-5) 本紙へ	人事訴訟法(H16.4) Nのとき、不受理 C04013
(43) 本非区分 (1:本籍, 2:非本籍)				／		
1	(44) 夫の外人区分 (0:日本人, 1:外国人)			／		
	0	(45) 夫の身分事項に婚姻がある (YES, NO)		／		
		YES	(46) → (54)へ	／		
		NO	(47) エラーメッセージ「夫に婚姻事項がありません。」を表示		(48) 本紙へ	不受理
		(49)		／		(49)～(52)は削除
			(50)	／		
			(51)		(52)	
	1	(53) → (54)へ		／		
(54) 妻の外人区分 (0:日本人, 1:外国人)				／		
	0	(55) 妻の身分事項に婚姻がある (YES, NO)		／		
		YES	(56) → (63-1)へ	／		
		NO	(57) エラーメッセージ「妻に婚姻事項がありません。」を表示		(58) 本紙へ	不受理
		(59)		／		(59)～(62)は削除
			(60)	／		
			(61)		(62)	
	1	(63) → (63-1)へ		／		
2						

50096
013

第 2 3 (3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(離婚届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成31年 3月31日	22	12−1／21

処理名	3.0 審査 (3−1／8)			備考
(63-1) 夫の外人区分＝0:日本人 (YES,NO)		／		
YES	(63-2) 夫の父の氏名＝スペース 又は 夫の母の氏名＝スペース (YES,NO)	／		
YES	(63-3) 確認メッセージ (YES,NO) 「父又は母の氏名が空欄ですが、父母との続柄に間違いはありませんね？」		(63-4) 本紙へ	
YES	(63-5) → (63-16)へ	／		
NO	(63-6) →		(63-7) 本紙へ	不受理
NO	(63-8) 夫の父母との続柄＝10(男)である (YES,NO)	／		
YES	(63-9) 確認メッセージ (YES,NO) 「父母氏名双方に入力があります。父母との続柄が 男又は女ですが間違いはありませんね？」		(63-10) 本紙へ	
YES	(63-11) → (63-16)へ	／		
NO	(63-12) →		(63-13) 本紙へ	不受理
NO	(63-14) → (63-16)へ	／		
NO	(63-15) → (63-16)へ	／		
(63-16) 妻の外人区分＝0:日本人 (YES,NO)		／		
YES	(63-17) 妻の父の氏名＝スペース 又は 妻の母の氏名＝スペース (YES,NO)	／		
YES	(63-18) 確認メッセージ (YES,NO) 「父又は母の氏名が空欄ですが、父母との続柄に間違いはありませんね？」		(63-19) 本紙へ	
YES	(63-20) → (63-31)へ	／		
NO	(63-21) →		(63-22) 本紙へ	不受理
NO	(63-23) 妻の父母との続柄＝30(女)である (YES,NO)	／		
YES	(63-24) 確認メッセージ (YES,NO) 「父母氏名双方に入力があります。父母との続柄が 男又は女ですが間違いはありませんね？」		(63-25) 本紙へ	
YES	(63-26) → (63-31)へ	／		
NO	(63-27) →		(63-28) 本紙へ	不受理
NO	(63-29) → (63-31)へ	／		
NO	(63-30) → (63-31)へ	／		

50097

013−1

第 2 3 (3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(離婚届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成31年 3月31日	22	12−2／21

処理名	3.0 審査 (3−2／8)			備考
(63-31) 離婚の届出人が夫のみ かつ 戸籍変動区分＝4(新戸籍編製(妻))である(YES,NO)		／		【戸籍法30条3項チェック】
YES	(63-32) 確認メッセージ (YES,NO) 「妻から新戸籍を編製する申出又はそれに準ずる事項がありますか。」		(63-33) 本紙へ	(参考)S53.7.22民二第4184号通達 (参考)S55.1.18民二第680号通達
YES	(63-34) → (64)へ	／		
NO	(63-35) 確認メッセージ (YES,NO) 「妻は従前の戸籍に戻れませんね。」		(63-36) 本紙へ	
YES	(63-37) 確認メッセージ (YES,NO) 「新本籍は妻の従前の本籍と同一の場所ですね。」		(63-38) 本紙へ	(参考)S50.4.30民二第2221号民事二課長回答
YES	(63-39) → (64)へ	／		
NO	(63-40) →		(63-41) 本紙へ	不受理
NO				
NO	(63-42) → (63-43)へ	／		
(63-43) 離婚の届出人が妻のみ かつ 戸籍変動区分＝2(新戸籍編製(夫))である(YES,NO)		／		【戸籍法30条3項チェック】
YES	(63-44) 確認メッセージ (YES,NO) 「夫から新戸籍を編製する申出又はそれに準ずる事項がありますか。」		(63-45) 本紙へ	(参考)S53.7.22民二第4184号通達 (参考)S55.1.18民二第680号通達
YES	(63-46) → (64)へ	／		
NO	(63-47) 確認メッセージ (YES,NO) 「夫は従前の戸籍に戻れませんね。」		(63-48) 本紙へ	
YES	(63-49) 確認メッセージ (YES,NO) 「新本籍は夫の従前の本籍と同一の場所ですね。」		(63-50) 本紙へ	(参考)S50.4.30民二第2221号民事二課長回答
YES	(63-51) → (64)へ	／		
NO	(63-52) →		(63-53) 本紙へ	不受理
NO				
NO	(63-54) → (64)へ	／		

第 2 3 (3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(離婚届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成31年 3月31日	22	13／21

50099

処理名	3.0 審査 (4／8)			備考
(64) 戸籍変動区分 (1:元の戸籍に戻る(夫), 2:新戸籍編製(夫), 3:元の戸籍に戻る(妻), 4:新戸籍編製(妻), 5:変動なし)		／		
1, 2	(65) 夫の外人区分 (0:日本人, 1:外国人)	／		
0	(66) 夫の筆頭者区分 (0:構成員, 1:筆頭者)	／		
0	(67) 新本籍及び新筆頭者に入力がある (YES, NO)	／		
YES	(68) 戸籍変動区分 (1:元の戸籍に戻る(夫), 2:新戸籍編製(夫))	／		
1	(68-1) 審査(復籍先の筆頭者区分・配偶者区分)[3.1]	／		
	(68-2) → (86)へ	／		
2	(68-3) → (86)へ	／		
NO	(69)エラーメッセージ 「戸籍変動に係わる情報が正しくありません。」 を表示		(70) 本紙へ	
1				
1				
3, 4	(71) 妻の外人区分 (0:日本人, 1:外国人)	／		
0	(72) 妻の筆頭者区分 (0:構成員, 1:筆頭者)	／		
0	(73) 新本籍及び新筆頭者に入力がある (YES, NO)	／		
YES	(74) 戸籍変動区分 (3:元の戸籍に戻る(妻), 4:新戸籍編製(妻))	／		
3	(74-1) 審査(復籍先の筆頭者区分・配偶者区分)[3.1]	／		
	(74-2) → (86)へ	／		
4	(74-3) → (86)へ	／		
NO	(75)エラーメッセージ 「戸籍変動に係わる情報が正しくありません。」 を表示		(76) 本紙へ	
1				
1				
5	(77) 夫の外人区分 (0:日本人, 1:外国人)	／		
0	(78) 妻の外人区分 (0:日本人, 1:外国人)	／		
0	(79)エラーメッセージ 「戸籍変動に係わる情報が正しくありません。」 を表示		(80) 本紙へ	
1	(81) → (86)へ	／		
1				

014

第 2 3 (3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(離婚届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成31年 3月31日	22	14／21

処理名	3.0 審査 (5／8)				備考
(86) 親権指定処理 (未成年の子の人数分繰り返す)			／		民819Ⅰ
(87) 親権者指定の有無 (0:無, 1:有)			／		
0	(88) 離婚の成立・確定日≠スペースの場合、未成年者nの生年月日＋20年(20歳未満) ＞ 離婚の成立・確定日 または、離婚の成立・確定日＝スペースの場合、未成年者nの生年月日＋20年(20歳未満) ＞ 受領日(YES, NO)		／		
YES	(89) 未成年者の親権者区分n ＝ スペース (YES, NO)		／		
YES	(90) 届出区分 (1:創設, 2:報告)		／		
1	(91) 確認メッセージ 「未成年者がいますが、成年擬制者ですか。 又は他の親権を受けていますか？」 を表示			(92) 本紙へ	Yのとき、(86)へ Nのとき、不受理
2	(93) 確認メッセージ 「未成年者がいますが、親権指定しなくて よろしいですか？」 を表示				Yのとき、(86)へ Nのとき、不受理
NO	(94) エラーメッセージ 「親権者指定の有無に誤りがあります。」 を表示				
NO	(95) 未成年者の親権者区分n ＝ スペース (YES, NO)		／		
YES	(96) → (86)へ		／		
NO	(97) エラーメッセージ 「親権区分nに誤りがあります(未成年者でない)。」 を表示			(97-1) 本紙へ	
1	(98) 離婚の成立・確定日≠スペースの場合、未成年者nの生年月日＋20年(20歳未満) ＞ 離婚の成立・確定日 または、離婚の成立・確定日＝スペースの場合、未成年者nの生年月日＋20年(20歳未満) ＞ 受領日(YES, NO)		／		
YES	(99) 未成年者の親権者区分n ＝ スペース (YES, NO)		／		
YES	(100) 届出区分 (1:創設, 2:報告)		／		
1	(101) 確認メッセージ 「未成年者がいますが、成年擬制者ですか。 又は他の親権を受けていますか？」 を表示			(102) 本紙へ	Yのとき、(86)へ Nのとき、不受理
2	(103) 確認メッセージ 「未成年者がいますが、親権指定しなくて よろしいですか？」 を表示				Yのとき、(86)へ Nのとき、不受理
NO	(103-1) 夫の漢字氏名＝未成年者の父氏名 または 未成年者の養父氏名)かつ (妻の漢字氏名＝未成年者の母氏名 または 未成年者の養母氏名) (YES,NO)		／		

50100

015

第 2 3 (3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(離婚届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成31年 3月31日	22	15/21

処理名	3.0 審査 6／8					備考
1	YES	(104)未成年者カウント(内部)＝未成年者カウント(内部)＋1 → (86)へ		／		
	NO	(104-1)確認メッセージ 「親区分nの親権指定は必要ですか？」(YES,NO)			(104-2)本紙へ	応答内容は処分区分に影響させない
		YES	(104-3)未成年者カウント(内部)＝未成年者カウント(内部)＋1 → (86)へ	／		
		NO	(104-4)→		(104-5)本紙へ	
	NO	(105) 未成年者の親権者区分n ＝ スペース (YES, NO)		／		
		YES	(106) → (86)へ	／		
		NO	(107) エラーメッセージ 「親権区分 n に誤りがあります (未成年者でない) 。」を表示		(108)本紙へ	
(109) 親権指定者の有無 (0 : 無、 1 : 有)				／		
0	(110) → (115)へ			／		
1	(111) 未成年者カウント (内部) ＞ 0 (YES、NO)			／		
	YES	(112) → (115)へ		／		
	NO	(113) エラーメッセージ 「親権指定者の有無に誤りがあります (親権指定なし) 。」を表示			(114)本紙へ	
(115) 届出区分 (1 : 創設、 2 : 報告)				／		
1	(116) 届出人資格 1 (006 : 夫、 007 : 妻)			／		創設的届出の場合届出人資格1は必須入力
						標準仕様書第10版で
						(116-1)～(116-7)を削除
	006	(117) 届出人資格2 (006 : 夫、 007 : 妻)		／		創設的届出の場合届出人資格2は必須入力
						標準仕様書第10版で
						(117-1)～(117-4)を削除
		006	(118) エラーメッセージ 「届出人資格1と届出人資格2が重複しています。」を表示		(119) 本紙へ	
		007	(120) → (152)へ	／		

50101

016

第 2 3 (3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(離婚届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成31年 3月31日	22	16-1/21

処理名							備考
1	007	(121) 届出人資格2(006： 夫、 007：妻)		／			創設的届出の場合届出人資格2は必須入力
				／			標準仕様書第10版で
							(121-1)～(121-4)を削除
		006	(122) → (152)へ	／			
		007	(123) エラーメッセージ 「届出人資格1と届出人資格2が重複しています。」を表示		(124) 本紙へ		
2	(124-1) 裁判所所在国 ＝ スペース かつ 裁判所名 ＝ スペース である(YES,NO)			／			
	YES	(124-2) 離婚の方式 ＝ スペース である(YES,NO)		／			
		YES	(124-3) 受領日 ＜ 離婚の成立・確定日+10日(YES,NO)	／			日本の裁判離婚のケース
			YES (124-4) → (125)へ	／			
			NO (124-5) 確認メッセージ 「届出期間を経過していますがよろしいですか。」を表示		(124-6) 本紙へ		Nのとき、不受理
		NO	(124-7) → (125)へ	／			外国方式の離婚のケースは(1-4)で審査済み
	NO	(124-8) 受領日 ＜ 離婚の成立・確定日 ＋ 3箇月 である(YES,NO)		／			外国の裁判離婚のケース
		YES	(124-9) → (125)へ	／			
		NO	(124-10) 確認メッセージ 「届出期間を経過していますがよろしいですか。」を表示		(124-11) 本紙へ		Nのとき、不受理
	(125) 離婚の申立人区分(1:夫, 2:妻, スペース)			／			
	1	(126) 届出人資格1または届出人資格2 (006： 夫、 007：妻)		／			
		006	(127) → (152)へ				
		007	(131) 受領日 ＜ 離婚の成立・確定日+10日(YES,NO)	／			
			YES (132) 確認メッセージ 「相手方からの10日以内の届出です。受理しても いいですか？」を表示(YES,NO)		(133)本紙へ		
			YES (134) → (152)へ	／			
			NO (135) エラーメッセージ 「発収簿処理をして下さい。」を表示		(136)届出メニューへ		不受理
			NO (137) → (152)へ	／			NO.138欠番

第 2 3 (3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(離婚届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成31年 3月31日	22	16-2/21

処理名		3.0 審査 8／8			備考
2	2	(139) 届出人資格1または届出人資格2 (006： 夫、 007：妻)		／	
	006	(140) 受領日 ＜ 離婚の成立・確定日+10日(YES,NO)		／	
		YES	(141) 確認メッセージ 「相手方からの10日以内の届出です。受理しても いいですか？」を表示(YES,NO)	(142)本紙へ	
			YES (143) → (152)へ	／	
			NO (144) エラーメッセージ 「発収簿処理をして下さい。」を表示	(145)届出メニューへ	不受理
		NO	(146) → (152)へ	／	NO.147欠番
	007	(148) → (152)へ		／	
	スペース	(151) → (152)へ		／	
(152) 称する氏 ＝ スペース (YES,NO)				／	
YES		(153) →		(154)届出メニューへ	
NO		(155) 確認メッセージ 「帰化等により、復籍すべき戸籍がないですね。」 を表示			Nのとき、不受理

50103

018

第 2 3 (3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(離婚届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成31年 3月31日	22	16-3/21

処理名					3.1 復籍先の筆頭者区分・配偶者区分の審査 (1／2)			備考
(1) 新本籍＝管内である(YES, NO)						／		
YES	(2) 戸籍除区分(復籍先)＝0(現戸籍)である。(YES, NO)					／		
	YES	(3) 戸籍DB(復籍先)に記録されている者について順次(4)～(9)の処理を繰り返す。				／		
			(4) 個人除区分＝0(在籍者) かつ 筆頭者区分＝1(筆頭者)である。(YES, NO)			／		
			YES	(5) 戻る戸籍での筆頭者区分＝1(筆頭者)である。(YES,NO)		／		
				YES	(6) エラーメッセージ 「戻る戸籍には筆頭者がいます。」を表示		(7) 本紙へ	不受理
				NO	(8) → (14)へ	／		
			NO		(9) → (3)へ	／		
		(10) → (14)へ				／		
	NO	(11) エラーメッセージ 「戻る戸籍が除籍です。」を表示					(12) 本紙へ	不受理
NO	(13) → (43)へ					／		
(14) 戻る戸籍での筆頭者区分＝0(構成員)である。(YES, NO)						／		
YES	(15) 戸籍変動区分 (1:元の戸籍に戻る(夫) , 3:元の戸籍に戻る(妻))					／		
	1	(16) 新筆頭者の名＝夫の漢字氏名の名 である。(YES, NO)				／		
		YES	(17) 確認メッセージ 「夫は戻る戸籍の筆頭者ではありませんね？」を表示				(18) 本紙へ	Nのとき、不受理
		NO	(19) → (32)へ			／		
	3	(20) 新筆頭者の名＝妻の漢字氏名の名 である。(YES, NO)				／		
		YES	(21) 確認メッセージ 「妻は戻る戸籍の筆頭者ではありませんね？」を表示				(22) 本紙へ	Nのとき、不受理
		NO	(23) → (32)へ			／		
NO	(24) 戸籍変動区分 (1:元の戸籍に戻る(夫) , 3:元の戸籍に戻る(妻))					／		
	1	(25) 新筆頭者の名＝夫の漢字氏名の名 である。(YES, NO)				／		
		YES	(26) → (32)へ			／		
		NO	(27) 確認メッセージ 「夫は戻る戸籍の筆頭者で間違いありませんね？」を表示				(28) 本紙へ	Nのとき、不受理
	3	(28-1) 新筆頭者の名＝妻の漢字氏名の名 である。(YES, NO)				／		
		YES	(29) → (32)へ			／		
		NO	(30) 確認メッセージ 「妻は戻る戸籍の筆頭者で間違いありませんね？」を表示				(31) 本紙へ	Nのとき、不受理

第 2 3 (3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(離婚届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成31年 3月31日	22	16-4/21

50105

処理名	3.1 復籍先の筆頭者区分・配偶者区分の審査 (2／2)			備考
(32) 戸籍除区分(復籍先)＝0(現戸籍)である。(YES, NO)		／		
YES	(33) 戸籍DB(復籍先)に記録されている者について順次(34)～(39)の処理を繰り返す。	／		
	(34) 個人除区分 ＝ 0 (在籍者) かつ (配偶者区分 ＝ 1(夫) 又は2(妻)又は3(生存配偶者)である。(YES, NO)	／		
	YES (35) 届後戸籍での配偶者区分 (0 : 未 , 3 :生存配偶者)	／		
	0 (36) → (33)へ	／		
	3 (37) エラーメッセージ 「戻る戸籍には夫・妻又は生存配偶者が既にいます。」		(38) 本紙へ	
	NO (39) → (33)へ	／		
	(40) → (43)へ	／		
NO	(41) エラーメッセージ 「戻る戸籍が除籍です。」を表示		(42) 本紙へ	不受理
(43) 本籍＝管内 (YES, NO)		／		
YES	(44) 戸籍変動区分 (1:元の戸籍に戻る(夫) , 3:元の戸籍に戻る(妻))	／		
	1 (45) 夫の身分事項欄に性同一性障害(7003)がある。	／		
	YES (46) 確認メッセージ 「性同一性障害の記録があります。戸籍変動分は正しいですか?」を表示する。		(47) 本紙へ	平成15年法律111号3条により元の戸籍には戻れない Nのとき、不受理
	NO (47-1) →			
	3 (48) 妻の身分事項欄に性同一性障害(7003)がある。	／		
	YES (49) 確認メッセージ 「性同一性障害の記録があります。戸籍変動分は正しいですか?」を表示する。		(50) 本紙へ	平成15年法律111号3条により元の戸籍には戻れない Nのとき、不受理
	NO (50-1) →			
NO	(50-2) →			

020

50106

第23(4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査(離婚届)	システム化調査研究会	平成6年12月1日	平成10年 2月27日	2	17／21

処理名	4.0 中間ファイル(届書)編集・出力 1／5	(受取側) 中間ファイル(届書) ← (引渡側) 離婚入力画面

受取側			引渡側			コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.，	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (届書) 共通	受領番号		離婚届入力画面	受領No				
	選択事件コード			――――				「10」を引き渡す
	出張所番号			支所No				
	受領日			受領日				
	送付日			送付日				
	発送元			発送元				
	在外送付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日				
	指示日			――――				
	許可日			――――				
	受理送付区分			送付日				在外送付区分＝0の時、1 在外送付区分≠0の時、2
	本非区分			本・非本				
	郵送日			郵送日				
	動態区分			動態				
	届区分			報告				
	渉外区分			夫の外人区分 妻の外人区分				夫外人区分 / 妻外人区分 / 渉外区分 0 / 0 / 0 0 / 1 / 1 1 / 0 / 1 1 / 1 / 2
	同時決裁受領番号							
	ロック戸籍番号(1)			戸籍番号				本籍人の場合、夫婦の戸籍番号
	ロック戸籍番号(2)							
	ロック戸籍番号(3)							
	ロック戸籍番号(4)							
	ロック戸籍番号(5)							
	事件別内容							3／5～5／5参照

021

第2章 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査（離婚届）	システム化調査研究会	平成６年１２月　１日	平成　年　月　日	1	１８／２１

処理名	4.0 中間ファイル（届書）編集・出力 2／5	（受取側）中間ファイル（届書）	←（引渡側）離婚入力画面

受取側			引渡側			コード変換有無	出力形態	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	ｻｰｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	Z9.,	
中間ファイル（届書）共通	不受理申出処分区分							
	処分区分							審査の結果により、１＝受理または２＝不受理をセットする。審査において一つでもエラーがある場合は不受理とする。
	決裁区分							何も設定されていない場合に０：未決裁を設定
	届書排他区分							０：未　１：排他

第23(4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査（離婚届）	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	19／21

処理名：4.0 中間ファイル（届書）編集・出力3／5　（受取側）中間ファイル（届書）　←（引渡側）離婚届入力画面

受取側			引渡側			コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9,,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
中間ファイル（届書）	夫の個人番号							本籍人の場合、夫の個人番号
	レコード番号		離婚届入力画面（その1）	――――				
事件別内容	外人区分（夫）			夫の外人区分				
	国籍（夫）			夫の国籍				
	筆頭者区分（夫）			夫の筆頭者区分				
	カナ氏名（夫）			夫のカナ氏名				
	漢字氏名（夫）			夫の漢字氏名				
	住所コード（夫）			夫の住所				
	住所地番（夫）							
	世帯主（夫）			夫の世帯主				
	父氏名（夫）			夫の父の氏名				
	母氏名（夫）			夫の母の氏名				
	父母との続柄（夫）			夫の父母との続柄				
	生年月日（夫）			夫の生年月日				
	転婚区分（夫）			夫の転婚区分				
	妻の個人番号							本籍人の場合、妻の個人番号
	外人区分（妻）			妻の外人区分				
	国籍（妻）			妻の国籍				
	筆頭者区分（妻）			妻の筆頭者区分				
	カナ氏名（妻）			妻のカナ氏名				
	漢字氏名（妻）			妻の漢字氏名				
	住所コード（妻）			妻の住所				
	住所地番（妻）							
	世帯主（妻）			妻の世帯主				
	父氏名（妻）			妻の父の氏名				
	母氏名（妻）			妻の母の氏名				

50109

第2(3)(4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査（離婚届）	システム化調査研究会	平成６年１２月　１日	平成　年　月　日	1	２０／２１

処理名	4.0 中間ファイル（届書）編集・出力４／５	（受取側）中間ファイル（届書）	←（引渡側）離婚届入力画面

受取側			引渡側			コード変換有無	出力形態	備考
DB・ファイル名	項目		DB・ファイル名	項目				
画面名称	名称	記号名	画面名称	名称	記号名	ｻｰｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	Ｚ９．，	
中間ファイル（届書）事件別内容	父母との続柄（妻）		離婚届入力画面（その１）	妻の父母との続柄				
	生年月日（妻）			妻の生年月日				
	転婚区分（妻）			妻の転婚区分				
	本籍コード			本籍				
	本籍地番							
	筆頭者			筆頭者				
	離婚の種別区分		離婚届入力画面（その２）	離婚の種別区分				
	離婚の申立人区分			離婚の申立人区分				
	離婚の成立・確定日			離婚の成立･確定日				
	戸籍変動区分			戸籍変動区分				
	新本籍コード			新本籍				
	新本籍地番							
	新筆頭者カナ氏名							
	新筆頭者			新筆頭者				
	戻る戸籍での筆頭者区分			戻る戸籍での筆頭者区分				
	届後戸籍での筆配偶者分			届後戸籍での筆配偶者分				
	称する氏			称する氏				
	外国離婚方式			離婚の方式				
	裁判所所在国			裁判所所在国				
	外国裁判所名			外国裁判所名				
	親権指定者の有無			親権指定者の有無				
	未成年の子の人数			未成年の子の人数				
	届出人資格１			届出人資格１				
	届出人資格２			届出人資格２				

024

50110

第２３（４）	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査（離婚届）	システム化調査研究会	平成６年１２月　１日	平成　年　月　日	1	２１／２１

処理名	4.0 中間ファイル（届書）編集・出力５／５	（受取側）中間ファイル（届書）	←（引渡側）離婚届入力画面

受取側 DB・ファイル名 / 画面名称		項目 名称	項目 記号名	引渡側 DB・ファイル名 / 画面名称		項目 名称	項目 記号名	コード変換有無 サブルーチン	出力形態 Z9..	備考
中間ファイル（届書）		カナ氏名（未成年者ｎ）		離婚届入力画面（その３）		未成年者ｎのカナ氏名				未成年者項目については、複数件数存在する場合がある。
事件別内容	未成年者項目	漢字氏名（未成年者ｎ）			未成年者項目	未成年者ｎの漢字氏名				
		父の氏名（未成年者ｎ）				未成年者ｎの父の氏名				
		母の氏名（未成年者ｎ）				未成年者ｎの母の氏名				
		父母との続柄（未成年者ｎ）				未成年者ｎの父母との続柄				
		生年月日（未成年者ｎ）				未成年者ｎの生年月日				
		養父の氏名（未成年者ｎ）				未成年者ｎの養父の氏名				
		養母の氏名（未成年者ｎ）				未成年者ｎの養母の氏名				
		養父母との続柄（未成年者ｎ）				未成年者ｎの養父母との続柄				
		親権者区分（未成年者ｎ）				未成年者ｎの親権者区分				

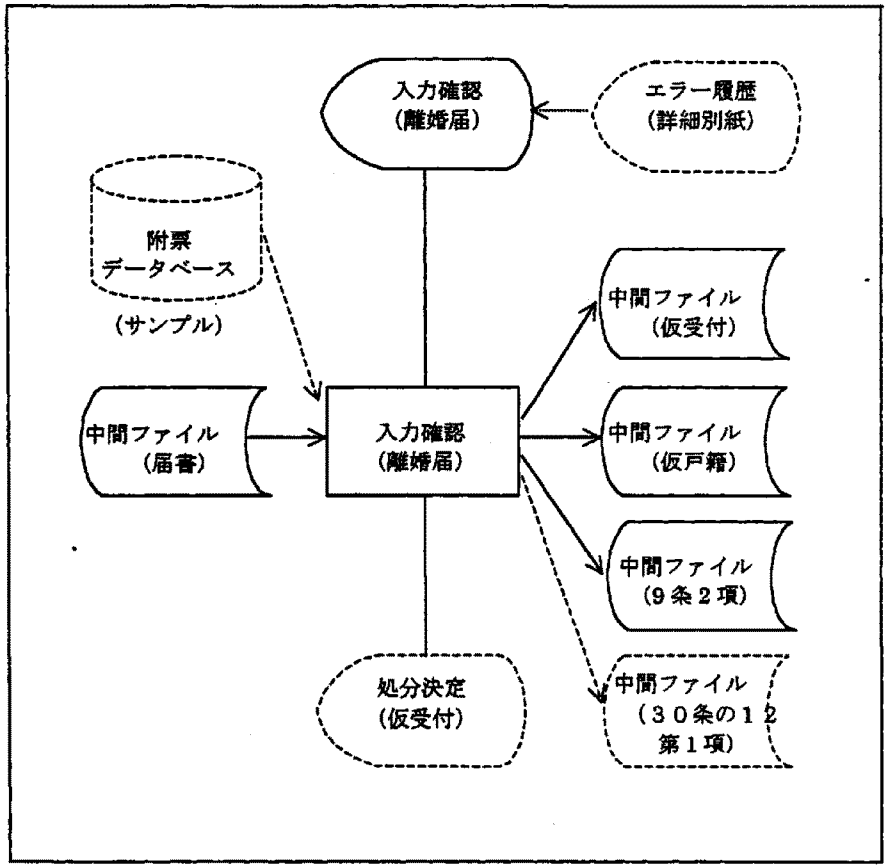
025

第2 3 (2)	システム環境仕様書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(離婚届)	システム化調査研究会	平成6年12月1日	平成11年 3月1日	2.1	1/29

50111

026

1. 詳細フロー



2. 使用 DB・ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ファイル (届書)	入 力	中間ファイル (30条の12第1項)	出 力 (サンプル)
附票データベース	入 力 (サンプル)		
中間ファイル (仮受付)	出 力		
中間ファイル (仮戸籍)	出 力		
中間ファイル (9条2項)	出 力		

3. 処理概要

(1)中間ファイル(届書)の内容を画面表示する。
(2)戸籍変動情報を確定する。
(3)中間ファイル(仮受付)を編集・出力する。
(4)中間ファイル(仮戸籍)を編集・出力する。
(5)中間ファイル(9条2項)を編集・出力する。
(6)中間ファイル(30条の12第1項)を編集・出力する。……(サンプル提示)
(7)処分決定処理に制御を渡す。

4. 機能体系(要件定義書の構成)

- 0.0 本紙
  - 1.0 データ編集表(入力確認画面)
  - 2.0 戸籍編製マトリックス
  - 3.0 データ編集表(中間ファイル／仮受付)
  - 4.0 データ編集表(中間ファイル／仮戸籍(夫))
    - 4.1 身分事項(除籍)
    - 4.2 身分事項(入籍)
    - 4.3 身分事項(変動なし)
  - 5.0 データ編集表(中間ファイル／仮戸籍(妻))
    - 5.1 身分事項(除籍)
    - 5.2 身分事項(入籍)
    - 5.3 身分事項(変動なし)
  - 6.0 データ編集表(中間ファイル／仮戸籍(子))
    - 6.1 身分事項(変動なし)
  - 7.0 データ編集表(中間ファイル／9条2項)
    - 7.1 夫
    - 7.2 妻
  - 8.0 データ編集表(中間ファイル／30条の12第1項)…(サンプル提示)
    - 夫
    - 妻

5. 備考(特記事項含む)

第２３(3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(離婚届)	システム化調査研究会	平成６年12月１日	平成11年 3月 1日	2.1	2／29

処理名	0.0 本紙 1／2	備考
(1)中間ファイル(届書)の内容を確認画面に出力し、メッセージ「入力項目を確認し、よければ実行キーを押下してください。」を表示する 〔1.0〕	／	「届出メニュー」で受領番号が入力された場合 届出ファイルから画面編集をおこなう
(2)キー選択(実行キー, PF1, PF2, PF5, PF7,PF8,PF11, その他)	／	
実行キー (3)中間ファイル(届書)の内容から戸籍編製マトリックス表を参照し、事件本人の戸籍変動状況を決定する 〔2.0〕	／	
(4)中間ファイル(仮受付)を編集・出力する 〔3.0〕	／	
(5)事件本人が本籍人である(YES,NO)	／	
YES (6)夫の戸籍の変動状況をもとに中間ファイル(仮戸籍)を編集・出力する	／	
身分事項(除籍) (7)夫の除籍事項の編集 〔4.1〕	／	
身分事項(入籍) (8)夫の入籍事項の編集 〔4.2〕	／	
身分事項(変動なし) (9)夫の変動なし事項の編集 〔4.3〕	／	
(9−1)夫は在外選挙人である(YES,NO)	／	
YES (9−2)夫について中間ファイル(30条の12第1項)を編集・出力する 〔8.1〕	／	
ＮＯ (9−3)→(10)	／	
(10)妻の戸籍の変動状況をもとに中間ファイル(仮戸籍)を編集・出力する	／	
身分事項(除籍) (11)妻の除籍事項の編集 〔5.1〕	／	
身分事項(入籍) (12)妻の入籍事項の編集 〔5.2〕	／	
身分事項(変動なし) (13)妻の変動なし事項の編集 〔5.3〕	／	
(13−1)妻は在外選挙人である(YES,NO)	／	
YES (13−2)妻について中間ファイル(30条の12第1項)を編集・出力する 〔8.2〕	／	
ＮＯ (13−3)→(14)	／	
(14)子の戸籍の変動状況をもとに中間ファイル(仮戸籍)を編集・出力する	／	
身分事項(変動なし) (15)子の変動なし事項の編集 〔6.1〕	／	
ＮＯ (16)→(17)	／	
(17)在外送付区分＝0:受理分 又は 2:在外公館の直接送付である(YES,NO)	／	
YES (18)夫の外人区分＝0 :日本人である(YES,NO)	／	
YES (19)夫について中間ファイル(9条2項)を編集・出力する 〔7.1〕	／	
ＮＯ (20)→(21)	／	
(21)妻の外人区分＝0 :日本人である(YES,NO)	／	

第23(3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(離婚届)	システム化調査研究会	平成6年12月1日	平成11年 3月 1日	2.1	3/29

処理名	0.0 本紙 2/2		備考
	YES	(22)妻について中間ファイル(9条2項)を編集・出力する 〔7.2〕	(23)処分決定に制御を渡す
	NO	→	
	NO		
PF1	→		(24)業務選択に制御を渡す
PF2	→		(25)届出選択に制御を渡す
PF5	→		(26)審査に制御を渡す
PF7	(27)前ページがあるか(ある :YES, なし :NO)	／	
	ある	(28)前ページ分の「離婚届」画面を編集	(29)同画面を編集する
	なし	(30)エラーメッセージ「先頭ページです。」を表示する	
PF8	(31)次ページがあるか(ある :YES, なし :NO)	／	
	ある	(32)次ページ分の「離婚届」画面を編集	(33)同画面を編集する
	なし	(34)エラーメッセージ「最終ページです。」を表示する	
PF11	→		(35)エラー履歴表示に制御を渡す
その他	(36)エラーメッセージ「無効なキーが入力されました。」を表示する		(37)同画面を編集する

第2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認（離婚届）	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	4／29

処理名	1.0 確認画面（離婚届）表示 1/4	（受取側）離婚届確認画面	←（引渡側）中間ファイル（届書）

受取側			引渡側			コード	出力形態	
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	変換有無 ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	Z9.,	備考
離婚届確認画面（その1）	画面ＩＤ			画面ＩＤ				
	システム日付			システム日付				
	支所NO		中間ファイル（届書）共通	出張所番号				
	受領NO			受領番号				
	受領日			受領日				
	送付日			送付日				
	発送元			発送元				
	在外送付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日				
	本・非本			本非区分				
	郵送日			郵送日				
	動態			動態区分				
	報告			届出区分				
	夫の外人区分		中間ファイル（届書）事件別内容	外人区分（夫）				
	夫の国籍			国籍（夫）				
	夫の筆頭者区分			筆頭者区分（夫）				
	夫のカナ氏名			カナ氏名（夫）				
	夫の漢字氏名			漢字氏名（夫）				
	夫の住所			住所コード（夫）				
				住所地番（夫）				
	夫の世帯主			世帯主（夫）				
	夫の父の氏名			父氏名（夫）				
	夫の母の氏名			母氏名（夫）				
	夫の父母との続柄			父母との続柄（夫）				
	夫の生年月日			生年月日（夫）				
	夫の転婚区分			転婚区分（夫）				

第2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認（離婚届）	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	5／29

処理名	1.0 確認画面（離婚届）表示 2/4	（受取側）離婚届確認画面	←（引渡側）中間ファイル（届書）

受取側			引渡側			コード	出力形態	
DB・ファイル名	項目		DB・ファイル名	項目		変換有無		備考
画面名称	名称	記号名	画面名称	名称	記号名	ｻ=ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	Z9.,	
離婚届確認画面（その1）	妻の外人区分		中間ファイル（届書）	外人区分（妻）				
	妻の国籍			国籍（妻）				
	妻の筆頭者区分		事件別内容	筆頭者区分（妻）				
	妻のカナ氏名			カナ氏名（妻）				
	妻の漢字氏名			漢字氏名（妻）				
	妻の住所			住所コード（妻）				
				住所地番（妻）				
	妻の世帯主			世帯主（妻）				
	妻の父の氏名			父の氏名（妻）				
	妻の母の氏名			母の氏名（妻）				
	妻の父母との続柄			父母との続柄（妻）				
	妻の生年月日			生年月日（妻）				
	妻の転婚区分			転婚区分（妻）				
	本籍			本籍コード				
				本籍地番				
	筆頭者			筆頭者				
離婚届確認画面（その2）	離婚の種別区分			離婚の種別区分				
	離婚の申立人区分			離婚の申立人区分				
	戸籍変動区分			戸籍変動区分				
	新本籍			新本籍コード				
				新本籍地番				
	新筆頭者			新筆頭者				
	戻る戸籍での筆頭者区分			戻る戸籍での筆頭者区分				
	届後戸籍での配偶者区分			届後戸籍での配偶者区分				
	称する氏			称する氏				
	離婚の成立・確定日			離婚の成立・確定日				

第2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認（離婚届）	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	6-1／29

処理名	1.0 確認画面（離婚届）表示 3/4	（受取側）離婚届確認画面	←（引渡側）中間ファイル（届書）

受取側			引渡側			コード	出力形態	
DB・ファイル名	項目		DB・ファイル名	項目		変換有無		備考
画面名称	名称	記号名	画面名称	名称	記号名	ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	Z9..	
離婚届確認画面（その2）	離婚の方式		中間ファイル（届書） 事件別内容	外国離婚方式				
	裁判所所在国			裁判所所在国				
	外国裁判所名			外国裁判所名				
	親権指定者の有無			親権指定者の有無				
	未成年の子の人数			未成年者の子の人数				
	届出人資格1			届出人資格1				
	届出人資格2			届出人資格2				

50117

第2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認（離婚届）	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	6-2／29

処理名	1.0 確認画面（離婚届）表示 4/4	（受取側）離婚届確認画面	←（引渡側）中間ファイル（届書）

受取側				引渡側				コード	出力形態	備考
DB・ファイル名	項目			DB・ファイル名	項目			変換有無		
画面名称		名称	記号名	画面名称		名称	記号名	ｻｰｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	Z9.,	
離婚届確認画面（その3）	未成年者項目n件	未成年者nのカナ氏名			未成年者項目n件	カナ氏名（未成年者n）				
		未成年者nの漢字氏名				漢字氏名（未成年者n）				
		未成年者nの父の氏名				父の氏名（未成年者n）				
		未成年者nの母の氏名				母の氏名（未成年者n）				
		未成年者nの父母との続柄				父母との続柄（未成年者n）				
		未成年者nの生年月日				生年月日（未成年者n）				
		未成年者nの養父の氏名				養父の氏名（未成年者n）				
		未成年者nの養母の氏名				養母の氏名（未成年者n）				
		未成年者nの養父母との続柄				養父母との続柄（未成年者n）				
		未成年者nの親権者区分				親権者区分（未成年者n）				

032

第23(7)	補足説明書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認（離婚届）	システム化調査研究会	平成６年１２月　１日	平成　年　月　日	1	7／29

処理名　2.0 戸籍編製マトリックス表　1/3

項番	現在の夫婦の戸籍		夫			妻			婚前に戻る者			戻る者の本籍				親権指定			夫婦の戸籍		もとの戸籍	新戸籍編製
			日本人		外国人	日本人		外国人				もとの戸籍へ		新戸籍		有無						
			構成			構成																
	管内	管外	筆頭者	構成員		筆頭者	構成員		夫	妻	変動なし	管内	管外	管内	管外	有	無		一部除籍 C.2	変動なし	一部記載 C.1 D.1	新戸籍編製 A.1 B.1 C.1 D.1
1	○		○				○			○		○					○		妻 (5.1)	夫 (4.3)	妻 (5.2)	
2	○		○				○			○			○				○		妻 (5.1)	夫 (4.3)		
3	○		○				○			○				○			○		妻 (5.1)	夫 (4.3)		妻 (5.2)
4	○		○				○			○					○		○		妻 (5.1)	夫 (4.3)		
5	○		○					○			○	−	−	−	−		○			夫 (4.3)		
6	○			○		○			○			○					○		夫 (4.1)	妻 (5.3)	夫 (4.2)	
7	○			○		○			○				○				○		夫 (4.1)	妻 (5.3)		
8	○			○		○			○					○			○		夫 (4.1)	妻 (5.3)		夫 (4.2)
9	○			○		○			○						○		○		夫 (4.1)	妻 (5.3)		
10	○				○	○					○	−	−	−	−		○			妻 (5.3)		
11	−	−			○			○			○	−	−	−	−	−	−		−	−	−	−
12		○	○				○			○		○					○				妻 (5.2)	
13		○	○				○			○			○				○		−	−	−	−
14		○	○				○			○				○			○					妻 (5.2)
15		○	○				○			○					○		○		−	−	−	−
16		○	○					○			○	−	−	−	−		○		−	−	−	−
17		○		○		○			○			○					○				夫 (4.2)	
18		○		○		○			○				○				○		−	−	−	−
19		○		○		○			○					○			○					夫 (4.2)
20		○		○		○			○						○		○		−	−	−	−
21		○			○	○					○	−	−	−	−		○		−	−	−	−
22	○		○				○			○		○				○			妻 (5.1)	夫 (4.3) 子 (6.1)	妻 (5.2)	

50118

033

第2 3 (7)	補足説明書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認（離婚届）	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	8／29

処理名　2.0 戸籍編製マトリックス表　2/3

項番	現在の夫婦の戸籍		夫			妻			婚前に戻る者			戻る者の本籍				親権指定			夫婦の戸籍		もとの戸籍	新戸籍編製 A.1 B.1 C.1 D.1
			日本人 構成		外国人	日本人 構成		外国人				もとの戸籍へ		新戸籍		有	無		一部除籍 C.2	変動なし	一部記載 C.1 D.1	
	管内	管外	筆頭者	構成員		筆頭者	構成員		夫	妻	変動なし	管内	管外	管内	管外							
23	○		○				○			○			○			○			妻 (5.1)	夫 (4.3) 子 (6.1)		
24	○		○				○			○				○		○			妻 (5.1)	夫 (4.3) 子 (6.1)		妻 (5.2)
25	○		○				○			○					○	○			妻 (5.1)	夫 (4.3) 子 (6.1)		
26	○		○					○			○	−	−	−	−	○				夫 (4.3) 子 (6.1)		
27	○			○		○			○			○				○			夫 (4.1)	妻 (5.3) 子 (6.1)	夫 (4.2)	
28	○			○		○			○				○			○			夫 (4.1)	妻 (5.3) 子 (6.1)		
29	○			○		○			○					○		○			夫 (4.1)	妻 (5.3) 子 (6.1)		夫 (4.2)
30	○			○		○			○						○	○			夫 (4.1)	妻 (5.3) 子 (6.1)		
31	○				○	○					○	−	−	−	−	○				妻 (5.3) 子 (6.1)		
32		○	○				○			○		○				○					妻 (5.2)	
33		○	○				○			○			○			○			−	−	−	−
34		○	○				○			○				○		○						妻 (5.2)
35		○	○				○			○					○	○			−	−	−	−
36		○	○					○			○	−	−	−	−	○			−	−	−	−

第23(7)	補足説明書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認（離婚届）	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	9／29

処理名　2.0 戸籍編製マトリックス表　3/3

項番	現在の夫婦の戸籍		夫			妻			婚前に戻る者			戻る者の本籍				親権指定			夫婦の戸籍		もとの戸籍	新戸籍編製 A.1 B.1 C.1 D.1
			日本人		外国人	日本人		外国人				もとの戸籍へ		新戸籍		有無						
	管内	管外	構成 筆頭者	構成 構成員		構成 筆頭者	構成 構成員		夫	妻	変動なし	管内	管外	管内	管外	有	無		一部除籍 C.2	変動なし C.2	一部記載 C.1 D.1	
37		○		○		○			○			○				○					夫 (4.2)	
38		○		○		○			○				○			○			－	－	－	－
39		○		○		○			○					○		○						夫 (4.2)
40		○		○		○			○						○	○			－	－	－	－
41		○			○	○					○	－	－	－	－	○			－	－	－	－

ひな型使用時の補足説明

(1)C１：個人特定（入籍）編集

・戸籍変動区分＝１ OR ３（元の戸籍に戻る）の場合、戻る戸籍での筆頭者区分 → 筆頭者区分
　　届後戸籍での配偶者区分 → 配偶者区分 をそれぞれ設定する

・戸籍変動区分＝２ OR ４（新戸籍編製）の場合、 １（筆頭者） → 筆頭者区分
　　０（未） → 配偶者区分 をそれぞれ設定する

(2)C２：個人特定（記録）編集

・夫および妻の配偶者区分は ０（未）を設定する
　（元の戸籍に戻る場合や新戸籍編製で除籍となる者についても、配偶者区分を設定すること）

第 2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(離婚届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成27年 3月 1日	18	10／29

処理名	3.1 中間ファイル(仮受付)編集・出力 1/3	(受取側) 中間ファイル(仮受付)／共通	←	(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード	出力形態	
DB・ファイル名	項目		DB・ファイル名	項目		変換有無		備考
画面名称	名称	記号名	画面名称	名称	記号名	ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	Z9.，	
中間ﾌｧｲﾙ（仮受付）共通	受領番号		中間ﾌｧｲﾙ（届書）	受領番号				離婚届の受領番号
	出張所番号			出張所番号				
	受付事件コード			―――――				離婚の種別＝1の時は、「1001」 離婚の種別＝2の時は、「1002」 上記以外は、「1003」
	受付日			受領日または送付日				送付日≠スペースの場合、送付日
	事件発生日			離婚の成立・確定日				届出区分＝2の場合、移送
	事件発生時分			―――――				
	事件発生日時			―――――				
	受理送付区分			受理送付区分				
	本非区分			本非区分				
	渉外区分			渉外区分				
	証書提出区分			―――――		離婚の方式≠ｽﾍﾟｰｽの時、1(証書提出)、以外は0(届出)		
	発送日			―――――				
	郵送日			郵送日				
	発日			―――――				
	収日			―――――				
	指示日			―――――				
	許可日			―――――				
	関連受領番号			―――――				受領番号+1 (77条の2届の受領番号)
	届出人資格区分1			届出人資格1	条件(1-1)離婚の種別＝1(協議)の場合、ｽﾍﾟｰｽ			
	届出人資格名称1			届出人資格2				
	届出人氏名1			夫の氏名	(2)離婚の種別≠1(協議)の場合 届出人資格1及び届出人氏名1に以下の項目を設定			
	届出人資格区分2			妻の氏名				
	届出人資格名称2							
	届出人氏名2							

申立人区分	届出人資格1 or 2	離婚の種別	届出人資格	届出人氏名
1	006	2	「申立人」	夫の氏名
		3,4,5,6	「訴提起者」	夫の氏名
	007	－	「相手方」	妻の氏名
2	006	－	「相手方」	夫の氏名
	007	2	「申立人」	妻の氏名
		3,4,5,6	「訴提起者」	妻の氏名

50121

036

第2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認（離婚届）	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	11／29

処理名	3.0 中間ファイル（仮受付）編集・出力 2/3	（受取側）中間ファイル（仮受付）／共通	←（引渡側）中間ファイル（届書）

受取側			引渡側			コード変換有無	出力形態	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	ｻｰｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	Z9.,	
中間ファイル （仮受付） 共通	届後本籍区分		中間ファイル （届書）			戸籍変動区分=1,3のとき「1」,2,4のとき「2」,その他はｽﾍﾟｰｽ		
	届後本籍コード			新本籍コード				戸籍変動区分＝1,2,3,4の場合に
	届後本籍			新本籍地番				設定する。
	届後戸籍の筆頭者			新筆頭者				上記以外はｽﾍﾟｰｽ。
	送達確認1			――――				届後本籍が非本　かつ 在外送付区分＝1（受理分）の場合 1（未到着）を設定。 上記以外は、0（不要）を設定。
	届書送付目録区分			――――				本非区分＝1（本籍）の場合、1（送付要）を設定。 上記以外は、0（送付不要）を設定。 ＊本非区分は、共通部を用いる。
	処分区分			処分区分				
	決裁区分			決裁区分				

第 2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(離婚届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成23年 3月 1日	14	12/29

処理名	3.0 中間ファイル (仮受付) 編集・出力 3／3	(受取側) 中間ファイル(仮受付) / 事件本人 ← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 (ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.，	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
中間ファイル (仮受付)	受領番号		中間ﾌｧｲﾙ (届書)	受領番号				
	行番号							
	事件本人区分							夫の場合、12 (夫) 妻の場合、13 (夫)
	届出人区分			離婚の種別 ＝ 1 の場合、 夫及び妻の場合は 1 を 設定 但し、離婚の成立確定日 ≠ 0の場合、 夫、妻が外国人であれば、0 を設定		離婚の種別 ≠ 1 で		夫の場合、 届出人資格1または2=006(夫)のとき 1を設定。それ以外は0を設定。 妻の場合、 届出人資格1または2=007(妻)のとき 1を設定。それ以外は0を設定。
	カナ氏名			夫または妻のカナ氏名				
	漢字氏名			夫または妻の漢字氏名				
	生年月日			夫又は妻の生年月日				
	本籍コード			本籍コード				
	本籍			本籍地番				
	送達確認2							事件本人の現戸籍が (本非区分 ＝ 2) かつ (在外送付区分 ＝ 0)の 場合、1 (未到着) を設定。 上記以外は、0 (不要)を設定。

※事件本人情報の出力順位は、氏を改めない者を先に出力する。

50123
038

第 2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(離婚届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成23年 3月 1日	14	13／29

処理名	4.1 身分事項(除籍)の編集・出力 1/2	(受取側) 中間ファイル(仮戸籍)身分事項	←	(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側				引渡側					
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	コード変換有無 ｻｰｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Z9.，	備考
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項 夫	個人番号			中間ファイル (届書)	個人番号(夫)				
	行番号				――――――				
	出力区分				――――――				「0」を移送
	タイトルコード				――――――				「1001」を移送
	記録コード				――――――				「1001」を移送
	管掌者コード				――――――				
	事件発生日				受領日 離婚の成立日・確定日				離婚の種別＝1(協議)かつ 離婚の方式＝ｽﾍﾟｰｽの時、受領日を設定 上記以外は、離婚の成立・確定日を設定
	離婚	離婚日			受領日 離婚の成立日・確定日		離婚の種別＝1(協議)かつ離婚の方式＝ｽﾍﾟｰｽの時、受領日 離婚の種別＝1(協議)かつ離婚の方式≠ｽﾍﾟｰｽの時、離婚の成立・確定日を設定　以外は、ｽﾍﾟｰｽ		
		離婚の調停成立日			離婚の成立日・確定日				離婚種別＝2のときのみ、 離婚の成立・確定日を設定
		離婚の裁判確定日			離婚の成立日・確定日				離婚種別＝3，4のときのみ、 離婚の成立・確定日を設定
		離婚の和解成立日			離婚の成立日・確定日				離婚種別＝5のときのみ、 離婚の成立・確定日を設定
		離婚の請求認諾日			離婚の成立日・確定日				離婚種別＝6のときのみ、 離婚の成立・確定日を設定
		離婚除籍日			――――――				
		配偶者氏名			妻の氏名				
		配偶者の国籍			――――――				
		離婚の方式			離婚の方式				
		裁判所			裁判所所在国 外国裁判所名				「裁判所所在国」＋「外国裁判所名」
		届出日			受領日				離婚の種別≠1のときのみ
		届出人 資格			――――――				離婚の種別≠1かつ 届出人資格1or2＝007の場合、 「妻」を設定
		届出人 資格名称							
		証書提出日			受領日		離婚の種別＝1(協議)かつ離婚の方式≠ｽﾍﾟｰｽのときのみ		
		証書提出者 資格			――――――		離婚の種別＝1(協議)かつ離婚の方式≠ｽﾍﾟｰｽかつ 届出人が妻から一方のみの場合に「妻」を設定		
		証書提出者 資格名称							

50124

039

50125

第23(4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(離婚届)	システム化調査研究会	平成6年12月1日	平成10年 2月27日	2	14／29

処理名	4.1 身分事項(除籍)の編集・出力 2／2	(受取側) 中間ファイル(仮戸籍)身分事項 ← (引渡側) 中間ファイル (届書)

受取側 DB・ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	引渡側 DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	コード変換有無 ｻ=ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Z9.,	備考
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	送付	送付を受けた日		中間ファイル (届書)	送付日				送付日≠スペースのときのみ
		受理者			発送元				
	許可	許可日			———				
		許可書謄本の送付を受けた日			———				
		許可を受けた者			———				
	入籍	入籍日			———				
	入戸籍	従前戸籍 本籍			———				
		従前戸籍 筆頭者			———				
	除籍	除籍日			処理日				
	除戸籍	新本籍			新本籍				戸籍変動区分＝2のときのみ
		称する氏			称する氏				
		離婚後の氏			新筆頭者の氏名 (氏のみ)				戸籍変動区分＝2かつ 夫の転婚区分＝1の場合のみ
		入戸籍 本籍			新本籍				戸籍変動区分＝1のときのみ
		入戸籍 筆頭者			新筆頭者				
	記録	記録日			———				
	特記	特記事項			———				妻証書提出 上記内容は審査結果入力で設定

040

第 2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(離婚届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成23年 3月 1日	14	15／29

処理名	4.2 身分事項(入籍)の編集・出力 1/2	(受取側) 中間ファイル(仮戸籍)身分事項	←	(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側 DB・ファイル名 画面名称	受取側 項目 名称		受取側 項目 記号名	引渡側 DB・ファイル名 画面名称	引渡側 項目 名称	引渡側 項目 記号名	コード変換有無 サーサブルーチン	出力形態 Z9.，	備考
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号			中間ファイル (届書)	個人番号(夫)				
	行番号				――――――				
	出力区分				――――――				「0」を移送
	タイトルコード				――――――				「1001」を移送
	記録コード				――――――				「1001」を移送
	管掌者コード				――――――				
	事件発生日				受領日 離婚の成立日・確定日				離婚の種別＝1(協議)かつ 離婚の方式＝ｽﾍﾟｰｽの時、受領日を設定 上記以外は、離婚の成立・確定日を設定
離婚	離婚日				受領日 離婚の成立日・確定日		離婚の種別＝1(協議)かつ離婚の方式＝ｽﾍﾟｰｽの時、受領日 離婚の種別＝1(協議)かつ離婚の方式≠ｽﾍﾟｰｽの時、離婚の成立・確定日を設定　以外は、ｽﾍﾟｰｽ		
	離婚の調停成立日				離婚の成立日・確定日				離婚種別＝2のときのみ、 離婚の成立・確定日を設定
	離婚の裁判確定日				離婚の成立日・確定日				離婚種別＝3，4のときのみ、 離婚の成立・確定日を設定
	離婚の和解成立日				離婚の成立日・確定日				離婚種別＝5のときのみ、 離婚の成立・確定日を設定
	離婚の請求認諾日				離婚の成立日・確定日				離婚種別＝6のときのみ、 離婚の成立・確定日を設定
	離婚除籍日				――――――				
	配偶者氏名				妻の氏名				
	配偶者の国籍				――――――				
	離婚の方式				離婚の方式				
	裁判所				裁判所所在国 外国裁判所名				「裁判所所在国」＋「外国裁判所名」
届出	届出日				受領日				離婚の種別≠1のときのみ
	届出人	資格			――――――				離婚の種別≠1かつ 届出人資格1or2＝007の場合、 「妻」を設定
		資格名称							
	証書提出日				受領日		離婚の種別＝1(協議)かつ離婚の方式≠ｽﾍﾟｰｽのときのみ		
	証書提出者	資格			――――――		離婚の種別＝1(協議)かつ離婚の方式≠ｽﾍﾟｰｽかつ 届出人が妻から一方のみの場合に「妻」を設定		
		資格名称							

50126

041

50127

第2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(離婚届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成16年 4月 1日	8.1	15−1/29

処理名　4.2 身分事項(入籍)の編集・出力 1−1/2　(受取側) 中間ファイル(仮戸籍)身分事項　←　(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無	出力形態	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	ｻｰﾌﾞﾙｰﾁﾝ	Z9.,	
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	送付を受けた日		中間ファイル (届書)	送付日				送付日≠スペースのときのみ
	受理者			発送元				

041−1

第2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(離婚届)	システム化調査研究会	平成6年12月1日	平成10年 2月27日	2	16／29

処理名	4.2 身分事項(入籍)の編集・出力 2／2	(受取側) 中間ファイル(仮戸籍)身分事項 ← (引渡側) 中間ファイル (届書)

受取側 DB・ファイル名 画面名称	受取側 項目 名称			引渡側 DB・ファイル名 画面名称	引渡側 項目 名称		コード変換有無 サーサブルーチン	出力形態 29.,	備考
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	許可	許可日		中間ファイル (届書)	———				
		許可書謄本の送付を受けた日			———				
		許可を受けた者			———				
	入籍	入籍日			処理日				
	入戸籍	従前戸籍 本籍			本籍				
		従前戸籍 筆頭者			筆頭者				
	除籍	除籍日			———				
	除戸籍	新本籍			———				
		称する氏			———				
		離婚後の氏			———				
		入戸籍 本籍			———				
		入戸籍 筆頭者			———				
	記録	記録日			———				
	特記	特記事項			———				妻証書提出 上記内容は審査結果入力で設定

042

第 2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(離婚届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成23年 3月 1日	14	17／29

処理名	4.3 身分事項(変動なし)の編集・出力 1/2	(受取側) 中間ファイル(仮戸籍)身分事項	←	(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側 DB・ファイル名 画面名称	受取側 項目 名称		受取側 項目 記号名	引渡側 DB・ファイル名 画面名称	引渡側 項目 名称	引渡側 項目 記号名	コード変換有無 ｻｰｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Z9.，	備考
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号			中間ファイル (届書)	個人番号(夫)				
	行番号				――――――				
	出力区分				――――――				「0」を移送
	タイトルコード				――――――				「1001」を移送
	記録コード				――――――				「1001」を移送
	管掌者コード				――――――				
	事件発生日				受領日 離婚の成立日・確定日				離婚の種別＝1(協議)かつ 離婚の方式＝ｽﾍﾟｰｽの時、受領日を設定 上記以外は、離婚の成立・確定日を設定
離婚	離婚日				受領日 離婚の成立日・確定日		離婚の種別＝1(協議)かつ離婚の方式＝ｽﾍﾟｰｽの時、受領日 離婚の種別＝1(協議)かつ離婚の方式≠ｽﾍﾟｰｽの時、離婚の成立・確定日を設定　以外は、ｽﾍﾟｰｽ		
	離婚の調停成立日				離婚の成立日・確定日				離婚種別＝2のときのみ、 離婚の成立・確定日を設定
	離婚の裁判確定日				離婚の成立日・確定日				離婚種別＝3，4のときのみ、 離婚の成立・確定日を設定
	離婚の和解成立日				離婚の成立日・確定日				離婚種別＝5のときのみ、 離婚の成立・確定日を設定
	離婚の請求認諾日				離婚の成立日・確定日				離婚種別＝6のときのみ、 離婚の成立・確定日を設定
	離婚除籍日				――――――				
	配偶者氏名				妻の氏名				
	配偶者の国籍				――――――				
	離婚の方式				離婚の方式				
	裁判所				裁判所所在国 外国裁判所名				「裁判所所在国」＋「外国裁判所名」
届出	届出日				受領日				離婚の種別≠1のときのみ
	届出人	資格			――――――				離婚の種別≠1かつ 届出人資格1or2＝007の場合、 「妻」を設定
		資格名称							
	証書提出日				受領日		離婚の種別＝1(協議)かつ離婚の方式≠ｽﾍﾟｰｽのときのみ		
	証書提出者	資格			――――――		離婚の種別＝1(協議)かつ離婚の方式≠ｽﾍﾟｰｽかつ 届出人が妻から一方のみの場合に「妻」を設定		
		資格名称							

50129

043

第2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(離婚届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成16年 4月 1日	8.1	17−1/29

処理名	4.3 身分事項(変動なし)の編集・出力 1−1/2	(受取側) 中間ファイル(仮戸籍)身分事項 ←	(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無	出力形態	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	ｻｰﾁﾌﾞﾙｰﾁﾝ	Z9.,	
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	送付 送付を受けた日		中間ファイル (届書)	送付日				送付日≠スペースのときのみ
	送付 受理者			発送元				

043−1

第23(4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(離婚届)	システム化調査研究会	平成6年12月1日	平成10年 2月27日	2	18／29

処理名	4.3 身分事項(変動なし)の編集・出力 2／2	(受取側) 中間ファイル(仮戸籍)身分事項 ← (引渡側) 中間ファイル (届書)

受取側 DB・ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	引渡側 DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	コード変換有無 サーサブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	許可	許可日		中間ファイル (届書)	———				
		許可書謄本の送付を受けた日			———				
		許可を受けた者			———				
	入籍	入籍日			———				
	入戸籍	従前戸籍 本籍			———				
		従前戸籍 筆頭者			———				
	除籍	除籍日			———				
	除戸籍	新本籍			———				
		称する氏			———				
		離婚後の氏			———				
		入戸籍 本籍			———				
		入戸籍 筆頭者			———				
	記録	記録日			処理日				
	特記	特記事項			———				妻証書提出 上記内容は審査結果入力で設定

第 2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(離婚届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成23年 3月 1日	14	19／29

処理名	5.1 身分事項(除籍)の編集・出力 1/2	(受取側) 中間ファイル(仮戸籍)身分事項	←	(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側 DB・ファイル名 / 画面名称	受取側 項目 名称		受取側 項目 記号名	引渡側 DB・ファイル名 / 画面名称	引渡側 項目 名称	引渡側 項目 記号名	コード変換有無 サーサブルーチン	出力形態 Z9.，	備考
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号			中間ファイル (届書)	個人番号(妻)				
	行番号				――――――				
	出力区分				――――――				「0」を移送
	タイトルコード				――――――				「1001」を移送
	記録コード				――――――				「1001」を移送
	管掌者コード				――――――				
	事件発生日				受領日 離婚の成立日・確定日				離婚の種別＝1(協議)かつ 離婚の方式＝ｽﾍﾟｰｽの時、受領日を設定 上記以外は、離婚の成立・確定日を設定
	離婚	離婚日			受領日 離婚の成立日・確定日		離婚の種別＝1(協議)かつ離婚の方式＝ｽﾍﾟｰｽの時、受領日 離婚の種別＝1(協議)かつ離婚の方式≠ｽﾍﾟｰｽの時、離婚の成立・確定日を設定　以外は、ｽﾍﾟｰｽ		
		離婚の調停成立日			離婚の成立日・確定日				離婚種別＝2のときのみ、 離婚の成立・確定日を設定
		離婚の裁判確定日			離婚の成立日・確定日				離婚種別＝3，4のときのみ、 離婚の成立・確定日を設定
		離婚の和解成立日			離婚の成立日・確定日				離婚種別＝5のときのみ、 離婚の成立・確定日を設定
		離婚の請求認諾日			離婚の成立日・確定日				離婚種別＝6のときのみ、 離婚の成立・確定日を設定
		離婚除籍日			――――――				
		配偶者氏名			妻の氏名				
		配偶者の国籍			――――――				
		離婚の方式			離婚の方式				
		裁判所			裁判所所在国 外国裁判所名				「裁判所所在国」＋「外国裁判所名」
	届出	届出日			受領日				離婚の種別≠1のときのみ
		届出人 資格			――――――				離婚の種別≠1かつ 届出人資格1or2＝006の場合、 「夫」を設定
		届出人 資格名称							
		証書提出日			受領日		離婚の種別＝1(協議)かつ離婚の方式≠ｽﾍﾟｰｽのときのみ		
		証書提出者 資格			――――――		離婚の種別＝1(協議)かつ離婚の方式≠ｽﾍﾟｰｽかつ 届出人が夫から一方のみの場合に「夫」を設定		
		証書提出者 資格名称							

50132

045

50133

第2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(離婚届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成16年 4月 1日	8.1	19−1/29

処理名	5.1身分事項(除籍)の編集・出力 1−1/2	(受取側) 中間ファイル(仮戸籍)身分事項	←	(引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無	出力形態	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	テーブルルーチン	Z9.,	
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	送付を受けた日		中間ファイル (届書)	送付日				送付日≠スペースのときのみ
	受理者			発送元				

045−1

50134

第23(4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(離婚届)	システム化調査研究会	平成6年12月1日	平成10年 2月27日	2	20/29

処理名	5.1 身分事項(除籍)の編集・出力 2/2	(受取側) 中間ファイル(仮戸籍)身分事項 ← (引渡側) 中間ファイル (届書)

受取側				引渡側			コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	許可	許可日		中間ファイル (届書)	———				
		許可書謄本の送付を受けた日			———				
		許可を受けた者			———				
	入籍	入籍日			———				
	入戸籍	従前戸籍 本籍			———				
		筆頭者			———				
	除籍	除籍日			処理日				
	除戸籍	新本籍			新本籍				戸籍変動区分＝4のときのみ
		称する氏			称する氏				
		離婚後の氏			新筆頭者の氏名 (氏のみ)				戸籍変動区分＝4かつ 夫の転婚区分＝1の場合のみ
		入戸籍 本籍			新本籍				戸籍変動区分＝3のときのみ
		入戸籍 筆頭者			新筆頭者				
	記録	記録日			———				
	特記	特記事項			———				夫証書提出 上記内容は審査結果入力で設定

040

第 2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(離婚届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成23年 3月 1日	14	21／29

処理名	5.2 身分事項(入籍)の編集・出力 1/2	(受取側) 中間ファイル(仮戸籍)身分事項	←	(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側				引渡側			コード変換有無	出力形態	
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	ｻｰｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	Z9.，	備考
中間ﾌｧｲﾙ (仮戸籍) 身分事項	個人番号			中間ﾌｧｲﾙ (届書)	個人番号(妻)				
	行番号				――――				
	出力区分				――――				「0」を移送
	タイトルコード				――――				「1001」を移送
	記録コード				――――				「1001」を移送
	管掌者コード				――――				
	事件発生日				受領日 離婚の成立日・確定日				離婚の種別＝1(協議)かつ 離婚の方式＝ｽﾍﾟｰｽの時、受領日を設定 上記以外は、離婚の成立・確定日を設定
離婚	離婚日				受領日 離婚の成立日・確定日		離婚の種別＝1(協議)かつ離婚の方式＝ｽﾍﾟｰｽの時、受領日 離婚の種別＝1(協議)かつ離婚の方式≠ｽﾍﾟｰｽの時、離婚の成立・確定日を設定　以外は、ｽﾍﾟｰｽ		
	離婚の調停成立日				離婚の成立日・確定日				離婚種別＝2のときのみ、 離婚の成立・確定日を設定
	離婚の裁判確定日				離婚の成立日・確定日				離婚種別＝3，4のときのみ、 離婚の成立・確定日を設定
	離婚の和解成立日				離婚の成立日・確定日				離婚種別＝5のときのみ、 離婚の成立・確定日を設定
	離婚の請求認諾日				離婚の成立日・確定日				離婚種別＝6のときのみ、 離婚の成立・確定日を設定
	離婚除籍日				――――				
	配偶者氏名				妻の氏名				
	配偶者の国籍				――――				
	離婚の方式				離婚の方式				
	裁判所				裁判所所在国 外国裁判所名				「裁判所所在国」＋「外国裁判所名」
届出	届出日				受領日				離婚の種別≠1のときのみ
	届出人 資格				――――				離婚の種別≠1かつ 届出人資格1or2＝006の場合、 「夫」を設定
	届出人 資格名称								
	証書提出日				受領日		離婚の種別＝1(協議)かつ離婚の方式≠ｽﾍﾟｰｽのときのみ		
	証書提出者 資格				――――		離婚の種別＝1(協議)かつ離婚の方式≠ｽﾍﾟｰｽかつ 届出人が夫から一方のみの場合に「夫」を設定		
	証書提出者 資格名称								

50135

047

50136

第2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(離婚届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成16年 4月 1日	8.1	21−1/29

処理名	5.2身分事項(入籍)の編集・出力 1−1/2	(受取側) 中間ファイル(仮戸籍)身分事項	←	(引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側				引渡側				コード変換有無	出力形態	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目			DB・ファイル名 画面名称	項目					
		名称	記号名		名称	記号名				
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	送付	送付を受けた日		中間ファイル (届書)	送付日				Z9.,	送付日≠スペースのときのみ
		受理者			発送元					

047−1

50137

第2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(離婚届)	システム化調査研究会	平成6年12月1日	平成10年 2月27日	2	22／29

処理名	5.2 身分事項(入籍)の編集・出力 2／2	(受取側) 中間ファイル(仮戸籍)身分事項 ← (引渡側) 中間ファイル (届書)

受取側				引渡側			コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目			DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	許可	許可日		中間ファイル (届書)	———				
		許可書謄本の送付を受けた日			———				
		許可を受けた者			———				
	入籍	入籍日			処理日				
	入戸籍	従前戸籍 本籍			本籍				
		従前戸籍 筆頭者			筆頭者				
	除籍	除籍日			———				
	除戸籍	新本籍			———				
		称する氏			———				
		離婚後の氏			———				
		入戸籍 本籍			———				
		入戸籍 筆頭者			———				
	記録	記録日			———				
	特記	特記事項			———				夫証書提出 上記内容は審査結果入力で設定

040

第 2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(離婚届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成23年 3月 1日	14	23／29

処理名	5.3 身分事項(変動なし)の編集・出力 1/2	(受取側) 中間ファイル(仮戸籍)身分事項	←	(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側 DB・ファイル名 画面名称	受取側 項目 名称		受取側 項目 記号名	引渡側 DB・ファイル名 画面名称	引渡側 項目 名称	引渡側 項目 記号名	コード変換有無 サーサブルーチン	出力形態 Z9.，	備考
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号			中間ファイル (届書)	個人番号(妻)				
	行番号				――――――				
	出力区分				――――――				「0」を移送
	タイトルコード				――――――				「1001」を移送
	記録コード				――――――				「1001」を移送
	管掌者コード				――――――				
	事件発生日				受領日 離婚の成立日・確定日				離婚の種別＝1(協議)かつ 離婚の方式＝ｽﾍﾟｰｽの時、受領日を設定 上記以外は、離婚の成立・確定日を設定
離婚	離婚日				受領日 離婚の成立日・確定日		離婚の種別＝1(協議)かつ離婚の方式＝ｽﾍﾟｰｽの時、受領日 離婚の種別＝1(協議)かつ離婚の方式≠ｽﾍﾟｰｽの時、離婚の成立・確定日を設定　以外は、ｽﾍﾟｰｽ		
	離婚の調停成立日				離婚の成立日・確定日				離婚種別＝2のときのみ、 離婚の成立・確定日を設定
	離婚の裁判確定日				離婚の成立日・確定日				離婚種別＝3，4のときのみ、 離婚の成立・確定日を設定
	離婚の和解成立日				離婚の成立日・確定日				離婚種別＝5のときのみ、 離婚の成立・確定日を設定
	離婚の請求認諾日				離婚の成立日・確定日				離婚種別＝6のときのみ、 離婚の成立・確定日を設定
	離婚除籍日				――――――				
	配偶者氏名				妻の氏名				
	配偶者の国籍				――――――				
	離婚の方式				離婚の方式				
	裁判所				裁判所所在国 外国裁判所名				「裁判所所在国」＋「外国裁判所名」
届出	届出日				受領日				離婚の種別≠1のときのみ
	届出人	資格			――――――				離婚の種別≠1かつ 届出人資格1or2＝006の場合、 「夫」を設定
		資格名称							
	証書提出日				受領日		離婚の種別＝1(協議)かつ離婚の方式≠ｽﾍﾟｰｽのときのみ		
	証書提出者	資格			――――――		離婚の種別＝1(協議)かつ離婚の方式≠ｽﾍﾟｰｽかつ 届出人が夫から一方のみの場合に「夫」を設定		
		資格名称							

50138
049

第2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(離婚届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成16年 4月 1日	8.1	23−1/29

処理名	5.3身分事項(変動なし)の編集・出力 1−1/2	(受取側) 中間ファイル(仮戸籍)身分事項	←	(引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無	出力形態	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	ｻｰｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	Z9., X	
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	送付を受けた日		中間ファイル (届書)	送付日				送付日≠スペースのときのみ
	送付 受理者			発送元				

50140

第23(4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(離婚届)	システム化調査研究会	平成6年12月1日	平成10年 2月27日	2	24/29

処理名	5.3 身分事項(変動なし)の編集・出力 2/2	(受取側) 中間ファイル(仮戸籍)身分事項 ← (引渡側) 中間ファイル (届書)

受取側 DB・ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	引渡側 DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	許可	許可日		中間ファイル (届書)	———				
		許可書謄本の送付を受けた日			———				
		許可を受けた者			———				
	入籍	入籍日			———				
	入戸籍	従前戸籍 本籍			———				
		筆頭者			———				
	除籍	除籍日			———				
	除戸籍	新本籍			———				
		称する氏			———				
		離婚後の氏			———				
		入戸籍 本籍			———				
		筆頭者			———				
	記録	記録日			処理日				
	特記	特記事項			———				夫証書提出 上記内容は審査結果入力で設定

050

第 2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(離婚届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成26年 3月 1日	17	25／29

処理名	6.1 身分事項(変動なし)の編集・出力 1/1	(受取側) 中間ファイル(仮戸籍)身分事項	←	(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側 DB・ファイル名 / 画面名称	受取側 項目 名称	受取側 項目 記号名	引渡側 DB・ファイル名 / 画面名称	引渡側 項目 名称	引渡側 項目 記号名	コード変換有無 サーサブルーチン	出力形態 Z9.，	備考
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号		中間ファイル (届書)	個人番号(子n)				
	行番号			――――				
	出力区分			――――				「0」を移送
	タイトルコード			――――				「1301」を移送
	記録コード			――――				「1301」を移送
	管掌者コード			――――				
	事件発生日			受領日 離婚の成立日・確定日				離婚の種別＝1(協議)かつ 離婚の方式＝ｽﾍﾟｰｽの時、受領日を設定 上記以外は、離婚の成立・確定日を設定
親権者	親権者を定めた日			受領日 離婚の成立日・確定日				離婚の種別＝1(協議) かつ 離婚の方式＝スペースの場合、受領日 離婚の種別＝1(協議) かつ 離婚の方式≠スペースの場合、 離婚の成立日・確定日 上記以外は、未設定
	親権者を定められた日			離婚の成立日・確定日				離婚種別≠1(協議以外)の場合、 離婚の成立日・確定日を設定 上記以外は、未設定
	親権者となった日～親権停止の審判取消しの裁判確定日 は省略							
	親権者 資格			――――				未成年者nの親権者指定区分が 1の場合:「父」 2の場合:「母」 3の場合:「養父」 4の場合:「養母」を設定
	資格名称							
	氏名			未成年者nの養父の氏名 未成年者nの養母の氏名				未成年者nの親権者指定区分が 3の場合:未成年者nの養父の氏名 4の場合:未成年者nの養母の氏名 その他の場合:スペース を設定
	親権喪失～親権停止取消 は省略							
届出	届出日			受領日				離婚の種別≠1(協議以外)のときのみ
	届出人1 資格			――――				離婚の種別＝1(協議)の場合 次頁の編集条件を参照 離婚の種別≠1(協議以外)の場合 スペースを設定
	資格名称							
	氏名			――――				

50141

051

第 2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(離婚届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成22年 3月 1日	13	25−1／29

処理名	6.1 身分事項(変動なし)の編集・出力 1-1/1	(受取側) 中間ファイル(仮戸籍)身分事項	←	(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側					引渡側					
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称			記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.，	備考
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項		届出人2	資格		中間ファイル (届書)	――――					離婚の種別＝1(協議)の場合 次頁の編集条件を参照 離婚の種別≠1(協議以外)の場合 スペースを設定
			資格名称								
			氏名			――――					
		記録嘱託日				――――					
	送付	送付を受けた日				――――					
		受理者				――――					
	許可	許可日				――――					
		許可書謄本の送付を受けた日				――――					
		許可を受けた者				――――					
	従前の記録	従前の記録				――――					
	記録	記録日				処理日					
	特記	特記事項				――――					

50141-2

051−1

第23(4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(離婚届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成22年 3月 1日	13	25−2／29

処理名 補足説明(親権事項の届出人の資格編集条件)

☆親権事項中、届出人資格を以下の条件により設定する。

親権者指定区分	養父母欄の条件 ＊1		届出人資格1	届出人氏名1	届出人資格2	届出人氏名2
1 (父)	養母＝スペース？	YES	【父母】			
		N O	【父】		【養母】	未成年者の養母の氏名n
2 (母)	養父＝スペース？	YES	【父母】			
		N O	【養父】	未成年者の養父の氏名n	【母】	
3 (養父)	養母＝スペース？	YES	【養父】	未成年者の養父の氏名n	【母】	
		N O	【養父】	未成年者の養父の氏名n	【養母】	未成年者の養母の氏名n
4 養母)	養父＝スペース？	YES	【父】		【養母】	未成年者の養母の氏名n
		N O	【養父】	未成年者の養父の氏名n	【養母】	未成年者の養母の氏名n

＊1:未成年者の子側の養父母欄を示す

50143

第2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(離婚届)	システム化調査研究会	平成6年12月1日	平成10年 2月27日	2	26／29

処理名	7.1 夫　編集・出力 1／2	(受取側) 中間ファイル(9条2項)／(夫) ← (引渡側) 中間ファイル (届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.，	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
中間ファイル (9条2項) 夫	受領番号		中間ファイル (届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード			住所コード				市町村部分だけのコード
	宛名							市区町村を宛名に変換した項目
	事件コード							10(離婚届)
	受理日			受領日 or 送付日				送付日がない場合受領日を設定
	個人番号			個人番号				本籍人の場合は個人番号を設定
	新氏名			夫の漢字氏名 又は 新筆頭者の氏+夫の名				戸籍変動区分＝1，2の時 新筆頭者の氏＋夫の名 戸籍変動区分≠1,2 の時夫の漢字氏名
	旧氏名			夫の漢字氏名				
	新生年月日			夫の生年月日				
	旧生年月日			夫の生年月日				
	新父母との続柄			夫の父母との続柄コード				
	旧父母との続柄			夫の父母との続柄コード				
	新本籍コード			新本籍コード				戸籍変動区分＝1，2の時 新本籍
	新本籍			新本籍				戸籍変動区分≠1，2の時 本籍
	旧本籍コード			本籍コード				
	旧本籍			本籍				
	新筆頭者			夫の漢字氏名				戸籍変動区分＝1，2の時 新筆頭者 上記以外の時 夫の漢字氏名
	旧筆頭者			夫の漢字氏名 又は 妻の漢字氏名				夫の筆頭者区分＝1の時 夫の漢字氏名 上記以外の時 妻の漢字氏名
	住所コード			夫の住所コード				
	住所			夫の住所				
	方書							
	住定日							

053

第2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認（離婚届）	システム化調査研究会	平成６年１２月　１日	平成　年　月　日	1	２７／２９

処理名　7.1 夫　　編集・出力　2/2　　（受取側）中間ファイル（9条2項）／（夫）　　←（引渡側）中間ファイル（届書）

受取側			引渡側			コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Ｚ９．，	備考
ＤＢ・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	ＤＢ・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
中間ﾌｧｲﾙ(9条2項)（夫）	住民日		中間ﾌｧｲﾙ（届書）					
	世帯主			夫の世帯主				
	世帯主との続柄							

第23(4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(離婚届)	システム化調査研究会	平成6年12月1日	平成10年 2月27日	2	28／29

処理名	7.2 妻　編集・出力 1／2	(受取側) 中間ファイル(9条2項)／(妻) ← (引渡側) 中間ファイル (届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.，	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (9条2項) 妻	受領番号		中間ファイル (届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード			住所コード				市町村部分だけのコード
	宛名							市区町村を宛名に変換した項目
	事件コード							10(離婚届)
	受理日			受領日 or 送付日				送付日がない場合受領日を設定
	個人番号			個人番号				本籍人の場合は個人番号を設定
	新氏名			妻の漢字氏名 又は 新筆頭者の氏+妻の名				戸籍変動区分=3, 4の時 新筆頭者の氏+妻の名 戸籍変動区分≠3,4の時妻の漢字氏名
	旧氏名			妻の漢字氏名				
	新生年月日			妻の生年月日				
	旧生年月日			妻の生年月日				
	新父母との続柄			妻の父母との続柄コード				
	旧父母との続柄			妻の父母との続柄コード				
	新本籍コード			新本籍コード				戸籍変動区分=3, 4の時 新本籍
	新本籍			新本籍				戸籍変動区分≠3, 4の時 本籍
	旧本籍コード			本籍コード				
	旧本籍			本籍				
	新筆頭者			妻の漢字氏名				戸籍変動区分=3, 4の時 新筆頭者 上記以外の時 妻の漢字氏名
	旧筆頭者			夫の漢字氏名 又は 妻の漢字氏名				妻の筆頭者区分=1の時 妻の漢字氏名 上記以外の時 夫の漢字氏名
	住所コード			妻の住所コード				
	住所			妻の住所				
	方書							
	住定日							

第2章 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認（離婚届）	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	29／29

処理名　7.2 妻　編集・出力 2/2　　（受取側）中間ファイル（9条2項）／（妻）　←（引渡側）中間ファイル（届書）

受取側			引渡側			コード変換有無	出力形態	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	Z9.，	
中間ﾌｧｲﾙ(9条2項)（妻）	住民日		中間ﾌｧｲﾙ（届書）					
	世帯主			妻の世帯主				
	世帯主との続柄							

第23(4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(離婚届)	システム化調査研究会	平成6年12月1日	平成11年 3月1日	2.1	29-1／29

処理名	8.1夫　編集・出力　1／2	(受取側) 中間ファイル(30条の12第1項)／夫 ← (引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無	出力形態	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	サ=サブルーチン	Z9.,	
中間ファイル (30条の12第1項) 夫	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード		附票データベース	在外選挙人名簿登録市区町村コード				市区町村部分だけのコード
	宛名							市区町村を宛名に変換した項目
	事件コード		中間ファイル(届書)					10(離婚)
	受理日			送付日又は受領日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号			個人番号				
	新氏名			夫の漢字氏名 又は新筆頭者の氏＋夫の名				戸籍変動区分＝1, 2の時 新筆頭者の氏＋夫の名 戸籍変動区分≠1, 2の時 夫の漢字氏名
	旧氏名			夫の漢字氏名				
	新生年月日			夫の生年月日				
	旧生年月日			夫の生年月日				
	新性別							夫の父母との続柄を性別に変換して性別コードを設定
	旧性別							
	新本籍コード			新本籍コード				戸籍変動区分＝1, 2の時 新本籍
	新本籍			新本籍				戸籍変動区分≠1, 2の時 本籍
	旧本籍コード			本籍コード				
	旧本籍			本籍				
	新筆頭者			夫の漢字氏名				戸籍変動区分＝1, 2の時 新筆頭者 上記以外の時 夫の漢字氏名
	旧筆頭者			夫の漢字氏名 又は妻の漢字氏名				夫の筆頭者区分 ＝1 の時 夫の漢字氏名 上記以外の時 妻の漢字氏名

第23(4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(離婚届)	システム化調査研究会	平成6年12月1日	平成11年 3月1日	2.1	29-2／29

処理名	8.1夫　編集・出力　2／2	(受取側) 中間ファイル(30条の12第1項)／夫 ← (引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.，	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
中間ファイル (30条の12第1項) 夫	住所コード		中間ファイル(届書)					
	住所							
	方書							
	転入届出日							
	住民日							
	世帯主			夫の世帯主				
	世帯主との続柄							

第23(4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(離婚届)	システム化調査研究会	平成6年12月1日	平成11年 3月1日	2.1	29-3／29

処理名	8.2妻　編集・出力　1／2	(受取側) 中間ファイル(30条の12第1項)／妻	←	(引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード	出力形態	備考
DB・ファイル名	項目		DB・ファイル名	項目		変換有無		
画面名称	名称	記号名	画面名称	名称	記号名	ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	Z9.，	
中間ﾌｧｲﾙ	受領番号		中間ﾌｧｲﾙ(届書)	受領番号				
(30条の12第1項)	出張所番号			出張所番号				
妻	市区町村コード		附票データベース	在外選挙人名簿登録市区町村コード				市区町村部分だけのコード
	宛名							市区町村を宛名に変換した項目
	事件コード		中間ﾌｧｲﾙ(届書)					10(離婚)
	受理日			送付日又は受領日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号			個人番号				
	新氏名			妻の漢字氏名　又は新筆頭者の氏＋妻の名				戸籍変動区分＝3,4 の時 新筆頭者の氏＋妻の名 戸籍変動区分≠3,4 の時 妻の漢字氏名
	旧氏名			妻の漢字氏名				
	新生年月日			妻の生年月日				
	旧生年月日			妻の生年月日				
	新性別							妻の父母との続柄を性別に変換して性別コードを設定
	旧性別							
	新本籍コード			新本籍コード				戸籍変動区分＝3,4 の時 新本籍
	新本籍			新本籍				戸籍変動区分≠3,4 の時 本籍
	旧本籍コード			本籍コード				
	旧本籍			本籍				
	新筆頭者			夫の漢字氏名　又は妻の漢字氏名				戸籍変動区分＝3,4 の時 新筆頭者 上記以外の時 妻の漢字氏名
	旧筆頭者			夫の漢字氏名　又は妻の漢字氏名				妻の筆頭者区分＝1 の時 妻の漢字氏名 上記以外の時 夫の漢字氏名

第2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(離婚届)	システム化調査研究会	平成6年12月1日	平成11年 3月1日	2.1	29-4/29

処理名	8.2妻 編集・出力 2/2	(受取側) 中間ファイル(30条の12第1項)/妻 ← (引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード	出力形態	備考
DB・ファイル名	項目		DB・ファイル名	項目		変換有無		
画面名称	名称	記号名	画面名称	名称	記号名	サ=サブルーチン	Z9.,,	
中間ファイル	住所コード		中間ファイル(届書)					
(30条の12第1項)	住所							
妻	方書							
	転入届出日							
	住民日							
	世帯主			妻の世帯主				
	世帯主との続柄							

第7.2.(5)「異動」処理

10.７７条の２届

標準仕様書修正履歴

平成１０年２月

項番	業務（届書）名	修正内容	ページ	添付資料NO
1	第7.2.(5).10 (77条の2届)	1．システム処理の概要説明 （1）その他の追加 ・配偶者の随従入籍を伴う場合、配偶者の９条２項ファイルに住所、世帯主は設定されない。９条２項通知は運用にて対処する。 2．審査 （1）関連チェック ・NO.10-1　追加 受領日と離婚年月日の大小チェック （2）本籍人の場合に事件本人の禁治産者審査を追加 （3）中間ファイル編集（届書）修正 ・指示日、許可日の編集を削除 3．入力確認 （1）中間ファイル編集（仮受付） ・許可日の編集を削除 ・筆頭者項目及び編集条件を追加 （2）配偶者の身分事項（除籍）の編集 ・タイトルコード編集の修正 １１０１ → １１０２ （3）配偶者の身分事項（入籍）の編集 ・タイトルコード編集の修正（誤植） １１０１ → １１０２ （4）中間ファイル編集（婚氏続称者：９条２項） ・受理日編集条件修正 （5）中間ファイル編集（配偶者：９条２項） ・受理日編集条件修正	001 005 006,007, 008 009 018 020 025 026 027 029	

標準仕様書修正履歴

平成１１年３月

項番	業務（届書）名	修正内容	ページ	添付資料NO.
1	第７．２．（５）．１０ （77条の２届）	公職選挙法改正によるシステムの対応（サンプル提示） １．入力確認 （１）システム環境仕様書 ・詳細フロー及び使用ＤＢ・ファイル一覧に入力ファイルとして附票データベース、出力ファイルとして中間ファイル（30条の12第１項）を追加 ・処理概要、機能体系に中間ファイル（30条の12第１項）の編集に関する記述を追加 ・詳細フロー内の入力確認画面以降の処理名の訂正 「審査（77条の2）」→「入力確認（77条の2）」 「確認画面（77条の2）」→「処分決定（77条の2）」 （２）要件定義ワークシート ・本紙の処理内容における婚氏続称者（事件本人）が在外選挙人の場合の中間ファイル（30条の12第１項）の編集・出力処理 の追加 （３）データ編集表 ・中間ファイル編集（30条の12第１項）の婚氏続称者（事件本人）に関して新規追加	012 013, 013-1 030-1	

標準仕様書修正履歴

平成11年3月

項番	業務(届書)名	修正内容	ページ	添付資料NO
1	第7.2.(5).10 (77条の2届)	1.審査 (1)届出期間の審査修正 ・備考欄に「民767Ⅱ」,「民140～143」を追加	006	

標準仕様書修正履歴

平成12年3月

項番	業務(届書)名	修正内容	ページ	添付資料NO
1	第7. 2. (5). 10 (77条の2届)	1. 審査 (1)戸籍法32条第2項が廃止されることによる審査の削除 ・事件本人が禁治産者の場合の確認メッセージ削除 審査(3−1)～(3−7), (8−1)～(8−6)	006	

標準仕様書修正履歴

平成14年3月

項番	業務(届書)名	修正内容	ページ	添付資料NO
1	第7.2.(5).10 (77条の2届)	1.確認 (1)データ編集表4.4 戸籍事項 ・戸籍事項と身分事項が存在する届出の戸籍事項中の記録日については、処理日を移送しない。	024	

標準仕様書修正履歴

平成15年3月

項番	業務(届書)名	修正内容	ページ	添付資料NO
1	第7.2.(5).10 (77の2届)	1.住所・世帯主関連チェック (1)2.0関連チェック No.14に住所・世帯主の関連チェックを追加	005	

標準仕様書修正履歴

平成１８年３月

項番	業務(届書)名	修正内容	ページ	添付資料NO
1	第7. 2. (5). 10 (77の2届)	1. 3. 0 審査 (1) 審査(8) 審査の分岐基準を"本非区分"から"事件本人の本籍"に変更した。 それにともない"YES","NO"の判断基準に変更した。 (2) 審査(9)(46) 備考欄に『※同籍者区分「他構成員」に除籍筆頭者 は含まない。 (筆頭者区分＝0のみ)』を追加した。	006～008 006, 008	

標準仕様書修正履歴

平成１９年３月

項番	業務(届書)名	修正内容	ページ	添付資料NO
1	第7. 2. (5). 10 (77の2届)	1. 要件定義ワークシート (1) 3. 0審査 受理日と送付日が同一の場合の審査を追加	006	

標準仕様書修正履歴

版数:12.0
平成20年3月

項番	業務(届書)名	修正内容	ページ	添付資料NO
1	第7.2.(5).10 (77の2届)	1.本非区分関連チェック (1)2.0関連チェック No.10-2，10-3 に本非区分の関連チェックを追加	005	

50161

標 準 仕 様 書 修 正 履 歴

版数:18　1／1
平成27年3月

項番	業務(届書)名	修　正　内　容	ページ	添付資料NO
1	第7．2．(5)．10 (77の2届)	1．標準仕様書見直しによるシステムの対応 (1)2．0関連チェック No.15に氏の同一確認のための関連チェックを追加	005	

50161-2

標 準 仕 様 書 修 正 履 歴

版数:19　1／1
平成28年3月

項番	業務(届書)名	修　正　内　容	ページ	添付資料NO
1	第7．2．(5)．10 (77の2届)	1．標準仕様書見直しによるシステムの対応 6．1婚氏続称者　編集・出力　1/2 変更後の筆頭者を設定する際に筆頭者のみの場合は 「変更後の筆頭者」を入力しないため、新筆頭者が設定されない ため、引渡側データを修正	027	

50161-3

標 準 仕 様 書 修 正 履 歴

版数:20　1／1
平成29年3月

項番	業務(届書)名	修　正　内　容	ページ	添付資料NO
1	第7．2．(5)．10 (77の2届)	1．標準仕様書見直しによるシステムの対応 (1)2．0関連チェック (婚氏25) No.8のチェックを変更 処理日の入力について受領日と同一日付の場合エラーとする (婚氏26) No.15のチェックを変更 変更後の筆頭者≠スペースであることを条件に追加 (3)6．1婚氏続称者　編集・出力　1/2 (婚氏27) 氏変更後は、氏変更者が筆頭者であるため、 引渡側データを修正	005 005 027	

標 準 仕 様 書 修 正 履 歴

版数:21　1／1
平成30年3月

項番	業務(届書)名	修　正　内　容	ページ	添付資料NO
1	第7．2．(5)．10 (77の2届)	1．標準仕様書見直しによるシステムの対応 (1)2．0関連チェック (婚氏29) 関連チェックにおいて、住所と世帯主のチェックに、 「住所＝スペースの時、世帯主＝スペースであること」を追加 (2)3．0審査 (婚氏28) 審査(0-1)のNOの分岐先に誤記があるため修正 審査(0-2)のYES,NO応答後の処理内容が逆になっているため修正 誤記を修正(本誌→本紙)	005 006	

標 準 仕 様 書 修 正 履 歴

版数:22　1／1
平 成 31 年 3 月

項番	業務(届書)名	修　正　内　容	ページ	添付資料NO
1	第7．2．(5)．10 (77の2届)	1．標準仕様書見直しによるシステムの対応 (1)2．0関連チェック (婚氏31) 関連チェックにおいて、 「現漢字氏名の「名」=変更後の筆頭者の「名」であること」を追加 (2)3．0審査 (婚氏32) 審査(1)の条件について、計算式を修正 (3)6．2配偶者 編集・出力 1/2 (婚氏30) 配偶者について、氏変更者と同様の編集内容となるため、 引渡側データを氏変更者と一致するように修正 (4)7．1婚氏続称者　編集・出力　1/1 (婚氏30) 30条12第1項について、9条2項と同様の編集内容となるため、 引渡側データを9条2項の氏変更者と一致するように修正	005 006 029 030	

50161-6

第23(1)	システム処理の概要説明	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		77条の2届	システム化調査研究会	平成6年12月1日	平成10年 2月27日	2	1/1

1. 77条の2届処理範囲外の処理

(1)離婚の届出と同時に77条の2の届出をした場合

(2)非本籍地から本籍地における配偶者の随従入籍を伴う場合

(3)構成員の父母(養父母)欄更正処理

上記(1)～(3)は、別に処理方法を考慮する。

2. 77条の2届入力画面の意義

(1)婚氏続称当事者の各項目を入力する。

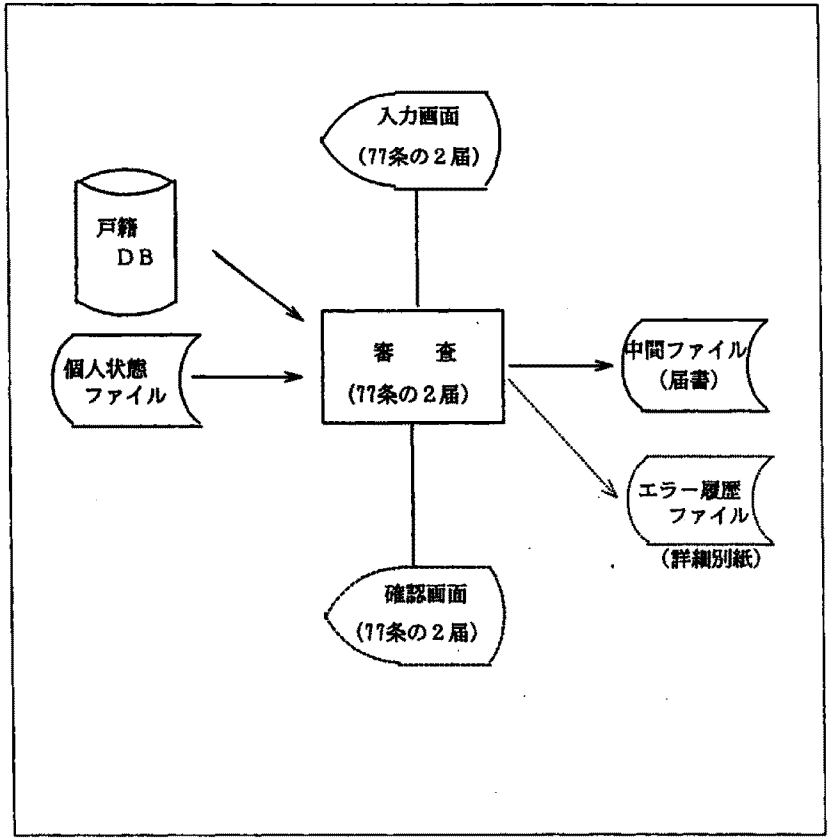
3. その他

(1)配偶者の随従入籍を伴う場合は配偶者の9条2項ファイルに住所及び世帯主は設定されない。

9条2項通知は運用で対処する。

第２３（２）	システム環境仕様書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査（７７条の２届）	システム化調査研究会	平成６年１２月　１日	平成　年　月　日	1	1／8

1．詳細フロー



2．使用ＤＢ・ファイル一覧

名　　称	入出力区分	名　　称	入出力区分
戸籍ＤＢ	入　力		
個人状態ファイル	入　力		
中間ファイル	出　力		
エラー履歴ファイル	出　力		

3．処理概要

（１）７７条の２届の内容を画面入力する。
（２）７７条の２届で入力された項目の単体チェックを行う。
（３）７７条の２届で入力された項目の関連チェックを行う。
（４）審査を行う。
（５）７７条の２届から中間ファイル（届書）を編集・出力する。
（６）入力確認（７７条の２届）に制御を渡す。

4．機能体系（要件定義書の構成）

0.0 本紙
- 1.0 データチェック（単体表）
- 2.0 データチェック（関連表）
- 3.0 審査
- 4.0 データ編集表（中間ファイル／届書）

5．備考（特記事項含む）

（１）届出有効期間について
離婚年月日＋３箇月が閉庁日の場合は、翌開庁日として判定

第2(3)(8)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査（７７条の２届）	システム化調査研究会	平成６年１２月　１日	平成　年　月　日	1	2／8

処理名	0．0　本紙（７７条の２届）						備考
（1）届書内容を画面入力する						／	
（2）キー選択（実行キー，ＰＦ1，ＰＦ2，ＰＦ10，ＰＦ11，ＰＦ12，その他）						／	
実行キー	（3）入力項目の単体チェック（OK:YES，NG:NO）				〔1．0〕	／	
	ＹＥＳ	（4）入力項目の関連チェック（OK:YES，NG:NO）			〔2．0〕	／	
		ＹＥＳ	（5）画面の入力項目を全て入力禁止とする			／	
			（6）審査(OK:YES,NG:NO)		〔3．0〕	／	
			ＹＥＳ	（7）中間ファイル（届書）編集出力	〔4．0〕		(7)入力確認画面に制御を渡す
			ＮＯ	（9）メッセージの種類（審査ｴﾗｰ，確認）		／	
				審査ｴﾗｰ	（10）エラーメッセージを表示する		(12)同画面を編集する
				確　認	（11）確認メッセージを表示し、メッセージに対して応答の後、以降の審査を続行する		
		ＮＯ	（13）エラーメッセージを表示する				
	ＮＯ						
ＰＦ1	→						(14)業務選択に制御を渡す
ＰＦ2	→						(15)届出選択に制御を渡す
ＰＦ10	（16）画面の入力項目の入力禁止を解除する						(17)同画面を編集する
ＰＦ11	（18）当該審査エラーの確認後、以降の審査を続行する						
ＰＦ12	（19）入力画面を初期化する						
その他	（20）エラーメッセージ　「無効なキーが入力されました。」を表示する						

備考
メッセージをエラー履歴に出力する
メッセージと応答をエラー履歴に出力する
入力項目が入力禁止の時のみ有効
審査エラー発生時のみ有効

50165

第２（３５）	データチェック（単体表）	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査（７７条の２届）	システム化調査研究会	平成６年１２月　１日	平成　年　月　日	1	３／８

処理名	画面名	画面ＩＤ	
１．０　単体チェック	７７条の２届		

Ｎｏ	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
１	出張所NO		数字		「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
２	受領NO		数字				
３	受領日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
４	送付日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
５	発送元		漢字				
６	在外送付区分	○	数字	（０：受理分，１：国内からの送付，２：在外公館の直接送付，３：在外公館の国内経由）であること			
７	処理日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
８	本非区分	○	数字	（１：本籍，２：非本籍）であること			
９	郵送日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
１０	現カナ氏名	○	カナ				
１１	現漢字氏名	○	漢字				
１２	生年月日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
１３	筆頭者区分	○	数字	（０：構成員，１：筆頭者）であること			
１４	配偶者区分	○	数字	（０：未，１：夫，２：妻，３：生存配偶者）であること			
１５	同籍者区分	○	数字	（０：無，１：配偶者のみ，２：配偶者＋他構成員，３：他構成員のみ）であること			
１６	離婚年月日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
１７	住所		漢字				
１８	世帯主		漢字				
１９	本籍	○	漢字				
２０	筆頭者	○	漢字				
２１	変更後のカナ氏	○	カナ				
２２	変更後の漢字氏	○	漢字				
２３	変更後の本籍		漢字				
２４	変更後の筆頭者		漢字				

004

第 2 3 (6)	データチェック(関連表)	作　業　名	作　成　者	作　成　日　付	改　訂　日　付	版	頁
		審査(77条の2届)	システム化調査研究会	平成　6年12月　1日	平成31年　3月31日	22	4／8

処　理　名	画　面　名	画　面　Ｉ Ｄ
2．0　関連チェック	77条の2届	

No	内　容	出力エラーメッセージ	エラーコード	備　考
1	(No.4)送付日≠スペースの時、(No.4)送付日≧(No.3)受領日であること	「関連エラーがあります。正しく入力してください。」		
2	(No.4)送付日＝スペースの時、(No.5)発送元＝スペースであること			
3	(No.4)送付日≠スペースの時、(No.5)発送元≠スペースであること			
4	(No.4)送付日＝スペースの時、(No.6)在外送付区分＝0:受理分であること			
5	(No.5)発送元≠スペースの時、(No.6)在外送付区分≠0:受理分であること			
6	(No.5)発送元≠スペースかつ　(No.5)発送元の最終文字が「市」「区」「町」「村」「長」の時、 (No.6)在外送付区分＝1:国内からの送付であること			
7	(No.5)発送元≠スペースかつ　(No.5)発送元の最終文字が「市」「区」「町」「村」「長」以外の時、 (No.6)在外送付区分＝2:在外公館の直接送付　または (No.6)在外送付区分＝3:在外公館の国内経由　であること			
8	(No.7)処理日≠スペースの時、(No.7)処理日＞(No.3)受領日であること			
9	(No.9)郵送日≠スペースの時、(No.9)郵送日≦(No.3)受領日であること			
10	(No.9)郵送日≠スペースの時、(No.9)郵送日≧(No.16)離婚年月日であること			
10-1	(No.3)受領日≧(No.16)離婚年月日であること			
10-2	(No.8)本非区分＝1(本籍) のとき、 (No.19)本籍＝管内　または　(No.23)変更後の本籍＝管内　であること			
10-3	(No.8)本非区分＝2(非本籍) のとき、 (No.19)本籍＝管外　かつ　(No.23)変更後の本籍＝管外　であること			
11	(No.23)変更後の本籍＝スペースの時、(No.24)変更後の筆頭者＝スペースであること			
12	(No.23)変更後の本籍≠スペースの時、(No.24)変更後の筆頭者≠スペースであること			
13	(No.14)配偶者区分＝1または2の時、(No.15)同籍者区分＝1または2であること			
14	(No.18)世帯主≠スペースの時、(No.17)住所≠スペースであること			
14-1	(No.17)住所＝スペースの時、(No.18)世帯主＝スペースであること			
15	(No.24)変更後の筆頭者≠スペースの時、 (No.22)変更後の氏=(No.24)変更後の筆頭者の「氏」であること			
16	(No.24)変更後の筆頭者≠スペースの時、 (No.11)現漢字氏名の「名」=(No.24)変更後の筆頭者の「名」であること			

第２３(３)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査（７７条の２届）	システム化調査研究会	平成　６年１２月　１日	平成３１年　３月３１日	22	５／８

処理名	３．０　審査　（１／３）			備考
(0-1)受領日＝送付日である（ＹＥＳ，ＮＯ）				
ＹＥＳ	(0-2)確認メッセージ「受領日と送付日が同一です。処理してよろしいですか？」（ＹＥＳ，ＮＯ）			
ＹＥＳ	ＹＥＳ (0-3)→(1)へ			
ＹＥＳ	ＮＯ (0-4)→		(0-5)本紙へ	画面項目修正(審査完了しない)
ＮＯ	(0-6)→(1)へ			
(1)（離婚年月日＋１日）＋３箇月＞受領日である　（ＹＥＳ，ＮＯ）		／		民７６７Ⅱ，民１４０～１４３
ＹＥＳ	(2)現在の氏≠変更後の氏である　（ＹＥＳ，ＮＯ）	／		
ＹＥＳ	ＹＥＳ (3)筆頭者区分　（０：構成員，１：筆頭者）	／		(3-1) ～ (3-7)は削除
ＹＥＳ	ＹＥＳ ０ (3-1)	／		
ＹＥＳ	ＹＥＳ ０ (3-2)	／		
ＹＥＳ	ＹＥＳ ０ (3-3)			
ＹＥＳ	ＹＥＳ ０ (3-4)			
ＹＥＳ	ＹＥＳ ０ (3-5)		(3-7)	
ＹＥＳ	ＹＥＳ ０ (3-6)			
ＹＥＳ	ＹＥＳ ０ (4)変更後の本籍に記録がある　（ＹＥＳ，ＮＯ）	／		
ＹＥＳ	ＹＥＳ ０ ＹＥＳ (5)　→		(6)　本紙へ	
ＹＥＳ	ＹＥＳ ０ Ｎ　Ｏ (7)エラーメッセージ「変更後の本籍を入力してください。」を表示			
ＹＥＳ	ＹＥＳ １ (8)事件本人の本籍は管内である　（ＹＥＳ，ＮＯ）	／		(8-1) ～ (8-6)は削除
ＹＥＳ	ＹＥＳ １ ＹＥＳ (8-1)	／		
ＹＥＳ	ＹＥＳ １ ＹＥＳ (8-2)			
ＹＥＳ	ＹＥＳ １ ＹＥＳ (8-3)			
ＹＥＳ	ＹＥＳ １ ＹＥＳ (8-4)		(8-6)	
ＹＥＳ	ＹＥＳ １ ＹＥＳ (8-5)			
ＹＥＳ	ＹＥＳ １ (9)同籍者区分　（０：無，１：配偶者のみ，２：配偶者＋他構成員，３：他構成員のみ）	／		※同籍者区分「他構成員」に除籍筆頭者は含まない。（筆頭者区分＝０のみ）
ＹＥＳ	ＹＥＳ １ １ (10)配偶者―個人除区分　（０：在籍者，その他）	／		

第23(3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査（77条の2届）	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成19年 3月 1日	11	5-2／8

処理名		3.0 審査 (2／3)									備考
YES	YES	1	YES	1	0	(11)変更後の本籍に記録がある (YES, NO)		／			
						YES	(12) →		(13) 本紙へ		
						NO	(14)エラーメッセージ「変更後の本籍を入力してください。」を表示				
YES	YES	1	YES	1	その他	(15)変更後の本籍に記録がある (YES, NO)		／			
						YES	(16)エラーメッセージ「新しい本籍は作れません。」を表示		(17) 本紙へ		
						NO	(18) →				
				2		(19)配偶者—個人除区分 (0：在籍者, その他)		／			
					0	(20)変更後の本籍に記録がある (YES, NO)		／			
						YES	(21) →		(22) 本紙へ		
						NO	(23)エラーメッセージ「変更後の本籍を入力してください。」を表示				
					その他	(24)構成員—個人除区分 (0：在籍者, その他)		／			
						0	(25)変更後の本籍に記録がある (YES, NO)	／			
							YES (26) →		(27) 本紙へ		
							NO (28)エラーメッセージ「変更後の本籍を入力してください。」を表示				
						その他	(29)変更後の本籍に記録がある (YES, NO)	／			
							YES (30)エラーメッセージ「新しい本籍は作れません。」を表示		(31) 本紙へ		
							NO (32) →				
				3		(33)構成員—個人除区分 (0：在籍者, その他)		／			
					0	(34)変更後の本籍に記録がある (YES, NO)		／			
						YES	(35) →		(36) 本紙へ		
						NO	(37)エラーメッセージ「変更後の本籍を入力してください。」を表示				
					その他	(38)変更後の本籍に記録がある (YES, NO)		／			
						YES	(39)エラーメッセージ「新しい本籍は作れません。」を表示		(40) 本紙へ		

第23(3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査（77条の2届）	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成19年 3月 1日	11	5-3／8

処理名									備考
		3．0 審査 （3／3）							
YES	YES	1	YES	3		NO (41) →			
				0	(42)変更後の本籍に記録がある （YES，NO）		／		
YES	YES	1	YES	0	YES	(43)エラーメッセージ「新しい本籍は作れません。」を表示		(44) 本紙へ	
					NO	(45) →			
			NO	(46)同籍者区分 （0：無，1：配偶者のみ，2：配偶者＋他構成員，3：他構成員のみ）			／		※同籍者区分「他構成員」に除籍筆頭者は含まない。（筆頭者区分＝0のみ）
				0	(47)変更後の本籍に記録がある （YES，NO）		／		
					YES	(48)エラーメッセージ「新しい本籍は作れません。」を表示		(49) 本紙へ	
					NO	(50) →			
				1，2	(50-1)変更後の本籍≠スペース かつ 変更後の本籍＝管内 （YES，NO）		／		
					YES	(51)エラーメッセージ「審査結果入力で処理して下さい。」を表示		(51-1) 本紙へ	
					NO	(51-2) →			
				3	(52)変更後の本籍に記録がある （YES，NO）		／		
					YES	(53) →		(54) 本紙へ	
					NO	(55)エラーメッセージ「変更後の本籍を入力してください。」を表示			
	NO	(56)エラーメッセージ「変更後の氏に誤りがあります。再入力して下さい。」を表示						(57) 本紙へ	
NO	エラーメッセージ「届出有効期間（3箇月以内）を経過しています。」を表示								

第2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査(77条の2届)	システム化調査研究会	平成6年12月1日	平成10年 2月27日	2	6／8

処理名	4.0 中間ファイル(届書)編集・出力 1/3	(受取側) 中間ファイル(届書)／共通	←	(引渡側) 入力画面(77条の2届)

受取側			引渡側			コード	出力形態	
DB・ファイル名	項目		DB・ファイル名	項目		変換有無		備考
画面名称	名称	記号名	画面名称	名称	記号名	ｻ=ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	Z9.，	
中間ﾌｧｲﾙ(届書)	受領番号		77条の2届	受領No				
共通	選択事件コード		入力画面	———				「11」をセット
	出張所番号			支所No				
	受領日			受領日				
	送付日			送付日				
	発送元			発送元				
	在外送付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日				
	指示日			———				
	許可日			———				
	受理送付区分			———				在外送付区分＝0の時、1 在外送付区分≠0の時、2
	本非区分			本非区分				
	郵送日			郵送日				
	動態区分			———				ZERO(不要)
	届区分			———				1(創設)
	渉外区分			———				0:日本人
	同時決裁受領番号			———				
	ロック戸籍番号(1)			戸籍番号				本籍人の時、婚氏続称者の戸籍番号
	ロック戸籍番号(2)			———				
	ロック戸籍番号(3)			———				
	ロック戸籍番号(4)			———				
	ロック戸籍番号(5)			———				
	事件別内容			———				3／3参照

600

第2(3)(4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査（７７条の２届）	システム化調査研究会	平成６年１２月　１日	平成　年　月　日	1	7／8

処理名	4.0 中間ファイル（届書）編集・出力 2／3	（受取側）中間ファイル（届書）	← （引渡側）７７条の２届入力画面

受取側			引渡側			コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z９．，	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
中間ファイル（届書）共通	不受理申出処分区分		７７条の２届入力画面	――――				
	処分区分			――――				審査の結果により、１＝受理または２＝不受理をセットする。＊
	決裁区分			――――				ZERO
	届書排他区分			――――				０：未　１：排他

＊審査において一つでもエラーがある場合は不受理とする。

50172

第２３（４）	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査（７７条の２届）	システム化調査研究会	平成６年１２月　１日	平成　年　月　日	1	8／8

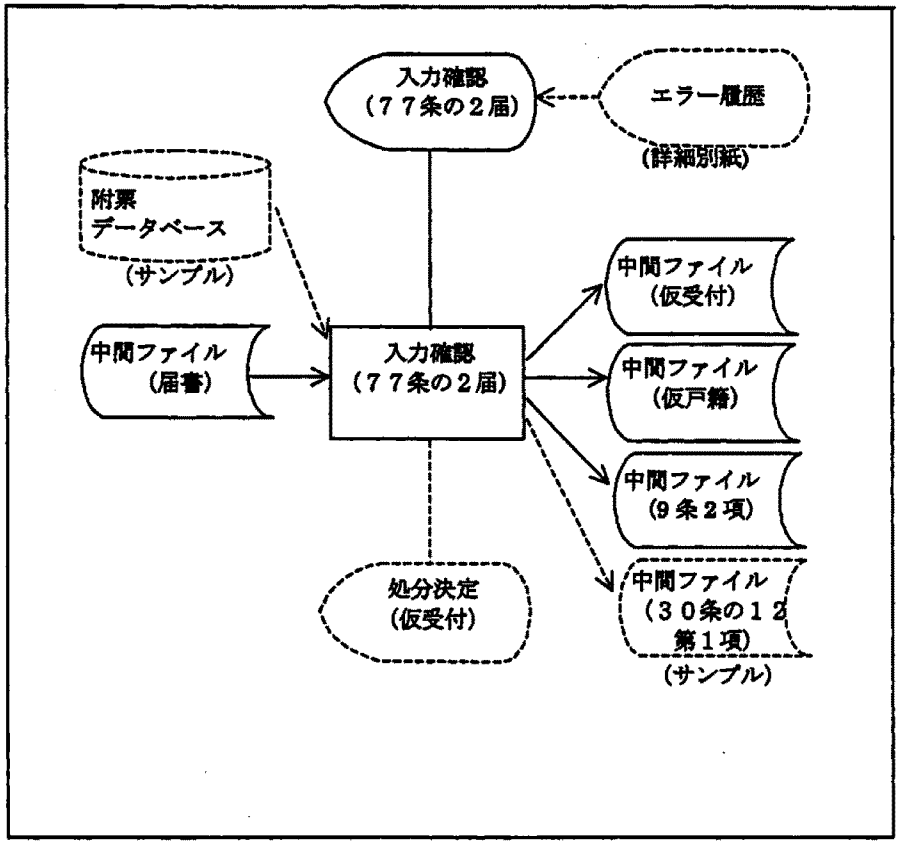
処理名	4.0 中間ファイル（届書）編集・出力 3／3	（受取側）中間ファイル(届書)／事件別内容	←（引渡側）入力画面（７７条の２届）

受取側			引渡側			コード変換有無	出力形態	備考
DB・ファイル名	項目		DB・ファイル名	項目				
画面名称	名称	記号名	画面名称	名称	記号名	ｻｰｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	Z9.，	
中間ﾌｧｲﾙ（届書）	婚氏続称者個人番号							本籍人の時、個人番号を設定
事件別内容	カナ氏名（現）		７７条の２届	現カナ氏名				
	漢字氏名（現）		入力画面	現漢字氏名				
	生年月日			生年月日				
	筆頭者区分			筆頭者区分				
	配偶者区分			配偶者区分				
	同籍者区分			同籍者区分				
	離婚年月日			離婚年月日				
	住所コード			住所				
	住所地番							
	世帯主			世帯主				
	本籍コード			本籍				
	本籍地番							
	筆頭者			筆頭者				
	カナ氏（変更後）			変更後の氏（カナ）				
	漢字氏（変更後）			変更後の氏（漢字）				
	本籍コード（変更後）			変更後の本籍				
	本籍地番（変更後）							
	筆頭者ｶﾅ氏名(変更後)							氏名変換等の入力画面から引用する
	筆頭者（変更後）			変更後の筆頭者				

011

第2 3 (2)	システム環境仕様書	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(77条の2届)	システム化調査研究会	平成6年12月1日	平成11年3月1日	2.1	1/19

1. 詳細フロー



2. 使用DB・ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ファイル (届書)	入力		
中間ファイル (仮受付)	出力		
中間ファイル (仮戸籍)	出力		
中間ファイル (9条2項)	出力		
中間ファイル (30条の12第1項)	出力 (サンプル)		

3. 処理概要

(1) 中間ファイル(届書)より画面表示する。
(2) 戸籍変動状況を確定する。
(3) 中間ファイル(仮受付)を編集・出力する。
(4) 中間ファイル(仮戸籍)を編集・出力する。
(5) 中間ファイル(9条2項)を編集・出力する。
(6) 中間ファイル(30条の12第1項)を編集・出力する。……(サンプル提示)
(7) 処分決定処理に制御を渡す。

4. 機能体系(要件定義書の構成)

- 0.0 本紙
  - 1.0 データ編集表
  - 2.0 戸籍編製マトリックス
  - 3.0 データ編集表(中間ファイル／仮受付)
  - 4.0 データ編集表(中間ファイル／仮戸籍 (婚氏続称者))
    - 4.1 身分事項(除籍)
    - 4.2 身分事項(入籍)
    - 4.3 身分事項(変動なし)
    - 4.4 戸籍事項(77条の2)
  - 5.0 データ編集表(中間ファイル／仮戸籍 (配偶者))
    - 5.1 身分事項(除籍)
    - 5.2 身分事項(入籍)
  - 6.0 データ編集表(中間ファイル／9条2項)
    - 6.1 9条2項(婚氏続称者)
    - 6.2 9条2項(配偶者)
  - 7.0 データ編集表(中間ファイル／30条の12第1項)…(ｻﾝﾌﾟﾙ提示)
    - 7.1 婚氏続称者

5. 備考(特記事項含む)

戸籍事項(77条の2) [4.4] を編集した場合は、その後に戸籍事項(編製) B.1 を作成する。

第23(3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(77条の2届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成11年 3月 1日	2.1	2/19

処理名	0.0 本紙 1/2				備考
	(1) 中間ファイル(届書)の内容を確認画面に出力し、メッセージ「入力項目を確認し、よければ実行キーを押下してください。」を表示する		〔1.0〕	／	
	(2) キー選択(実行キー, PF1, PF2, PF5, PF11, その他)			／	
実行キー	(3) 中間ファイル(届書)の内容から戸籍編製マトリックス表を参照し、事件本人の戸籍変動状況を決定する		〔2.0〕	／	
	(4) 中間ファイル(仮受付)を編集・出力する		〔3.0〕	／	
	(5) 事件本人が本籍人である (YES, NO)			／	
	YES	(6) 事件本人の戸籍の変動状況をもとに中間ファイル(仮戸籍)を編集・出力する		／	
		身分事項(除籍)	(7) 事件本人の除籍事項の編集 〔4.1〕		
		身分事項(入籍)	(8) 事件本人の入籍事項の編集 〔4.2〕		
		身分事項(変動なし)	(9) 事件本人の変動なし事項の編集 〔4.3〕		
		戸籍事項(77条の2)	(10) 事件本人の戸籍事項の編集 〔4.4〕		
		(10-1) 事件本人は在外選挙人である(YES, NO)		／	※サンプル提示
		YES	(10-2) 事件本人について中間ファイル(30条の12第1項)を編集・出力する 〔7.1〕	／	附票情報との連動により在外選挙人関連の対応が戸籍システムで可能な場合
		NO	(10-3) → (11)	／	処理 (10-1)
		(11) 配偶者の戸籍の変動状況をもとに中間ファイル(仮戸籍)を編集・出力する		／	
		身分事項(除籍)	(12) 配偶者の除籍事項の編集 〔5.1〕		
		身分事項(入籍)	(13) 配偶者の入籍事項の編集 〔5.2〕		
	NO	(14) → (15)			
	(15) 在外送付区分=0:受理分 又は 2:在外公館の直接送付である (YES, NO)			／	
	YES	(16) 同籍者区分 (0:無, 3:他構成員のみ, 1:配偶者のみ, 2:配偶者＋他構成員)		／	
		0 or 3	(17) 事件本人について中間ファイル(9条2項)を編集・出力する 〔6.1〕		(18)処分決定に制御を渡す
		1 or 2	(19) 事件本人について中間ファイル(9条2項)を編集・出力する 〔6.1〕		
			(20) 配偶者について中間ファイル(9条2項)を編集・出力する 〔6.2〕		
	NO	→			
PF1	→				(21)業務選択に制御を渡す
PF2	→				(22)届出選択に制御を渡す
PF5	→				(23)審査に制御を渡す
PF11	→				(24)エラー履歴表示に制御を渡す

第2 3 (3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(77条の2届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成11年 3月 1日	2.1	2-1／19

処理名	0.0 本紙 2／2			備考
その他	(25) エラーメッセージ「無効なキーが入力されました。」を表示する		(26)同画面を編集する	

第2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認（77条の2届）	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	3／19

処理名	1.0 確認画面（77条の2届）表示 1/2	（受取側）77条の2届確認画面	← （引渡側）中間ファイル（届書）

受取側			引渡側			コード	出力形態	
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	変換有無 ｻｰｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	Z9.,	備考
77条の2届 確認画面	画面ID			画面ID				
	システム日付			システム日付				
	支所番号		中間ファイル（届書） 共通	出張所番号				
	受領番号			受領番号				
	受領日			受領日		有		
	送付日			送付日		有		
	発送元			発送元				
	在外送付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日		有		
	本非区分			本非区分				
	郵送日			郵送日		有		
	現カナ氏名		中間ファイル（届書） 事件別内容	カナ氏名（現）				
	現漢字氏名			漢字氏名（現）				
	生年月日			生年月日		有		
	筆頭者区分コード			筆頭者区分				
	筆頭者区分名称					有		
	配偶者区分コード			配偶者区分				
	配偶者区分名称					有		
	同籍者区分ｺｰﾄﾞ			同籍者区分				
	同籍者区分					有		
	離婚年月日			離婚年月日				
	住所			住所コード		有		
				住所地番				
	世帯主			世帯主				
	本籍			本籍コード		有		
				本籍地番				

第2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認（77条の2届）	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	4／19

処理名	1.0 確認画面（77条の2届）表示 2/2	（受取側）77条の2届確認画面	←	（引渡側）中間ファイル（届書）

受取側 DB・ファイル名 / 画面名称	項目 名称	項目 記号名	引渡側 DB・ファイル名 / 画面名称	項目 名称	項目 記号名	コード変換有無 ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Z9.，	備考
77条の2届 確認画面	筆頭者		中間ファイル（届書）	筆頭者				
	変更後のカナ氏			カナ氏（変更後）				
	変更後の漢字氏		事件別内容	漢字氏（変更後）				
	変更後本籍			本籍コード（変更後）		有		
				本籍地番（変更後）				
	変更後の筆頭者			筆頭者（変更後）				

第2 3 (7)	補足説明書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認（77条の2届）	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	5／19

処理名　2.0 戸籍マトリックス表　1/2

項番	条件													戸籍の変動			
	婚氏続称者													婚氏続称者の戸籍			新
	本籍		構成		同籍者区分							新戸籍編製		一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動なし A.2 4.4 D.2	戸籍編製 A.1 B.1 4.4 C.1 D.1
	本籍人	非本籍人	筆頭者	構成員	無	配偶者 有り	配偶者 個人除区分 在籍者	配偶者 個人除区分 除籍者	他構成員 有り	他構成員 個人除区分 在籍者	他構成員 個人除区分 除籍者	管内	管外				
1	○		○		○											婚氏続称者 (4.3)	
2	○		○			○	○					○			婚氏続称者 (4.1) 配偶者 (5.1)		婚氏続称者 (4.2) 配偶者 (5.2)
3	○		○			○		○								婚氏続称者 (4.3)	
4	○		○			○	○						○		婚氏続称者 (4.1) 配偶者 (5.1)		
5	○		○			○	○		○	○		○		婚氏続称者 (4.1) 配偶者 (5.1)			婚氏続称者 (4.2) 配偶者 (5.2)
6	○		○			○		○	○	○		○		婚氏続称者 (4.1)			婚氏続称者 (4.2)
7	○		○			○	○		○		○	○			婚氏続称者 (4.1) 配偶者 (5.1)		婚氏続称者 (4.2) 配偶者 (5.2)
8	○		○			○		○	○		○					婚氏続称者 (4.3)	
9	○		○			○	○		○	○			○	婚氏続称者 (4.1) 配偶者 (5.1)			
10	○		○			○		○	○	○			○	婚氏続称者 (4.1)			
11	○		○			○	○		○		○		○		婚氏続称者 (4.1) 配偶者 (5.1)		
12	○		○						○	○		○		婚氏続称者 (4.1)			婚氏続称者 (4.2)
13	○		○						○		○					婚氏続称者 (4.3)	
14	○		○						○	○			○	婚氏続称者 (4.1)			
15	○			○	○							○			婚氏続称者 (4.1)		婚氏続称者 (4.2)
16	○			○	○								○		婚氏続称者 (4.1)		

第2章3節(7)	補足説明書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認（77条の2届）	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	6／19

処理名　2.0 戸籍マトリックス表　2/2

項番	条件													戸籍の変動			
	婚氏続称者													婚氏続称者の戸籍			新
	本籍		構成		同籍者区分							新戸籍編製		一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動なし A.2 4.4 D.2	戸籍編製 A.1 B.1 4.4 C.1 D.1
	本籍人	非本籍人	筆頭者	構成員	無	配偶者 有り	配偶者 個人除区分 在籍者	配偶者 個人除区分 除籍者	他構成員 有り	他構成員 個人除区分 在籍者	他構成員 個人除区分 除籍者	管内	管外				
17	○			○					○	○		○		婚氏続称者（4.1）			婚氏続称者（4.2）
18	○			○					○		○	○			婚氏続称者（4.1）		婚氏続称者（4.2）
19	○			○					○	○			○	婚氏続称者（4.1）			
20	○			○					○		○		○		婚氏続称者（4.1）		
21		○	○		○							○					婚氏続称者（4.2）
22		○	○			○						○					＊審査結果入力
23		○	○			○							○				
24		○	○						○			○					婚氏続称者（4.2）
25		○	○						○				○				
26		○	○			○			○			○					＊審査結果入力
27		○	○			○			○				○				
28		○		○	○							○					婚氏続称者（4.2）
29		○		○	○								○				
30		○		○					○			○					婚氏続称者（4.2）
31		○		○					○				○				

（注）新戸籍編製の場合、B.1 は 4.4 編集後作成する。

50180

第23(4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(77条の2届)	システム化調査研究会	平成6年12月1日	平成10年 2月27日	2	7／19

処理名	3.0 中間ファイル（仮受付）編集・出力1/3	（受取側）中間ファイル（仮受付）／共通	←	（引渡側）中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード	出力形態	備考
DB・ファイル名	項目		DB・ファイル名	項目		変換有無		
画面名称	名称	記号名	画面名称	名称	記号名	ｻ=ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	Z9.，	
中間ファイル（仮受付）	受領番号		中間ファイル（届書）	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	受付事件コード			―――				「１１０１」を移送
	受付日			送付日 受領日				送付日≠スペースのとき　送付日 上記以外のとき　受領日
	事件発生日							
	事件発生時分			―――				ＺＥＲＯを移送
	事件発生日時			―――				
	受理送付区分			受理送付区分				
	本非区分			本非区分				
	渉外区分			渉外区分				
	証書提出区分			―――				
	発送日			発送日				
	郵送日			郵送日				
	発日			―――				移送データなし
	収日			―――				移送データなし
	指示日			―――				
	許可日			―――				
	関連受領番号			―――				
	届出人資格区分1			―――				本人なので移送しない
	届出人資格名称1			―――				
	届出人氏名1			―――				
	届出人資格区分2			―――				
	届出人資格名称2			―――				
	届出人氏名2			―――				
	届後本籍区分			―――				届後本籍≠ｽﾍﾟｰｽの時、２を設定

810

第2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認（77条の2届）	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	8／19

処理名	3.0 中間ファイル（仮受付）編集・出力 2/3	（受取側）中間ファイル（仮受付）／共通	← （引渡側）中間ファイル（届書）

受取側			引渡側			コード変換有無	出力形態	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	ｻｰｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	Z9.，	
中間ファイル（仮受付）	届後本籍コード		中間ファイル（届書）	本籍コード（変更後）				
	届後本籍			本籍（変更後）				
	届後戸籍の筆頭者			筆頭者（変更後）				
	送達確認1			――――				届後本籍が非本籍 かつ 在外送付区分＝0（受理分）の場合、1（未到着）を設定。 上記以外は、0（不要）を設定。
	届書送付目録区分			――――				本非区分＝1（本籍）の場合、1（送付要）を設定。 上記以外は、0（送付不要）を設定。 ＊本非区分は、共通部の項目を用いる。
	処分区分			処分区分				
	決裁区分			決裁区分				

第23(4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(77条の2届)	システム化調査研究会	平成6年12月1日	平成10年 2月27日	2	9／19

処理名	3.0 中間ファイル(仮受付)編集・出力 3/3	(受取側) 中間ファイル(仮受付)／事件本人 ← (引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無	出力形態	備考
DB・ファイル名	項目		DB・ファイル名	項目				
画面名称	名称	記号名	画面名称	名称	記号名	サ=サブルーチン	Z9.，	
中間ファイル	受領番号		中間ファイル	受領番号				
(仮受付)	行番号		(届書)	――――				
事件本人	事件本人区分			――――				「14」を移送
	届出人区分			――――				「1」を移送
	カナ氏名			カナ氏名				
	漢字氏名			漢字氏名				
	生年月日			生年月日				
	本籍コード			本籍コード				
	本籍			本籍				
	筆頭者			筆頭者				
	送達確認2			――――				婚氏続称者の現本籍が、 (本非区分＝2) かつ (在外送付区分＝0)の場合、 1(未到着)を設定。 上記以外は、0(不要)を設定。

020

第2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認（77条の2届）	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	10／19

処理名：4.1 婚氏続称者の身分事項（除籍）編集　　（受取側）中間ファイル（仮戸籍）身分事項　←（引渡側）中間ファイル（届書）

受取側 DB・ファイル名 / 画面名称	項目 名称		項目 記号名	引渡側 DB・ファイル名 / 画面名称	項目 名称	項目 記号名	コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.，	備考
中間ファイル（仮戸籍）身分事項	個人番号			中間ファイル（届書）	個人番号（婚氏続称者）				
	行番号				―――				
	出力区分				―――				「0」ゼロを移送
	タイトルコード				―――				「1101」を移送
	記録コード				―――				「1101」を移送
	管掌者コード				―――				
	事件発生日				受領日				
	氏変更	氏変更日			受領日				
	氏変更	氏変更の事由			―――				「戸籍法77条の2の届出」を移送
	送付	送付を受けた日			送付日				項目あれば移送
	送付	受理者			送付元				
	許可	許可日			―――				
	許可	許可書謄本の送付を受けた日			―――				
	許可	許可を受けた者			―――				
	入籍	入籍日			―――				
	入戸籍	従前戸籍 本籍			―――				
	入戸籍	従前戸籍 筆頭者			―――				
	除籍	除籍日			処理日				
	除戸籍	新本籍			本籍地番（変更後）				
	除戸籍	称する氏			漢字氏名（変更後）				氏のみ移送
	記録	記録日			―――				
	特記	特記事項			―――				

第2(3)(4.)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認（77条の2届）	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	11／19

処理名：4.2 婚氏続称者の身分事項（入籍）編集　　（受取側）中間ファイル（仮戸籍）身分事項　←（引渡側）中間ファイル（届書）

受取側 DB・ファイル名 / 画面名称	項目 名称		項目 記号名	引渡側 DB・ファイル名 / 画面名称	項目 名称	項目 記号名	コード変換有無 サブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
中間ファイル（仮戸籍）身分事項	個人番号			中間ファイル（届書）	個人番号（婚氏続称者）				
	行番号				―――				
	出力区分				―――				「0」ゼロを移送
	タイトルコード				―――				「1101」を移送
	記録コード				―――				「1101」を移送
	管掌者コード				―――				
	事件発生日				受領日				
	氏変更	氏変更日			受領日				
	氏変更	氏変更の事由			―――				「戸籍法77条の2の届出」を移送
	送付	送付を受けた日			送付日				項目あれば移送
	送付	受理者			送付元				
	許可	許可日			―――				
	許可	許可書謄本の送付を受けた日			―――				
	許可	許可を受けた者			―――				
	入籍	入籍日			処理日				
	入戸籍	従前戸籍 本籍			本籍（現）				
	入戸籍	従前戸籍 筆頭者			筆頭者（現）				
	除籍	除籍日			―――				
	除戸籍	新本籍			―――				
	除戸籍	称する氏			―――				
	記録	記録日			―――				
	特記	特記事項			―――				

第2(3)(4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認（7･7条の2届）	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	12／19

処理名	4.3 婚氏続称者の身分事項（変動なし）編集	（受取側）中間ファイル（仮戸籍）身分事項	←（引渡側）中間ファイル（届書）

受取側				引渡側				コード変換有無	出力形態	備考
DB・ファイル名	項目			DB・ファイル名	項目					
画面名称	名称		記号名	画面名称	名称		記号名	ｻﾆﾀｲｽﾞﾙｰﾁﾝ	Z9.，	
中間ファイル（仮戸籍）身分事項	個人番号			中間ファイル（届書）	個人番号（婚氏続称者）					
	行番号				―――					
	出力区分				―――					「0」ゼロを移送
	タイトルコード				―――					「1101」を移送
	記録コード				―――					「1101」を移送
	管掌者コード				―――					
	事件発生日				受領日					
	氏変更	氏変更日			受領日					
	氏変更	氏変更の事由			―――					「戸籍法77条の2の届出」を移送
	送付	送付を受けた日			送付日					項目あれば移送
	送付	受理者			送付元					
	許可	許可日			―――					
	許可	許可書謄本の送付を受けた日			―――					
	許可	許可を受けた者			―――					
	入籍	入籍日			―――					
	入戸籍	従前戸籍 本籍			―――					
	入戸籍	従前戸籍 筆頭者			―――					
	除籍	除籍日			―――					
	除戸籍	新本籍			―――					
	除戸籍	称する氏			―――					
	記録	記録日			処理日					
	特記	特記事項			―――					

第2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(77条2届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成14年 3月1日	6	13/19

処理名	4.4戸籍事項(77条の2)編集・出力 1/1	(受取側) 中間ファイル(仮戸籍)戸籍事項	←	(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側				引渡側			コード変換有無	出力形態	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	サーチブルーチン	Z9..	
中間ファイル (仮戸籍) 戸籍事項	戸籍番号			中間ファイル (届書)					
	行番号				———				
	出力区分				———				「0」を設定
	タイトルコード				———				「1101」を設定
	記録コード				———				「1101」を設定
	管掌者コード				———				
	事件発生日				受領日				
	氏変更	氏変更日			受領日				
	氏変更	氏変更の事由			———				「戸籍法77条の2の届出」を移送
	許可	許可日			———				
	許可	許可書謄本の送付を受けた日			———				
	許可	許可を受けた者			———				
	従前の記録								戸籍の変動無しの場合のみ、氏を移送
		氏			現漢字氏名				
	記録	記録日			———				
	特記	特記事項							

第23(4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(77条の2届)	システム化調査研究会	平成6年12月1日	平成10年 2月27日	2	14／19

処理名	5.1 配偶者の身分事項(除籍)編集	(受取側) 中間ファイル(仮戸籍)身分事項	←	(引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側 DB・ファイル名 / 画面名称	項目 名称		記号名	引渡側 DB・ファイル名 / 画面名称	項目 名称	記号名	コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号			中間ファイル (届書)	個人番号(配偶者)				
	行番号				———				
	出力区分				———				「0」ゼロを移送
	タイトルコード				———				「1102」を移送
	記録コード				———				「1102」を移送
	管掌者コード				———				
	事件発生日				受領日				
	入籍	入籍日			———				
	入籍	入籍事由			———				
	除籍	除籍日			処理日、送付日、受領日				処理日≠スペースのとき、処理日 送付日≠スペースのとき、送付日 上記以外は、受領日を移送
	除籍	除籍事由			———				配偶者区分が 1の場合、「夫の戸籍法77条の2の届出」 2の場合、「妻の戸籍法77条の2の届出」
	許可	許可日			———				
	許可	許可書謄本の送付を受けた日			———				
	許可	許可を受けた者			———				
	入戸籍	従前戸籍 本籍			———				
	入戸籍	従前戸籍 筆頭者			———				
	除籍	新本籍			本籍(変更後)				
	特記	特記事項			———				

第23(4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(77条の2届)	システム化調査研究会	平成6年12月1日	平成10年 2月27日	2	15/19

処理名	5.2 配偶者の身分事項(入籍)編集	(受取側) 中間ファイル(仮戸籍)身分事項	←	(引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無	出力形態	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	サ=サブルーチン	Z9.,	
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号		中間ファイル (届書)	個人番号(配偶者)				
	行番号			———				
	出力区分			———				「0」ゼロを移送
	タイトルコード			———				「1102」を移送
	記録コード			———				「1102」を移送
	管掌者コード			———				
	事件発生日			受領日				
	入籍 入籍日			処理日、送付日、受領日				処理日≠スペースのとき、処理日 送付日≠スペースのとき、送付日 上記以外のとき、受領日を移送
	入籍 入籍事由			———				配偶者区分が 1の場合、「夫の戸籍法77条の2の届出」 2の場合、「妻の戸籍法77条の2の届出」
	除籍 除籍日			———				
	除籍 除籍事由			———				
	許可 許可日			———				
	許可 許可書謄本の送付を受けた日			———				
	許可 許可を受けた者			———				
	入戸籍 従前戸籍 本籍			本籍				
	入戸籍 従前戸籍 筆頭者			漢字氏名(現)				
	除籍 新本籍			———				
	特記 特記事項			———				

026

第23(4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(77条の2届)	システム化調査研究会	平成6年12月1日	平成29年 3月31日	20	16／19

処理名	6.1婚氏続称者 編集・出力 1/2	(受取側) 中間ファイル(9条2項)／婚氏続称者 ← (引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無	出力形態	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	ｻ=ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	Z9.，	
中間ﾌｧｲﾙ(9条2項) 婚氏続称者	受領番号		中間ﾌｧｲﾙ(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード			住所コード				市区町村部分だけのコード
	宛名			――――――				市区町村を宛名に変換した項目
	事件コード			――――――				11
	受理日			受領日 OR送付日				送付日がない場合、受領日を設定
	個人番号			――――――				本籍人の場合は個人番号を設定
	新氏名			漢字氏(変更後)				
				＋ 漢字氏名の名				
	旧氏名			漢字氏名(現)				
	新生年月日			生年月日				
	旧生年月日			生年月日				
	新父母との続柄			――――――				
	旧父母との続柄			――――――				
	新本籍コード			本籍コード(変更後)				
	新本籍			本籍地番(変更後)				
	旧本籍コード			本籍コード				
	旧本籍			本籍地番				
	新筆頭者			漢字氏(変更後)＋ 漢字氏名の名				
	旧筆頭者			筆頭者				
	住所コード			住所コード				
	住所			住所				
	方書							
	住定日			――――――				
	住民日			――――――				
	世帯主			世帯主				

50189

027

第2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認（７７条の２届）	システム化調査研究会	平成６年１２月　１日	平成　年　月　日	1	１７／１９

処理名	6.1 婚氏続称者　編集・出力　2/2	（受取側）中間ファイル（9条2項）／婚氏続称者　←（引渡側）中間ファイル（届書）

受取側			引渡側			コード	出力形態	備考
DB・ファイル名	項目		DB・ファイル名	項目		変換有無		
画面名称	名称	記号名	画面名称	名称	記号名	ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	Z9.,	
中間ﾌｧｲﾙ(9条2項)	世帯主との続柄		中間ﾌｧｲﾙ（届書）	――――				
婚氏続称者								

第 2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(77条の2届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成31年 3月31日	22	18／19

処理名	6.2配偶者　編集・出力　1/2	(受取側) 中間ファイル(9条2項)／配偶者	←	(引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無	出力形態	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	サ=サブルーチン	Z9.，	
中間ファイル (9条2項) 配偶者	受領番号		中間ファイル (届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード			住所コード				市区町村部分だけのコード
	宛名			――――――				市区町村を宛名に変換した項目
	事件コード			――――――				11
	受理日			受領日 OR 送付日				送付日がない場合、受領日を設定
	個人番号		戸籍DB	配偶者個人番号				本籍人の場合のみ該当項目を 戸籍DBから引用して設定する
	新氏名			漢字氏(変更後) ＋ 配偶者漢字氏名の名				
	旧氏名			配偶者漢字氏名				
	新生年月日			配偶者生年月日				
	旧生年月日			配偶者生年月日				
	新父母との続柄			――――――				
	旧父母との続柄			――――――				
	新本籍コード		中間ファイル (届書)	本籍コード(変更後)				
	新本籍			本籍地番(変更後)				
	旧本籍コード			本籍コード				
	旧本籍			本籍地番				
	新筆頭者			漢字氏(変更後) ＋ 漢字氏名の名				
	旧筆頭者			筆頭者				
	住所コード			――――――				
	住所			――――――				
	方書							
	住定日			――――――				
	住民日			――――――				
	世帯主			――――――				

第2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認（77条の2届）	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	19／19

処理名	6.2 配偶者 編集・出力 2/2	（受取側）中間ファイル（9条2項）／配偶者	←（引渡側）中間ファイル（届書）

受取側			引渡側			コード	出力形態	備考
DB・ファイル名	項目		DB・ファイル名	項目		変換有無		
画面名称	名称	記号名	画面名称	名称	記号名	ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	Z9.，	
中間ﾌｧｲﾙ(9条2項)	世帯主との続柄		中間ﾌｧｲﾙ（届書）	――――				
配偶者								

第 2 3 (4)	データ編集表 (サンプル提示)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(77条の2届)	システム化調査研究会	平成11年 3月 1日	平成31年 3月31日	22	19-1／19

処理名	7.1婚氏続称者　編集・出力　1/1	(受取側) 中間ファイル(30条の12第1項)／婚氏続称者 ← (引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード	出力形態	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	変換有無 ｻｰｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	Z9.，	
中間ファイル (30条12第1項) 婚氏続称者	受領番号		中間ファイル (届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード		附票データベース	在外選挙人名簿 登録市区町村コード				
	宛名							市区町村を宛名に変換した項目
	事件コード		中間ファイル (届書)					11(77条の2)
	受理日			送付日又は受領日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号			個人番号				個人番号を設定
	新氏名			漢字氏(変更後) ＋ 漢字氏名の名				
	旧氏名			漢字氏名				
	新生年月日			――――――				
	旧生年月日			生年月日				
	新性別			――――――				
	旧性別							
	新本籍コード			本籍コード(変更後)				
	新本籍			本籍(変更後)				
	旧本籍コード			本籍コード				
	旧本籍			本籍				
	新筆頭者			漢字氏(変更後) ＋ 漢字氏名の名				
	旧筆頭者			筆頭者				
	住所コード			住所コード				
	住所			住所				
	方書							
	転入届出日			――――――				
	(注意) 婚氏続称者の配偶者については、「在外選挙人異動者リスト作成処理」にて別途対応する。							

第7.2.(5)「異動」処理

11.離婚 同時

７７条の２届

標準仕様書修正履歴

平成１０年２月

項番	業務（届書）名	修正内容	ページ	添付資料NO
1	第7.2.(5).11 （離婚同時 77条の2届）	1．審査 （1）離婚業務処理範囲外の処理の追加 ・外国の方式で離婚したときに未成年者の親権が外国法で共同親権となる場合は、「審査結果入力処理」で対応する （2）単体チェック ・筆頭者の必須チェックを追加 （3）関連チェック ・NO.14-1,15-1　追加 夫（妻）が筆頭者の時、夫（妻）の漢字氏名と筆頭者が等しいこと ・NO.27　修正及びNO.27-1　追加 報告区分と離婚種別のチェック修正・追加 （4）外国の方式による協議離婚の場合の証書添付の有無の審査を追加 メッセージ追加「外国の方式により離婚が成立した旨の証書または証明書の添付がありますか？」 （5）親権者指定の確認審査を追加 夫氏名と未成年者の父氏名・養父氏名及び妻氏名と未成年者の母氏名・養母氏名を比較 （6）外国の方式による協議離婚の場合の届出期間審査を追加 （7）中間ファイル編集（届書）修正 ・指示日、許可日の編集を削除 2．入力確認 （1）中間ファイル編集（仮受付）：離婚 ・指示日、許可日の編集を削除 ・届出人区分の編集条件修正 報告的届出の際の設定条件修正 ・筆頭者項目及び編集条件を追加 （2）中間ファイル編集（仮受付）：７７条の２ ・指示日、許可日の編集を削除 ・筆頭者項目及び編集条件を追加 （3）中間ファイル編集（妻：９条２項） ・受理日編集条件修正	001 005 008 009 010 012 013 015 027 029 029 030 032 055	

50195

標準仕様書修正履歴

平成１１年３月

項番	業務（届書）名	修正内容	ページ	添付資料No.
1	第 7. 2. (5). 11 （離婚同時７７条の２届）	公職選挙法改正によるシステムの対応（サンプル提示） １．入力確認 （１）システム環境仕様書 ・詳細フロー及び使用ＤＢ・ファイル一覧に入力ファイルとして附票データベース、出力ファイルとして中間ファイル（３０条の１２第１項）を追加 ・処理概要、機能体系に中間ファイル（３０条の１２第１項）の編集に関する記述を追加 （２）本紙の処理内容 ・夫または妻が在外選挙人の場合の中間ファイル（３０条の１２第１項）の編集・出力処理の追加 （３）中間ファイル編集（３０条の１２第１項） ・夫、妻に関して新規追加	020 021 022 057, 058	

50196

標準仕様書修正履歴

平成12年3月

項番	業務(届書)名	修正内容	ページ	添付資料NO
1	第7.2.(5).11 (離婚同時 77条の2届)	成年後見法施行によるシステムの対応 1. システム処理の概要説明 (1) 離婚業務処理範囲外の処理の追加 ・(6) 事件本人の成年後見人から届出がされた場合。 「審査結果入力処理」で対応する。 2. 審査 (1) 法32条第2項が廃止されることによる審査の削除 ・夫が禁治産者であるときの確認メッセージを削除 審査(1／5)の(13)～(16)を削除 ・妻が禁治産者であるときの確認メッセージを削除 審査(1／5)の(22)～(25)を削除	P.1 P.10	

標準仕様書修正履歴

平成16年3月

項番	業務(届書)名	修　正　内　容	ページ	添付資料NO
1	第7. 2. (5). 11 離婚同時77の2届	戸籍事項の「記録日」にデータを移送しないようにする 4.6 戸籍事項(77条の2)編集・出力 5.6 戸籍事項(77条の2)編集・出力	 041 050	
	第7. 2. (5). 11 離婚同時77の2届	中間ファイル(9条2項)データ編集において、事件ｺｰﾄﾞ不正を修正し、「12(離婚同時戸籍法77条の2届)」を移送するようにする 7.1夫　　編集・出力 7.1妻　　編集・出力 誤植修正(夫の世帯主⇒妻の世帯主)	 053 055 056	

標準仕様書修正履歴

平成16年4月

項番	業務(届書)名	修正内容	ページ	添付資料NO
1	第7.2.(5).11 離婚同時77の2届	人事訴訟法制定(H16.4.1)に伴い、離婚の種別区分に(5:和解、6:認諾)が追加になる修正を、単体チェック、関連チェック部分に追加 1.0単体チェック表(3／4) 2.0関連チェック表(2／2)	 006 009	
	第7.2.(5).11 離婚同時77の2届	人事訴訟法制定(H16.4.1)に伴い、離婚の種別区分に関する審査にメッセージ追加 ※メッセージC04013に関して文言修正有 3.0 審査 (1／5)	 010	
	第7.2.(5).11 離婚同時77の2届	人事訴訟法制定(H16.4.1)に伴い、中間ファイル(共通)の編集において、受付事件コード並びに訴提起者の編集を修正 3.1 中間ファイル(仮受付)編集・出力 1/3	 027	
	第7.2.(5).11 離婚同時77の2届	人事訴訟法制定(H16.4.1)に伴い、中間ファイル(仮戸籍)身分事項(夫・妻)に離婚の和解成立日、離婚の請求認諾日の編集を追加 4.1 身分事項(除籍)の編集・出力 1/2 4.3 身分事項(入籍)の編集・出力 1/2 4.5 身分事項(変動なし)の編集・出力 1/2	 033, 042 036, 045 039, 048	

標準仕様書修正履歴

平成16年11月

項番	業務(届書)名	修　正　内　容	ページ	添付資料NO
1	第7.2.(5).11 離婚同時77の2届	続柄の記載更正(申出)制度にかかる修正 3.0審査(2／3)　　続柄チェックを追加 3.0審査(3／3)　続柄チェック追加(行挿入)に伴う頁追加	 011 011－1	

標準仕様書修正履歴

平成18年3月

項番	業務(届書)名	修　正　内　容	ページ	添付資料NO
1	第7.2.(5).11 離婚同時77の2届	・77条の2届の受付帳に事件発生日が編集されないよう修正 3.1 中間ファイル(仮受付 77の2)編集・出力 1/3	030	
		・77条の2届の受付帳の事件本人区分を氏続称者(従前の氏を称する者)を移送するよう修正 3.1 中間ファイル(仮受付 77の2)編集・出力 3/3	032	

標準仕様書修正履歴

平成19年3月

項番	業務(届書)名	修　正　内　容	ページ	添付資料NO
1	第7.2.(5).11 (離婚同時77条の2届)	標準仕様書見直しによるシステムの対応 1.データチェック(関連表) (1) 2.0 関連チェック表 受領日と離婚の成立・確定日の大小チェックを追加 (関連チェック13-1) (2) 2.0 関連チェック表 除籍者と新筆頭者の氏名チェックを追加 (関連チェック32, 33) 2.要件定義ワークシート (1) 3.0 審査 受領日と送付日が同一の場合の審査を追加 (2) 3.0 審査 事件発生日時点での年齢と比較する旨を補足 (審査(40)(51))	 008 009 010 011 011－1 012	

標準仕様書修正履歴

平成20年3月

項番	業務(届書)名	修　正　内　容	ページ	添付資料NO
1	第7．2．(5)．11 (離婚同時77条の2届)	標準仕様書見直しによるシステムの対応 2．要件定義ワークシート (1) 3．0 審査 届出期間に関する判定を修正	013･014	

標準仕様書修正履歴

平成22年3月

項番	業務(届書)名	修　正　内　容	ページ	添付資料NO
1	第7．2．(5)．11 (離婚同時77条の2届)	標準仕様書見直しによるシステムの対応 1．システム処理の概要説明書 ①(離婚同時77の2－33) 婚姻中の筆頭者が国籍喪失となっている戸籍の処理について 審査結果入力処理での対応とするため、 範囲外処理として、システム処理の概要説明書に追記	001	
		2．データ編集表 6.1 身分事項(変動なし)の編集・出力 ①(離婚同時77の2－39) 外国の方式での離婚の場合、【親権を定めた日】には離婚の成立日・確定日を移送する。	051	
		②(離婚同時77の2－47) 誤記の修正　「戸籍事項」⇒「身分事項」 「戸籍番号」⇒「個人番号」	051	
		③(離婚同時77の2－43) ・届出人資格・届出人氏名の編集方法を修正 養父母 ⇒ 養父 何某、養母 何某	051、052	
		・上記処理追加に伴い一部の処理を次頁へ繰越	051－1	
		8.1 夫 編集・出力	057	
		8.2 妻 編集・出力	058	
		①(離婚同時77の2－42) 事件コードに28(氏の変更届)を移送しているところを12(離婚同時77の2)を移送するよう修正。		

50203-2

標準仕様書修正履歴

平成23年3月

項番	業務(届書)名	修　正　内　容	ページ	添付資料NO
1	第7．2．(5)．11 (離婚同時77条の2届)	標準仕様書見直しによるシステムの対応 1．データ編集表 4.1 身分事項(除籍)の編集・出力 4.3 身分事項(入籍)の編集・出力 4.5 身分事項(変動なし)の編集・出力 5.1 身分事項(除籍)の編集・出力 5.3 身分事項(入籍)の編集・出力 5.5 身分事項(変動なし)の編集・出力 6.1 身分事項(変動なし)の編集・出力 ①(離婚同時77の2－48) 身分事項の「事件発生日」について 外国の方式(協議)で成立した場合の事件発生日について、設定内容を変更 「受領日」 → 「離婚の成立・確定日」 ②誤植の修正 042，045，048ページの処理名を以下の通り修正 「4.1身分事項～」 → 「5.1身分事項～」 「4.3身分事項～」 → 「5.3身分事項～」 「4.5身分事項～」 → 「5.5身分事項～」	 033 036 039 042 045 048 051 042,045, 048	

標準仕様書修正履歴

平成24年3月

項番	業務(届書)名	修　正　内　容	ページ	添付資料NO
1	第7．2．(5)．11 (離婚同時77条の2届)	標準仕様書見直しによるシステムの対応 1．データ編集表 6.1 身分事項(変動なし)の編集・出力 ①(離婚同時77の2－52) ・親権者氏名項目を追加 ・親権者区分が養父、養母の際に 親権者氏名へ養父氏名、養母氏名を移送	051	

標準仕様書修正履歴

平成27年3月

項番	業務(届書)名	修　正　内　容	ページ	添付資料NO
1	第7．2．(5)．11 (離婚同時77条の2届)	標準仕様書見直しによるシステムの対応 1．データチェック(関連表) 2.0 関連チェック ①(離婚同時77の2－55) ・夫と妻の氏が同一であることについて 関連チェックを追加 ※未成年者の氏については、戸籍、受附帳の記録に関係ないため、チェックは不要とする。	008	

標準仕様書修正履歴

平成28年3月

項番	業務(届書)名	修　正　内　容	ページ	添付資料NO
1	第7．2．(5)．11 (離婚同時77条の2届)	標準仕様書見直しによるシステムの対応 1．データ編集表 3.1 中間ファイル(仮受付)編集・出力 ①(離婚同時77の2－56) ・届出人資格区分1～届出人氏名2の編集について条件(1-2)を削除。	027	

標準仕様書修正履歴

平成29年3月

項番	業務(届書)名	修　正　内　容	ページ	添付資料NO
1	第7．2．(5)．11 (離婚同時77条の2届)	標準仕様書見直しによるシステムの対応 1．データチェック(関連表) 2.0 関連チェック表 ①(離婚同時77の2－59) 受領日について処理日と同一日付は認めないよう修正 2．要件定義ワークシート 3.0 審査 ①(離婚同時77の2－58) 年齢起算日が明確となるように表記を修正 ②(離婚同時77の2－60) 報告的届出の場合は77条の2届の届出期間について審査するよう修正 ③誤記訂正 (78)備考 「届出機関」 → 「届出期間」 ④誤記訂正 (80)「エラーメッセージ」 → 「確認メッセージ」	 008 011－1 012 012－1 013 014 013 013	

標準仕様書修正履歴

平成30年3月

項番	業務(届書)名	修　正　内　容	ページ	添付資料NO
1	第7．2．(5)．11 (離婚同時77条の2届)	標準仕様書見直しによるシステムの対応 1．データチェック(関連表) 2.0 関連チェック表 ①(離婚同時77の2－62) 夫および妻について住所と世帯主のチェックを追加 2．要件定義ワークシート 3.0 審査 ①(離婚同時77の2－63) 離婚の申立人区分がスペースである場合の処理を追加	 009－1 014	

標準仕様書修正履歴

平成31年3月

項番	業務(届書)名	修　正　内　容	ページ	添付資料NO
1	第7．2．(5)．11 (離婚同時77条の2届)	標準仕様書見直しによるシステムの対応 1．要件定義ワークシート 3.0 審査 ①(離婚同時77の2－65) 報告的届出の場合の届出期間に関する判定について表記を修正	013	

第 2 3 (1)	システム処理の概要説明書	作　業　名	作　成　者	作　成　日　付	改　訂　日 付	版	頁
		離婚同時77条の2届	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成22年 3月 1日	13	1/1

50204

1. 離婚同時77条の2業務処理範囲外の処理

(1)改正国籍法施行中(昭和60年1月1日より前)外国人と結婚しかつ親の戸籍に在籍する者の離婚届。

(2)離婚事件本人と同一戸籍でない未成年の親権指定処理。

(3)離婚届を届出た時、既に当事者の一方又は双方が死亡していた場合の離婚届。

(4)外国の方式で離婚したときに未成年者の親権が外国法で共同親権となる場合

(5)転婚者が、離婚同時77条の2届を届出た場合。

(6)事件本人の成年後見人から届出がされた場合。

(7)夫婦の筆頭者であった者が婚姻中に国籍喪失で除籍となっている場合。

上記(1)～(4)、(6)～(7)は、審査結果入力で処理を行う。
上記(5)は、離婚届と77条の2届をそれぞれ別処理を行う。

2. 離婚同時77条の2届入力画面の意義

(1)その1画面. 離婚をする当事者(夫及び妻)の現在の状況の各項目を入力する。

(2)その2画面. 離婚種別及び婚前に戻る者等の各項目を入力する。

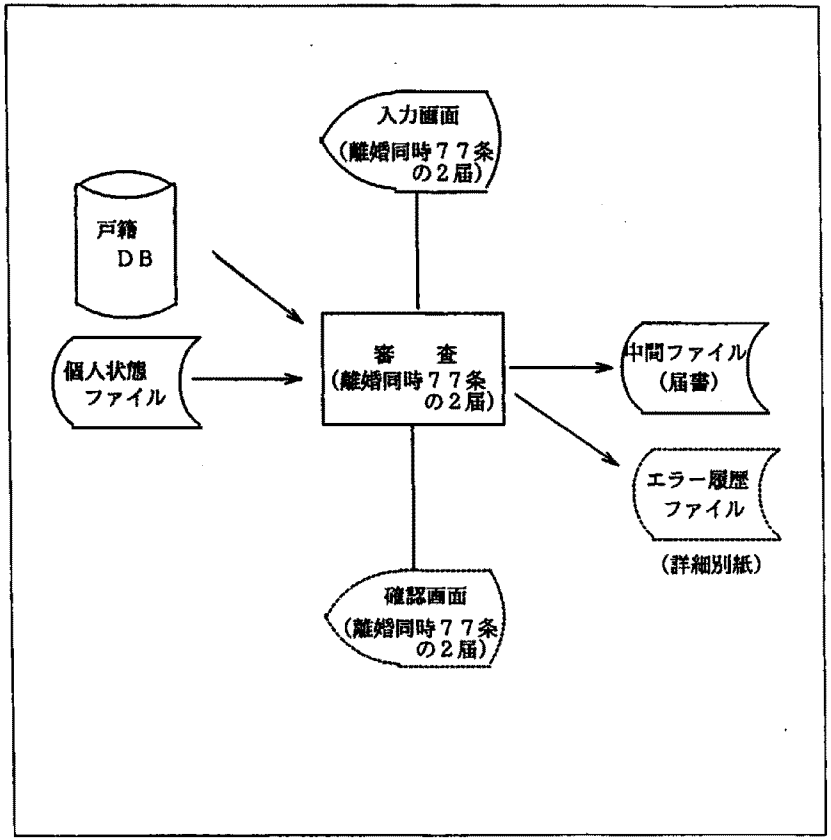
(3)その3画面. 離婚後、未成年者の親権指定の各項目を入力する。

3. その他

001

第２３（２）	システム環境仕様書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査（離婚同時７７条の２届）	システム化調査研究会	平成６年１２月　１日	平成　年　月　日	1	１／１８

１．詳細フロー



２．使用ＤＢ・ファイル一覧

名　称	入出力区分	名　称	入出力区分
戸籍ＤＢ	入　力		
個人状態ファイル	入　力		
中間ファイル	出　力		
エラー履歴ファイル	出　力		

３．処理概要

（１）離婚同時７７条の２届の内容を画面入力する。
（２）離婚同時７７条の２届で入力された項目の単体チェックを行う。
（３）離婚同時７７条の２届で入力された項目の関連チェックを行う。
（４）審査（協議離婚、裁判離婚）を行う。
（５）離婚同時７７条の２届から中間ファイル（届書）を編集・出力する。
（６）入力確認（離婚同時７７条の２届）に制御を渡す。

４．機能体系（要件定義書の構成）

0.0 本紙
- 1.0 データチェック（単体表）
- 2.0 データチェック（関連表）
- 3.0 審査
- 4.0 データ編集表（中間ファイル／届書）

５．備考（特記事項含む）

（１）未成年者の年齢計算について
・協議離婚時：受領日
・裁判離婚時：離婚の成立日・確定日　を基準日として計算する。

第2 3 (3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査（離婚同時７７条の２届）	システム化調査研究会	平成６年１２月　１日	平成　年　月　日	1	2／18

処理名	0.0 本紙　1/1	備考
(1)届書内容を画面入力する	／	「届書ﾒﾆｭｰ」で受領番号が入力された場合、届書ﾌｧｲﾙから画面編集を行う。
(2)キー選択（実行キー，ＰＦ1，ＰＦ2，ＰＦ7，ＰＦ8，ＰＦ10，ＰＦ11，ＰＦ12，その他）	／	
実行キー (3)入力項目の単体チェック（OK：YES，NG：NO）〔1.0〕	／	
ＹＥＳ (4)入力項目の関連チェック（OK：YES，NG：NO）〔2.0〕	／	
ＹＥＳ (5)画面の入力項目を全て入力禁止とする	／	
(6)審査（OK：YES，NG：NO）〔3.0〕	／	
ＹＥＳ (7)中間ファイル（届書）の編集出力〔4.0〕		(8)入力確認画面に制御を渡す
ＮＯ (9)メッセージの種類（審査ｴﾗｰ，確認）	／	
審査ｴﾗｰ (10)エラーメッセージを表示する		(11)同画面を編集する　メッセージをエラー履歴に出力する
確認 (12)確認メッセージを表示し、メッセージに対して応答の後、以降の審査を続行する。		メッセージと応答をエラー履歴に出力する
ＮＯ (13)エラーメッセージを表示する		
ＮＯ		
ＰＦ1 →		(14)業務選択に制御を渡す
ＰＦ2 →		(15)届出選択に制御を渡す。
ＰＦ7 (16)前ページがあるか（ある，なし）	／	
ある (17)前ページ「離婚同時７７条の２届」画面編集		(18)同画面を編集する
なし (19)エラーメッセージ「先頭ページです。」を表示する		
ＰＦ8 (20)次ページがあるか（ある，なし）	／	
ある (21)次ページ「離婚同時７７条の２届」画面編集		(22)同画面を編集する
なし (23)エラーメッセージ「最終ページです。」を表示する		
ＰＦ10 (24)画面の入力項目の入力禁止を解除する		入力項目が入力禁止の時のみ有効
ＰＦ11 (25)当該審査エラーの確認後、以降の審査を継続する		審査エラー発生時のみ有効
ＰＦ12 (26)入力画面を初期化する。		
その他 (27)エラーメッセージ　「無効なキーが入力されました。」を表示		

第2 3 (5)	データチェック（単体表）	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査（離婚同時７７条の２届）	システム化調査研究会	平成６年１２月　１日	平成　年　月　日	1	3／18

処理名	画面名	画面ＩＤ	
1.0 単体チェック　1/4	離婚同時７７条の２届　（その１）		

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	支所NO		数字		「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
2	受領日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
3	送付日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
4	発送元		漢字				
5	在外送付区分	○	数字	（0：受理分、1：国内からの送付、2：在外公館の直接送付 3：在外公館の国内経由）であること			
6	処理日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
7	本・非本	○	数字	（1：本籍，2：非本籍）であること			
8	郵送日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
9	動態	○	数字	（0：不要，1：要）であること			
10	報告	○	数字	（1：創設，2：報告）であること			
11	夫のカナ氏名	○	カナ				
12	夫の漢字氏名	○	漢字				
13	夫の住所		漢字				
14	夫の世帯主		漢字				
15	夫の父の氏名		漢字				
16	夫の母の氏名		漢字				
17	夫の父母との続柄	○	数字	（10：男、11：長男～29：十九男）であること			
18	夫の筆頭者区分	○	数字	（0：構成員，1：筆頭者）であること			
19	夫の生年月日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
20	妻のカナ氏名	○	カナ				
21	妻の漢字氏名	○	漢字				
22	妻の住所		漢字				
23	妻の世帯主		漢字				
24	妻の父の氏名		漢字				
25	妻の母の氏名		漢字				

第2 3 (5)	データチェック(単体表)	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査(離婚同時77条の2届)	システム化調査研究会	平成 6年12月1日	平成10年 2月27日	2	4／18

処理名	画面名	画面ID	
1.0単体チェック 2/4	離婚同時77条の2届（その1）		

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	エラーコード	備考
26	妻の父母との続柄	○	数字	(30:女、31:長女～49:十九女）であること	「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
27	妻の筆頭者区分	○	数字	(0:構成員、1:筆頭者）であること			
28	妻の生年月日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
29	本籍	○	漢字				
30	筆頭者	○	漢字				

第23(5)	データチェック(単体表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(離婚同時77条の2届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成16年 4月 1日	8.1	5/18

処理名	画面名	画面ID	
1.0単体チェック表(3/4)	離婚同時77条の2届 (その2)		

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	エラーコード	備考
31	離婚の種別区分	○	数字	(1:協議、 2:調停、 3:審判、 4:判決、 5:和解、 6:認諾) であること	項目エラーがあります。正しく入力して下さい。		人事訴訟法(H16.4)により、5,6を追加
32	離婚の申立人区分		数字	(1:夫、 2:妻) であること			
33	離婚の成立・確定日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
34	戸籍変動区分	○	数字	(2:新戸籍編製(夫)、 4:新戸籍編製(妻)) であること			
35	新本籍	○	漢字				
36	新筆頭者	○	漢字				
37	離婚の方式		漢字				
38	裁判所所在国		漢字				
39	外国裁判所名		漢字				
40	親権指定者の有無	○	数字	(0:無し、 1:有り) であること			
41	未成年の子の人数		数字				
42	届出人資格1		数字	(000:未、 006:夫、 007:妻) であること			
43	届出人資格2		数字	(000:未、 006:夫、 007:妻) であること			

50210

第2(3)(5)	データチェック（単体表）	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査（離婚同時７７条の２届）	システム化調査研究会	平成６年１２月 １日	平成 年 月 日	1	6／18

処理名	画面名	画面ＩＤ	
1.0 単体チェック 4/4	離婚同時７７条の２届 （その３）		

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
44	未成年者のカナ氏名n		カナ		「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」		NO.44～NO.53の項目は複数件存在する
45	未成年者の漢字氏名n		漢字				
46	未成年者の父の氏名n		漢字				
47	未成年者の母の氏名n		漢字				
48	未成年者の父母との続柄n		数字	(10:男,11:長男～29:十九男,30:女,31～49:十九女)であること			
49	未成年者の生年月日n		英数	「日付チェックサブルーチン」			
50	未成年者の養父の氏名n		漢字				
51	未成年者の養母の氏名n		漢字				
52	未成年者の養父母との続柄n		数字	(51：養子，52：養女）であること			
53	未成年者の親権者区分n		数字	(１：父，２：母，３：養父，４：養母）であること			

007

第 2 3 (6)	データチェック(関連表)	作　業　名	作　成　者	作　成　日　付	改　訂　日　付	版	頁
		審査(離婚同時77条の2届)	システム化調査研究会	平成　6年12月　1日	平成29年　3月31日	20	7/18

処　理　名	画　面　名	画 面 I D	
2.0 関連チェック表　1／2	離婚同時77条の2届		

No	内　容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備　考
1	(No.3) 送付日 ＝ スペースの時, (No.4) 発送元 ＝ スペース であること	関連エラーがあります。正しく入力して下さい。		
2	(No.3) 送付日 ≠ スペースの時, (No.4) 発送元 ≠ スペース であること			
3	(No.3) 送付日 ≠ スペースの時, (No.3) 送付日 ≧ (No.2) 受領日 であること			
4	(No.3) 送付日 ＝ スペースの時, (No.5) 在外送付区分 ＝ 0 (受理分) であること			
5	(No.3) 送付日 ＝ スペースの時, (No.9) 動態区分 ＝ 1 (要) であること			
6	(No.4) 発送元 ≠ スペースの時, (No.5) 在外送付区分 ≠ 0 (受理分) であること			
7	(No.4) 発送元 ≠ スペース かつ (No.4) 発送元の最終文字が『市』『区』『町』『村』『長』 の時, (No.5) 在外送付区分 ＝ 1 (国内からの送付) であること			
8	(No.4) 発送元 ≠ スペース かつ (No.4) 発送元の最終文字が『市』『区』『町』『村』『長』 以外の時, (No.5) 在外送付区分 ＝ 2 (在外公館の直接送付) または (No.5) 在外送付区分 ＝ 3 (在外公館の国内経由) であること			
9	(No.4) 発送元 ≠ スペース かつ (No.5) 在外送付区分 ＝ 2 (在外公館の直接送付) の時, (No.9) 動態区分 ＝ 1 (要) であること			
10	(No.4) 発送元 ≠ スペース かつ ((No.5) 在外送付区分 ＝ 1 (国内からの送付) または (No.5) 在外送付区分 ＝ 3 (在外公館の国内経由)) の時, (No.9) 動態区分 ＝ 0 (不要) であること			
11	(No.6) 処理日 ≠ スペースの時, (No.6) 処理日 ＞ (No.2) 受領日であること			
12	(No.8) 郵送日 ≠ スペースの時, (No.3) 送付日 ＝ スペース であること			
13	(No.8) 郵送日 ≠ スペースの時, (No.8) 郵送日 ≦ (No.2) 受領日 であること			
13-1	(No.2) 受領日 ≧ (No.33) 離婚の成立・確定日 であること			
14	(No.18) 夫の筆頭者区分 ＝ 1 (筆頭者)の時, (No.27) 妻の筆頭者区分 ＝ 0 (構成員) であること			
14-1	(No.18) 夫の筆頭者区分 ＝ 1 (筆頭者)の時, (No.12) 夫の漢字氏名 ＝ (No.30) 筆頭者 であること			
15	(No.18) 夫の筆頭者区分 ＝ 0 (構成員)の時, (No.27) 妻の筆頭者区分 ＝ 1 (筆頭者) であること			
15-1	(No.27) 妻の筆頭者区分 ＝ 1 (筆頭者)の時, (No.21) 妻の漢字氏名 ＝ (No.30) 筆頭者 であること			
15-2	(No.12) 夫の漢字氏名の氏 ＝ (No.21) 妻の漢字氏名の氏 であること			
16	(No.31) 離婚の種別区分 ＝ 1 (協議) かつ (No.37) 離婚の方式 ＝ スペース の時, (No.32) 離婚の申立人区分 ＝ スペース かつ (No.33) 離婚の成立・確定日 ＝ スペース かつ (No.42) 届出人資格1 ≠ スペース かつ (No.43) 届出人資格2 ≠ スペース であること			
16-2	(No.31) 離婚の種別区分 ＝ 1 (協議) かつ (No.37) 離婚の方式 ≠ スペース の時, (No.32) 離婚の申立人区分 ＝ スペース かつ (No.33) 離婚の成立・確定日 ≠ スペース かつ (No.42) 届出人資格1, (No.43) 届出人資格2 いずれかに入力があること			

50211

800

第23(6)	データチェック(関連表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(離婚同時77条の2届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成19年 3月 1日	11	8/18

処理名	画面名	画面ID	
2.0関連チェック表 2／2	離婚同時77条の2届		

No	内容	出力エラーメッセージ	エラーコード	備考
17	(No.31) 離婚の種別区分＝2 (調停), 3 (審判), 4 (判決), 5 (和解), 6 (認諾) のとき, ((No.32) 離婚の申立人区分≠スペースかつ(No.33) 離婚の成立・確定日≠スペース)かつ ((No.42) 届出人資格1、(No.43) 届出人資格2 一方が ≠ZERO)であること	関連エラーがあります。正しく入力して下さい。		人事訴訟法(H16.4)により、5,6を追加
18	(No.40) 親権指定者の有無＝1(有)のとき、(No.46)未成年の子の人数＞ZEROであること			
19	(No.41) 未成年の子の人数＝0のとき、未成年者の欄(No.44～No.53)×n件＝スペースであること			
20	(No.45) 未成年者の漢字氏名n≠スペースのとき (No.44) 未成年者のカナ氏名n≠スペースかつ (No.49)未成年者の生年月日n≠スペース であること			
21	(No.48) 未成年者の父母との続柄n＝スペースのとき (No.46) 未成年者の父氏名n＝スペースかつ (No.47) 未成年者の母氏名n＝スペースであること			
22	(No.52) 未成年者の養父母との続柄n＝スペースのとき (No.50) 未成年者の養父氏名n＝スペースかつ (No.51) 未成年者の養母氏名n＝スペースであること			
23	(No.53) 未成年者の親権者区分n＝1のとき、(No.46) 未成年者の父氏名n≠スペースであること			
24	(No.53) 未成年者の親権者区分n＝2のとき、(No.47) 未成年者の母氏名n≠スペースであること			
25	(No.53) 未成年者の親権者区分n＝3のとき、(No.50) 未成年者の養父氏名n≠スペースであること			
26	(No.53) 未成年者の親権者区分n＝4のとき、(No.51) 未成年者の養母氏名n≠スペースであること			
27	(No.10) 報告区分＝1(創設)のとき、(No.31) 離婚の種別区分＝1(協議離婚)かつ (No.37) 離婚の方式＝スペースであること			
27-1	(No.10) 報告区分＝2(報告)のとき、(No.31) 離婚の種別区分＝2(調停)、3(審判)、4(判決) 、5(和解)、6(認諾)または (No.31) 離婚の種別区分＝1(協議離婚)かつ(No.37) 離婚の方式≠スペースであること			人事訴訟法(H16.4)により、5,6を追加
28	(No.37) 離婚の方式≠スペースかつ(No.38) 裁判所所在国≠スペースかつ (No.39) 外国裁判所所名≠スペースの場合エラー			
29	(No.44) 未成年者のカナ氏名n≠スペースのとき (No.45) 未成年者の漢字氏名n≠スペースかつ(No.49) 未成年者の生年月日n≠スペースであること			
30	(No.44) 未成年者のカナ氏名n＝スペースのとき (No.45) 未成年者の漢字氏名n～(No.53) 未成年者の親権者区分 全てスペースであること			
31	(No.45) 未成年者の漢字氏名n＝スペースのとき (No.44) 未成年者のカナ氏名n＝スペースかつ (No.46) 未成年者の父氏名n～(No.53) 未成年者の親権者区分 全てスペースであること			
32	(No.34) 戸籍変動区分＝2(新戸籍編製(夫))のとき (No.12) 夫の漢字氏名＝(No.36) 新筆頭者であること			
33	(No.34) 戸籍変動区分＝4(新戸籍編製(妻))のとき (No.21) 妻の漢字氏名＝(No.36) 新筆頭者であること			

第 2 3 (6)	データチェック(関連表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(離婚同時77条の2届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成30年 3月 31日	21	8-1/18

処理名	画面名	画面ＩＤ	
2.0 関連チェック表 2－1／2	離婚同時77条の2届		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
34	(No.13) 夫の住所＝スペースのとき、(No.14) 夫の世帯主＝スペースであること	関連エラーがあります。正しく入力して下さい。		
35	(No.14) 夫の世帯主≠スペースのとき、(No.13) 夫の住所≠スペースであること			
36	(No.22) 妻の住所＝スペースのとき、(No.23) 妻の世帯主＝スペースであること			
37	(No.23) 妻の世帯主≠スペースのとき、(No.22) 妻の住所≠スペースであること			

50212-2

第23(3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(離婚同時77条の2届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成19年 3月 1日	11	9/18

処理名	3.0 審査 1/5			備考
(0) 受領日 = 送付日 である (YES, NO)		／		
YES	(0-1) 確認メッセージ「受領日と送付日が同一です。処理をしてよろしいですか。」を表示	／		
YES	(0-2) → (1) へ	／		
NO	→		(0-3) 本紙へ	
NO	(0-4) → (1)へ	／		
(1) 離婚の種別(1:協議, 2:調停, 3:審判, 4:判決, 5:和解, 6:認諾)		／		人事訴訟法(H16.4)により、種別:5,6を追加
1	(1-1) 離婚の方式≠スペース (YES, NO)	／		
YES	(1-2) 確認メッセージ「外国の方式により離婚が成立した旨の証書又は証明書の添付がありますか？」を表示		(1-3) 本紙へ	戸41 Nのとき、不受理
N O	(2) → (7)へ	／		
2	(3) 確認メッセージ「調停・和解・認諾調書の謄本の添付がありますか？」を表示		(4) 本紙へ	戸77・63 Nのとき、不受理 C04013
3	(5) 確認メッセージ「審判書及び確定証明書がありますか？」を表示			戸77・63 Nのとき、不受理 C03025
4	(6) 確認メッセージ「判決の謄本及び確定証明書がありますか？」を表示			戸77・63 Nのとき、不受理 C06011
5	(6)-1 確認メッセージ「調停・和解・認諾調書の謄本の添付がありますか？」を表示			人事訴訟法(H16.4) Nのとき、不受理 C04013
6	(6)-2 確認メッセージ「調停・和解・認諾調書の謄本の添付がありますか？」を表示			人事訴訟法(H16.4) Nのとき、不受理 C04013
(7) 本非区分 (1:本籍, 2:非本籍)		／		
1	(8) 夫の身分事項に婚姻がある (YES, NO)	／		
YES	(9) → (17)へ	／		
N O	(10) エラーメッセージ「夫に婚姻事項がありません。」を表示		(11) 本紙へ	
(12)		／		(12)～(16)削除
	(13)	／		
	(14)		(15)	
	(16)	／		
(17) 妻の身分事項に婚姻がある (YES, NO)		／		
YES	(18) → (27)へ	／		
N O	(19) エラーメッセージ「妻に婚姻事項がありません。」を表示		(20) 本紙へ	

010

第23(3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(離婚同時77条の2届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成19年 3月 1日	11	10/18

処理名	3.0 審査 2/5			備考
	(21)			(21)～(25)削除
	(22)			
	(23)		(24)	
	(25)			
2	(26) → (26-1)			
(26-1) 夫の父の氏名＝スペース 又は 夫の母の氏名＝スペース (YES,NO)				
YES	(26-2) 確認メッセージ (YES,NO) 「父又は母の氏名が空欄ですが、父母との続柄に間違いはありませんね？」			
YES	(26-3) → (26-12)			
NO	(26-4)		(26-5) 本紙へ	不受理
NO	(26-6) 夫の父母との続柄＝10(男)である (YES,NO)			
YES	(26-7) 確認メッセージ (YES,NO) 「父母氏名双方に入力があります。父母との続柄が 男又は女ですが間違いはありませんね？」			
YES	(26-8) → (26-12)			
NO	(26-9)		(26-10) 本紙へ	不受理
NO	(26-11) → (26-12)			
(26-12) 妻の父の氏名＝スペース 又は 妻の母の氏名＝スペース (YES,NO)				
YES	(26-13) 確認メッセージ (YES,NO) 「父又は母の氏名が空欄ですが、父母との続柄に間違いはありませんね？」			
YES	(26-14) → (27)			
NO	(26-15)		(26-16) 本紙へ	不受理
NO	(26-17) 妻の父母との続柄＝30(女)である (YES,NO)			
YES	(26-18) 確認メッセージ (YES,NO) 「父母氏名双方に入力があります。父母との続柄が 男又は女ですが間違いはありませんね？」			
YES	(26-19) → (27)			
NO	(26-20)		(26-21) 本紙へ	不受理
NO	(26-22) → (27)			

第 2 3 (3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(離婚同時77条の2届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成29年 3月31日	20	10-1/18

処理名	3.0 審査 2−1／5			備考
(27) 戸籍変動区分 (2:新戸編製(夫), 4:新戸編製(妻))		／		
2	(28) 夫の筆頭者区分 (0:構成員, 1:筆頭者)	／		No.29 欠番
0	(30) → (38)へ	／		
1	(31) エラーメッセージ 「戸籍変動に係わる情報が正しくありません。」を表示		(32) 本紙へ	
4	(33) 妻の筆頭者区分 (0:構成員, 1:筆頭者)	／		No.34 欠番
0	(35) → (38)へ	／		
1	(36) エラーメッセージ 「戸籍変動に係わる情報が正しくありません。」を表示		(37) 本紙へ	
(38) 親権指定処理 (未成年の子の人数分繰り返す)		／		民819 I
(39) 親権指定者の有無 (0:無, 1:有)		／		
0	(40) 離婚の成立・確定日≠スペースの場合、 未成年者nの生年月日＋20年(20歳未満) ＞ 離婚の成立・確定日 (YES, NO) 離婚の成立・確定日＝スペースの場合、 未成年者nの生年月日＋20年(20歳未満) ＞ 受領日 (YES, NO)	／		
YES	(41) 親権区分n ＝ スペース (YES, NO)	／		
YES	(42) 届出区分 (1:創設, 2:報告)	／		
1	(43) 確認メッセージ 「未成年者がいますが、成年擬制者ですか。 又は、他の親権を受けていますか？」		(44) 本紙へ	Nのとき、不受理
2	(45) 確認メッセージ 「未成年者がいますが、親権指定しなくてよろしいですか？」 を表示			Nのとき、不受理
NO	(46) エラーメッセージ 「親権指定者の有無に誤りがあります。」を表示			
NO	(47) 親権区分n ＝ スペース (YES, NO)	／		
YES	(48) → (38)	／		
NO	(49) エラーメッセージ 「親権区分nに誤りがあります(未成年者でない)。」		(50) 本紙へ	

50215

011−110

第 2 3 (3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(離婚同時77条の2届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成29年 3月31日	20	11/18

処理名		3.0 審査 3／5				備考
	1	(51) 離婚の成立・確定日≠スペースの場合、 未成年者nの生年月日＋20年(20歳未満) ＞ 離婚の成立・確定日 (YES, NO) 離婚の成立・確定日＝スペースの場合、 未成年者nの生年月日＋20年(20歳未満) ＞ 受領日 (YES, NO)		／		
		YES	(52) 親権区分n ＝ スペース (YES, NO)		／		
			YES	(53) 届出区分 (1:創設, 2:報告)	／		
				1	(54) エラーメッセージ 「未成年者がいますが、成年擬制者ですか。 又は、他の親権を受けていますか？」		(55) 本紙へ	
				2	(56) 確認メッセージ 「未成年者がいますが、親権指定しなくてよろしいですか？」 を表示			Nのとき、不受理
			NO	(56-1) (夫の漢字氏名 ＝ 未成年者の父氏名 または 未成年者の養父氏名) かつ (妻の漢字氏名 ＝ 未成年者の母氏名 または 未成年者の養母氏名) (YES, NO)	／		
				YES	(57) 未成年者カウント(内部) ＝ 未成年者カウント(内部) ＋ 1	／		
				NO	(57-1) 確認メッセージ 「親権区分nの親権指定は必要ですか？」	／	(57-2) 本紙へ	応答内容は処分区分に影響させない
					YES (57-3) 未成年者カウント(内部) ＝ 未成年者カウント(内部) ＋ 1	／		
					NO (57-4) →	／		
		NO	(58) 親権区分n ＝ スペース (YES, NO)		／		
			YES	(59) → (38)	／		
			NO	(60) エラーメッセージ 「親権区分nに誤りがあります(未成年者でない)。」 を表示		(61) 本紙へ	

50216

012

第 2 3 (3)	要件定義ワークシート	作　業　名	作　成　者	作　成　日　付	改　訂　日　付	版	頁
		審査(離婚同時77条の2届)	システム化調査研究会	平成　6年12月　1日	平成29年　3月31日	20	11-1/18

処　理　名	3.0 審査　3－1／5			備　考
(62) 親権指定者の有無 (0:無, 1:有)		／		
0	(63) → (68)	／		
1	(64) 未成年者カウント(内部) ＞ 0 (YES, NO)	／		
	YES (65) → (68)	／		
	NO (66) エラーメッセージ 「親権指定者の有無に誤りがあります(親権指定なし)。」を表示		(67) 本紙へ	
(68) 届出区分 (1:創設, 2:報告)		／		
1	(69) 届出人資格1 (000:未, 006:夫, 007:妻)	／		
	000 (69-1) 離婚の方式 ＝ スペース (YES, NO)	／		
	YES (69-2) エラーメッセージ 「届出人資格に誤りがあります。」を表示	／	(69-3) 本紙へ	
	NO (69-5) 届出人資格2 (000:未, 006:夫, 007:妻)	／		

50216-2

0122－1

第 2 3 (3)	要件定義ワークシート	作　業　名	作　成　者	作　成　日　付	改　訂　日　付	版	頁
		審査(離婚同時77条の2届)	システム化調査研究会	平成　6年12月　1日	平成31年　3月31日	22	12/18

処　理　名				3.0 審査　4／5			備　考
1	000	NO	000	(69-6) エラーメッセージ 「届出人資格に誤りがあります。」		(69-7) 本紙へ	
			006,007	(69-8) → (107)	／		
	006	(70) 届出人資格2 (000:未, 006:夫, 007:妻)			／		
		000		(70-1) 離婚の方式 ＝ スペース (YES, NO)	／		
			YES	(70-2) エラーメッセージ 「届出人資格に誤りがあります。」		(70-3) 本紙へ	
			NO	(70-4) → (107)	／		
		006		(71) エラーメッセージ 「届出人資格1と届出人資格2が重複しています。」 を表示		(72) 本紙へ	
		007		(73) → (107)	／		
	007	(74) 届出人資格2 (000:未, 006:夫, 007:妻)			／		
		000		(74-1) 離婚の方式 ＝ スペース (YES, NO)	／		
			YES	(74-2) エラーメッセージ 「届出人資格に誤りがあります。」		(74-3) 本紙へ	
			NO	(74-4) → (107)	／		
		006		(75) → (107)	／		
		007		(76) 確認メッセージ 「届出人資格1と届出人資格2が重複しています。」 を表示		(77) 本紙へ	Nのとき、不受理
2	(77-0-1) 受領日 ＜(離婚の成立・確定日 ＋ 1日)＋ 3箇月 である (YES, NO)				／		
	YES	(77-0-2) → (77-1)			／		
	NO	(77-0-3) エラーメッセージ 「届出有効期間(3箇月以内)を経過しています。」				(77-0-4) 本紙へ	
	(77-1) 離婚の方式 ＝ スペース かつ 裁判所所在国 ＝ スペース かつ 裁判所名 ＝ スペース である (YES, NO)				／		
	YES	(77-2) 受領日 ＜ 離婚の成立・確定日 ＋ 10日 である (YES, NO)			／		戸 43:離婚届の届出期間審査
		YES		(77-3) → (82)	／		
		NO		(77-4) 確認メッセージ 「届出期間を経過していますがよろしいですか。」を表示		(77-5) 本紙へ	Nのとき、不受理
	NO	(78) 受領日 ＜ 離婚の成立・確定日 ＋ 3箇月 である (YES, NO)			／		『民140, 民143:戸籍法77条の2の届出期間審査』と『戸41:外国の方式による届出期間審査』が共存しているため、期間の短い戸籍法により審査を行う
		YES		(79) → (82)	／		
		NO		(80) 確認メッセージ 「届出期間を経過していますがよろしいですか。」を表示		(81) 本紙へ	Nのとき、不受理

第 2 3 (3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(離婚同時77条の2届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成30年 3月31日	21	13/18

処理名							備考
3.0 審査 5／5							
2	(82) 離婚の申立人区分 (1:夫, 2:妻, スペース)				／		
	1	(83) 届出人資格1 または 届出人資格2 (006:夫, 007:妻)			／		
		006	(84) → (107)		／		(84)～(87)第12版で削除
				(85)	／		
				(86)		(87)	
		007	(88) 受領日または処理日 ＜ 離婚の成立・確定日 ＋ 10日(YES, NO)		／		処理日がある場合には、処理日で判定
			YES	(89) 確認メッセージ 「相手方からの10日以内の届出です。受理しても いいですか？」を表示		(90) 本紙へ	
				YES	(91) → (107)	／	
				NO	(92) エラーメッセージ 「発収簿処理をしてください。」 を表示		(93) 届出メニューへ
			NO	(94) → (107)	／		
	2	(95) 届出人資格1 または 届出人資格2 (006:夫, 007:妻)			／		
		006	(96) 受領日または処理日 ＜ 離婚の成立・確定日 ＋ 10日(YES, NO)		／		処理日がある場合には、処理日で判定
			YES	(97) 確認メッセージ 「相手方からの10日以内の届出です。受理しても いいですか。」を表示		(98) 本紙へ	
				YES	(99) → (107)	／	
				NO	(100) エラーメッセージ 「発収簿処理をしてください。」 を表示		(101) 届出メニューへ
			NO	(102) → (107)	／		
		007	(103) → (107)		／		(103)～(106)第12版で削除
				(104)	／		
				(105)		(106)	
	スペース	→ (107)					
(107) →							

50218

014

50219

第23(4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査(離婚同時77条の2届)	システム化調査研究会	平成 6年12月1日	平成10年 2月27日	2	14／18

処理名 4.0 中間ファイル（届書）編集・出力 1/5 （受取側） 中間ファイル（届書） ← （引渡側） 離婚同時77条の2入力画面

受取側 DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	引渡側 DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.，	備考
中間ファイル（届書）共通	受領番号		離婚同時77条の2届入力画面	受領NO				
	選択事件コード			————				「12」を引き渡す
	出張所番号			支所NO				
	受領日			受領日				
	送付日			送付日				
	発送元			発送元				
	在外送付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日				
	指示日			————				
	許可日			————				
	受理送付区分			送付日				在外送付区分＝0の時、1 在外送付区分≠0の時、2
	本非区分			本・非本				
	郵送日			郵送日				
	動態区分			動態				
	届区分			報告				
	渉外区分			————				0:日本人のみ
	同時決裁受領番号			————				
	ロック戸籍番号（1）			戸籍番号				本籍人の場合、夫婦の戸籍番号
	ロック戸籍番号（2）			————				
	ロック戸籍番号（3）			————				
	ロック戸籍番号（4）			————				
	ロック戸籍番号（5）			————				
	事件別内容							3／5～5／5参照

017

50220

第2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査（離婚同時７７条の２届）	システム化調査研究会	平成６年１２月　１日	平成　年　月　日	1	１５／１８

処理名	4.0 中間ファイル（届書）編集・出力 2／5	（受取側）中間ファイル（届書）	←（引渡側）離婚同時７７条の２入力画面

受取側			引渡側			コード	出力形態	
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	変換有無 ｻﾆﾀﾘﾌﾞﾙｰﾁﾝ	Ｚ９．，	備考
中間ファイル （届書） 共通	不受理申出処分区分			――――				
	処分区分			――――				審査の結果により、１＝受理または２＝不受理をセットする。 審査において一つでもエラーがある場合は不受理とする。
	決裁区分			――――				何も設定されていない場合に ０：未決裁を設定
	届書排他区分			――――				０：未　１：排他

016

第2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査（離婚同時７７条の２届）	システム化調査研究会	平成６年１２月　１日	平成　年　月　日	1	１６／１８

処理名	4.0 中間ファイル（届書）編集・出力３／５	（受取側）中間ファイル（届書）	←（引渡側）離婚同時７７条の２届入力画面

受取側			引渡側			コード	出力形態	
DB・ファイル名	項目		DB・ファイル名	項目		変換有無		備考
画面名称	名称	記号名	画面名称	名称	記号名	ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	Z9.，	
中間ファイル	夫の個人番号		離婚同時					本籍人の場合、妻の個人番号
（届書）	筆頭者区分（夫）		７７条の２届	夫の筆頭者区分				
事件別内容	カナ氏名（夫）		入力画面	夫のカナ氏名				
	漢字氏名（夫）		（その１）	夫の漢字氏名				
	住所コード（夫）			夫の住所				
	住所地番（夫）							
	世帯主（夫）			夫の世帯主				
	父氏名（夫）			夫の父の氏名				
	母氏名（夫）			夫の母の氏名				
	父母との続柄（夫）			夫の父母との続柄				
	生年月日（夫）			夫の生年月日				
	筆頭者区分（妻）			妻の筆頭者区分				
	妻の個人番号							本籍人の場合、妻の個人番号
	カナ氏名（妻）			妻のカナ氏名				
	漢字氏名（妻）			妻の漢字氏名				
	住所コード（妻）			妻の住所				
	住所地番（妻）							
	世帯主（妻）			妻の世帯主				
	父氏名（妻）			妻の父の氏名				
	母氏名（妻）			妻の母の氏名				
	父母との続柄（妻）			妻の父母との続柄				
	生年月日（妻）			妻の生年月日				
	本籍コード			本籍				
	本籍地番							
	筆頭者			筆頭者				

第２（３）（４）	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査（離婚同時７７条の２届）	システム化調査研究会	平成６年１２月　１日	平成　年　月　日	1	１７／１８

処理名	4.0 中間ファイル（届書）編集・出力４／５	（受取側）中間ファイル（届書）	←（引渡側）離婚同時７７条の２届入力画面

受取側			引渡側			コード変換有無	出力形態	備考
DB・ファイル名	項目		DB・ファイル名	項目				
画面名称	名称	記号名	画面名称	名称	記号名	ｻﾆﾀｲｽﾞﾌﾙｰﾁﾝ	Ｚ９．．	
中間ファイル（届書）事件別内容	離婚の種別区分		離婚同時７７条の２届入力画面（その２）	離婚の種別区分 離婚の申立人区分				
	離婚の申立人区分							
	離婚の成立・確定日			離婚の成立･確定日				
	戸籍変動区分			戸籍変動区分				
	新本籍コード			新本籍				
	新本籍地番							
	新筆頭者カナ氏名							本籍人の場合設定
	新筆頭者			新筆頭者				
	外国離婚方式			離婚の方式				
	裁判所所在国			裁判所所在国				
	外国裁判所名			外国裁判所名				
	親権指定者の有無			親権指定者の有無				
	未成年の子の人数			未成年の子の人数				
	届出人資格１			届出人資格１				
	届出人資格２			届出人資格２				
	未成年者項目 カナ氏名（未成年者ｎ）		離婚同時７７条の２画面（その３）	未成年者項目 未成年者ｎのカナ氏名				未成年者項目については、複数件数存在する場合がある。
	未成年者項目 漢字氏名（未成年者ｎ）			未成年者ｎの漢字氏名				
	未成年者項目 父の氏名（未成年者ｎ）			未成年者ｎの父の氏名				
	未成年者項目 母の氏名（未成年者ｎ）			未成年者ｎの母の氏名				
	未成年者項目 父母との続柄（未成年者ｎ）			未成年者ｎの父母との続柄				

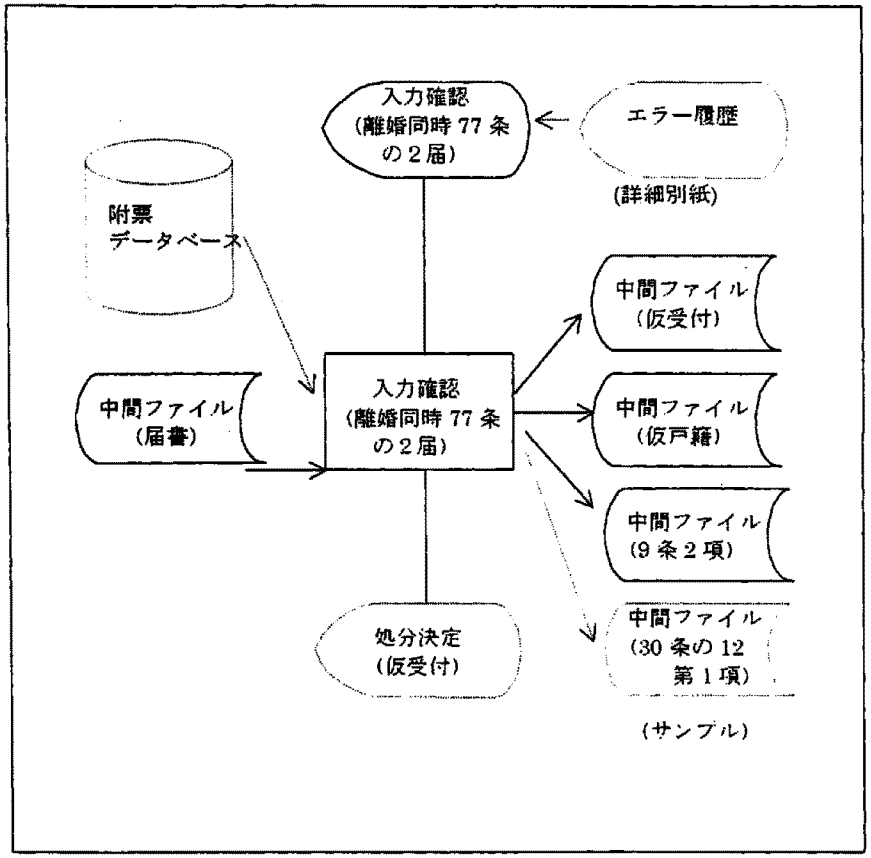
第2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査（離婚同時７７条の２届）	システム化調査研究会	平成６年１２月　１日	平成　年　月　日	1	１８／１８

処理名：4.0 中間ファイル（届書）編集・出力５／５　（受取側）中間ファイル（届書）　←（引渡側）離婚同時７７条の２入力画面

受取側 DB・ファイル名 / 画面名称	受取側 項目 名称		受取側 項目 記号名	引渡側 DB・ファイル名 / 画面名称	引渡側 項目 名称		引渡側 項目 記号名	コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z９．，	備考
中間ファイル（届書）事件別内容	未成年者項目	生年月日（未成年者ｎ）		離婚同時７７条の２届入力画面（その３）	未成年者項目	未成年者ｎの生年月日				
		養父の氏名（未成年者ｎ）				未成年者ｎの養父の氏名				
		養母の氏名（未成年者ｎ）				未成年者ｎの養母の氏名				
		養父母との続柄（未成年者ｎ）				未成年者ｎの養父母との続柄				
		親権者区分（未成年者ｎ）				未成年者ｎの親権者区分				

第2 3 (2)	システム環境仕様書	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(離婚同時77条の2届)	システム化調査研究会	平成6年12月1日	平成11年3月1日	2.1	1-36

1. 詳細フロー



2. 使用DB・ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ファイル(届書)	入力	中間ファイル (30条の12第1項)	出力 (サンプル)
附票データベース	入力 (サンプル)		
中間ファイル(仮受付)	出力		
中間ファイル(仮戸籍)	出力		
中間ファイル(9条2項)	出力		

3. 処理概要

(1)中間ファイル(届書)の内容を画面表示する。
(2)戸籍変動情報を確定する。
(3)中間ファイル(仮受付)を編集・出力する。
(4)中間ファイル(仮戸籍)を編集・出力する。
(5)中間ファイル(9条2項)を編集・出力する。
(6)中間ファイル(30条の12第1項)を編集・出力する。……(サンプル提示)
(7)処分決定処理に制御を渡す。

4. 機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 データ編集表(確認画面)
- 2.0 戸籍編製マトリックス
- 3.0 データ編集表(中間ファイル 仮受付)
  - 3.1 仮受付(離婚)
  - 3.2 仮受付(77条の2)
- 4.0 データ編集表(中間ファイル 仮戸籍(夫))
  - 4.1 身分事項(夫婦の戸籍・除籍(離婚))
  - 4.2 身分事項(夫婦の戸籍・除籍(77条の2))
  - 4.3 身分事項(新戸籍 ・入籍(離婚))
  - 4.4 身分事項(新戸籍 ・入籍(77条の2))
  - 4.5 身分事項(夫婦の戸籍・変動なし)
  - 4.6 戸籍事項(新戸籍 ・入籍(77条の2))
- 5.0 データ編集表(中間ファイル 仮戸籍(妻))
  - 5.1 身分事項(夫婦の戸籍・除籍(離婚))
  - 5.2 身分事項(夫婦の戸籍・除籍(77条の2))
  - 5.3 身分事項(新戸籍 ・入籍(離婚))
  - 5.4 身分事項(新戸籍 ・入籍(77条の2))
  - 5.5 身分事項(夫婦の戸籍・変動なし)
  - 5.6 戸籍事項(新戸籍 ・入籍(77条の2))
- 6.0 データ編集表(中間ファイル 仮戸籍(干))
  - 6.1 身分事項(変動なし)
- 7.0 データ編集表(中間ファイル 9条2項)
  - 7.1 夫
  - 7.2 妻
- 8.0 データ編集表(中間ファイル 30条の12第1項)…(サンプル提示)
  - 8.1 夫 8.2 妻

5. 備考(特記事項含む)

※戸籍事項(77条の2)〔4.6 , 5.6〕を編集した場合は, その後に戸籍事項(編製)B1を作成する。

第23(3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(離婚同時77条の2届)	システム化調査研究会	平成6年12月1日	平成11年3月1日	2.1	2-36

処理名	0.0 本紙		備考
(1)中間ファイル(届書)の内容を確認画面に出力し、メッセージ「入力項目を確認し、よければ実行キーを押下してください。」を表示する		〔1.0〕	「届書メニュー」で受領番号が入力された場合届書ファイルから画面編集を行う。
(2)キー選択(実行キー, PF1, PF2, PF5, PF7, PF8, PF11, その他)			
実行キー	(3)中間ファイル(届書)の内容から戸籍編成マトリックス表を参照し、事件本人の戸籍変動状況を決定する	〔2.0〕	
	(4)中間ファイル(仮受付)を編集・出力する		
	仮受付(離婚) (5)離婚届による仮受付ファイルの編集	〔3.1〕	
	仮受付(77条の2) (6)77条の2届による仮受付ファイルの編集	〔3.2〕	
	(7)事件本人が本籍人である (YES, NO)		
	YES (8)夫の戸籍の変動状況をもとに中間ファイル(仮戸籍)を編集・出力する		
	身分事項(除籍) (11)夫の除籍事項の編集(夫婦の戸籍)	〔4.1〕	離婚の記載
	身分事項(除籍) (12)夫の除籍事項の編集(夫婦の戸籍)	〔4.2〕	77条の2の記載
	身分事項(入籍) (13)夫の入籍事項の編集(新戸籍)	〔4.3〕	離婚の記載
	身分事項(入籍) (14)夫の入籍事項の編集(新戸籍)	〔4.4〕	77条の2の記載
	身分事項(変動なし) (15)夫の変動なし事項の編集(夫婦の戸籍)	〔4.5〕	
	身分事項(入籍) (16)夫の77条の2事項の編集(新戸籍)	〔4.6〕	
	(16-1)夫は在外選挙人である (YES, NO)		※サンプル提示 処理(16-1)～(16-3)
	YES (16-2)夫について中間ファイル(30条の12第1項)を編集・出力する	〔8.1〕	附票情報との連動により在外選挙人関連の
	NO (16-3) → (17)		対応が戸籍システムで可能な場合
	(17)妻の戸籍の変動状況をもとに中間ファイル(仮戸籍)を編集・出力する		
	身分事項(除籍) (20)妻の除籍事項の編集(夫婦の戸籍)	〔5.1〕	離婚の記載
	身分事項(除籍) (21)妻の除籍事項の編集(夫婦の戸籍)	〔5.2〕	77条の2の記載
	身分事項(入籍) (22)妻の入籍事項の編集(新戸籍)	〔5.3〕	離婚の記載
	身分事項(入籍) (23)妻の入籍事項の編集(新戸籍)	〔5.4〕	77条の2の記載
	身分事項(変動なし) (24)妻の変動なし事項の編集(夫婦の戸籍)	〔5.5〕	
	身分事項(入籍) (25)妻の77条の2事項の編集(新戸籍)	〔5.6〕	
	(25-1)妻は在外選挙人である (YES, NO)		＊サンプル提示 処理(25-1)～(25-3)
	YES (25-2)妻について中間ファイル(30条の12第1項)を編集・出力する	〔8.2〕	附票情報との連動により在外選挙人関連の
	NO (25-3) → (26)		対応が戸籍システムで可能な場合

第23(3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(離婚同時77条の2届)	システム化調査研究会	平成6年12月1日	平成11年3月1日	2.1	3/36

処理名		0.0 本紙			備考
実行キー	YES	(26)子の戸籍の変動状況をもとに中間ファイル(仮戸籍)を編集・出力する	／		
		身分事項(変動なし) : (27)子の変動なし事項の編集(夫婦の戸籍) 〔6.1〕	／		
	NO	(28) → (29)	／		
	(29)在外送付区分=0 : 受理分 又は 2 : 在外公館の直接送付である (YES, NO)		／		
	YES	(30)夫について中間ファイル(9条2項)を編集・出力する 〔7.1〕	／		
		(31)妻について中間ファイル(9条2項)を編集・出力する 〔7.2〕		(32), (33)処分決定に制御を渡す	
	NO	→			
PF1	→			(34)業務選択に制御を渡す	
PF2	→			(35)届出選択に制御を渡す	
PF5	→			(36)審査に制御を渡す	
PF7	(37)前ページがあるか (ある:YES, なし:NO)		／		
	YES	(38)前ページ分の「離婚同時77条の2届」画面を編集		(39)同画面を編集する	
	NO	(40)エラーメッセージ「先頭ページです。」を表示する			
PF8	(41)次ページがあるか (ある:YES, なし:NO)		／		
	YES	(42) 次ページ分の「離婚同時77条の2届」画面を編集		(43)同画面を編集する	
	NO	(44)エラーメッセージ「最終ページです。」を表示する			
PF11	→			(45)エラー履歴表示に制御を渡す	
その他	(46) エラーメッセージ「無効なキーが押されました。」を表示する			(47)同画面を編集する	

第2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認（離婚同時77条の２届）	システム化調査研究会	平成６年１２月　１日	平成　年　月　日	1	4／36

処理名	1.0 確認画面（離婚同時77条の2届）表示 1/3	（受取側）離婚同時77条の２届確認画面	←（引渡側）中間ファイル（届書）

受取側			引渡側			コード	出力形態	
DB・ファイル名	項目		DB・ファイル名	項目		変換有無		備考
画面名称	名称	記号名	画面名称	名称	記号名	ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	Z9,,	
離婚同時77条の2届確認画面（その1）	画面ＩＤ			画面ＩＤ				
	システム日付			システム日付				
	支所NO		中間ファイル（届書）共通	出張所番号				
	受領NO			受領番号				
	受領日			受領日				
	送付日			送付日				
	発送元			発送元				
	在外送付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日				
	本・非本			本非区分				
	郵送日			郵送日				
	動態			動態区分				
	報告			届出区分				
	夫の筆頭者区分		中間ファイル（届書）事件別内容	筆頭者区分（夫）				
	夫のカナ氏名			カナ氏名（夫）				
	夫の漢字氏名			漢字氏名（夫）				
	夫の住所			住所コード（夫）				
				住所地番（夫）				
	夫の世帯主			世帯主（夫）				
	夫の父の氏名			父氏名（夫）				
	夫の母の氏名			母氏名（夫）				
	夫の父母との続柄			父母との続柄（夫）				
	夫の生年月日			生年月日（夫）				
	妻の筆頭者区分			筆頭者区分（妻）				
	妻のカナ氏名			カナ氏名（妻）				
	妻の漢字氏名			漢字氏名（妻）				

第2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認（離婚同時77条の２届）	システム化調査研究会	平成６年１２月　１日	平成　年　月　日	1	5／36

処理名	1.0 確認画面（離婚同時77条の2届）表示 2/3	（受取側）離婚同時77条の２届確認画面	←（引渡側）中間ファイル（届書）

受取側			引渡側			コード変換有無	出力形態	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	ｻﾆﾀｲｽﾞﾙｰﾁﾝ	Ｚ９．，	
離婚同時77条の２届確認画面（その１）	妻の住所		中間ファイル（届書） 事件別内容	住所コード（妻）				
				住所地番（妻）				
	妻の世帯主			世帯主（妻）				
	妻の父の氏名			父の氏名（妻）				
	妻の母の氏名			母の氏名（妻）				
	妻の父母との続柄			父母との続柄（妻）				
	妻の生年月日			生年月日（妻）				
	本籍			本籍コード				
				本籍地番				
	筆頭者			筆頭者				
離婚同時77条の２届確認画面（その２）	離婚の種別区分			離婚の種別区分				
	離婚の申立人区分			離婚の申立人区分				
	戸籍変動区分			戸籍変動区分				
	新本籍			新本籍コード				
				新本籍地番				
	新筆頭者			新筆頭者				
	離婚の成立・確定日			離婚の成立･確定日				
	離婚の方式			外国離婚方式				
	裁判所所在国			裁判所所在国				
	外国裁判所名			外国裁判所名				
	親権指定者の有無			親権指定者の有無				
	未成年の子の人数			未成年者の子の人数				
	届出人資格１			届出人資格１				
	届出人資格２			届出人資格２				

第2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認（離婚同時77条の２届）	システム化調査研究会	平成６年１２月　１日	平成　年　月　日	1	6／36

処理名　1.0 確認画面（離婚同時77条の2届）表示 3/3　（受取側）離婚同時77条の２届確認画面　←（引渡側）中間ファイル（届書）

受取側				引渡側				コード	出力形態	
DB・ファイル名 画面名称	項目			DB・ファイル名 画面名称	項目			変換有無 ｻﾆﾀｲｽﾞﾙｰﾁﾝ	Ｚ９．，	備考
		名称	記号名			名称	記号名			
離婚同時 ７７条の２届 確認画面 （その３）	未成年者項目ｎ件	未成年者ｎの カナ氏名		中間ファイル （届書） 事件別内容	未成年者項目ｎ件	カナ氏名 （未成年者ｎ）				
		未成年者ｎの 漢字氏名				漢字氏名 （未成年者ｎ）				
		未成年者ｎの 父の氏名				父の氏名 （未成年者ｎ）				
		未成年者ｎの 母の氏名				母の氏名 （未成年者ｎ）				
		未成年者ｎの 父母との続柄				父母との続柄 （未成年者ｎ）				
		未成年者ｎの 生年月日				生年月日 （未成年者ｎ）				
		未成年者ｎの 養父の氏名				養父の氏名 （未成年者ｎ）				
		未成年者ｎの 養母の氏名				養母の氏名 （未成年者ｎ）				
		未成年者ｎの 養父母との続柄				養父母との続柄 （未成年者ｎ）				
		未成年者ｎの 親権者区分				親権者区分 （未成年者ｎ）				

第2-3(7)	補足説明書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認（離婚同時77条の２届）	システム化調査研究会	平成６年１２月　１日	平成　年　月　日	1	7／36

処理名　2.0 戸籍編製マトリックス表

項番	条件												戸籍の変動			
	現在の夫婦の戸籍		夫構成		妻構成		婚前に戻る者		戻る者の本籍新戸籍		親権指定		夫婦の戸籍		新戸籍 A.1 B.1 C.1 D.1	(注) 新戸籍編製の場合、B.1は4.6または5.6編集後作成する。
	管内	管外	筆頭者	構成員	筆頭者	構成員	夫	妻	管内	管外	有	無	一部除籍 C.2	変動なし C.2	編製	
1	○		○			○		○	○		○		妻(5.1),(5.2)	夫(4.5), 子(6.1)	妻(5.3),(5.4),(5.6)	
2	○		○			○		○	○			○	妻(5.1),(5.2)	夫(4.5)	妻(5.3),(5.4),(5.6)	
3	○		○			○		○		○	○		妻(5.1),(5.2)	夫(4.5), 子(6.1)		
4	○		○			○		○		○		○	妻(5.1),(5.2)	夫(4.5)		
5		○	○			○		○	○		−	−			妻(5.3),(5.4),(5.6)	
6		○	○			○		○		○	−	−				
7	○			○	○		○		○		○		夫(4.1),(4.2)	妻(5.5), 子(6.1)	夫(4.3),(4.4),(4.6)	
8	○			○	○		○		○			○	夫(4.1),(4.2)	妻(5.5)	夫(4.3),(4.4),(4.6)	
9	○			○	○		○			○	○		夫(4.1),(4.2)	妻(5.5), 子(6.1)		
10	○			○	○		○			○		○	夫(4.1),(4.2)	妻(5.5)		
11		○		○	○		○		○		−	−			夫(4.3),(4.4),(4.6)	
12		○		○	○		○			○	−	−				

ひな型使用時の補足説明

(1)Ｃ２：個人特定（記録）編集

・夫および妻の配偶者区分は　０（未）を設定する

（新戸籍編製で除籍となる者についても、配偶者区分を設定すること）

第 2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(離婚同時77条2届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成28年 3月 31日	19	8/36

処理名	3.1 中間ファイル(仮受付)編集・出力 1/3	(受取側) 中間ファイル(仮受付・離婚)／共通	←	(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード	出力形態	
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	変換有無 ｻ=ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	Z9.,	備考
中間ﾌｧｲﾙ (仮受付・離婚) 共通	受領番号		中間ﾌｧｲﾙ (届書)	受領番号				離婚届の受領番号
	出張所番号			出張所番号				
	受付事件コード			――――――				離婚の種別が 1の場合、1001(離婚) 2の場合、1002(調停) 3の場合、1003(裁判) 4の場合、1003(裁判) 5の場合、1003(裁判) 6の場合、1003(裁判)
	受付日			受領日または送付日				送付日≠スペースの場合、送付日
	事件発生日			離婚の成立・確定日				報告区分＝2の場合、移送
	事件発生時分			――――――				
	受理送付区分			受理送付区分				
	本非区分			本非区分				
	渉外区分			――――――				0:日本人
	証書提出区分			――――――		離婚の方式≠ｽﾍﾟｰｽの時、1(証書提出)、以外は0(届出)		
	発送日			――――――				
	郵送日			郵送日				
	発日			――――――				
	収日			――――――				
	指示日			指示日				
	許可日			許可日				
	関連受領番号			――――――				受領番号+1 (77条の2届の受領番号)
	届出人資格区分1			届出人資格1	条件(1-1)離婚の種別＝1(協議)の場合、ｽﾍﾟｰｽ			
	届出人資格名称1			届出人資格2				
	届出人氏名1			夫の氏名	(2)離婚の種別≠1(裁判)の場合 届出人資格1及び届出人氏名1に以下の項目を設定			
	届出人資格区分2			妻の氏名				
	届出人資格名称2							
	届出人氏名2							

申立人区分	届出人資格1 or 2	離婚の種別	届出人資格	届出人氏名
1	006	2	「申立人」	夫の氏名
		3,4,5,6	「訴提起者」	夫の氏名
	007	-	「相手方」	妻の氏名
2	006	-	「相手方」	夫の氏名
	007	2	「申立人」	妻の氏名
		3,4,5,6	「訴提起者」	妻の氏名

第2(3)(4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認（離婚同時77条の2届）	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	9／36

処理名：3.1 中間ファイル（仮受付）編集・出力 2/3　（受取側）中間ファイル（仮受付・離婚）／共通　←（引渡側）中間ファイル（届書）

受取側 DB・ファイル名 / 画面名称	項目 名称	項目 記号名	引渡側 DB・ファイル名 / 画面名称	項目 名称	項目 記号名	コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.，	備考
中間ファイル（仮受付・離婚）共通	届後本籍区分		中間ファイル（届書）	――				「2：新戸籍編製」を移送
	届後本籍コード			新本籍コード				
	届後本籍			新本籍地番				
	届後戸籍の筆頭者			新筆頭者				
	送達確認1			――				届後本籍が非本籍 かつ 在外送付区分＝0（受理分）の場合、1（未到着）を設定。 上記以外は、0（不要）を設定。
	届書送付目録区分			――				本非区分＝1（本籍）の場合、1（送付要）を設定。 上記以外は、0（送付不要）を設定。 ＊本非区分は、共通部の項目を用いる。
	処分区分			処分区分				
	決裁区分			決裁区分				

第23(4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(離婚同時77条の2届)	システム化調査研究会	平成 6年12月1日	平成10年 2月27日	2	10／36

処理名	3.1 中間ファイル(仮受付)編集・出力 3/3	(受取側)中間ファイル(仮受付・離婚)／事件本人 ←(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側 DB・ファイル名 画面名称	受取側 項目 名称	受取側 項目 記号名	引渡額 DB・ファイル名 画面名称	引渡額 項目 名称	引渡額 項目 記号	コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.，	備考
中間ファイル(仮受付・離婚)事件本人	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	行番号			―――				
	事件本人区分			―――				夫の場合、12(夫) 妻の場合、13(妻)
	届出人区分			離婚の種別＝1かつ離婚の方式=スペースの場合 夫及び妻の場合、1を設定 離婚の種別＝1かつ離婚の方式≠スペースの場合 夫の場合、届出人資格1または2＝006:夫の時、1を設定 妻の場合、届出人資格1または2＝007:妻の時、1を設定 離婚の種別≠1の場合 夫の場合、届出人資格1または2＝006:夫の時、1を設定 妻の場合、届出人資格1または2＝007:妻の時、1を設定 上記以外は0を設定。				
	カナ氏名			夫または妻のカナ氏名				
	漢字氏名			夫または妻の漢字氏名				
	生年月日			夫または妻の生年月日				
	本籍コード			本籍コード				
	本籍			本籍地番				
	筆頭者							夫の筆頭者区分が1のとき夫の漢字氏名 上記以外、妻の漢字氏名
	送達確認2							現本籍が、(本非区分＝2)かつ(存外送付区分＝0)の場合、1(未到着)を設定。 上記以外は、0(不要)を設定。

☆事件本人情報の出力順位は、筆頭者を先に出力する。

020

第2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(離婚同時77条2届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成18年 3月 1日	10	11/36

処理名	3.2 中間ファイル(仮受付)編集・出力 1/3	(受取側) 中間ファイル(仮受付・77条の2)／共通 ←	(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無	出力形態	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	(サブルーチン)	Z9.,	
中間ファイル (仮受付・77条2) 共通	受領番号		中間ファイル(届書)	――――				受領番号 ＋ 1 (77条の2届の受領番号)
	出張所番号			出張所番号				
	受付事件コード			――――				1101(77条の2届)を設定
	受付日			受領日または送付日				送付日≠スペースの場合、送付日
	事件発生日			――――				10版にて修正
	事件発生時分			――――				
	受理送付区分			受理送付区分				
	本非区分			本非区分				
	渉外区分			――――				0:日本人
	証書提出区分			――――				0:届出
	発送日			――――				
	郵送日			郵送日				
	発日			――――				
	収日			――――				
	指示日			指示日				
	許可日			許可日				
	関連受領番号			受領番号				離婚届の受領番号
	届出人資格区分1							
	届出人資格名称1							
	届出人氏名1							事件本人なので設定しない
	届出人資格区分2							
	届出人資格名称2							
	届出人氏名2							
	届後本籍区分		中間ファイル(届書) 事件別内容	――――				「2:新戸籍編製」を移送
	届後本籍コード			新本籍コード				

030

第2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認（離婚同時77条の2届）	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	12／36

処理名	3.2 中間ファイル（仮受付）編集・出力 2/3	（受取側）中間ファイル（仮受付・77条の2）／共通	←（引渡側）中間ファイル（届書）

受取側			引渡側			コード変換有無	出力形態	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	Z9.,	
中間ファイル（仮受付・77条の2）共通	届後本籍		中間ファイル（届書）	新本籍地番				
	届後戸籍の筆頭者			新筆頭者				
	送達確認1			―――				届後本籍が非本籍 かつ 在外送付区分＝0（受理分）の場合、1（未到着）を設定。 上記以外は、0（不要）を設定。
	届書送付目録区分			―――				本非区分＝1（本籍）の場合、1（送付要）を設定。 上記以外は、0（送付不要）を設定。 ＊本非区分は、共通部の項目を用いる。
	処分区分			処分区分				
	決裁区分			決裁区分				

50236

第2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(離婚同時77条2届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成18年 3月 1日	10	13/36

処理名	3.2 中間ファイル(仮受付)編集・出力 3/3.	(受取側) 中間ファイル(仮受付・離婚)／共通	←	(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(サブルーチン)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮受付・77条2) 事件本人	受領番号		中間ファイル(届書) 事件別内容	受領番号				
	行番号			――――				
	事件本人区分			――――				「14」(氏続称者(従前の氏を称する者))を移送
	届出人区分			――――				1を設定
	カナ氏名			夫または妻のカナ氏名				
	漢字氏名			夫または妻の漢字氏名				
	生年月日			夫または妻の生年月日				
	本籍コード			本籍コード				
	本籍			本籍地番				
	送達確認2			――――				現本籍が、(本非区分＝2)かつ (在外送付区分＝0)の場合、 1(未到着)を設定 上記以外は、0(不要)を設定

＊夫、妻の筆頭者区分を判定し、筆頭者区分＝0(構成員)
のどちらか一方を作成する。

(例) 妻の筆頭者区分が0の場合、
妻のカナ氏名、生年月日等のデータを編集する。

032

第 2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(離婚同時77条2届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成23年 3月 1日	14	14/36

処理名	4.1 身分事項(除籍)の編集・出力 1/2	(受取側) 中間ファイル(仮戸籍)身分事項	←	(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側				引渡側			コード変換有無	出力形態	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	ｻｰｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	Z9.，	
中間ﾌｧｲﾙ (仮戸籍) 身分事項	個人番号			中間ﾌｧｲﾙ (届書)	個人番号(夫)				
	行番号				――――				
	出力区分				――――				「0」を移送
	タイトルコード				――――				「1001」を移送
	記録コード				――――				「1001」を移送
	管掌者コード				――――				
	事件発生日				受領日 離婚の成立日・確定日				離婚の種別＝1(協議)かつ 離婚の方式＝ｽﾍﾟｰｽの時、受領日を設定 上記以外は、離婚の成立・確定日を設定
離婚	離婚日				受領日 離婚の成立日・確定日		離婚の種別＝1(協議)かつ離婚の方式＝ｽﾍﾟｰｽの時、受領日 離婚の種別＝1(協議)かつ離婚の方式≠ｽﾍﾟｰｽの時、離婚の成立・確定日を設定　以外は、ｽﾍﾟｰｽ		
	離婚の調停成立日				離婚の成立日・確定日				離婚種別＝2のときのみ、 離婚の成立・確定日を設定
	離婚の裁判確定日				離婚の成立日・確定日				離婚種別＝3，4のときのみ、 離婚の成立・確定日を設定
	離婚の和解成立日				離婚の成立日・確定日				離婚種別＝5のときのみ、 離婚の成立・確定日を設定
	離婚の請求認諾日				離婚の成立日・確定日				離婚種別＝6のときのみ、 離婚の成立・確定日を設定
	離婚除籍日				――――				
	配偶者氏名				妻の氏名				
	配偶者の国籍				――――				
	離婚の方式				離婚の方式				
	裁判所				裁判所所在国 外国裁判所名				「裁判所所在国」＋「外国裁判所名」
	届出日				受領日				離婚の種別≠1のときのみ
	届出人	資格			――――				離婚の種別≠1かつ 届出人資格1or2＝007の場合、 「妻」を設定
		資格名称							
	証書提出日				受領日		離婚の種別＝1(協議)かつ離婚の方式≠ｽﾍﾟｰｽのときのみ		
	証書提出者	資格			――――		離婚の種別＝1(協議)かつ離婚の方式≠ｽﾍﾟｰｽかつ 届出人が妻から一方のみの場合に「妻」を設定		
		資格名称							

50237

033

50238

第2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認（離婚同時77条の2届）	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	15／36

処理名	4.1 身分事項（除籍）の編集・出力 2/2	（受取側）中間ファイル（仮戸籍）身分事項	←（引渡側）中間ファイル（届書）

受取側				引渡側				コード	出力形態	備考
DB・ファイル名	項目			DB・ファイル名	項目			変換有無		
画面名称	名称		記号名	画面名称	名称		記号名	ｻ=ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	Z9.,	
中間ファイル（仮戸籍）身分事項	送付	送付を受けた日		中間ファイル（届書）	———					
		受理者			———					
	許可	許可日			———					
		許可書謄本の送付を受けた日			———					
		許可を受けた者			———					
	入籍	入籍日			———					
	入戸籍	従前戸籍 本籍			———					
		従前戸籍 筆頭者			———					
	除籍	除籍日			———					
	除戸籍	新本籍			———					
		称する氏			———					
		離婚後の氏			———					
		入戸籍 本籍			———					
		入戸籍 筆頭者			———					
	記録	記録日			———					
	特記	特記事項			———					

034

50239

第2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認（離婚同時77条の2届）	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	16／36

処理名	4.2 身分事項（除籍）の編集・出力	（受取側）中間ファイル（仮戸籍）身分事項	←（引渡側）中間ファイル（届書）

受取側 DB・ファイル名 / 画面名称	受取側 項目 名称	受取側 項目 記号名	引渡側 DB・ファイル名 / 画面名称	引渡側 項目 名称	引渡側 項目 記号名	コード変換有無 ｻ=ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Z9..	備考
中間ファイル（仮戸籍）身分事項	個人番号		中間ファイル（届書）	個人番号（夫）				
	行番号			———				
	出力区分			———				「0」ゼロを移送
	タイトルコード			———				「1101」を移送
	記録コード			———				「1101」を移送
	管掌者コード			———				
	事件発生日			受領日				
	氏変更 氏変更日			受領日				
	氏変更 氏変更の事由			———				「戸籍法77条の2の届出」を移送
	送付 送付を受けた日			送付日				項目があれば移送
	送付 受理者			発送元				
	許可 許可日			———				
	許可 許可書謄本の送付を受けた日			———				
	許可 許可を受けた者			———				
	入籍 入籍日			———				
	入戸籍 従前戸籍 本籍			———				
	入戸籍 従前戸籍 筆頭者			———				
	除籍 除籍日			処理日				
	除戸籍 新本籍			新本籍コード 新本籍地番				
	除戸籍 称する氏			———				
	記録 記録日			———				
	特記 特記事項			———				

035

第 2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(離婚同時77条2届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成23年 3月 1日	14	17/36

処理名	4.3 身分事項(入籍)の編集・出力 1/2	(受取側) 中間ファイル(仮戸籍)身分事項 ← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側				引渡側			コード	出力形態	
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	変換有無 ｻ=ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	Z9.，	備考
中間ﾌｧｲﾙ (仮戸籍) 身分事項	個人番号			中間ﾌｧｲﾙ (届書)	個人番号(夫)				
	行番号				―――				
	出力区分				―――				「0」を移送
	タイトルコード				―――				「1001」を移送
	記録コード				―――				「1001」を移送
	管掌者コード				―――				
	事件発生日				受領日 離婚の成立日・確定日				離婚の種別＝1(協議)かつ 離婚の方式＝ｽﾍﾟｰｽの時、受領日を設定 上記以外は、離婚の成立・確定日を設定
離婚	離婚日				受領日 離婚の成立日・確定日		離婚の種別＝1(協議)かつ離婚の方式＝ｽﾍﾟｰｽの時、受領日 離婚の種別＝1(協議)かつ離婚の方式≠ｽﾍﾟｰｽの時、離婚の成立・確定日を設定　以外は、ｽﾍﾟｰｽ		
	離婚の調停成立日				離婚の成立日・確定日				離婚種別＝2のときのみ、 離婚の成立・確定日を設定
	離婚の裁判確定日				離婚の成立日・確定日				離婚種別＝3，4のときのみ、 離婚の成立・確定日を設定
	離婚の和解成立日				離婚の成立日・確定日				離婚種別＝5のときのみ、 離婚の成立・確定日を設定
	離婚の請求認諾日				離婚の成立日・確定日				離婚種別＝6のときのみ、 離婚の成立・確定日を設定
	離婚除籍日				―――				
	配偶者氏名				妻の氏名				
	配偶者の国籍				―――				
	離婚の方式				離婚の方式				
	裁判所				裁判所所在国 外国裁判所名				「裁判所所在国」＋「外国裁判所名」
	届出日				受領日				離婚の種別≠1のときのみ
	届出人	資格			―――				離婚の種別≠1かつ 届出人資格1or2＝007の場合、 「妻」を設定
		資格名称							
	証書提出日				受領日		離婚の種別＝1(協議)かつ離婚の方式≠ｽﾍﾟｰｽのときのみ		
	証書提出者	資格			―――		離婚の種別＝1(協議)かつ離婚の方式≠ｽﾍﾟｰｽかつ 届出人が妻から一方のみの場合に「妻」を設定		
		資格名称							

50240

036

50241

第2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認（離婚同時77条の２届）	システム化調査研究会	平成６年１２月　１日	平成　年　月　日	1	18／36

処理名	4.3 身分事項（入籍）の編集・出力　2/2	（受取側）中間ファイル（仮戸籍）身分事項	←（引渡側）中間ファイル（届書）

受取側				引渡側				コード	出力形態	備考
DB・ファイル名	項目			DB・ファイル名	項目			変換有無		
画面名称	名称		記号名	画面名称	名称		記号名	ｻ=ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	Z9.,	
中間ファイル（仮戸籍）身分事項	送付	送付を受けた日		中間ファイル（届書）	———					
		受理者			———					
	許可	許可日			———					
		許可書謄本の送付を受けた日			———					
		許可を受けた者			———					
	入籍	入籍日			———					
	入戸籍	従前戸籍 本籍			———					
		従前戸籍 筆頭者			———					
	除籍	除籍日			———					
	除戸籍	新本籍			———					
		称する氏			———					
		離婚後の氏			———					
		入戸籍 本籍			———					
		入戸籍 筆頭者			———					
	記録	記録日			———					
	特記	特記事項			———					

037

第2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認（離婚同時77条の2届）	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	19／36

処理名：4.4 身分事項（除籍）の編集・出力　　（受取側）中間ファイル（仮戸籍）身分事項　←（引渡側）中間ファイル（届書）

受取側 DB・ファイル名 / 画面名称	項目 名称		記号名	引渡側 DB・ファイル名 / 画面名称	項目 名称	記号名	コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
中間ファイル（仮戸籍）身分事項	個人番号			中間ファイル（届書）	個人番号（夫）				
	行番号				———				
	出力区分				———				「0」ゼロを移送
	タイトルコード				———				「1101」を移送
	記録コード				———				「1101」を移送
	管掌者コード				———				
	事件発生日				受領日				
	氏変更	氏変更日			受領日				
	氏変更	氏変更の事由			———				「戸籍法77条の2の届出」を移送
	送付	送付を受けた日			送付日				項目があれば移送
	送付	受理者			発送元				
	許可	許可日			———				
	許可	許可書謄本の送付を受けた日			———				
	許可	許可を受けた者			———				
	入籍	入籍日			処理日				
	入戸籍	従前戸籍 本籍			本籍地番				
	入戸籍	従前戸籍 筆頭者			筆頭者				
	除籍	除籍日			———				
	除戸籍	新本籍			———				
	除戸籍	称する氏			———				
	記録	記録日			———				
	特記	特記事項			———				

第 2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(離婚同時77条2届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成23年 3月 1日	14	20/36

処理名	4.5 身分事項(変動なし)の編集・出力 1/2	(受取側) 中間ファイル(仮戸籍)身分事項	←	(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側				引渡側				コード	出力形態	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	変換有無 ｻｰｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	Z9.，	
中間ﾌｧｲﾙ (仮戸籍) 身分事項	個人番号			中間ﾌｧｲﾙ (届書)	個人番号(夫)					
	行番号				――――					
	出力区分				――――					「0」を移送
	タイトルコード				――――					「1001」を移送
	記録コード				――――					「1001」を移送
	管掌者コード				――――					
	事件発生日				受領日 離婚の成立日・確定日					離婚の種別＝1(協議)かつ 離婚の方式＝ｽﾍﾟｰｽの時、受領日を設定 上記以外は、離婚の成立・確定日を設定
	離婚	離婚日			受領日 離婚の成立日・確定日			離婚の種別＝1(協議)かつ離婚の方式＝ｽﾍﾟｰｽの時、受領日 離婚の種別＝1(協議)かつ離婚の方式≠ｽﾍﾟｰｽの時、離婚の成立・確定日を設定　以外は、ｽﾍﾟｰｽ		
		離婚の調停成立日			離婚の成立日・確定日					離婚種別＝2のときのみ、 離婚の成立・確定日を設定
		離婚の裁判確定日			離婚の成立日・確定日					離婚種別＝3，4のときのみ、 離婚の成立・確定日を設定
		離婚の和解成立日			離婚の成立日・確定日					離婚種別＝5のときのみ、 離婚の成立・確定日を設定
		離婚の請求認諾日			離婚の成立日・確定日					離婚種別＝6のときのみ、 離婚の成立・確定日を設定
		離婚除籍日			――――					
		配偶者氏名			妻の氏名					
		配偶者の国籍			――――					
		離婚の方式			離婚の方式					
		裁判所			裁判所所在国 外国裁判所名					「裁判所所在国」＋「外国裁判所名」
		届出日			受領日					離婚の種別≠1のときのみ
		届出人 資格			――――					離婚の種別≠1かつ 届出人資格1or2＝007の場合、 「妻」を設定
		届出人 資格名称								
		証書提出日			受領日			離婚の種別＝1(協議)かつ離婚の方式≠ｽﾍﾟｰｽのときのみ		
		証書提出者 資格			――――			離婚の種別＝1(協議)かつ離婚の方式≠ｽﾍﾟｰｽかつ 届出人が妻から一方のみの場合に「妻」を設定		
		証書提出者 資格名称								

50243

039

50244

第2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認（離婚同時77条の２届）	システム化調査研究会	平成６年１２月　１日	平成　年　月　日	1	２１／３６

処理名	4.5 身分事項（変動なし）の編集・出力 2/2	（受取側）中間ファイル（仮戸籍）身分事項	←（引渡側）中間ファイル（届書）

受取側				引渡側				コード変換有無	出力形態	備考
DB・ファイル名	項目			DB・ファイル名	項目					
画面名称	名称		記号名	画面名称	名称		記号名	ｻｰﾁｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	Z9.，	
中間ファイル（仮戸籍）身分事項	送付	送付を受けた日		中間ファイル（届書）	送付日					項目があれば移送
		受理者			発送元					
	許可	許可日			―――					
		許可書謄本の送付を受けた日			―――					
		許可を受けた者			―――					
	入籍	入籍日			―――					
	入戸籍	従前戸籍 本籍			―――					
		従前戸籍 筆頭者			―――					
	除籍	除籍日			―――					
	除戸籍	新本籍			―――					
		称する氏			―――					
		離婚後の氏			―――					
		入戸籍 本籍			―――					
		入戸籍 筆頭者			―――					
	記録	記録日			処理日					
	特記	特記事項			―――					

040

第2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(離婚同時77条2届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成16年 3月 1日	8	22/36

処理名	4.6 戸籍事項(77条の2)編集・出力 1/1	(受取側) 中間ファイル(仮戸籍)戸籍事項 ←	(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側				引渡側				コード	出力形態	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目			DB・ファイル名 画面名称	項目			変換有無 ケーナブルーナン		
		名称	記号名		名称	記号名			Z9..	
中間ファイル (仮戸籍) 戸籍事項	戸籍番号			中間ファイル (届書)						
	行番号				———					
	出力区分				———					「0」を設定
	タイトルコード				———					「1101」を設定
	記録コード				———					「1101」を設定
	管掌者コード				———					
	事件発生日				受領日					
	氏変更 氏変更日				受領日					
	氏変更 氏変更の事由				———					「戸籍法77条の2の届出」を移送
	許可 許可日				———					
	許可 許可書謄本の送付を受けた日				———					
	許可 許可を受けた者				———					
	従前の記録				———					
	従前の記録 氏									
	記録 記録日				———					
	特記 特記事項				———					

第 2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(離婚同時77条2届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成23年 3月 1日	14	23/36

処理名	5.1 身分事項(除籍)の編集・出力 1/2	(受取側) 中間ファイル(仮戸籍)身分事項	←	(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側				引渡側				コード	出力形態	
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	変換有無 ｻｰｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	Z9.，	備考
中間ﾌｧｲﾙ (仮戸籍) 身分事項	個人番号			中間ﾌｧｲﾙ (届書)	個人番号(妻)					
	行番号				―――					
	出力区分				―――					「0」を移送
	タイトルコード				―――					「1001」を移送
	記録コード				―――					「1001」を移送
	管掌者コード				―――					
	事件発生日				受領日 離婚の成立日・確定日					離婚の種別＝1(協議)かつ 離婚の方式＝ｽﾍﾟｰｽの時、受領日を設定 上記以外は、離婚の成立・確定日を設定
離婚	離婚日				受領日 離婚の成立日・確定日			離婚の種別＝1(協議)かつ離婚の方式＝ｽﾍﾟｰｽの時、受領日 離婚の種別＝1(協議)かつ離婚の方式≠ｽﾍﾟｰｽの時、離婚の成立・確定日を設定　以外は、ｽﾍﾟｰｽ		
	離婚の調停成立日				離婚の成立日・確定日					離婚種別＝2のときのみ、 離婚の成立・確定日を設定
	離婚の裁判確定日				離婚の成立日・確定日					離婚種別＝3，4のときのみ、 離婚の成立・確定日を設定
	離婚の和解成立日				離婚の成立日・確定日					離婚種別＝5のときのみ、 離婚の成立・確定日を設定
	離婚の請求認諾日				離婚の成立日・確定日					離婚種別＝6のときのみ、 離婚の成立・確定日を設定
	離婚除籍日				―――					
	配偶者氏名				妻の氏名					
	配偶者の国籍				―――					
	離婚の方式				離婚の方式					
	裁判所				裁判所所在国 外国裁判所名					「裁判所所在国」＋「外国裁判所名」
	届出日				受領日					離婚の種別≠1のときのみ
	届出人	資格			―――					離婚の種別≠1かつ 届出人資格1or2＝006の場合、 「夫」を設定
		資格名称								
	証書提出日				受領日			離婚の種別＝1(協議)かつ離婚の方式≠ｽﾍﾟｰｽのときのみ		
	証書提出者	資格			―――			離婚の種別＝1(協議)かつ離婚の方式≠ｽﾍﾟｰｽかつ 届出人が夫から一方のみの場合に「夫」を設定		
		資格名称								

50246
042

50247

第2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認（離婚同時77条の2届）	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	24／36

処理名	5.1 身分事項（除籍）の編集・出力 2/2	（受取側）中間ファイル（仮戸籍）身分事項	←（引渡側）中間ファイル（届書）

受取側				引渡側			コード変換有無	出力形態	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	サ=サブルーチン	Z9.,	
中間ファイル （仮戸籍） 身分事項	送付	送付を受けた日		中間ファイル （届書）	———				
		受理者			———				
	許可	許可日			———				
		許可書謄本の送付を受けた日			———				
		許可を受けた者			———				
	入籍	入籍日			———				
	入戸籍	従前戸籍 本籍			———				
		従前戸籍 筆頭者			———				
	除籍	除籍日			———				
	除戸籍	新本籍			———				
		称する氏			———				
		離婚後の氏			———				
		入戸籍 本籍			———				
		入戸籍 筆頭者			———				
	記録	記録日			———				
	特記	特記事項			———				

043

第23(4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認（離婚同時77条の2届）	システム化調査研究会	平成6年12月1日	平成 年 月 日	1	25／36

処理名	5.2 身分事項（除籍）の編集・出力	（受取側）中間ファイル（仮戸籍）身分事項	←（引渡側）中間ファイル（届書）

受取側 DB・ファイル名 / 画面名称	項目 名称	項目 記号名	引渡側 DB・ファイル名 / 画面名称	項目 名称	項目 記号名	コード変換有無 サブルーチン	出力形態 Z9..	備考
中間ファイル（仮戸籍）身分事項	個人番号		中間ファイル（届書）	個人番号（夫）				
	行番号			――――				
	出力区分			――――				「0」ゼロを移送
	タイトルコード			――――				「1101」を移送
	記録コード			――――				「1101」を移送
	管掌者コード			――――				
	事件発生日			受領日				
	氏変更 氏変更日			受領日				
	氏変更 氏変更の事由			――――				「戸籍法77条の2の届出」を移送
	送付 送付を受けた日			送付日				項目があれば移送
	送付 受理者			発送元				
	許可 許可日			――――				
	許可 許可書謄本の送付を受けた日			――――				
	許可 許可を受けた者			――――				
	入籍 入籍日			――――				
	入戸籍 従前戸籍 本籍			――――				
	入戸籍 従前戸籍 筆頭者			――――				
	除籍 除籍日			処理日				
	除戸籍 新本籍			新本籍コード 新本籍地番				
	除戸籍 称する氏			――――				
	記録 記録日			――――				
	特記 特記事項			――――				

第 2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(離婚同時77条2届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成23年 3月 1日	14	26/36

処理名	5.3 身分事項(入籍)の編集・出力 1/2	(受取側) 中間ファイル(仮戸籍)身分事項	←	(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側				引渡側			コード	出力形態	
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	変換有無 ｻｰｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	Z9.,	備考
中間ﾌｧｲﾙ (仮戸籍) 身分事項	個人番号			中間ﾌｧｲﾙ (届書)	個人番号(妻)				
	行番号				――――――				
	出力区分				――――――				「0」を移送
	タイトルコード				――――――				「1001」を移送
	記録コード				――――――				「1001」を移送
	管掌者コード				――――――				
	事件発生日				受領日 離婚の成立日・確定日				離婚の種別＝1(協議)かつ 離婚の方式＝ｽﾍﾟｰｽの時、受領日を設定 上記以外は、離婚の成立・確定日を設定
	離婚	離婚日			受領日 離婚の成立日・確定日		離婚の種別＝1(協議)かつ離婚の方式＝ｽﾍﾟｰｽの時、受領日 離婚の種別＝1(協議)かつ離婚の方式≠ｽﾍﾟｰｽの時、離婚の成立・確定日を設定　以外は、ｽﾍﾟｰｽ		
		離婚の調停成立日			離婚の成立日・確定日				離婚種別＝2のときのみ、 離婚の成立・確定日を設定
		離婚の裁判確定日			離婚の成立日・確定日				離婚種別＝3，4のときのみ、 離婚の成立・確定日を設定
		離婚の和解成立日			離婚の成立日・確定日				離婚種別＝5のときのみ、 離婚の成立・確定日を設定
		離婚の請求認諾日			離婚の成立日・確定日				離婚種別＝6のときのみ、 離婚の成立・確定日を設定
		離婚除籍日			――――――				
		配偶者氏名			妻の氏名				
		配偶者の国籍			――――――				
		離婚の方式			離婚の方式				
		裁判所			裁判所所在国 外国裁判所名				「裁判所所在国」＋「外国裁判所名」
		届出日			受領日				離婚の種別≠1のときのみ
		届出人 資格			――――――				離婚の種別≠1かつ 届出人資格1or2＝006の場合、 「夫」を設定
		届出人 資格名称							
		証書提出日			受領日		離婚の種別＝1(協議)かつ離婚の方式≠ｽﾍﾟｰｽのときのみ		
		証書提出者 資格			――――――		離婚の種別＝1(協議)かつ離婚の方式≠ｽﾍﾟｰｽかつ 届出人が夫から一方のみの場合に「夫」を設定		
		証書提出者 資格名称							

50249
045

第2-3(4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認（離婚同時77条の2届）	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	27／36

処理名	5.3 身分事項（入籍）の編集・出力 2/2	（受取側）中間ファイル（仮戸籍）身分事項	←（引渡側）中間ファイル（届書）

受取側				引渡側			コード変換有無	出力形態	備考
DB・ファイル名	項目			DB・ファイル名	項目				
画面名称	名称		記号名	画面名称	名称	記号名	ｻﾆﾀｲｽﾞﾌﾙｰﾁﾝ	Z9..	
中間ファイル（仮戸籍）身分事項	送付	送付を受けた日		中間ファイル（届書）	———				
		受理者			———				
	許可	許可日			———				
		許可書謄本の送付を受けた日			———				
		許可を受けた者			———				
	入籍	入籍日			———				
	入戸籍	従前戸籍 本籍			———				
		従前戸籍 筆頭者			———				
	除籍	除籍日			———				
	除戸籍	新本籍			———				
		称する氏			———				
		離婚後の氏			———				
		入戸籍 本籍			———				
		入戸籍 筆頭者			———				
	記録	記録日			———				
	特記	特記事項			———				

50251

第2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認（離婚同時77条の2届）	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	28／36

処理名	5.4 身分事項（除籍）の編集・出力	（受取側）中間ファイル（仮戸籍）身分事項	←（引渡側）中間ファイル（届書）

受取側			引渡側			コード変換有無	出力形態	備考
DB・ファイル名	項目		DB・ファイル名	項目				
画面名称	名称	記号名	画面名称	名称	記号名	ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	Z9.,	
中間ファイル（仮戸籍）身分事項	個人番号		中間ファイル（届書）	個人番号（夫）				
	行番号			———				
	出力区分			———				「0」ゼロを移送
	タイトルコード			———				「1101」を移送
	記録コード			———				「1101」を移送
	管掌者コード			———				
	事件発生日			受領日				
	氏変更 氏変更日			受領日				
	氏変更 氏変更の事由			———				「戸籍法77条の2の届出」を移送
	送付 送付を受けた日			送付日				項目があれば移送
	送付 受理者			発送元				
	許可 許可日			———				
	許可 許可書謄本の送付を受けた日			———				
	許可 許可を受けた者			———				
	入籍 入籍日			処理日				
	入戸籍 従前戸籍 本籍			本籍地番				
	入戸籍 従前戸籍 筆頭者			筆頭者				
	除籍 除籍日			———				
	除戸籍 新本籍			———				
	除戸籍 称する氏			———				
	記録 記録日			———				
	特記 特記事項			———				

047

第 2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(離婚同時77条2届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成23年 3月 1日	14	29/36

処理名	5.5 身分事項(変動なし)の編集・出力 1/2	(受取側) 中間ファイル(仮戸籍)身分事項	←	(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側				引渡側			コード	出力形態	
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	変換有無 ｻｰｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	Z9.,	備考
中間ﾌｧｲﾙ (仮戸籍) 身分事項	個人番号			中間ﾌｧｲﾙ (届書)	個人番号(妻)				
	行番号				――――――				
	出力区分				――――――				「0」を移送
	タイトルコード				――――――				「1001」を移送
	記録コード				――――――				「1001」を移送
	管掌者コード				――――――				
	事件発生日				受領日 離婚の成立日・確定日				離婚の種別＝1(協議)かつ 離婚の方式＝ｽﾍﾟｰｽの時、受領日を設定 上記以外は、離婚の成立・確定日を設定
	離婚	離婚日			受領日 離婚の成立日・確定日		離婚の種別＝1(協議)かつ離婚の方式＝ｽﾍﾟｰｽの時、受領日 離婚の種別＝1(協議)かつ離婚の方式≠ｽﾍﾟｰｽの時、離婚の成立・確定日を設定　以外は、ｽﾍﾟｰｽ		
		離婚の調停成立日			離婚の成立日・確定日				離婚種別＝2のときのみ、 離婚の成立・確定日を設定
		離婚の裁判確定日			離婚の成立日・確定日				離婚種別＝3，4のときのみ、 離婚の成立・確定日を設定
		離婚の和解成立日			離婚の成立日・確定日				離婚種別＝5のときのみ、 離婚の成立・確定日を設定
		離婚の請求認諾日			離婚の成立日・確定日				離婚種別＝6のときのみ、 離婚の成立・確定日を設定
		離婚除籍日			――――――				
		配偶者氏名			妻の氏名				
		配偶者の国籍			――――――				
		離婚の方式			離婚の方式				
		裁判所			裁判所所在国 外国裁判所名				「裁判所所在国」＋「外国裁判所名」
		届出日			受領日				離婚の種別≠1のときのみ
		届出人 資格			――――――				離婚の種別≠1かつ 届出人資格1or2＝006の場合、 「夫」を設定
		届出人 資格名称							
		証書提出日			受領日		離婚の種別＝1(協議)かつ離婚の方式≠ｽﾍﾟｰｽのときのみ		
		証書提出者 資格			――――――		離婚の種別＝1(協議)かつ離婚の方式≠ｽﾍﾟｰｽかつ 届出人が夫から一方のみの場合に「夫」を設定		
		証書提出者 資格名称							

50252
048

50253

第2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認（離婚同時77条の2届）	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	30／36

処理名	5.5 身分事項（変動なし）の編集・出力 2/2	（受取側）中間ファイル（仮戸籍）身分事項	←（引渡側）中間ファイル（届書）

受取側				引渡側			コード	出力形態	
DB・ファイル名	項目			DB・ファイル名	項目		変換有無		備考
画面名称	名称		記号名	画面名称	名称	記号名	ｻﾆﾀｲｽﾞﾙｰﾁﾝ	Z9.，	
中間ファイル（仮戸籍）身分事項	送付	送付を受けた日		中間ファイル（届書）	送付日				項目があれば移送
		受理者			発送元				
	許可	許可日			———				
		許可書謄本の送付を受けた日			———				
		許可を受けた者			———				
	入籍	入籍日			———				
	入戸籍	従前戸籍 本籍			———				
		従前戸籍 筆頭者			———				
	除籍	除籍日			———				
	除戸籍	新本籍			———				
		称する氏			———				
		離婚後の氏			———				
		入戸籍 本籍			———				
		入戸籍 筆頭者			———				
	記録	記録日			処理日				
	特記	特記事項			———				

049

第2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(離婚同時77条2届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成16年 3月 1日	8	31/36

処理名	5.6 戸籍事項(77条の2)編集・出力 1/1	(受取側) 中間ファイル(仮戸籍)戸籍事項 ←	(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側 DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	引渡側 DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	コード変換有無 ｻｰﾁﾌﾞｰﾁﾝ	出力形態 Z9..	備考
中間ファイル (仮戸籍) 戸籍事項	戸籍番号		中間ファイル (届書)					
	行番号			———				
	出力区分			———				「0」を設定
	タイトルコード			———				「1101」を設定
	記録コード			———				「1101」を設定
	管掌者コード			———				
	事件発生日			受領日				
	氏変更 氏変更日			受領日				
	氏変更 氏変更の事由			———				「戸籍法77条の2の届出」を移送
	許可 許可日			———				
	許可 許可書謄本の送付を受けた日			———				
	許可 許可を受けた者			———				
	従前の記録			———				
	従前の記録 氏							
	記録 記録日			———				
	特記 特記事項			———				

第 2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(離婚同時77条2届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成24年 3月 1日	15	32-1/36

処理名	6.1 身分事項(変動なし)の編集・出力 1/2	(受取側) 中間ファイル(仮戸籍)身分事項	←	(引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側 DB・ファイル名 / 画面名称	項目 名称	項目 記号名	引渡側 DB・ファイル名 / 画面名称	項目 名称	項目 記号名	コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号		中間ファイル (届書)	個人番号(子n)				
	行番号			――――				
	出力区分			――――				「0」ゼロを移送
	タイトルコード			――――				「1301」を移送
	記録コード			――――				「1301」を移送
	管掌者コード			――――				
	事件発生日			受領日 離婚の成立日・確定日				離婚の種別＝1(協議)かつ 離婚の方式＝ｽﾍﾟｰｽの時、受領日を設定 上記以外は、離婚の成立・確定日を設定
	親権者 親権者を定めた日			受領日 離婚の成立日・確定日				離婚の種別＝1(協議) かつ 離婚の方式＝スペース の場合、受領日 離婚の種別＝1(協議) かつ 離婚の方式≠スペース の場合、 離婚の成立日・確定日 上記以外は未設定
	親権者 親権者を定められた日			離婚の成立日・確定日				離婚の種別≠1の場合、 離婚の成立日・確定日 上記以外は未設定
	親権者	資格		――――				未成年nの親権者区分が 1の場合:「父」 2の場合:「母」 3の場合:「養父」 4の場合:「養母」
		資格名称						
		氏名		未成年者nの養父の氏名 未成年者nの養母の氏名				未成年nの親権者区分が 3の場合:未成年者nの養父の氏名 4の場合:未成年者nの養母の氏名 その他の場合:スペース
	届出人 届出人1	資格		――――				離婚の種別＝1の場合 次頁の編集条件を参照 離婚の種別≠1の場合 スペースを設定
		資格名称						
		氏名		――――				

50255
051

第 2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(離婚同時77条2届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成22年 3月 1日	13	32-2/36

処理名	6.1 身分事項(変動なし)の編集・出力 2/2	(受取側) 中間ファイル(仮戸籍)身分事項	←	(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側				引渡側			コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目			DB・ファイル名 画面名称	項目				
		名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項		届出人2	資格	中間ファイル (届書)					離婚の種別＝1の場合 次頁の編集条件を参照 離婚の種別≠1の場合 スペースを設定
			資格名称						
			氏名						
	送付	送付を受けた日							
	送付	受理者							
	記録	記録日			処理日				
	特記	特記事項							

50255-2

051－1

第 2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(離婚同時77条2届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成22年 3月 1日	13	32-3/36

処理名	補足説明(親権事項の届出人資格編集条件)

☆親権事項中、届出人資格を以下の条件により設定する

親権者指定区分	養父母欄の条件 ＊1		届出人資格1	届出人氏名1	届出人資格2	届出人氏名2
1 (父)	養母＝スペース？	YES	【父母】			
		NO	【父】		【養母】	未成年者の養母の氏名n
2 (母)	養父＝スペース？	YES	【父母】			
		NO	【養父】	未成年者の養父の氏名n	【母】	
3 (養父)	養母＝スペース？	YES	【養父】	未成年者の養父の氏名n	【母】	
		NO	【養父】	未成年者の養父の氏名n	【養母】	未成年者の養母の氏名n
4 (養母)	養父＝スペース？	YES	【父】		【養母】	未成年者の養母の氏名n
		NO	【養父】	未成年者の養父の氏名n	【養母】	未成年者の養母の氏名n

＊1： 未成年者の子側の養父母欄を示す

第2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(離婚同時77条の2届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成16年 3月 1日	8	33/36

処理名	7.1夫　編集・出力 1/2	(受取側) 中間ファイル(9条2項)/(夫)	←	(引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無	出力形態	備考
DB・ファイル名	項目		DB・ファイル名	項目				
画面名称	名称	記号名	画面名称	名称	記号名	(サブルーチン)	Z9.,	
中間ファイル(9条2項)	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
夫	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード			住所コード				市区町村部分だけのコード
	宛名							市区町村を宛名に変換した項目
	事件コード							12(離婚同時戸籍法77条の2届)
	受理日			送付日または受領日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号			個人番号				
	新氏名			夫の漢字氏名				
	旧氏名			夫の漢字氏名				
	新生年月日			夫の生年月日				
	旧生年月日			夫の生年月日				
	新父母との続柄			夫の父母との続柄コード				
	旧父母との続柄			夫の父母との続柄コード				
	新本籍コード			新本籍コード				戸籍変動区分=2の時 新本籍
	新本籍			新本籍				戸籍変動区分≠2の時 本籍
	旧本籍コード			本籍コード				
	旧本籍			本籍				
	新筆頭者			夫の漢字氏名				
	旧筆頭者			夫の漢字氏名 又は 妻の漢字氏名				夫の筆頭者区分=1の時 夫の漢字氏名 上記以外の時 妻の漢字氏名
	住所コード			夫の住所コード				
	住所			夫の住所				
	方書							
	住定日							

053

第2章(3)(4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認（離婚同時77条の２届）	システム化調査研究会	平成６年１２月　１日	平成　年　月　日	1	34／36

処理名　7.1 夫　　編集・出力　2/2

（受取側）中間ファイル（9条2項）／（夫）　　←（引渡側）中間ファイル（届書）

受取側			引渡側			コード変換有無	出力形態	備考
DB・ファイル名	項目		DB・ファイル名	項目				
画面名称	名称	記号名	画面名称	名称	記号名	ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	Z9..	
中間ﾌｧｲﾙ(9条2項)	住民日		中間ﾌｧｲﾙ（届書）					
（夫）	世帯主			夫の世帯主				
	世帯主との続柄							

第2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(離婚同時77条の2届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成16年 3月 1日	8	35/36

処理名	7.1妻　編集・出力 1/2	(受取側) 中間ファイル(9条2項)/(妻)	←	(引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無	出力形態	備考
DB・ファイル名	項目		DB・ファイル名	項目				
画面名称	名称	記号名	画面名称	名称	記号名	(サブルーチン)	Z9.,	
中間ファイル(9条2項)	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
妻	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード			住所コード				市区町村部分だけのコード
	宛名							市区町村を宛名に変換した項目
	事件コード							12(離婚同時戸籍法77条の2届)
	受理日			送付日または受領日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号			個人番号				
	新氏名			妻の漢字氏名				
	旧氏名			妻の漢字氏名				
	新生年月日			妻の生年月日				
	旧生年月日			妻の生年月日				
	新父母との続柄			妻の父母との続柄コード				
	旧父母との続柄			妻の父母との続柄コード				
	新本籍コード			新本籍コード				戸籍変動区分=4の時 新本籍
	新本籍			新本籍				戸籍変動区分≠4の時 本籍
	旧本籍コード			本籍コード				
	旧本籍			本籍				
	新筆頭者			妻の漢字氏名				
	旧筆頭者			夫の漢字氏名 又は 妻の漢字氏名				妻の筆頭者区分=1の時 妻の漢字氏名 上記以外の時　夫の漢字氏名
	住所コード			妻の住所コード				
	住所			妻の住所				
	方書							
	住定日							

第2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(離婚同時77条の2届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成16年 3月 1日	8	36/36

処理名	7.1妻　編集・出力 2/2	(受取側) 中間ファイル(9条2項)/(妻)	←	(引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無	出力形態	備考
DB・ファイル名	項目		DB・ファイル名	項目		(サブルーチン)	Z9., Z9.2	
画面名称	名称	記号名	画面名称	名称	記号名			
中間ファイル(9条2項)	住民日		中間ファイル(届書)					
妻	世帯主			妻の世帯主				
	世帯主との続柄							

第 2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(離婚同時77条の2届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成22年 3月 1日	13	36-1/36

処理名	8.1 夫 編集・出力	(受取側) 中間ファイル(30条の12第1項)／夫 ← (引渡側) 中間ファイル(届書),附票DB

受取側			引渡側			コード	出力形態	
DB・ファイル名	項目		DB・ファイル名	項目		変換有無		備考
画面名称	名称	記号名	画面名称	名称	記号名	ｻｰｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	Z9.，	
中間ﾌｧｲﾙ	受領番号		中間ﾌｧｲﾙ(届書)	受領番号				
(30条の12第1項)	出張所番号			出張所番号				
夫	市区町村コード		附票データベース	在外選挙人名簿 登録市区町村コード				
	宛名							市区町村を宛名に変換した項目
	事件コード		中間ﾌｧｲﾙ(届書)					12:離婚同時77条の2届(届出選択番号)
	受理日			受領日 OR 送付日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号			個人番号				本籍人の場合は個人番号を設定
	新氏名			夫の漢字氏名				
	旧氏名			夫の漢字氏名				
	新生年月日			夫の生年月日				
	旧生年月日			夫の生年月日				
	新性別							夫の父母との続柄を性別に変換して
	旧性別							性別コードを設定
	新本籍コード			新本籍コード				戸籍変動区分＝2の時 新本籍
	新本籍			新本籍				戸籍変動区分≠2の時 本籍
	旧本籍コード			本籍コード				
	旧本籍			本籍				
	新筆頭者			夫の漢字氏名				
	旧筆頭者			夫の漢字氏名 又は 妻の漢字氏名				夫の筆頭者区分＝1の時 夫の漢字氏名 上記以外の時 妻の漢字氏名
	住所コード			夫の住所コード				
	住所			夫の住所				
	方書			――――――				
	転入届出日			――――――				

50261
057

第 2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(離婚同時77条の2届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成22年 3月 1日	13	36-2/36

処理名	8.2 妻 編集・出力	(受取側) 中間ファイル(30条の12第1項)／妻 ← (引渡側) 中間ファイル(届書),附票DB

受取側			引渡側			コード	出力形態	備考
DB・ファイル名	項目		DB・ファイル名	項目		変換有無		
画面名称	名称	記号名	画面名称	名称	記号名	ｻｰｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	Z9.，	
中間ファイル	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
(30条の12第1項)	出張所番号			出張所番号				
妻	市区町村コード		附票データベース	在外選挙人名簿 登録市区町村コード				
	宛名							市区町村を宛名に変換した項目
	事件コード		中間ファイル(届書)					12:離婚同時77条の2届(届出選択番号)
	受理日			受領日 OR 送付日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号			個人番号				本籍人の場合は個人番号を設定
	新氏名			妻の漢字氏名				
	旧氏名			妻の漢字氏名				
	新生年月日			妻の生年月日				
	旧生年月日			妻の生年月日				
	新性別							妻の父母との続柄を性別に変換して
	旧性別							性別コードを設定
	新本籍コード			新本籍コード				戸籍変動区分＝4の時 新本籍
	新本籍			新本籍				戸籍変動区分≠4の時 本籍
	旧本籍コード			本籍コード				
	旧本籍			本籍				
	新筆頭者			妻の漢字氏名				
	旧筆頭者			夫の漢字氏名 又は 妻の漢字氏名				妻の筆頭者区分＝1の時 妻の漢字氏名 上記以外の時 夫の漢字氏名
	住所コード			妻の住所コード				
	住所			妻の住所				
	方書			――――――				
	転入届出日			――――――				

50262
058

50263

第7.2.(5)「異動」処理

12.親権(管理権)届

基準書修正履歴

平成 10 年 2 月

項番	業務(届書)名	修正内容	ページ	添付資料No.
	第7.2.(5).12 (親権)	1．受付ファイル編集 ・事件本人の筆頭者の設定	23	

50265

標準仕様書修正履歴

平成１１年３月

項番	業務（届書）名	修正内容	ページ	添付資料NO
1	第7．2．(5)．12 （親権・管理権届）	親権1，受付1 (1)概要説明書 親権協議者の筆頭者入力について、受付ＤＢメンテで対応する旨を追加 (2)中間ファイル編集（仮受付）事件本人 筆頭者氏名に親権協議者＝筆頭者（届出人・協議者）移送している記述を削除（筆頭者（届出人・協議者）は届書上無いため） 親権21，24 (1)中間ファイル編集（仮戸籍）身分事項 親権者資格が養父、養母の際に漢字氏名を移送するように追加 その他 処理名のページ番号の誤りを修正（１／２：誤 → １／３：正）	1 23 25～26 24	

標準仕様書修正履歴

平成12年3月

項番	業務(届書)名	修　正　内　容	ページ	添付資料NO
1	第7. 2. (5). 12 (親権・管理権届)	成年後見法施行によるシステムの対応 1. 審査 (1) 法32条第2項が廃止されることによる審査の削除 未成年者が禁治産者であるときの確認メッセージを削除 審査(1／3)(8)～(11) 親権者が禁治産者であるときの確認メッセージを削除 審査(1／3)(29)～(32) 2. データ編集表 項目:処分区分の備考欄 受理伺い→受理照会	009 013	

標準仕様書修正履歴

平成14年3月

項番	業務(届書)名	修　正　内　容	ページ	添付資料NO
1	第7.2.(5).12 (親権・管理権届)	1.標準仕様書修正(親権29) (1)届出人氏名の設定条件を変更 「ただし届出人資格＝1,2の場合は移送しない」を追記 (2) 届出人(資格)の設定条件を変更 「10,11の時、12(養父母)」を削除 (3) 届出人(氏名)(上) 「届出人(資格)の備考に基づき、 届出人資格1＝1,2 以外は移送する」を記述 届出人(氏名)(下) 「種別区分＝協議の時、届出人資格1＝1かつ 届出人・協議者資格＝11の時移送する」を記述	022 025 026	

標準仕様書修正履歴

平成15年3月

項番	業務(届書)名	修正内容	ページ	添付資料NO
1	第7.2.(5).12 (親権・管理権届)	1.標準仕様書修正(親権28) (1)渉外区分の編集条件不要の注釈を備考欄に記述 「日本人のみの届のため設定不要」を記述	022	

標準仕様書修正履歴

平成17年3月

項番	業務(届書)名	修　正　内　容	ページ	添付資料NO
1	第7. 2. (5). 12 (親権・管理権届)	1. 標準仕様書修正(親権41) 3.0中間ファイル(仮受付)編集・出力 3／3 事件本人区分備考欄の誤植修正 19:届出事件が管理権辞任 20:届出事件が管理権回復 ↓ 24:届出事件が管理権辞任 25:届出事件が管理権回復	023	

標準仕様書修正履歴

平成18年3月

項番	業務(届書)名	修　正　内　容	ページ	添付資料NO
1	第7.2.(5).12 (親権・管理権届)	1.標準仕様書修正(親権42) 確認メッセージを人事訴訟法に合わせて変更 旧:「調停調書の謄本の添付がありますか」 新:「調停・和解・認諾調書の謄本の添付がありますか」	010	

標準仕様書修正履歴

平成19年3月

項番	業務(届書)名	修正内容	ページ	添付資料NO
1	第7.2.(5).12 (親権・管理権届)	1.標準仕様書修正 平成18年1月20日議事6の対応 受領日と送付日が同じ場合のメッセージ出力 「受領日と送付日が同一です。 処理をしてよろしいですか。」 (0)～(0-4)の審査を追加	009 009-01	

標準仕様書修正履歴

平成20年3月

項番	業務(届書)名	修　正　内　容	ページ	添付資料NO
1	第7.2.(5).12 (親権・管理権届)	1.標準仕様書修正(親権49) 届出人備考欄に下記の編集を追記 届出人資格1が母、届出人・協議者資格が養父 届出人資格1が養母、届出人・協議者資格が父	026	

標準仕様書修正履歴

平成22年3月

項番	業務(届書)名	修　正　内　容	ページ	添付資料NO
1	第7.2.(5).12 (親権・管理権届)	1.標準仕様書修正(親権51) 届出人(資格)、(資格名称)、(氏名)備考欄の条件を追加 届出人資格1が養父かつ届出人・協議者資格が養母 届出人資格1が養母かつ届出人・協議者資格が養父	026	

標準仕様書修正履歴

平成23年3月

項番	業務(届書)名	修　正　内　容	ページ	添付資料NO
1	第7. 2. (5). 12 (親権・管理権届)	1. 標準仕様書修正(親権56) 平成22年2月19日議事録4(2)② 届出人資格、届出人資格名称、届出人氏名に養父、養母の編集条件を追記 届出人資格1＝10かつ届出人・協議者資格＝11 届出人資格1＝11かつ届出人・協議者資格＝10	026	

標準仕様書修正履歴

平成23年9月

項番	業務(届書)名	修　正　内　容	ページ	添付資料NO
1	第7.2.(5).12 (親権・管理権届)	1.民法改正(平成23年法律第61号)の対応 業務範囲外の処理(4)の記述、取消の事由が増えた ことから、「取消しに関する処理」に変更 No.26　届出事件の内容を変更 親権喪失、管理権喪失のチエックを削除 親権喪失、管理権喪失の場合の移送内容を削除 コード一覧表の身分事項項目内容を反映 025-1ページあふれにより分割	 001 004 007 021, 023 024, 025 025-1, 026 025-2	

標準仕様書修正履歴

平成27年3月

項番	業務(届書)名	修　正　内　容	ページ	添付資料NO
1	第7.2.(5).12 (親権・管理権届)	1.標準仕様書修正(親権61(2013920議事3)) 事件本人と筆頭者の氏が同一であることについて、 関連チェックを追加 (19-1)、(28-1)	006 007	

標準仕様書修正履歴

平成29年3月

項番	業務(届書)名	修　正　内　容	ページ	添付資料NO
1	第7.2.(5).12 (親権・管理権届)	1.標準仕様書修正(親権69) 戸籍法43条に届出の審査ロジックの表記を統一する。 審査 (43) (71) 2.標準仕様書修正(親権70) 年齢の起算日に関しては、創設的届出、報告的届出による違い等が過去にも議題となった。 研究員の入替もあることから、年齢の起算日に関して補助的記載を追加する 起算日が受領日であることを明記 審査 (3),(21) 3.標準仕様書修正(親権71) 処理日の入力について受領日と同一日付を認めるかが届出ごとに違う。 同一日付は認めない方向で統一する 関連チェック (8)	 010 011 009 006	

標準仕様書修正履歴

平成30年3月

項番	業務(届書)名	修　正　内　容	ページ	添付資料NO
1	第7. 2. (5). 12 (親権・管理権届)	1. 標準仕様書修正(親権75) 親権喪失、管理権喪失が不要となるが、14.1版で 修正漏れの箇所を反映	007,022 024,025 025-2	

第 2 3 (1)	システム処理の概要説明書	作　業　名	作　成　者	作　成　日　付	改　訂　日 付	版	頁
		審査(親権・管理権届)	システム化調査研究会	平成　6年12月　1日	平成23年　9月30日	14.1	1／15

50273

1. 親権(管理権)業務処理範囲外の処理

(1). 裁判所書記官から戸籍の記録嘱託

(2). 同一人再婚, 同籍内縁組等による共同親権の記録や父母離婚の際親権者を父又は母と定められた子が養子となった後離縁したため復籍戸籍に記録する
親権に関する記録等, 親権届が出ない各届に付随して記録される親権事項は, 各届での移記処理により記録する

(3). 親権者を父又は母の一方に定められた子が成年に達したため, 婚姻したため親権に服さなくなった旨記録の申出があった場合の記録

(4). 取消に関する処理

2. 親権(管理権)届入力画面の意義

(1). その1入力画面 : 未成年者及び親権者の入力

(2). その2入力画面 : 届出事項及び届出人の入力

(3). ガイダンス画面 : 業務処理範囲外の処理及び処理の注意事項

3. その他

(1). 協議による親権者指定届は, 未成年者の共同親権者である父(養父)と母(養母)により行われること。

(2). 親権者変更届は, 親権者をどちらか一方に定めた後, もう一方に変えるときに行われること。

(3). 受付ファイルにおける親権協議者の筆頭者氏名は受付DBメンテで行う。

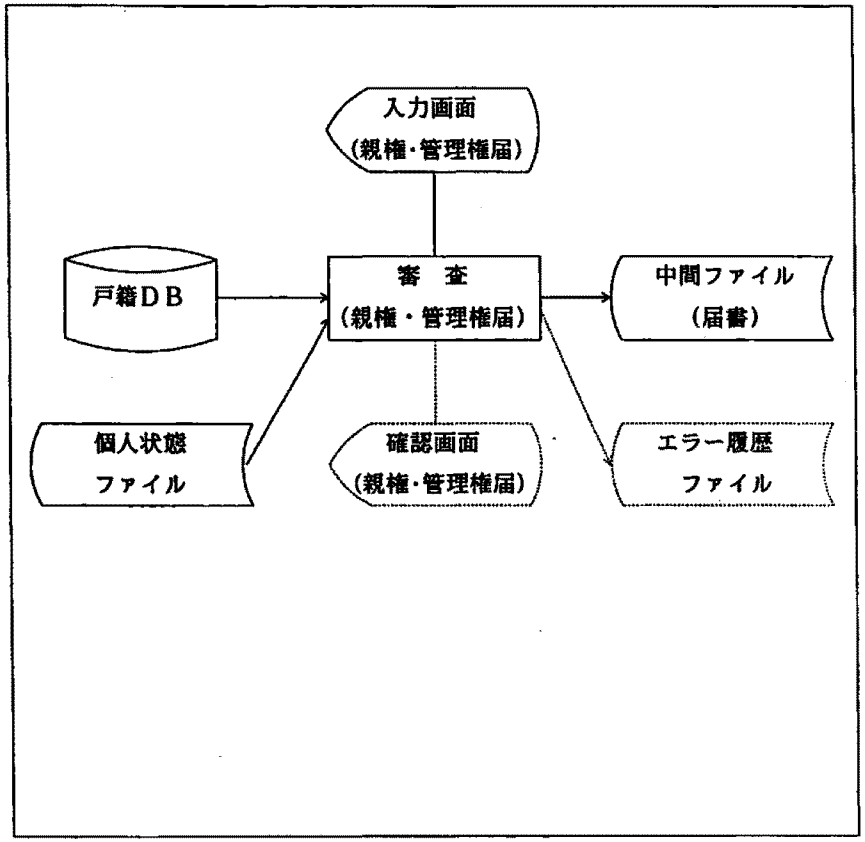
001

第2(3)(2)	システム環境仕様書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査（親権・管理権届）	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	2／15

50274

002

1．詳細フロー



2．使用DB・ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
戸籍DB	入力		
個人状態ファイル	入力		
中間ファイル（届書）	出力		
エラー履歴ファイル	出力		

3．処理概要

(1) 親権（管理権）届の内容を画面入力する。
(2) 親権（管理権）届で入力された項目の単体チェックを行う。
(3) 親権（管理権）届で入力された項目の単体チェックを行う。
(4) 審査を行う。
(5) 親権（管理権）届から中間ファイル（届書）を編集し，出力する。
(6) 入力確認（親権（管理権）届）に制御を渡す。

4．機能体系（要件定義書の構成）

0.0 本紙
- 1.0 データチェック（単体表）
- 2.0 データチェック（関連表）
- 3.0 審査
- 4.0 データ編集表（中間ファイル（届書））

5．備考（特記事項含む）

第2(33)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		審査（親権・管理権届）	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	3／15

処理名	0．0 本紙	根拠法令（マニュアル処理）

| | | |

第 2 3 (5)	データチェック(単体表)	作　業　名	作　成　者	作　成　日　付	改　訂　日　付	版	頁
		審査(親権・管理権届)	システム化調査研究会	平成　6年12月　1日	平成23年　9月30日	14.1	4/15

処　理　名	画　面　名	画 面 I D	
1．0入力項目単体チェック 1／2	入力画面(親権・管理権届)		

No	項　目　名	必須	属性	内　容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備　考
1	支所番号		数字		「項目エラーがあります。 正しく入力して下さい。」		
2	受領番号		数字				
3	受領日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
4	送付日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
5	発送元		漢字				
6	在外送付区分	○	数字	(0:受理分，1:国内からの送付 2:在外公館の直接送付，3:在外公館の国内経由)であること			
7	処理日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
8	本非区分	○	数字	(1:本籍，2:非本籍)であること			
9	郵送日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
10	報告区分	○	数字	(1:創設，2:報告)であること			
11	未成年者の外国人区分	○	数字	(0:日本人，1:外国人)であること			
12	未成年者の本非区分	○	数字	(1:本籍，2:非本籍)であること			
13	未成年者の生年月日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
14	未成年者のカナ氏名	○	カナ				
15	未成年者の漢字氏名	○	漢字				
16	未成年者の本籍	○	漢字				
17	未成年者の筆頭者		漢字				
18	親権者の外国人区分	○	数字	(0:日本人，1:外国人)であること			
19	親権者の本非区分	○	数字	(1:本籍，2:非本籍)であること			
20	親権者の生年月日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
21	親権者のカナ氏名	○	カナ				
22	親権者の漢字氏名	○	漢字				
23	親権者の本籍	○	漢字				
24	親権者の筆頭者		漢字				
25	親権者資格	○	数字	(1:父，2:母，10:養父，11:養母)であること			
26	届出事件	○	数字	(1:親権者指定 ～ 8:管理権回復)であること （3:親権喪失、6:管理権喪失を除く）			

第2(53)	データチェック（単体表）	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		審査（親権・管理権届）	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	5／15

処理名	画面名	画面ID	
1．0 入力項目単体チェック 2／2	入力画面（親権・管理権届）		

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
27	種別区分	○	漢字	（1：協議 ～ 4：審判（確定））であること	「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
28	審判／調停日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
29	関連事件発生日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
30	届出人資格1	○	数字	（1：父，2：母，10：養父，11：養母 82：親族）であること			
31	届出人氏名1		漢字				
32	届出人・協議者資格		数字	（1：父，2：母，10：養父，11：養母）であること			
33	届出人・協議者外人区分		数字	（0：日本人，1：外国人）であること			
34	届出人・協議者本非区分		数字	（1：本籍，2：非本籍）であること			
35	届出人・協議者生年月日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
36	届出人・協議者カナ氏名		カナ				
37	届出人・協議者漢字氏名		漢字				
38	届出人・協議者本籍		漢字				

502777

第 2 3 (6)	データチェック(関連表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(親権・管理権届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成29年 3月31日	20	6/15

処理名	画面名	画面ID	
2.0入力項目関連チェック 1／3	入力画面(親権・管理権届)		

No	内容	出力エラーメッセージ	エラーコード	備考
1	(No.4) 送付日＝スペースのとき,(No.5) 発送元＝スペース であること	「関連エラーがあります。 正しく入力して下さい。」		
2	(No.4) 送付日≠スペースのとき,(No.5) 発送元≠スペース であること			
3	(No.4) 送付日≠スペースのとき,(No.4) 送付日≧ (No.2) 受領日 であること			
4	(No.4) 送付日＝スペースのとき,(No.6) 在外送付区分＝0 (受理分)であること			
5	(No.4) 送付日≠スペースのとき,(No.6) 在外送付区分≠0 (受理分以外)であること			
6	(No.5) 発送元≠スペースかつ,(No.5) 発送元の最終文字が『市』『区』『町』『村』『長』 のとき (No.6) 在外送付区分＝1 (国内からの送付)であること			
7	(No.5) 発送元≠スペースかつ,(No.5) 発送元の最終文字が『市』『区』『町』『村』『長』 以外のとき (No.6) 在外送付区分＝2 (在外公館からの直接送付) または (No.6) 在外送付区分＝3 (在外公館の国内経由) であること			
8	(No.7) 処理日≠スペースのとき,(No.7)処理日＞ (No.2) 受領日 であること			
9	(No.9) 郵送日≠スペースのとき,(No.4) 送付日＝スペース であること			
10	(No.9) 郵送日≠スペースのとき,(No.9)郵送日≦ (No.2) 受領日 であること			
11	(No.11) 未成年者の外国人区分＝1 (外国人)の時,(No.12) 未成年者の本非区分＝2(非本籍)であること			
12	(No.11) 未成年者の外国人区分＝0 (日本人)の時,(No.13) 未成年者の生年月日＝和暦であること			
13	(No.11) 未成年者の外国人区分＝1 (外国人)の時,(No.13) 未成年者の生年月日＝西暦であること			
14	(No.11) 未成年者の外国人区分＝0 (日本人)の時,(No.16) 未成年者の本・国籍＝本籍であること			
15	(No.11) 未成年者の外国人区分＝1 (外国人)の時,(No.16) 未成年者の本・国籍＝国籍であること			
16	(No.11) 未成年者の外国人区分＝0 (日本人)の時,(No.17) 未成年者の筆頭者が入力されていること			
17	(No.11) 未成年者の外国人区分＝1 (外国人)の時,(No.17) 未成年者の筆頭者は未入力であること			
18	(No.12) 未成年者の本非区分＝1 (本籍)の時,(No.16) 未成年者の本・国籍＝管内であること			
19	(No.12) 未成年者の本非区分＝2 (非本籍)の時,(No.16) 未成年者の本・国籍＝管外であること			
19-1	(No.11) 未成年者の外国人区分＝0 (日本人)の時, (No.15)未成年者の漢字氏名の氏=(No.17)未成年者の筆頭者氏名の氏であること			
20	(No.18) 親権者の外国人区分＝1 (外国人)の時,(No.19) 親権者の本非区分＝2(非本籍)であること			
21	(No.18) 親権者の外国人区分＝0 (日本人)の時,(No.20) 親権者の生年月日＝和暦であること			
22	(No.18) 親権者の外国人区分＝1 (外国人)の時,(No.20) 親権者の生年月日＝西暦であること			
23	(No.18) 親権者の外国人区分＝0 (日本人)の時,(No.23) 親権者の本・国籍＝本籍であること			

第 2 3 (6)	データチェック(関連表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(親権・管理権届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成30年 3月 31日	21	7/15

処理名	画面名	画面ID	
2.0入力項目関連チェック 2／3	入力画面(親権・管理権届)		

No	内容	出力エラーメッセージ	エラーコード	備考
24	(No.18) 親権者の外国人区分＝1 (外国人)の時, (No.23) 親権者の本・国籍＝国籍であること	「関連エラーがあります。 正しく入力して下さい。」		
25	(No.18) 親権者の外国人区分＝0 (日本人)の時, (No.24) 親権者の筆頭者が入力されていること			
26	(No.18) 親権者の外国人区分＝1 (外国人)の時, (No.24) 親権者の筆頭者は未入力であること			
27	(No.19) 親権者の本非区分＝1 (本籍)の時, (No.23) 親権者の本・国籍＝管内であること			
28	(No.19) 親権者の本非区分＝2 (非本籍)の時, (No.23) 親権者の本・国籍＝管外であること			
28-1	(No.18) 親権者の外国人区分＝0 (日本人)の時, (No.22)親権者の漢字氏名の氏=(No.24)親権者の筆頭者氏名の氏であること			
29	(No.10) 届出区分＝1(創設的届出)の時, (No.26) 届出事件＝4, 5, 7, 8(親権者辞任, 親権者回復, 管理権辞任, 管理権回復)又は (No.26) 届出事件＝1(親権者指定)で、(No.27) 種別区分＝1(協議)であること			
30	(No.10) 届出区分＝2(報告的届出)の時, (No.26) 届出事件＝2, (親権者変更)又は (No.26) 届出事件＝1(親権者指定)で(No.27) 種別区分＝2, 4(調停, 審判)であること			
31	(No.27) 種別区分＝1(協議)の時, (No.26)届出事件＝1(親権者指定)であること			
32	(No.27) 種別区分＝2(調停)の時, (No.26) 届出事件＝1, 2(親権者指定, 親権者変更)であること			
33	(No.27) 種別区分＝3(許可の審判)の時, (No.26) 届出事件＝4, 5, 7, 8(親権者辞任, 親権者回復, 管理権辞任, 管理権回復)であること			
34	(No.27) 種別区分＝4(審判)の時, (No.26) 届出事件＝1, 2(親権者指定, 親権者変更)であること			
35	(No.27) 種別区分＝1(協議)の時, (No.28)審判／調停日は入力されていないこと			
36	(No.27) 種別区分＝2, 3, 4(調停, 許可の審判, 審判)の時, (No.28) 審判／調停日は, 必須入力であり かつ, (No.9) 郵送日≠スペースの時, (No.9) 郵送日≧(No.28) 審判／調停日であり, (No.9) 郵送日＝スペースの時, (No.2) 受領日≧(No.28) 審判／調停日であること			
37	(No.25) 親権者区分＝(No.30) 届出人資格1かつ(No.31) 届出人氏名1≠スペースの時, (No.22) 親権者の漢字指名＝(No.31) 届出人氏名1であること			
38	(No.25) 親権者区分≠(No.30) 届出人資格1の時, (No.31) 届出人氏名1は, 必須入力であること			
39	(No.27) 種別区分＝1(協議)の時, (No.32) 届出人・協議者資格～(No.38) 届出人・協議者の本籍は, 必須入力であること			
40	(No.27) 種別区分≠1(協議)の時, (No.32) 届出人・協議者資格～(No.38) 届出人・協議者の本籍は, 未入力であること			

第2 3 (6)	データチェック（関連表）	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		審査（親権・管理権届）	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	8／15

処理名	画面名	画面ID	
2．0 入力項目関連チェック 3／3	入力画面（親権・管理権画面）		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
42	(NO32) 届出人・協議者資格に入力がある時， (NO30) 届出人資格１＝１又は１０（父，養父）の場合は， (NO32) 届出人・協議者資格＝２又は１１（母，養母）であること	「関連エラーがあります。 正しく入力して下さい。」		
43	(NO32) 届出人・協議者資格に入力がある時， (NO30) 届出人資格１＝２又は１１（母，養母）の場合は， (NO32) 届出人・協議者資格＝１又は１０（父，養父）であること			
44	(NO33) 届出人・協議者の外国人区分＝１（外国人）の時， (NO34) 届出人・協議者の本非区分＝２（非本籍）であること			
45	(NO33) 届出人・協議者の外国人区分＝０（日本人）の時， (NO35) 届出人・協議者の生年月日＝和暦であること			
46	(NO33) 届出人・協議者の外国人区分＝１（外国人）の時， (NO35) 届出人・協議者の生年月日＝西暦であること			
47	(NO33) 届出人・協議者の外国人区分＝０（日本人）の時， (NO38) 届出人・協議者の本籍＝本籍であること			
48	(NO33) 届出人・協議者の外国人区分＝１（外国人）の時， (NO38) 届出人・協議者の本籍＝国籍であること			
49	(NO34) 届出人・協議者の本非区分＝１（本籍）の時， (NO38) 届出人・協議者の本籍＝管内であること			
50	(NO34) 届出人・協議者の本非区分＝２（非本籍）の時， (NO38) 届出人・協議者の本籍＝管外であること			
51	(NO12) 未成年者の本非区分＝１（本籍）又は，(NO19) 親権者の本非区分＝１（本籍）又は， (NO34) 届出人・協議者の本非区分＝１（本籍）ならば (NO8) 本非区分＝１（本籍）であること			
52	(NO12) 未成年者の本非区分＝２（非本籍）かつ，(NO19) 親権者の本非区分＝２（非本籍）かつ， (NO34) 届出人・協議者の本非区分＝２（非本籍）ならば (NO8) 本非区分＝２（非本籍）であること			

第 2 3 (3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(親権・管理権届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成29年 3月31日	20	9／15

処理名	3.0 審査 1／3			根拠法令（マニュアル処理）
(0) 受領日 ＝ 送付日 である （YES, NO）		／		
YES	(0-1)確認ﾒｯｾｰｼﾞ 「受領日と送付日が同一です。処理をしてよろしいですか。」を表示	／		
YES	(0-2) → (1)へ	／		
NO	→		(0-3)本紙へ	
NO	(0-4) → (1)へ	／		
(1)届出種別(1:協議, 2:調停, 3:許可審判, 4:審判)				
1	(2)未成年者の外国人区分(0:日本人, 1:外国人)	／		
0	(3)未成年者の生年月日+20年(20歳未満)＞受領日である (YES,NO)	／		民818の1
YES	(4) → (7)	／		
N O	(5)ｴﾗｰﾒｯｾｰｼﾞ「未成年者の年齢は20歳以上です」を表示		(6) 本紙へ	不受理
	(7)未成年者の本非区分(1:本籍, 2:非本籍)	／		
1	(8)	／		(8)～(11)削除
	(9)		(10)	
	(11) → (12)	／		
	(12)未成年者の父(養父)母(養母)の氏名欄のいずれかに親権者の氏名があるか	／		
YES	(13) → (20)	／		
N O	(14)確認ﾒｯｾｰｼﾞ(OK:YES, NG:NO) 「親権者名は正しいですか」を表示		(15) 本紙へ	
YES	(16) → (20)	／		
N O	(17) →		(18) 本紙へ	不受理
2	(19) → (20)	／		
1				
(20)親権者のの外国人区分(0:日本人, 1:外国人)		／		
0	(21)親権者の生年月日+20年(20歳以上)≦受領日である (YES,NO)	／		明治33.11.16 民刑第1451号回答
YES	(22) → (28)	／		
N O	(23)確認ﾒｯｾｰｼﾞ(YES, NO) 「親権者は未成年ですがよろしいですか」を表示		(24) 本紙へ	昭和26.3.6 民事甲第412号回答
YES	(25) → (28)	／		
N O	(26) →		(27) 本紙へ	不受理
	(28)親権者の本非区分(1:本籍, 2:非本籍)	／		

50281

600

第23(3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(親権・管理権届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成19年 3月 1日	11	9-1/15

処理名	3.0 審査 1-1/3				根拠法令(マニュアル処理)
	1	(29)	/		(29)～(32)削除
		(30)		(31)	
		(32) → (34)	/		

第 2 3 (3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(親権・管理権届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成29年 3月31日	20	10／15

処理名			3.0 審査 2／3			根拠法令（マニュアル処理）
1	0	2	(33) → (34)	／		
	1					
	(34)確認ﾒｯｾｰｼﾞ(YES, NO) 「届出人は未成年者の父(養父)，母(養母)の双方ですか」を表示				(35) 本紙へ	戸78
	YES		(36) → (89)	／		
	N O		(37) →		(38) 本紙へ	不受理
2	(39)確認ﾒｯｾｰｼﾞ(YES, NO)「調停・和解・認諾調書の謄本の添付がありますか」を表示					戸63、人事訴訟法によりメッセージを変更
	YES		(40) → (43)	／		
	N O		(41) →		(42) 本紙へ	不受理
	(43)調停成立日＋10日 ＞ 受領日 (YES, NO)			／		戸63
	YES		(44) → (50)	／		
	N O		(45)確認ﾒｯｾｰｼﾞ(YES, NO)「届出期間が過ぎていますがよろしいですか」を表示		(46) 本紙へ	
		YES	(47) → (50)	／		
		N O	(48) →		(49) 本紙へ	不受理
	(50)届出人は新たに親権者となった者であるか			／		戸79
	YES		(51) → (89)	／		
	N O		(52)確認ﾒｯｾｰｼﾞ(YES, NO)「届出人は正しいですか」を表示		(53) 本紙へ	
		YES	(54) → (89)	／		
		N O	(55) →		(56) 本紙へ	不受理
3	(57)確認ﾒｯｾｰｼﾞ(YES, NO)「許可審判書の謄本の添付がありますか」を表示					
	YES		(58) → (61)	／		
	N O		(59) →		(60) 本紙へ	不受理
	(61)届出人は辞任(回復)しようとする親権者か			／		戸80
	YES		(62) →		(63) 本紙へ	受理
	N O		(64)確認ﾒｯｾｰｼﾞ(YES, NO)「届出人は正しいですか」を表示			
		YES	(65) →			受理
		N O	(66) →			不受理
4	(67)確認ﾒｯｾｰｼﾞ(YES, NO)「審判書の謄本及び確定証明書の添付がありますか」を表示					戸63
	YES		(68) → (71)	／		

第 2 3 (3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(親権・管理権届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成29年 3月31日	20	11／15

処理名					3.0 審査 3／3			根拠法令（マニュアル処理）
4	ＮＯ	(69) →					(70) 本紙へ	不受理
	(71)審判確定日＋10日 ＞ 受領日（YES, NO）					／		戸79
	YES	(72) → (78)				／		
	ＮＯ	(73)確認ﾒｯｾｰｼﾞ(YES, NO)「届出期間が過ぎていますがよろしいですか」を表示					(74) 本紙へ	
		YES	(75) → (78)			／		
		ＮＯ	(76) →				(77) 本紙へ	不受理
	(78)届出事件は1(親権者指定), 2(親権者変更)であるか					／		
	YES	(79)届出人は親権(管理権)をそれぞれ指定・変更する親権者本人であるか				／		戸79
		YES	(80) → (89)			／		
		ＮＯ	(81)確認ﾒｯｾｰｼﾞ(YES, NO)「届出期間正しいですか」を表示				(82) 本紙へ	
			YES	(83) → (89)		／		
			ＮＯ	(84) →			(85) 本紙へ	不受理
	ＮＯ	(86)確認ﾒｯｾｰｼﾞ(YES, NO) 「届出人は喪失宣告を受けないもう一方の親権者ですか」を表示				／		戸79
		YES	(87) →					受理
		ＮＯ	(88) →					不受理
(89)届出事件は1(親権者指定)であるか						／		
YES	(90)関連事件発生日に入力があるか					／		
	YES	(91)確認ﾒｯｾｰｼﾞ(YES, NO) 「既に養子離縁は成立しており, 事件発生日と養子離縁届出日は同じですか」を表示					(92) 本紙へ	
		YES	(93) →					受理
		ＮＯ	(94) →					不受理
	ＮＯ	(95) →						受理
ＮＯ								

第2(3)(4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		審査（親権・管理権届）	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	12／15

処理名	4．0 中間ファイル（届書）編集 1／4	（受取側） 中間ファイル（届書）／共通	← （引渡側） 入力画面（親権・管理権届）

受取側			引渡側			コード変換有無（ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ）	出力形態 Z9．，	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル（届書）共通	受領番号		親権・管理権届（その1）入力画面	受領番号				受領番号が取得済みの場合に設定
	選択事件コード							13（親権・管理権届）
	出張所番号			支所番号				
	受領日			受領日				
	送付日			送付日				
	発送元			発送元				
	在外送付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日				
	指示日							
	許可日							
	受理送付区分							在外送付区分＝0の時：1 在外送付区分＝1，2，3の時：2 を移送
	本非区分			本非区分				
	郵送日			郵送日				
	動態区分							
	届区分			報告区分				
	渉外区分							
	同時決裁受領番号（1）～（5）							
	ロック戸籍番号(1)		本籍人検索 ｻﾌﾞｼｽﾃﾑ・ｲﾝﾀｰﾌｪｰｽ	戸籍番号				未成年者が本籍人の場合，選択戸籍番号を移送
	ロック戸籍番号（2）～（5）							
	事件別内容							3／4，4／4参照
	不受理申出処分区分							本籍人で該当する不受理申出がある場合，1を移送する

第2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(親権・管理権届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成12年 3月 1日	4	13/15

処理名	4.0中間ファイル(届書)編集 2/4	(受取側) 中間ファイル(届書)/共通 ← (引渡側) 入力画面(親権・管理権届)

受取側			引渡側			コード変換有無 (サブルーチン)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
中間ファイル (届書) 共通	処分区分							審査結果により、1=受理、又は、 2=不受理、又は、3=受理照会を セットする。 審査において一つでもエラーがある 場合は不受理とする
	決裁区分							何も設定されていない場合に 0(未設定)を移送
	届書排他区分							再入力の場合に1(排他)を移送

第2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		審査（親権・管理権届）	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	14／15

処理名	4．0 中間ファイル（届書）編集 3／4	（受取側） 中間ファイル（届書）／事件別内容	← （引渡側） 入力画面（親権・管理権届）

受取側			引渡側			コード	出力形態	
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	変換有無 (ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	Z9．．	備考
中間ファイル（届書）事件別内容	外国人区分(未成年)		親権・管理権届（その1）入力画面	未成年者外国人区分				
	本非区分（未成年）			未成年者本非区分				
	生年月日（未成年）			未成年者生年月日				
	カナ氏名（未成年）			未成年者カナ氏名				
	漢字氏名（未成年）			未成年者漢字氏名				
	本籍コード（未成年）			未成年者本籍				
	本籍（未成年）							
	筆頭者（未成年）			未成年者筆頭者				
	外国人区分(親権者)			親権者外国人区分				
	本非区分（親権者）			親権者本非区分				
	生年月日（親権者）			親権者生年月日				
	カナ氏名（親権者）			親権者カナ氏名				
	漢字氏名（親権者）			親権者漢字氏名				
	本籍コード（親権者）			親権者本籍				
	本籍（親権者）							
	筆頭者（親権者）			親権者筆頭者				
	親権者資格			親権者資格				
	届出事件		親権・管理権届（その2）入力画面	届出事件				
	種別区分			種別区分				
	審判／調停日			審判／調停日				
	関連事件発生日			関連事件発生日				
	届出人資格1			届出人資格1				
	届出人氏名1			届出人氏名1				

50287

014

第2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		審査（親権・管理権届）	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	15／15

処理名	4．0 中間ファイル（届書）編集 4／4	（受取側） 中間ファイル（届書）／共通	← （引渡側） 入力画面（親権・管理権届）

受取側			引渡側			コード変換有無（サブルーチン）	出力形態	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
中間ファイル （届書） 事件別内容	届出人・協議者資格		親権・管理権届 （その2） 入力画面	届出人・協議者資格				
	外国人区分（届出人・協議者）			届出人・協議者外国人区分				
	本非区分（届出人・協議者）			届出人・協議者本非区分				
	生年月日（届出人協議者）			届出人・協議者生年月日				
	カナ氏名（届出人・協議者）			届出人・協議者カナ氏名				
	漢字氏名（届出人・協議者）			届出人・協議者漢字氏名				
	本籍コード（届出人・協議者）			届出人・協議者本籍				
	本籍（届出人・協議者）							

50288

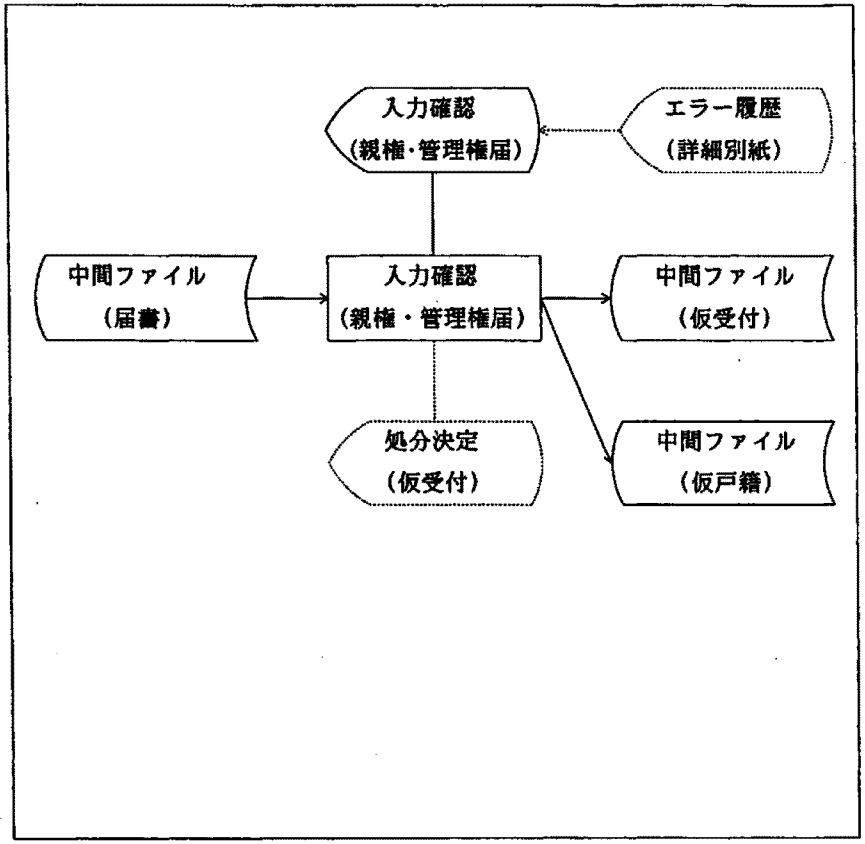
015

第2(3)(2)	システム環境仕様書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認（親権・管理権届）	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	1／11

50289

910

1．詳細フロー



2．使用ＤＢ・ファイル一覧

名　　称	入出力区分	名　　称	入出力区分
中間ファイル（届書）	入力		
中間ファイル(仮受付)	出力		
中間ファイル(仮戸籍)	出力		

3．処理概要

(1) 中間ファイル（届書）画面表示する。

(2) 戸籍変動状況を確定する。

(3) 中間ファイル（仮受付）を編集・出力する。

(4) 中間ファイル（仮戸籍）を編集・出力する。

(5) 処分決定処理に制御を渡す。

4．機能体系（要件定義書の構成）

0.0 本紙
- 1.0 データ編集表（親権・管理権届確認画面）
- 2.0 戸籍編製マトリックス表
- 3.0 データ編集表（中間ファイル（仮受付））
- 4.0 データ編集表（中間ファイル（仮戸籍））
  - 4.1 身分事項（変動なし）

5．備考（特記事項含む）

第2(33)(3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		入力確認（親権・管理権届）	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	2／11

処理名	0．0 本紙	根拠法令 （マニュアル処理）

(1) 中間ファイル（届書）の内容を確認画面に出力し、メッセージ「入力項目を確認し、よければ実行キーを押してください。」を表示する [1.0]		／			
(2) キー選択（実行キー，PF1，PF2，PF5，PF7，PF8，PF11，その他）		／			
実行キー	(3) 中間ファイル（届書）の内容から戸籍編製マトリックス表を参照し、事件本人の戸籍の変動状況を決定する [2.0]	／			
	(4) 中間ファイル（仮受付［受付］）を編集・出力する [3.0]	／			
	(5) 中間ファイル（仮受付［事件本人］）を編集・出力する [3.1]	／			
	(6) 事件本人（未成年者）が本籍人である（YES，NO）	／			
	YES (7) 戸籍の変動状況をもとに中間ファイル（仮戸籍）を編集・出力する [4.0]	／	(9) 処分決定に制御を渡す		
	身分事項（変動なし） (8) 現戸籍(未成年者)に親権・管理権事項の編集 [4.1]				
	NO ⟶				
PF1	⟶		(10)業務選択に制御を渡す		
PF2	⟶		(11)届出選択に制御を渡す		
PF5	⟶		(12)審査に制御を渡す		
PF7	(13)前ページがあるか（ある：YES，なし：NO）	／	(15)同画面を編集する		
	YES (14)前ページ「親権・管理権届」画面編集				
	NO (16)エラーメッセージ「先頭ページです。」を表示する				
PF8	(17)次ページがあるか（ある：YES，なし：NO）	／			
	YES (18)次ページ「親権・管理権届」画面編集				
	NO (19)エラーメッセージ「最終ページです。」を表示する				
PF11	⟶		(20)エラー履歴表示に制御を渡す		
その他	(21)エラーメッセージ「無効なキーが入力されました。」を表示する		(22)同画面を編集する		

第2-3-(4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		入力確認（親権・管理権届）	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	3／11

処理名	1．0 確認画面編集（親権・管理権届）1/2	（受取側） 確認画面（親権・管理権画面）	← （引渡側） 中間ファイル（届書）

受取側			引渡側			コード変換有無（サブルーチン）	出力形態 X'9'..	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
親権・管理権届 確認画面 （その1）	画面ＩＤ		中間ファイル （届書）					画面ＩＤ
	システム日付							システム日付
	支所番号		共通	出張所番号				
	受領番号			受領番号				
	受領日			受領日				
	送付日			送付日				
	発送元			発送元				
	在外送付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日				
	本非区分			本非区分				
	郵送日			郵送日				
	報告区分			届区分				
	未成年者外国人区分		中間ファイル （届書）	外国人区分（未成年）		有		
	未成年者本非区分			本非区分（未成年）		有		
	未成年者生年月日		事件別内容	生年月日（未成年）				
	未成年者カナ氏名			カナ氏名（未成年）				
	未成年者漢字氏名			漢字氏名（未成年）				
	未成年者本籍			本籍（未成年）				
	未成年者筆頭者			筆頭者（未成年）				
	親権者外国人区分			外国人区分（親権者）		有		
	親権者本非区分			本非区分（親権者）		有		
	親権者生年月日			生年月日（親権者）				
	親権者カナ氏名			カナ氏名（親権者）				
	親権者漢字氏名			漢字氏名（親権者）				
	親権者本籍			本籍（親権者）				
	親権者筆頭者			筆頭者（親権者）				

50291
018

50292

第2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		入力確認（親権・管理権届）	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	4／11

処理名	1．0 確認画面編集（親権・管理権届）2/2	（受取側） 確認画面（親権・管理権届）	← （引渡側） 中間ファイル（届書）

受取側			引渡側			コード変換有無（サブルーチン）	出力形態 219	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
親権・管理権届 確認画面(その1)	親権者資格		中間ファイル （届書）	親権者資格				
親権・管理権届 確認画面 （その2）	届出事件		事件別内容	届出事件				
	届出種別			届出種別				
	審判／調停日			審判／調停日				
	関連事件発生日			関連事件発生日				
	届出人資格1			届出人資格1				
	届出人氏名1			届出人氏名1				
	届出人・協議者資格			届出人・協議者資格				
	届出人・協議者外国人区分			外国人区分（届出人・協議者）				
	届出人・協議者本非区分			本非区分（届出人・協議者）				
	届出人・協議者生年月日			生年月日（届出人・協議者）				
	届出人・協議者カナ氏名			カナ氏名（届出人・協議者）				
	届出人・協議者漢字氏名			漢字氏名（届出人・協議者）				
	届出人・協議者本籍			本籍（届出人・協議者）				

019

第2編3章（7）	補足説明書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		入力確認（親権・管理権届）	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	5／11

処理名　2．0　戸籍編製マトリックス表

項番	条件				未成年者の現在戸籍
	未成年者				変動なし
	外国人区分		本非区分		
	日本人	外国人	本籍	非本籍	
1	○		○		未成年者（4.1）
2	○			○	
3		○	−	−	

第 2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(親権・管理権届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成23年 9月30日	14.1	6/11

処理名	3.0中間ファイル(仮受付)編集・出力 1／3	(受取側) 中間ファイル(仮受付)／共通	←	(引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.，	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
中間ファイル (仮受付) 共通	受領番号		中間ﾌｧｲﾙ(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	受付事件コード							届出事件＝1(親権者指定)の時、 種別区分＝協議ならば 1301(親権者指定) 種別区分＝調停ならば 1302(親権者指定(調停)) 種別区分＝審判(確定)ならば 1303(親権者指定(裁判)) 届出事件＝2(親権者変更)の時、 種別区分＝調停ならば 1304(親権者変更(調停)) 種別区分＝審判(確定)ならば 1305(親権者変更(裁判)) 届出事件＝4(親権辞任)の時、 1310(親権辞任) 届出事件＝7(管理権辞任)の時、 1311(管理権辞任) 届出事件＝5(親権回復)の時、 1312(親権回復) 届出事件＝8(管理権回復)の時、 1313(管理権回復)を移送
	受付日			受領日				送付日＝0の時、移送
				送付日				送付日≠0の時、移送
	事件発生日			審判／調停日				種別区分＝調停，審判(確定)かつ 関連事件発生日＝0の時、移送
	事件発生時分							
	事件発生日							
	受理送付区分			受理送付区分				
	本非区分			本非区分				

第 2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(親権・管理権届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成30年 3月 31日	21	7／11

処理名	3.0中間ファイル(仮受付)編集・出力 2／3	(受取側) 中間ファイル(仮受付)／共通	←	(引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.，	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
中間ファイル (仮受付) 共通	渉外区分		中間ファイル(届書)					日本人のみ届のため設定不要
	発送日							
	郵送日			郵送日				
	発日							
	収日							
	指示日			指示日				
	許可日			許可日				
	届出人資格区分1			届出人資格1				親権者資格≠届出人資格1の時移送
	届出人資格名称1			届出人資格1		有		親権者資格≠届出人資格1の時移送
	届出人氏名1			届出人氏名1				親権者資格≠届出人資格1の時移送 ただし届出人資格＝1，2の場合は移送しない
	届出人資格区分2							
	届出人資格名称2							
	届出人氏名2							
	届後本籍区分							
	届後本籍コード							
	届後本籍							
	届後戸籍の筆頭者							
	送達確認1							0を移送
	証書提出区分							0を移送
	届書送付目録区分							ファイル仕様書参照
	処分区分			処分区分				
	決裁区分			決裁区分				

50299

022

第 2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(親権・管理権届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成23年 9月30日	14.1	8/11

処理名	3.0中間ファイル(仮受付)編集・出力 3／3	(受取側) 中間ファイル(仮受付)／事件本人 ← (引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側 DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	引渡側 DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	コード変換有無 (ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.，	備考
中間ファイル (仮受付) 事件本人	受領番号		中間ﾌｧｲﾙ(届書)	受領番号				
	行番号							
	事件本人区分							未成年者＝15 親権者＝16～25 16:届出事件が親権者指定，親権者変更 19:届出事件が親権辞任 20:届出事件が親権回復 24:届出事件が管理権辞任 25:届出事件が管理権回復 親権協議者＝49
	届出人区分							事件本人が届出人の場合 1を設定
	カナ氏名			カナ氏名				未成年者＝カナ氏名(未成年者) 親権者＝カナ氏名(親権者) 親権協議者＝カナ氏名(届出人・協議者)
	漢字氏名			漢字氏名				未成年者＝漢字氏名(未成年者) 親権者＝漢字氏名(親権者) 親権協議者＝漢字氏名(届出人・協議者)
	生年月日			生年月日				未成年者＝生年月日(未成年者) 親権者＝生年月日(親権者) 親権協議者＝生年月日(届出人・協議者)
	本籍コード			本籍コード				未成年者＝本籍ｺｰﾄﾞ(未成年者) 親権者＝本籍ｺｰﾄﾞ(親権者) 親権協議者＝本籍ｺｰﾄﾞ(届出人・協議者)
	本籍			本籍				未成年者＝本籍(未成年者) 親権者＝本籍(親権者) 親権協議者＝本籍(届出人・協議者)
	筆頭者氏名			筆頭者氏名				未成年者＝筆頭者(未成年者) 親権者＝筆頭者(親権者)
	送達確認2							本籍が非本籍かつ在外送付区分＝0 の時、1を移送(未成年者のみ設定) 上記以外は、0を移送

※仮受付の事件本人を該当事件本人分出力する
※出力順序
1. 未成年者
2. 親権者
3. 親権協議者(但し、親権協議者は、協議による親権者指定届の時のみ出力する)

第 2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(親権・管理権届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成30年 3月 31日	21	9／11

処理名	4.1身分事項 未成年者編集 1／3	(受取側) 中間ファイル(仮戸籍)／身分事項	←	(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 (ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.，	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
中間ﾌｧｲﾙ(仮戸籍) 身分事項	個人番号		中間ﾌｧｲﾙ(届書)					
	行番号							
	出力区分							0を移送
	タイトルコード							1301(親権者指定)
	記録コード							1301(親権者指定)
	管掌者コード							
	事件発生日			受領日				種別区分＝協議かつ 関連事件発生日＝0または、 種別区分=許可審判の時、移送
				関連事件発生日				届出事件＝親権者指定かつ、 関連事件発生日≠0の時、移送
				審判／調停日				種別区分＝調停，審判(確定)かつ、 関連事件発生日＝0の時、移送
	親権者を定めた日			受領日				届出事件＝親権者指定かつ、 届出区分＝協議かつ、 関連事件発生日＝0の時、移送
	親権者を定められた日							
	親権者となった日			関連事件発生日				届出事件＝親権者指定かつ、 関連事件発生日≠0の時、移送
	親権者を定める裁判確定日			審判／調停日				届出事件＝親権者指定かつ、 届出区分＝審判(確定)かつ、 関連事件発生日＝0の時、移送
	親権者を定める調停成立日			審判／調停日				届出事件＝親権者指定かつ、 届出区分＝調停かつ、 関連事件発生日＝0の時、移送
	親権者変更の裁判確定日			審判／調停日				届出事件＝親権者変更かつ、 届出区分＝審判(確定)の時、移送
	親権者変更の調停成立日			審判／調停日				届出事件＝親権者変更かつ、 届出区分＝調停の時、移送
	共同親権に服した日							
	親権に服した日							
	親権に服さなくなった日							
	親権喪失宣告の裁判確定日							

第 2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(親権・管理権届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成30年 3月 31日	21	10／11

処理名	4.1身分事項 未成年者編集 2／3	(受取側) 中間ファイル(仮戸籍)／身分事項 ← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 (ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.，	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ﾌｧｲﾙ(仮戸籍) 身分事項	管理権喪失宣告の裁判確定日		中間ﾌｧｲﾙ(届書)					
	親権喪失宣告取消しの裁判確定日							
	管理権喪失宣告取消しの裁判確定日							
	親権辞任日			受領日				届出事件＝親権辞任の時、移送
	管理権辞任日			受領日				届出事件＝管理権辞任の時、移送
	親権回復日			受領日				届出事件＝親権回復の時、移送
	管理権回復日			受領日				届出事件＝管理権回復の時、移送
	親権者職務執行停止及び代行者選任の裁判発効日							
	管理権執行停止及び代行者選任の裁判発効日							
	親権者職務執行停止の裁判失効日							
	管理権執行停止の裁判失効日							
	親権代行者改任の裁判発効日							
	管理権代行者改任の裁判発効日							
	親権喪失の審判確定日							
	管理権喪失の審判確定日							
	親権喪失の審判取消しの裁判確定日							
	管理権喪失の審判取消しの裁判確定日							
	親権停止の審判確定日							
	親権停止の審判の取消しの裁判確定日							
	親権者 資格			親権者資格		有		届出事件＝親権者指定、親権者変更の時、移送
	親権者 資格名称							
	親権者 氏名			漢字氏名(親権者)				届出事件＝親権者指定、親権者変更かつ、親権者資格＝10，11の時、移送
	親権喪失者 資格							
	親権喪失者 資格名称							
	管理権喪失者 資格							
	管理権喪失者 資格名称							
	親権喪失取消者 資格							
	親権喪失取消者 資格名称							

第 2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(親権・管理権届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成23年 9月30日	14.1	10-1/11

処理名	4.1身分事項 未成年者編集 2／3	(受取側) 中間ファイル(仮戸籍)／身分事項	←	(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側				引渡側						
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	コード変換有無 (ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.，	備考
中間ﾌｧｲﾙ(仮戸籍) 身分事項	管理権喪失取消者	資格		中間ﾌｧｲﾙ(届書)					
		資格名称							
	親権辞任者	資格			親権者資格		有		届出事件＝親権辞任の時、移送
		資格名称							
	管理権辞任者	資格			親権者資格		有		届出事件＝管理権辞任の時、移送
		資格名称							
	親権回復者	資格			親権者資格		有		届出事件＝親権回復の時、移送
		資格名称							
	管理権回復者	資格			親権者資格		有		届出事件＝管理権回復の時、移送
		資格名称							
	職務執行停止を受けた者	資格							
		資格名称							
	管理権執行停止を受けた者	資格							
		資格名称							
	親権代行者								
	親権代行者の戸籍	本籍							
		筆頭者							
	親権代行者の国籍								
	親権代行者の生年月日								
	管理権代行者								
	管理権代行者の戸籍	本籍							
		筆頭者							
	管理権代行者の国籍								
	管理権代行者の生年月日								
	親権停止者	資格							
		資格名称							
	親権停止期間								
	親権停止取消者	資格							
		資格名称							

第 2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(親権・管理権届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成30年 3月 31日	21	10-2/11

処理名	4.1身分事項 未成年者編集 2／3	(受取側) 中間ファイル(仮戸籍)／身分事項 ← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 (ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.，	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
中間ﾌｧｲﾙ(仮戸籍) 身分事項	届出日		中間ﾌｧｲﾙ(届書)	受領日				種別区分＝協議かつ、 関連事件発生日＝0の時、又は、 種別区分＝許可の審判日の時、 上記以外の時、移送
	届出人(資格)			届出人資格1 届出人・協議者資格				種別区分＝協議の時、 届出人資格1，届出人・協議者資格が、1，2の時、5(父母)に変換して移送 上記以外は、届出人資格1を移送 (但し、種別区分＝許可の審判の時は、移送しない)
	届出人(資格名称)			届出人資格1 届出人・協議者資格		有		上記、届出人資格に移送した資格を コード変換後に移送

第 2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(親権・管理権届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成23年 9月30日	14.1	11／11

処理名	4.1身分事項 未成年者編集 3／3	(受取側) 中間ファイル(仮戸籍)／身分事項	←	(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無	出力形態	備考
DB・ファイル名	項目		DB・ファイル名	項目		(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	Z9.，	
画面名称	名称	記号名	画面名称	名称	記号名			
中間ﾌｧｲﾙ(仮戸籍) 身分事項	届出人(氏名)		中間ﾌｧｲﾙ(届書)	届出人氏名1				届出人(資格)の備考に基づき、 届出人資格1＝1，2 以外は移送する
	届出人(資格)			届出人・協議者資格				種別区分＝協議で、 届出人資格1＝1かつ届出人・協議者資格＝11または 届出人資格1＝10かつ届出人・協議者資格＝2または 届出人資格1＝2かつ届出人・協議者資格＝10または 届出人資格1＝11かつ届出人・協議者資格＝1または 届出人資格1＝10かつ届出人・協議者資格＝11 または 届出人資格1＝11かつ届出人・協議者資格＝10 の時移送する
	届出人(資格名称)			届出人・協議者資格		有		
	届出人(氏名)			届出人・協議者漢字氏名				種別区分＝協議で、 届出人資格1＝1かつ届出人・協議者資格＝11または 届出人資格1＝2かつ届出人・協議者資格＝10または 届出人資格1＝10かつ届出人・協議者資格＝11 または 届出人資格1＝11かつ届出人・協議者資格＝10 の時移送する
	記載嘱託日							
	送付を受けた日			送付日				送付日≠0の時、移送
	受理者			発送元				送付日≠0の時、移送
	許可日							
	許可書謄本の送付を受けた日							
	許可を受けた者							
	従前の記録							
	記録日			処理日				送付日≠0の時、移送
	特記事項							

データ編集表(4.1身分事項編集)の仮戸籍・身分事項の項目は、ノーマルケース時の項目のみを記述している。

第7. 2. (5)「異動」処理

13. 未成年者の後見届

標準仕様書修正履歴

平成12年3月

項番	業務(届書)名	修正内容	ページ	添付資料NO
1	第7.2.(5).13 (未成年者の後見届)	成年後見法施行によるシステムの対応 1．全般 (1) 作業名 後見届 → 未成年者の後見届	P.1～ P.27-1	
		(2) 概要説明書 標準仕様書上から禁治産．準禁治産の文言の削除	P.1	
		(3) 文言の変更 後見 → 未成年者の後見 又は 未成年後見	P.1～ P.27-1	
		2．審査 (1) No.13 被後見人区分の削除	P.4	
		(2) No.21 未成年後見人の後見人区分の変更	P.5,P.7 P.8,P.8-1 P.21 P.24～27	
		(3) No.26 未成年者後見人の資格の変更	P.5	
		(4) No.27 届出原因の変更	P.5,P.7 P.8,P.8-1 P.9,P.10 P.21 P.24～27.1	
		(5) No.32 届出人資格の変更	P.5 P.8,P.8-1 P27.1	
		(6) 法改正に伴う審査ロジックの変更	P.9,P.10 P.11	
		(7) データ編集表 ・届書 選択事件コードの変更	P.12	
		届書Fレイアウトの変更	P.14,P.15 P.18,P.19	
		・受付 受付事件コードの変更	P.21	
		事件本人区分の変更	P.23	
		・戸籍 身分事項レイアウトの変更	P.24～27.1	

標準仕様書修正履歴

平成16年3月

項番	業務(届書)名	修正内容	ページ	添付資料NO
1	第7.2.(5).13 (未成年者の後見届)	1. 標準仕様書修正(後見12) 特記事項の内容を修正 「親権を行うものがあるに至ったため」 ↓ 「親権を行う者があるに至ったため」	27-1	

標準仕様書修正履歴

平成18年3月

項番	業務(届書)名	修　正　内　容	ページ	添付資料NO
1	第7.2.(5).13 (未成年者の後見届)	1. 標準仕様書修正(後見6) 受付の「筆頭者」と「送達確認2」の項目順が逆である 誤:送達確認2　　正:筆頭者 筆頭者　　送達確認2	023	
		・受付 受付事件コードの変更 事件本人区分の変更 ・戸籍 身分事項レイアウトの変更	 P.21 P.23 P.24～27.1	

標準仕様書修正履歴

平成19年3月

項番	業務(届書)名	修　正　内　容	ページ	添付資料NO
1	第7.2.(5).13 (未成年者の後見届)	1. 標準仕様書修正 平成18年1月20日議事6の対応 受領日と送付日が同じ場合のメッセージ出力 「受領日と送付日が同一です。 処理をしてよろしいですか。」 (0)～(0-4)の審査を追加	009 009-01	

標準仕様書修正履歴

平成22年3月

項番	業務(届書)名	修　正　内　容	ページ	添付資料NO
1	第7.2.(5).13 (未成年者の後見届)	1. 標準仕様書修正 平成20年7月18日議事1①の対応 関連チェックNo.31 旧:(No.28)開始日,(No.29)就職日は必須入力であること 新:(No.29)就職日は必須入力であること 開始日を削除する	P7	

標準仕様書修正履歴

平成23年3月

項番	業務(届書)名	修　正　内　容	ページ	添付資料NO
1	第7.2.(5).13 (未成年者の後見届)	1. 標準仕様書修正(後見13) 後見終了の失期通知判定分を修正 旧:(73) 未成年後見人～10日以内の届出であるか 新:(73) 未成年後見人～11日以内の届出であるか 備考欄に起算日の考え方を記述	011	

標準仕様書修正履歴

平成23年9月

項番	業務(届書)名	修正内容	ページ	添付資料NO
1	第7.2.(5).13 (未成年者の後見届)	1. 民法改正(平成23年法律第61号)の対応 範囲外処理に届出人が"未成年者"、"複数の未成年後見人"の場合を記述 "未成年後見は1人"の記述を削除 単体チェックの内容を変更(必須の変更、追記、修正) 関連チェックの内容を追加、編集 外国人区分の判定を日本人(YES)と以外(NO)に変更 未成年後見(監督)人の住所を追加 事件コード、事件発生日の備考欄を修正 コード一覧表の身分事項項目内容を反映 更迭の場合の設定内容を削除 「前任者氏名」の削除 「生年月日」が2行あるため削除	001 004, 005 007,008 008-1 010 014, 019 026-1, 027 021 024～027-1 024, 025 026 005,008 014,019 023	

標準仕様書修正履歴

平成24年3月

項番	業務(届書)名	修　正　内　容	ページ	添付資料NO
1	第7.2.(5).13 (未成年者の後見届)	1. 標準仕様書修正(2011年12月16日議事2②) 14版で修正した(73)の内容が未成年被後見人が未成年時の届出が考慮できていないため、成人と未成年の場合の判定を行いそれぞれに処理を追加する	011, 011-1	
		2. 標準仕様書修正(2011年11月18日議事8①) 「15:親権喪失裁判確定」は嘱託となるため処理を削除 届出原因の単体チェックのコードと以降のページの整合性を合わせた	005, 007 008, 010 021, 024 025-1 026, 026-1	

標準仕様書修正履歴

平成25年3月

項番	業務(届書)名	修　正　内　容	ページ	添付資料NO
1	第7.2.(5).13 (未成年者の後見届)	1. 標準仕様書修正(未成年後見27(2012年2月17日議事1)) 未成年後見監督人は複数指定できることから、特定のために氏名を編集し移送するように修正 「【特記事項】未成年後見監督人○○○○に欠格事由が生じたため」のように記載 2. 法人に関する修正 被後見人が非本籍人の場合の本非区分のチェックに未入力(法人)の場合の判定が漏れているため追加 未成年後見人の年齢判定に法人の場合の判定を追加	027-1 008-1 010	

標準仕様書修正履歴

平成27年3月

項番	業務(届書)名	修　正　内　容	ページ	添付資料NO
1	第7.2.(5).13 (未成年者の後見届)	1. 標準仕様書修正(後見31(2013920議事3)) 事件本人と筆頭者の氏が同一であることについて、 関連チェックを追加 (17-1)、(29)	007	

標準仕様書修正履歴

平成29年3月

項番	業務(届書)名	修　正　内　容	ページ	添付資料NO
1	第7.2.(5).13 (未成年者の後見届)	1. 標準仕様書修正(後見32) 戸籍法43条に届出の審査ロジックの表記を統一する。 審査 (66),(72-2),(73)	011	
		2. 標準仕様書修正(後見33) 年齢の起算日に関しては、創設的届出、報告的届出による違い等が過去にも議題となった。 研究員の入替もあることから、年齢の起算日に関して補助的記載を追加する 起算日が受領日であることを明記 審査 (3) (35) (72-1)	009 010 011	
		3. 標準仕様書修正(後見34) 処理日の入力について受領日と同一日付を認めるかが届出ごとに違う。 同一日付は認めない方向で統一する 関連チェック (8)	006	

50306-8

標準仕様書修正履歴

平成30年3月

項番	業務(届書)名	修　正　内　容	ページ	添付資料NO
1	第7.2.(5).13 (未成年者の後見届)	1. 標準仕様書修正(後見35) 20版での年齢の起算日の修正時に不備があったため修正する。 審査(3)の「+1」を削除	009	
		2. 標準仕様書修正(後見37) 親権(管理権)喪失の審判取消しにより親権が回復したため、未成年者の後見が終了した場合の記載について、特記事項の記載を参考記載例に合わせて修正する。	027-1	

標準仕様書修正履歴

平成31年3月

項番	業務(届書)名	修　正　内　容	ページ	添付資料NO
1	第7.2.(5).13 (未成年者の後見届)	1. 標準仕様書修正(後見40) 未成年後見人の選任, 未成年後見監督人の選任について 届書入力から処理ができるよう修正する。	001,005 008,008-1 009,014 019,021 023,024 026,026-1 027,027-1	
		2. 標準仕様書修正(後見41,42) 未成年被後見人が成年に達した場合の年齢の審査に 誤りがあったため、正しい審査に修正する。	009,009-1 010,011 011-1	

50307

1. 未成年者の後見業務処理範囲外の処理

(1). 裁判所書記官からの戸籍の記載嘱託(未成年後見人の選任, 未成年後見監督人の選任を除く)

(2). 成年に達したため及び婚姻したため等, 申出による未成年者の後見終了の記録

(3). 養子縁組, 養子離縁, 婚姻等, 各届出のその他欄に「未成年者の後見終了事項を記録されたい」旨記録して届出があった場合の後見終了の記録

(4). 未成年者からの届出があった場合の記録

(5). 複数の未成年後見人から届出があった場合の記録

(6). 複数の未成年後見人事項が記載されている人がいる戸籍に届出があった場合の記録

(7). 未成年後見人が地位を失った旨の届出があった場合の記録

2. 未成年者の後見終了届入力画面の意義

(1). その1画面:未成年被後見人及び未成年後見人の入力

(2). その2画面:届出事項及び届出人の入力

(3). ガイダンス画面:業務処理範囲外の処理及び処理の注意事項

3. その他

(1). 添付書類

・未成年者の後見開始届については, 指定未成年後見人の場合には遺言の謄本, 選定未成年後見人の場合には, 選定審判の謄本の添付を要する。
親権・管理権の喪失宣告による未成年者の後見開始の場合には, その審判の謄本のほか, 確定証明書の添付を要する。

・未成年者の後見終了届については, 親権・管理権の喪失宣告取消等による後見終了の場合には, それぞれの審判の謄本の添付を要する。

・未成年後見監督人就職届については, 未成年者の後見開始と同様である。

・未成年後見監督人任務終了届については, 終了の原因を証する書面(未成年後見監督人が未成年後見人と婚姻した時は, 婚姻事項の記録のある戸籍謄(抄)本が該当する)を添付する。

(2). 未成年者, 家庭裁判所で免ぜられた法定代理人, 保佐人又は補助人, 破産者, 未成年被後見人に対して訴訟をし又はした者及びその配偶者並びに直系血族, 行方の知れない者は,
未成年後見人(未成年後見監督人)となることができない。

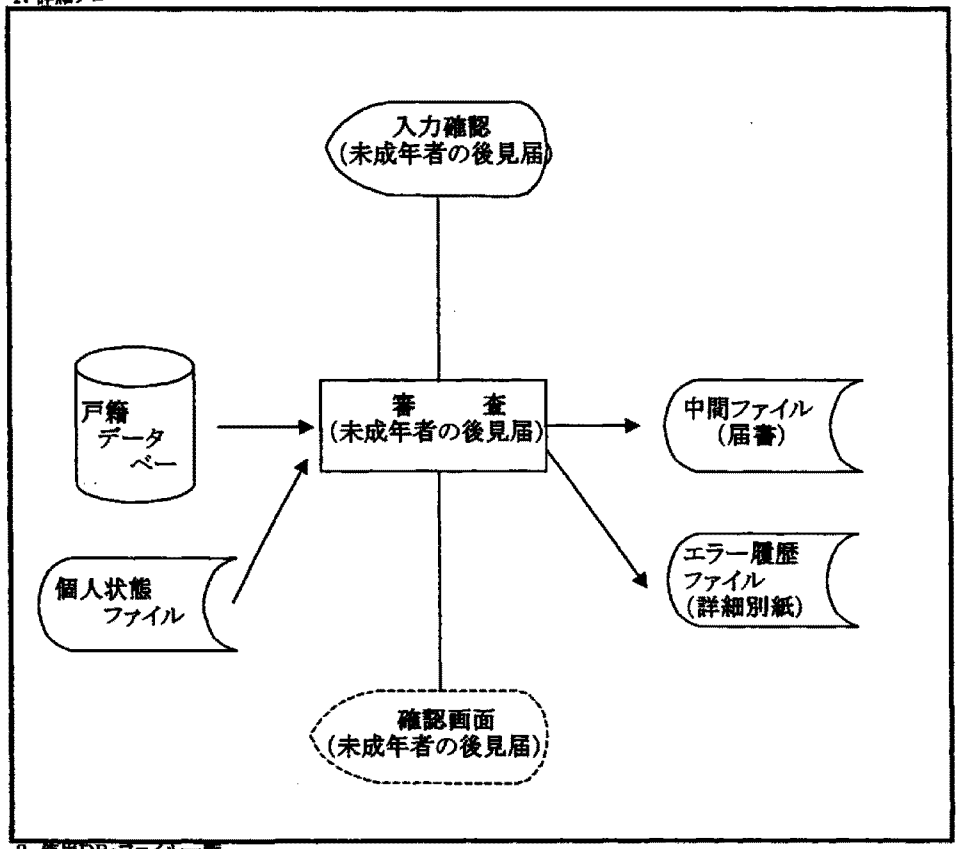
(3). 未成年後見人の配偶者, 直系血族及び兄弟姉妹は, 未成年後見監督人となることができない。(民法850条)

(4). 未成年後見監督人は, 未成年後見人が就職してからでなければ就職できない。

001

第 2 3 (2)	システム環境仕様書	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(未成年者の後見届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成12年 3月 1日	4	2/15

1. 詳細フロー



2. 使用DB・ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
戸籍DB	入力		
個人状態ファイル	入力		
中間ファイル(届書)	出力		
エラー履歴ファイル	出力		

3. 処理概要

(1)未成年者の後見届の内容を画面入力する。

(2)未成年者の後見届で入力された項目の単体チェックを行う。

(3)未成年者の後見届で入力された項目の関連チェックを行う。

(4)審査を行う。

(5)未成年者の後見届から中間ファイル(届書)を編集し、出力する。

(6)入力確認(未成年者の後見届)に制御を渡す。

4. 機能体系(要件定義書の構成)

- 0.0 本紙
  - 1.0 データチェック(単体表)
  - 2.0 データチェック(関連表)
  - 3.0 審査
  - 4.0 データ編集表(中間ファイル／届書)

5. 備考(特記事項含む)

002

第2 3 (3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(未成年者の後見届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成12年 3月 1日	4	3/15

処理名	0.0 本紙				根拠法令(マニュアル処理)
(1) 届書内容を画面入力する				／	「届書メニュー」で受領番号が入力された場合、届書ファイルから画面編集を行う
(2) キー選択(実行キー、 PF1、 PF2、 PF7、 PF8、 PF10、 PF11、 PF12、 その他)				／	
実行キー	(3) 入力項目の単体チェックを行う(OK:YES NG:NO) [1.0]			／	
	YES	(4) 入力項目の関連チェック(OK:YES NG:NO) [2.0]		／	
		YES	(5) 画面の入力項目をすべて入力禁止とする	／	
			(6) 審査(OK:YES NG:NO) [3.0]	／	
			YES (7) 中間ファイル(届書)の編集・出力 [4.0]		(8) 入力確認画面(未成年者の後見届)に制御を渡す
			N O (9) メッセージの種類(審査エラー、確認)	／	
			審査エラー (10) エラーメッセージを表示する		(11) 同画面を編集する メッセージをエラー履歴に出力する
			確認 (12) 確認メッセージを表示し、メッセージに対して応答の後、以降の処理を続行する		メッセージと応答をエラー履歴に出力する
		N O	(13) エラーメッセージを表示する		
	N O	(14) エラーメッセージを表示する			
PF1	→				(15) 業務選択に制御を渡す
PF2	→				(16) 届出選択に制御を渡す
PF7	(17) 前ページがあるか(ある:YES, なし:NO)			／	(18) 同画面を編集する
	YES	(19) 前ページ「未成年者の後見届」画面編集			
	N O	(20) エラーメッセージ「先頭ページです。」を表示する			
PF8	(21) 次ページがあるか(ある:YES, なし:NO)			／	
	YES	(22) 次ページ「未成年者の後見届」画面編集			
	N O	(23) エラーメッセージ「最終ページです。」を表示する			
PF10	(24) 画面の入力項目の入力禁止を解除する				入力項目が入力禁止のときのみ有効
PF11	(25) 当該審査エラーの確認後、以降の審査を続行する				審査エラー発生時のみ有効
PF12	(26) 同画面を初期化する				
その他	(27) エラーメッセージ「無効なキーが入力されました。」を表示する				

第 2 3 (5)	データチェック(単体表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(未成年者の後見届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成23年 9月30日	14.1	4／15

50310

処理名	画面名	画面ＩＤ	
1.0単体チェック表 1／2	入力画面(未成年者の後見届)		

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	出張所番号		数字		「項目エラーがあります。 正しく入力して下さい。」		
2	受領番号		数字				
3	受領日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
4	送付日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
5	発送元		漢字				
6	在外送付区分	○	数字	(0:受理分, 1:国内からの送付 2:在外公館の直接送付, 3:在外公館の国内経由)であること			
7	処理日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
8	本非区分	○	数字	(1:本籍, 2:非本籍)であること			
9	郵送日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
10	未成年被後見人の 外国人区分	○	数字	(0:日本人, 1:外国人)であること			
11	未成年被後見人の 本非区分	○	漢字	(1:本籍, 2:非本籍)であること			
12	未成年被後見人の 生年月日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
13	(削除)						
14	未成年被後見人の カナ氏名	○	カナ				
15	未成年被後見人の 漢字氏名	○	漢字				
16	未成年被後見人の 本籍	○	漢字				
17	未成年被後見人の 筆頭者		漢字				
18	未成年後見人の 外国人区分		数字	(0:日本人, 1:外国人)であること			

004

第 2 3 (5)	データチェック(単体表)	作　業　名	作　成　者	作　成　日　付	改　訂　日　付	版	頁
		審査(未成年者の後見届)	システム化調査研究会	平成　6年12月　1日	平成31年　3月31日	22	5／15

処　理　名	画　面　名	画 面 Ｉ Ｄ	
1．0単体チェック表　2／2	入力画面(未成年者の後見届)		

No	項　目　名	必須	属性	内　容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備　考
19	未成年後見人の 本非区分		数字	(1:本籍,　2:非本籍)であること	「項目エラーがあります。 正しく入力して下さい。」		
20	未成年後見人の 生年月日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
21	未成年後見人の 後見人区分	○	数字	(3:未成年後見人,　4:未成年後見監督人)であること			
22	未成年後見人の カナ氏名		カナ				
23	未成年後見人の 漢字氏名	○	漢字				
24	未成年後見人の本籍		漢字				
25	未成年後見人の筆頭者		漢字				
26	未成年後見人の資格		数字	(1:父,　2:母)であること			
26-1	未成年後見人の住所		漢字				
27	届出原因	○	数字	(11:親権行使者不在,　12:親権行使者管理権喪失, 16:未成年後見監督人就職, 32:親権者親権回復,　33:親権者管理権回復, 37:未成年後見人成年,　38:未成年被後見人親権に服する, 39:未成年後見監督人任務終了,　51:未成年後見人選任, 52:未成年後見人選任親権者不在, 53:未成年後見人選任管理権喪失, 54:未成年後見監督人選任　)であること。			
28	開始日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
29	就職日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
30	終了日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
31	裁判確定日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
31-1	記録嘱託日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
32	届出人資格		数字	(110:未成年後見人,　112:未成年後見監督人, 113:後任未成年後見人,　114:後任未成年後見監督人,)であること。			
33	届出人氏名		漢字				

第 2 3 (6)	データチェック(関連表)	作　業　名	作　成　者	作　成　日　付	改　訂　日　付	版	頁
		審査(未成年者の後見届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成29年 3月31日	20	6／15

処　理　名	画　面　名	画 面 I D	
2.0関連チェック表 1／4	入力画面(未成年者の後見届)		

No	内　容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備　考
1	(No.4) 送付日＝スペースのとき (No.5) 発送元＝スペース であること	「関連エラーがあります。 正しく入力して下さい。」		
2	(No.4) 送付日≠スペースのとき (No.5) 発送元≠スペース であること			
3	(No.4) 送付日≠スペースのとき (No.4) 送付日≧ (No.3) 受領日 であること			
4	(No.4) 送付日＝スペースのとき (No.6) 在外送付区分＝0 ：受理分 であること			
5	(No.4) 発送日≠スペースのとき (No.6) 在外送付区分≠0 ：受理分以外 であること			
6	(No.5) 発送元≠スペースかつ (No.5) 発送元の最終文字が『市』『区』『町』『村』『長』 のとき (No.6) 在外送付区分＝1：国内からの送付 であること			
7	(No.5) 発送元≠スペースかつ (No.5) 発送元の最終文字が『市』『区』『町』『村』『長』 以外のとき (No.6) 在外送付区分＝2：在外公館からの直接送付 または (No.6) 在外送付区分＝3：在外公館の国内経由 であること			
8	(No.7) 処理日≠スペースのとき (No.7) 処理日＞ (No.2) 受領日 であること			
9	(No.9) 郵送日≠スペースのとき (No.4) 送付日＝スペース であること			
10	(No.9) 郵送日≠スペースのとき (No.9) 郵送日≦ (No.2) 受領日 であること			
11	(No.10) 未成年被後見人の外国人区分＝1：外国人の時、(No.11) 未成年被後見人の本非区分＝2：非本籍 であること			
12	(No.10) 未成年被後見人の外国人区分＝0：日本人の時、(No.12) 未成年被後見人の生年月日＝和暦 であること			
13	(No.10) 未成年被後見人の外国人区分＝1：外国人の時、(No.12) 未成年被後見人の生年月日＝西暦 であること			
14	(No.10) 未成年被後見人の外国人区分＝0：日本人の時、(No.16) 未成年被後見人の本・国籍＝本籍 であること			
15	(No.10) 未成年被後見人の外国人区分＝1：外国人の時、(No.16) 未成年被後見人の本・国籍＝国籍 であること			
16	(No.10) 未成年被後見人の外国人区分＝0：日本人の時、(No.17) 未成年被後見人の筆頭者が入力されていること			
17	(No.10) 未成年被後見人の外国人区分＝1：外国人の時、(No.17) 未成年被後見人の筆頭者は未入力 であること			

第 2 3 (6)	データチェック(関連表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(未成年者の後見届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成27年 3月 1日	18	7／15

処理名	画面名	画面ＩＤ	
2.0関連チェック表 2／4	入力画面(未成年者の後見届)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
17-1	(No.10) 未成年被後見人の外国人区分＝0：日本人の時、 (No.15)未成年被後見人の漢字氏名の氏=(No.17)未成年被後見人の筆頭者氏名の氏であること	「関連エラーがあります。 正しく入力して下さい。」		
18	(No.11) 未成年被後見人の本非区分＝1：本籍の時、 (No.16) 未成年被後見人の本・国籍＝管内 であること			
19	(No.11) 未成年被後見人の本非区分＝2：非本籍の時、(No.16) 未成年被後見人の本・国籍＝管外 であること			
20	(No.18) 未成年後見人の外国人区分＝1：外国人の時、(No.19) 未成年後見人の本非区分＝2：非本籍 であること			
21	(No.18) 未成年後見人の外国人区分＝0：日本人の時、(No.20) 未成年後見人の生年月日＝和暦 であること			
22	(No.18) 未成年後見人の外国人区分＝1：外国人の時、(No.20) 未成年後見人の生年月日＝西暦 であること			
23	(No.18) 未成年後見人の外国人区分＝0：日本人の時、(No.24) 未成年後見人の本・国籍＝本籍 であること			
24	(No.18) 未成年後見人の外国人区分＝1：外国人の時、(No.24) 未成年後見人の本・国籍＝国籍 であること			
25	(No.18) 未成年後見人の外国人区分＝0：日本人の時、(No.25) 未成年後見人の筆頭者が入力 されていること			
26	(No.18) 未成年後見人の外国人区分＝1：外国人の時、(No.25) 未成年後見人の筆頭者は未入力 であること			
26-1	(No.18) 未成年後見人の外国人区分＝0または1の時、(No.22) 未成年後見人のカナ氏名が入力されていること			
27	(No.19) 未成年後見人の本非区分＝1：本籍の時、 (No.24) 未成年後見人の本・国籍＝管内であること			
28	(No.19) 未成年後見人の本非区分＝2：非本籍の時、(No.24) 未成年後見人の本・国籍＝管外であること			
28-1	(No.26-1) 未成年後見人の住所≠スペースの時、(No.18) 未成年後見人の外国人区分が未入力であること			
28-2	(No.26-1) 未成年後見人の住所＝スペースの時、(No.18) 未成年後見人の外国人区分が入力されていること			
28-3	(No.26-1) 未成年後見人の住所≠スペースの時、(No.19) 未成年後見人の本非区分が未入力であること			
28-4	(No.26-1) 未成年後見人の住所＝スペースの時、(No.19) 未成年後見人の本非区分が入力されていること			
28-5	(No.26-1) 未成年後見人の住所≠スペースの時、(No.20) 未成年後見人の生年月日が未入力であること			
28-6	(No.26-1) 未成年後見人の住所＝スペースの時、(No.20) 未成年後見人の生年月日が入力されていること			
28-7	(No.26-1) 未成年後見人の住所≠スペースの時、(No.24) 未成年後見人の本・国籍が未入力であること			
28-8	(No.26-1) 未成年後見人の住所＝スペースの時、(No.24) 未成年後見人の本・国籍が入力されていること			
28-9	(No.26-1) 未成年後見人の住所≠スペースの時、(No.25) 未成年後見人の筆頭者が未入力であること			
28-10	(No.26-1) 未成年後見人の住所≠スペースの時、(No.26) 未成年後見人の資格が未入力であること			
29	(No.18) 未成年後見人の外国人区分＝0：日本人の時、 (No.23)未成年後見人の漢字氏名の氏=(No.25)未成年後見人の筆頭者氏名の氏であること			
30	(削除)			
31	(No.27) 届出原因＝11，12，16：開始事由の時、(No.29) 就職日は必須入力であること			

第 2 3 (6)	データチェック(関連表)	作　業　名	作　成　者	作　成　日　付	改　訂　日　付	版	頁
		審査(未成年者の後見届)	システム化調査研究会	平成　6年12月　1日	平成31年　3月31日	22	8／15

処　理　名	画　面　名	画 面 ＩＤ	
2.0関連チェック表　3／4	入力画面(未成年者の後見届)		

No	内　容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備　考
32	(№27) 届出原因＝11, 12, 16 : 開始事由の時、(№30) 終了日, (№31)裁判確定日, (№31-1)記録嘱託日 に入力がないこと	「関連エラーがあります。 正しく入力して下さい。」		
33	(削除)			
34	(削除)			
35	(№27) 届出原因＝32, 33, 37, 38, 39 : 終了事由の時, (№30) 終了日 は必須入力であること			
36	(№27) 届出原因＝32, 33, 37, 38, 39 : 終了事由の時, (№28) 開始日, (№29) 就職日, (№31) 裁判確定日, (№31-1) 記録嘱託日 に入力がないこと			
36-1	(№27) 届出原因＝51, 52, 53, 54 : 嘱託事由の時, (№31) 裁判確定日, (№31-1) 記録嘱託日 は必須入力であること			
36-2	(№27) 届出原因＝51, 52, 53, 54 : 嘱託事由の時, (№28) 開始日, (№29) 就職日, (№30) 終了日 に入力がないこと			
37	(№28) 開始日 ≦ (№29) 就職日 であること			
37-1	(№29) 就職日≠スペースの場合, (№9) 郵送日≠スペースの時, (№9) 郵送日≧(№29) 就職日 であり, (№9) 郵送日＝スペースの時, (№2) 受領日≧(№29) 就職日 であること			
37-2	(№30) 終了日≠スペースの場合, (№9) 郵送日≠スペースの時, (№9) 郵送日≧(№30) 終了日 であり, (№9) 郵送日＝スペースの時, (№2) 受領日≧(№30) 終了日 であること			
37-3	(№31) 裁判確定日≠スペースの場合, (№4) 送付日＝スペース かつ (№9) 郵送日＝スペース であること			
37-4	(№31) 裁判確定日≠スペースの場合, (№31) 裁判確定日≦(No.3) 受領日≦(№31-1) 記録嘱託日 であること			
38	(削除)			
39	(削除)			
40	(№21) 後見人区分＝3 : 未成年後見人の時, (№27) 届出原因＝16 : 未成年後見監督人就職, 39 : 未成年後見監督人任務終了, 54 : 未成年後見監督人選任 以外であること			
41	(№21) 後見人区分＝4 : 未成年後見監督人の時, (№27) 届出原因＝16 : 未成年後見監督人就職, 39 : 未成年後見監督人任務終了, 54 : 未成年後見監督人選任 であること			
42	(№21) 後見人区分＝3 : 未成年後見人 かつ (№27) 届出原因＝11:親権行使者不在, 12:親権行使者管理権喪失, 32:親権者親権回復, 33:親権者管理権回復, 37:未成年後見人成年, 38:未成年被後見人親権に服するの時、(№32) 届出人資格＝110 : 未成年後見人, 113 : 後任未成年後見人 であること			

第 2 3 (6)	データチェック(関連表)	作　業　名	作　成　者	作　成　日　付	改　訂　日　付	版	頁
		審査(未成年者の後見届)	システム化調査研究会	平成　6年12月　1日	平成31年　3月31日	22	8－1／15

処　理　名	画　面　名	画　面　ＩＤ	
2．0関連チェック表　4／4	入力画面(未成年者の後見届)		

No	内　容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備　考
43	(No.21) 後見人区分＝4：未成年後見監督人　かつ (No.27) 届出原因＝16：未成年後見監督人就職, 39：未成年後見監督人任務終了の時,(No.32) 届出人資格＝112：未成年後見監督人, 114：後任 未成年後見監督人　であること	「関連エラーがあります。 正しく入力して下さい。」		
43-1	(No.27) 届出原因＝51, 52, 53, 54：嘱託事由の時,(No.32) 届出人資格,(No.33) 届出人氏名　に 入力がないこと			
44	(No.32) 届出人資格＝110：未成年後見人　又は　112：未成年後見監督人　かつ (No.33) 届出人氏名≠スペース　の時,　(No.23) 未成年後見人の漢字氏名　＝(No.34) 届出人氏名　であること			
45	(No.32) 届出人資格＝113：後任未成年後見人　又は　114：後任未成年後見監督人　の時, (No.27) 届出原因＝11, 12, 16：開始事由　であること			
46	(No.32) 届出人資格＝113：後任未成年後見人　又は　114：後任未成年後見監督人　の時, (No.33) 届出人氏名　は必須入力であること			
47	(No.11) 未成年被後見人の本非区分＝1:本籍　又は (No.19) 未成年後見人の本非区分＝1:本籍　の時, (No.8) 本非区分＝1：本籍　であること			
48	(No.11) 未成年被後見人の本非区分＝2:非本籍　かつ (No.19) 未成年後見人の本非区分＝2:非本籍 または (No.19) 未成年後見人の本非区分が未入力の時,　(No.8) 本非区分＝2：非本籍　であること			

第 2 3 (3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(未成年者の後見届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成31年 3月31日	22	9／15

50316

処理名	3.0 審査 1／3			備考
(0.0-1)届出原因は51, 52, 53, 54:嘱託事由であるか				22版追加
YES	(0.0-2) →		(0.0-3)審査終了	※嘱託記載の場合は審査不要のため
NO	(0.0-4) → (0)へ	／		
(0) 受領日 ＝ 送付日 である (YES, NO)		／		
YES	(0-1)確認メッセージ 「受領日と送付日が同一です。処理をしてよろしいですか。」を表示	／		
YES	(0-2) → (1)へ	／		
NO	→		(0-3)本紙へ	
NO	(0-4) → (1)へ	／		
(1) (削除)				
(2) 未成年被後見人の外国人区分(0:日本人, 1:外国人)		／		
0	(3) 未成年被後見人の本非区分(1:本籍, 2:非本籍)	／		
1	(4) 未成年被後見人は婚姻しているか(YES,NO)	／		
YES	(5)エラーメッセージ 「未成年被後見人が婚姻しているため、未成年後見終了届は出せません。」を表示する		(6) 本紙へ	不受理
N O	(7) 届出原因は37(未成年被後見人が成年に達した)であるか	／		
YES	(8)未成年被後見人の生年月日+20年(20歳) − 1日 = 終了日(YES,NO)	／		民4 ※年齢20歳をもって成年とする。 終了日は20歳の誕生日の前日
YES	(9)→(34)	／		
N O	(10)エラーメッセージ 「終了日は20歳の誕生日の前日でなければなりません。」を表示する		(11) 本紙へ	不受理
N O	(12)→(34)	／		
2	(13)確認メッセージ(YES,NO) 「未成年被後見人は婚姻していますか」を表示する	／		
YES	(14)エラーメッセージ 「未成年被後見人が婚姻しているため、未成年後見終了届は出せません。」を表示する		(15) 本紙へ	不受理
N O	(16) 届出原因は37(未成年被後見人が成年に達した)であるか	／		
YES	(17)未成年被後見人の生年月日+20年(20歳) − 1日 = 終了日(YES,NO)	／		民4 ※年齢20歳をもって成年とする。 終了日は20歳の誕生日の前日
YES	(18)→(34)	／		

600

第 2 3 (3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(未成年者の後見届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成31年 3月31日	22	9-1／15

処理名	3.0 審査 1／3								備考
					ＮＯ	(19)エラーメッセージ 「終了日は20歳の誕生日の前日でなければ なりません。」を表示する		(20) 本紙へ	不受理
				ＮＯ	(21)→(34)		／		
	1	(21-1)→(34)					／		
(22) (削除)							／		
	(23) (削除)						／		
		(24) (削除)					／		
			(25) (削除)				／		
				(26) (削除)			／	(27) (削除)	
				(28) (削除)			／		
			(29) (削除)				／		
				(30) (削除)			／		

第 2 3 (3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(未成年者の後見届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成31年 3月31日	22	10／15

処理名	3.0 審査 2／3						備考
				(31) (削除)		(32) (削除)	
			(33) (削除)		／		
(34) 届出原因は11, 12, 16:開始事由であるか					／		
YES	(35) 未成年後見人(未成年後見監督人)の生年月日+20年(20歳以上)≦就職日である (YES,NO)				／		民847, 民852, 民4
	YES	(36) → (42) へ			／		
	N O	(36-1)未成年後見人(未成年後見監督人)の生年月日は空欄か			／		法人を判定
		YES	(36-2) → (42) へ		／		
		N O	(37) 確認メッセージ(YES,NO) 「未成年後見人(未成年後見監督人)は20歳未満ですが, よろしいですか。」を表示する			(38) 本紙へ	
			YES	(39) → (42) へ	／		
			N O	(40) →		(41) 本紙へ	不受理
(42) 未成年後見人(未成年後見監督人)の外国人区分 0:日本人か					／		
YES	(43) 未成年後見人(未成年後見監督人)の本非区分(1:本籍, 2:非本籍)				／		
	1	(44) (削除)			／		
			(45) (削除)			(46) (削除)	
			(47) (削除)		／		
				(48) (削除)		(49) (削除)	
				(50) 未成年後見人(未成年後見監督人)は破産宣告を受けているか	／		民847, 民852
				YES (51) エラーメッセージ「未成年後見人(未成年後見監督人)は破産宣告を受けています。」を表示する		(52) 本紙へ	不受理
				N O (53) → (66) へ	／		
	2	(54) → (66) へ			／		
N O							
(55) (削除)							

第 2 3 (3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(未成年者の後見届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成31年 3月31日	22	11／15

処理名							備考
3.0 審査 3／3							
YES		(56) (削除)			／		
			(57) (削除)		／		
				(58) (削除)	／		
				(59) (削除)		(60) (削除)	
			(61) (削除)				
				(62) (削除)	／		
				(63) (削除)		(64) (削除)	
		(65) (削除)			／		
	(66) 未成年後見人(未成年後見監督人)の就職日＋10日 ＞ 受領日				／		戸81, 戸82, 戸85
	YES	(67) → (80) へ			／		
	N O	(68) 確認メッセージ(YES, NO) 「届出期間が過ぎていますがよろしいですか。」を表示する				(69) 本紙へ	
		YES	(70) → (80) へ		／		
		N O	(71) →			(72) 本紙へ	不受理
N O	(72-1) 届出原因は37(未成年被後見人が成年に達した)であるか (YES,NO)				／		
	YES	(72-2) 終了日＋11日 ＞ 受領日			／		未成年被後見人が成年に達した場合翌日
		YES	(72-3) → (80) へ		／		起算
		N O	(72-4) 確認メッセージ(YES, NO) 「届出期間が過ぎていますがよろしいですか。」を表示する			(72-5) 本紙へ	
			YES	(72-6) → (80) へ	／		
			N O	(72-7) →		(72-8) 本紙へ	不受理
	N O	(72-9) 届出原因は32, 33, 38, 39であるか (YES,NO)					
		YES	(73) 終了日＋10日 ＞ 受領日		／		戸84, 戸85
			YES	(74) → (80) へ	／		
			N O	(75) 確認メッセージ(YES, NO) 「届出期間が過ぎていますがよろしいですか。」を表示する		(76) 本紙へ	
				YES (77) → (80) へ	／		
				N O (78) →		(79) 本紙へ	不受理

第 2 3 (3)	要件定義ワークシート	作　業　名	作　成　者	作　成　日　付	改　訂　日　付	版	頁
		審査(未成年者の後見届)	システム化調査研究会	平成　6年12月　1日	平成31年　3月31日	22	11-1／15

処　理　名	3.0 審査 3／3			備　考
	N O (79-1) → (80) へ	／		
(80) 届出人は未成年後見人(未成年後見監督人)か		／		戸81, 戸82, 戸84, 戸85
YES	(81) →		(82) 本紙へ	受理
N O	(83) 確認メッセージ(YES, NO) 「届出人は, 未成年後見人(未成年後見監督人)ではありませんがよろしいですか。」を表示する			
YES	(84) →			受理
N O	(85) →			不受理

第2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(未成年者の後見届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成12年 3月 1日	4	12/15

処理名	4.0中間ファイル(届書)編集・出力 1/4	(受取側) 中間ファイル(届書)/共通	←	(引渡側) 入力画面(未成年者の後見届)

受取側			引渡側			コード変換有無	出力形態	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	(サブルーチン)	Z9.,	
中間ファイル(届書) 共通	受領番号		未成年者の 後見届(その1) 入力画面	受領番号				受領番号が取得済みの場合に設定
	選択事件コード							41(未成年者の後見届)
	出張所番号			支所番号				
	受領日			受領日				
	送付日			送付日				
	発送元			発送元				
	在外送付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日				
	指示日							
	許可日							
	受理送付区分							在外送付区分=0のとき1 在外送付区分≠0のとき2
	本非区分			本非区分				
	郵送日			郵送日				
	動態区分							
	届区分							2(報告)を移送
	渉外区分							
	同時決裁受領番号 (1) ～ (5)							
	ロック戸籍番号(1)		本籍人検索 サブシステム・インターフェース	戸籍番号				未成年被後見人が本籍人の場合 選択戸籍番号を移送
	ロック戸籍番号 (2) ～ (5)							
	事件別内容							
	不受理申出処分区分							

第2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(未成年者の後見届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成12年 3月 1日	4	13/15

処理名	4.0中間ファイル(届書)編集・出力 2/4	(受取側) 中間ファイル(届書)/共通	←	(引渡側) 入力画面(未成年者の後見届)

受取側			引渡側			コード変換有無	出力形態	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	Z9.,	
中間ファイル(届書) 共通	処分区分							審査結果により,1=受理,又は, 2=不受理,又は,3=受理照会をセットする。 審査において一つでもエラーがある場合は不受理とする。
	決裁区分							何も設定されていない場合に 0(未決裁)を移送
	届書排他区分							再入力の場合に1(排他)を移送

第 2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(未成年者の後見届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成31年 3月31日	22	14／15

50322

処理名	4.0中間ファイル(届書)編集・出力 3／4	(受取側) 中間ファイル(届書)／事件別内容	←	(引渡側) 入力画面(未成年者の後見届)

受取側				引渡側				コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.，	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目	名称	記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目	名称	記号名			
中間ファイル(届書) 事件別内容	未成年被後見人	外国人区分		未成年者の後見届(その1) 入力画面	未成年被後見人	外国人区分				
		本非区分				本非区分				
		生年月日				生年月日				
		カナ氏名				カナ氏名				
		漢字氏名				漢字氏名				
		本籍コード				本籍				
		本籍								
		筆頭者				筆頭者				
	未成年後見人	外国人区分			未成年後見人	外国人区分				
		本非区分				本非区分				
		生年月日				生年月日				
		後見人区分				後見人区分				
		カナ氏名				カナ氏名				
		漢字氏名				漢字氏名				
		本籍コード				本籍				
		本籍								
		筆頭者				筆頭者				
	未成年後見人の資格				未成年後見人の資格					
	未成年後見人の住所				未成年後見人の住所					
	届出原因			未成年者の後見届(その2) 入力画面	届出原因					
	開始日				開始日					
	就職日				就職日					
	終了日				終了日					
	裁判確定日				裁判確定日					
	記録嘱託日				記録嘱託日					
	届出人資格				届出人資格					
	届出人氏名				届出人氏名					

014

第2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(未成年者の後見届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成12年 3月 1日	4	15／15

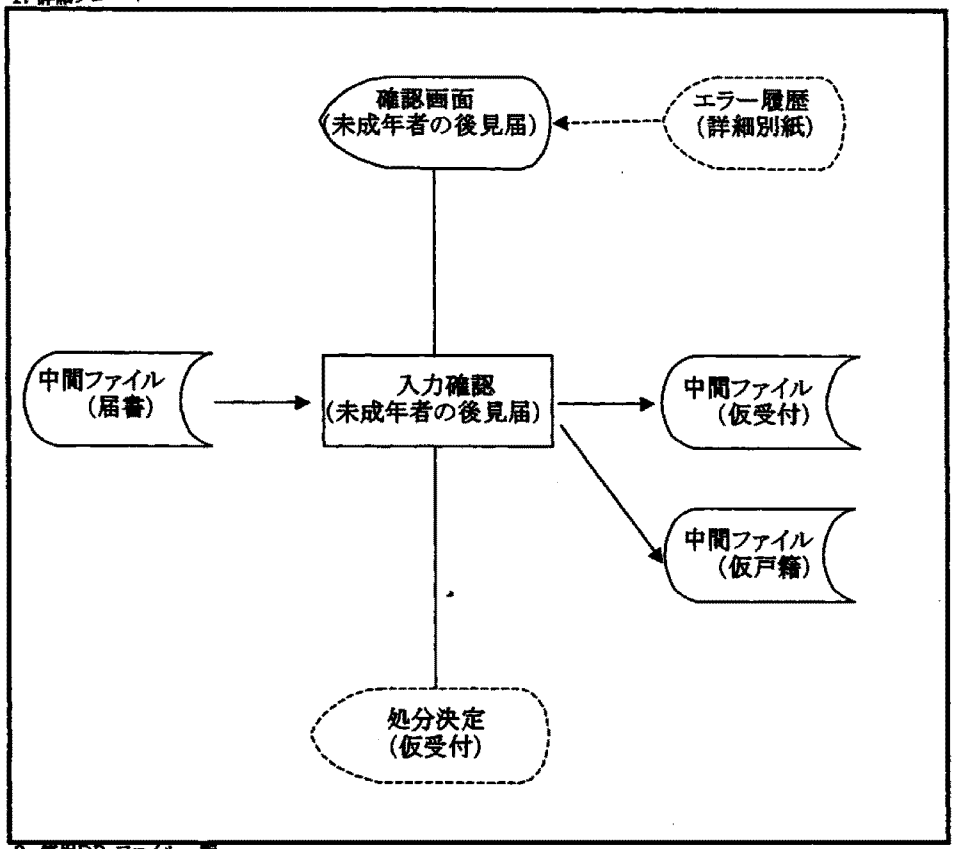
処理名	4.0中間ファイル(届書)編集・出力 4／4	(受取側) 中間ファイル(届書)／事件別内容	←	(引渡側) 入力画面(未成年者の後見届)

受取側			引渡側			コード変換有無 (ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態	備考
DB・ファイル名	項目		DB・ファイル名	項目				
画面名称	名称	記号名	画面名称	名称	記号名		Z9.，	

空　白

第2章(2)	システム環境仕様書	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(未成年者の後見届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成12年 3月 1日	4	1/12

1. 詳細フロー



2. 使用DB・ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ファイル(届書)	入力		
中間ファイル(仮受付)	出力		
中間ファイル(仮戸籍)	出力		

3. 処理概要

(1)中間ファイル(届書)を画面表示する。

(2)戸籍変動状況を確定する。

(3)中間ファイル(仮受付)を編集、出力する。

(4)中間ファイル(仮戸籍)を編集、出力する。

(5)処分決定処理に制御を渡す。

4. 機能体系(要件定義書の構成)

- 0.0 本紙
  - 1.0 データ編集表(未成年者の後見届確認画面)
  - 2.0 戸籍編製マトリックス表
  - 3.0 データ編集表(中間ファイル/仮受付)
  - 4.0 データ編集表(中間ファイル/仮戸籍)
    - 4.1 身分事項(変動なし)

5. 備考(特記事項含む)

016

第2 3 (3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(未成年者の後見届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成12年 3月 1日	4	2/12

処理名					0.0 本紙			備考
(1) 中間ファイル(届書)の内容を確認画面に出力し、メッセージを表示する「入力項目を確認し、よければ実行キーを押下して下さい。」					[1.0]	／		
(2) キー選択(実行キー、 PF1、 PF2、 PF5、 PF7、 PF8、 PF11、 その他)						／		
実行キー	(3) 中間ファイル(届書)の内容から戸籍編製マトリックス表を参照し、事件本人の戸籍変動状況を決定する				[2.0]	／		
	(4) 中間ファイル(仮受付〔受付〕)を編集・出力する				[3.0]	／		
	(5) 中間ファイル(仮受付〔事件本人〕)を編集・出力する				[3.1]	／		
	(6) 事件本人(未成年被後見人)が本籍人である(YES, NO)					／		
	YES	(7) 戸籍の変動状況をもとに、中間ファイル(仮戸籍)を編集・出力する				／		
		身分事項(変動なし)	(8) 現戸籍(未成年被後見人)に未成年後見事項の編集		[4.1]		(9) 処分決定に制御を渡す	
	N O	→						
PF1	→						(10) 業務選択に制御を渡す	
PF2	→						(11) 届出選択に制御を渡す	
PF5	→						(12) 審査に制御を渡す	
PF7	(13) 前ページあるか(ある:YES, なし:NO)					／	(15) 同画面を編集する	
	YES	(14) 前ページ「未成年者の後見届」画面編集						
	N O	(16) エラーメッセージ「先頭ページです。」を表示する						
PF8	(17) 次ページあるか(ある:YES, なし:NO)					／		
	YES	(18) 次ページ「未成年者の後見届」画面編集						
	N O	(19) エラーメッセージ「最終ページです。」を表示する						
PF11	→						(20) エラー表示に制御を渡す	
その他	(21) エラーメッセージ「無効なキーが入力されました。」を表示する						(22) 同画面を編集する	

第2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(未成年者の後見届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成12年 3月 1日	4	3/12

処理名	1.0 確認画面編集 1/2	(受取側) 確認画面(未成年者の後見届)	←	(引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側				引渡側				コード変換有無	出力形態	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目			DB・ファイル名 画面名称	項目			(サブルーチン)	Z9..	
	名称		記号名		名称		記号名			
未成年者の後見届 確認画面 (その1)	画面ID			中間ファイル(届書)						画面ID
	システム日付									システム日付
	支所番号			共通	出張所番号					
	受領番号				受領番号					
	受領日				受領日					
	送付日				送付日					
	発送元				発送元					
	在外送付区分				在外送付区分					
	処理日				処理日					
	本非区分				本非区分					
	郵送日				郵送日					
	未成年被後見人	外国人区分		中間ファイル(届書) 事件別内容	未成年被後見人	外国人区分		有		
		本非区分				本非区分		有		
		生年月日				生年月日				
		カナ氏名				カナ氏名				
		漢字氏名				漢字氏名				
		本籍				本籍				
		筆頭者				筆頭者				
	未成年後見人	外国人区分			未成年後見人	外国人区分		有		
		本非区分				本非区分		有		
		生年月日				生年月日				
		後見人区分				後見人区分				
		カナ氏名				カナ氏名				
		漢字氏名				漢字氏名				
		本籍				本籍				
		筆頭者				筆頭者				

第 2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(未成年者の後見届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成31年 3月31日	22	4／12

処理名	1.0 確認画面編集 2／2	(受取側) 確認画面(未成年者の後見届)	← (引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 (ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.，	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
(その1)	未成年後見人の資格		中間ﾌｧｲﾙ(届書)	未成年後見人の資格				
	未成年後見人の住所		事件別内容	未成年後見人の住所				
未成年者の後見届	届出原因			届出原因				
確認画面	開始日			開始日				
(その2)	就職日			就職日				
	終了日			終了日				
	裁判確定日			裁判確定日				
	記録嘱託日			記録嘱託日				
	届出人資格			届出人資格				
	届出人氏名			届出人氏名				

第23(7)	補足説明書	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(未成年者の後見届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成12年 3月 1日	4	5/12

処理名　2.0 戸籍編製マトリックス表

項番	条件				未成年被後見人の現在戸籍
	未成年被後見人				
	外国人区分		本非区分		
	日本人	外国人	本籍	非本籍	変動なし
1	○		○		未成年被後見人 (4.1)
2	○			○	
3		○	——	——	

第 2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(未成年者の後見届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成31年 3月31日	22	6／12

処理名	3.0中間ファイル(仮受付)編集・出力 1／3	(受取側) 中間ファイル(仮受付)／共通	←	(引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード	出力形態	
DB・ファイル名	項目		DB・ファイル名	項目		変換有無		備考
画面名称	名称	記号名	画面名称	名称	記号名	(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	Z9.，	
中間ファイル	受領番号		中間ﾌｧｲﾙ(届書)	受領番号				
(仮受付)	出張所番号			出張所番号				
共通	事件コード							後見人区分＝3(未成年後見人)の時 届出原因＝11, 12(開始) 4101(未成年者の後見開始) 届出原因＝32, 33, 37, 38(終了) 4102(未成年者の後見終了) 届出原因＝51, 52, 53(嘱託) 4117:(未成年後見人選任(嘱託)) 後見人区分＝4(未成年後見監督人)の時 届出原因＝16(開始) 4110(未成年者の後見監督開始) 届出原因＝39(終了) 4111(未成年者の後見監督終了) 届出原因＝54(嘱託) 4119:(未成年後見監督人選任(嘱託))
	受領日			送付日 または 受領日				送付日があれば送付日 送付日がなければ受領日
	事件発生日			就職日				届出原因＝11, 12, 16の時, 移送
				終了日				届出原因＝32, 33, 37, 38, 39の時, 移送
				裁判確定日				届出原因＝51, 52, 53, 54の時, 移送
	事件発生時分							
	事件発生日時							
	受理送付区分			受理送付区分				
	本非区分			本非区分				
	渉外区分							
	発送日							
	郵送日			郵送日				
	発日							

第2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(未成年者の後見届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成12年 3月 1日	4	7/12

処理名	3.0中間ファイル(仮受付)編集・出力 2/3	(受取側) 中間ファイル(仮受付)/共通	←	(引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 (サブルーチン)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮受付) 共通	届出人資格区分1		中間ファイル(届書)	届出人資格				届出人資格=未成年後見人又は未成年後見監督人以外の時に移送する
	届出人資格名称1			届出人資格		有		
	届出人氏名1			届出人氏名				
	届出人資格区分2							
	届出人資格名称2							
	届出人氏名2							
	届後本籍区分							
	届後本籍コード							
	届後本籍							
	届後戸籍の筆頭者							
	送達確認1							0を移送
	証書提出区分							0を移送
	届書送付目録区分							ファイル仕様書参照
	処分区分			処分区分				
	決裁区分			決裁区分				

第 2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(未成年者の後見届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成31年 3月31日	22	8／12

処理名	3.0中間ファイル(仮受付)編集・出力 3／3	(受取側) 中間ファイル(仮受付)／事件本人	←	(引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.，	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
中間ファイル (仮受付) 事件本人	受領番号		中間ﾌｧｲﾙ(届書)	受領番号				
	行番号							
	事件本人区分							未成年被後見人＝55 未成年後見人＝56 未成年後見監督人＝57
	届出人区分							事件本人が届出人の場合1を設定
	カナ氏名			カナ氏名				未成年被後見人又は未成年後見人の受付を作成する際に，該当項目を移送する
	漢字氏名			漢字氏名				
	生年月日			生年月日				
	本籍コード			本籍コード				
	(削除)							
	本籍			本籍				
	筆頭者			筆頭者				未成年被後見人又は未成年後見人の受付を作成する際に，該当項目を移送する
	送達確認2							本籍が非本籍かつ在外送付区分＝0の時，1を移送(未成年被後見人のみ設定) 上記以外は，0を移送

※ 仮受付の事件本人を該当事件本人分出力する

※ 出力順序

1. 未成年被後見人
2. 未成年後見人(未成年後見監督人)

50331

023

第 2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(未成年者の後見届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成31年 3月31日	22	9／12

処理名	4.1 身分事項 未成年被後見人 1／4	(受取側) 中間ファイル(仮戸籍)／身分事項	←	(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側 DB・ファイル名 画面名称	受取側 項目 名称	受取側 項目 記号名	引渡側 DB・ファイル名 画面名称	引渡側 項目 名称	引渡側 項目 記号名	コード変換有無 (ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.，	備考
中間ﾌｧｲﾙ(仮戸籍) 身分事項	個人番号		中間ﾌｧｲﾙ(届書)	個人番号(未成年被後見人)				
	行番号							
	出力区分							0を移送
	タイトルコード							4101(未成年者の後見)
	記録コード							4101(未成年被後見人の記録)
	管掌者コード							
	事件発生日			就職日				届出原因＝11, 12, 16の時, 移送
				終了日				届出原因＝32, 33, 37, 38, 39の時, 移送
				裁判確定日				届出原因＝51, 52, 53, 54の時, 移送
	未成年後見人就職日			就職日				後見人区分＝3(未成年後見人)かつ, 届出原因＝11, 12(開始事由)の時, 移送
	未成年後見人選任の裁判確定日			裁判確定日				後見人区分＝3(未成年後見人)かつ, 届出原因＝51, 52, 53の時, 移送
	未成年後見監督人就職日			就職日				後見人区分＝4(未成年後見監督人)かつ, 届出原因＝16(後見監督人就職)の時, 移送
	未成年後見監督人選任の裁判確定日			裁判確定日				後見人区分＝4(未成年後見監督人)かつ, 届出原因＝54の時, 移送
	未成年者の後見開始事由							後見人区分＝3(未成年後見人)の時 届出原因＝11(親権行使者不在), 52(未成年後見人選任親権者不在(嘱託))ならば「親権を行う者がいないため」 届出原因＝12(親権行使者管理権喪失), 53(未成年後見人選任管理権喪失(嘱託))ならば「親権を行う者が管理権を有しないため」を移送
	未成年後見人更迭事由の発生日							
	未成年後見監督人更迭事由の発生日							

第 2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(未成年者の後見届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成23年 9月30日	14.1	10／12

処理名	4.1 身分事項 未成年被後見人 2／4	(受取側) 中間ファイル(仮戸籍)／身分事項	←	(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード	出力形態	
DB・ファイル名	項目		DB・ファイル名	項目		変換有無		備考
画面名称	名称	記号名	画面名称	名称	記号名	(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	Z9.，	
	更迭事由							
	前任の未成年後見人 資格							
	資格名称							
	氏名							
	前任の未成年後見監督人 資格							
	資格名称							
	氏名							
	後任の未成年後見人 就職日							
	後任の未成年後見監督人 就職日							
	未成年後見人地位喪失事由の発生日							
	未成年後見監督人地位喪失事由の発生日							

50333

025

第 2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(未成年者の後見届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成24年 3月 1日	15	10-1／12

処理名	4.1 身分事項 未成年被後見人 2／4	(受取側) 中間ファイル(仮戸籍)／身分事項	←	(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード	出力形態	
DB・ファイル名	項目		DB・ファイル名	項目		変換有無		備考
画面名称	名称	記号名	画面名称	名称	記号名	(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	Z9.，	
	地位喪失事由							
	未成年者の後見終了日			終了日				後見人区分＝3(未成年後見人) かつ，届出原因＝32，33，37，38 (終了事由)の時，移送
	未成年者の後見監督終了日			終了日				後見人区分＝4(未成年後見監督人) かつ，届出原因＝39(監督人任務 終了)の時，移送
	未成年後見人辞任許可の裁判確定日							
	未成年後見監督人辞任許可の裁判確定日							
	未成年後見人解任の裁判確定日							

第 2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(未成年者の後見届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成31年 3月31日	22	11／12

処理名	4.1 身分事項 未成年被後見人 3／4	(受取側) 中間ファイル(仮戸籍)／身分事項	←	(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード	出力形態	
DB・ファイル名	項目		DB・ファイル名	項目		変換有無		備考
画面名称	名称	記号名	画面名称	名称	記号名	(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	Z9.，	
	未成年後見監督人解任の裁判確定日							
	未成年後見人職務執行停止及び代行者選任の裁判発効日							
	未成年後見監督人職務執行停止及び代行者選任の裁判発効日							
	(削除)							
	(削除)							
	(削除)							
	未成年後見人職務執行停止の裁判失効日							
	未成年後見監督人職務執行停止の裁判失効日							
	未成年後見代行者改任の裁判発効日							
	未成年後見監督代行者改任の裁判発効日							
	未成年後見人の権限を財産に関する権限に限定する定めの裁判確定日							
	未成年後見監督人の権限を財産に関する権限に限定する定めの裁判確定日							
	未成年後見人の財産に関する権限単独行使の定めの裁判確定日							
	未成年後見監督人の財産に関する権限単独行使の定めの裁判確定日							
	未成年後見人の財産に関する権限分掌行使の定めの裁判確定日							
	未成年後見監督人の財産に関する権限分掌行使の定めの裁判確定日							
	未成年後見人の権限を財産に関する権限に限定する定めの取消しの裁判確定日							
	未成年後見監督人の権限を財産に関する権限に限定する定めの取消しの裁判確定日							
	未成年後見人の財産に関する権限単独行使の定めの取消しの裁判確定日							
	未成年後見監督人の財産に関する権限単独行使の定めの取消しの裁判確定日							
	未成年後見人の財産に関する権限分掌行使の定めの取消しの裁判確定日							
	未成年後見監督人の財産に関する権限分掌行使の定めの取消しの裁判確定日							
	未成年後見人 資格		未成年後見人の資格					後見人区分＝3(未成年後見人) かつ，届出原因＝11，12(開始事由)， 51，52，53(嘱託事由)の時， 未成年後見人の資格＝スペースの時， 漢字氏名(未成年後見人) 未成年後見人の資格≠スペース時， 未成年後見人の資格を移送
	資格名称							
	氏名		漢字氏名(未成年後見人)					

第 2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(未成年者の後見届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成31年 3月31日	22	11-1／12

処理名	4.1 身分事項 未成年被後見人 3／4	(受取側) 中間ファイル(仮戸籍)／身分事項	←	(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側				引渡側					
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	コード変換有無 (ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.，	備考
	未成年後見人の戸籍	本籍			本籍(未成年後見人)				後見人区分＝3(未成年後見人) かつ，未成年後見人の資格＝スペースかつ， 外国人区分(未成年後見人)＝日本人 かつ，届出原因＝11，12(開始事由)， 51，52，53(嘱託事由)の時移送
		筆頭者			筆頭者(未成年後見人)				
	未成年後見人の国籍				本籍(未成年後見人)				後見人区分＝3(未成年後見人) かつ，未成年後見人の資格＝スペースかつ， 外国人区分(未成年後見人)＝外国人 かつ，届出原因＝11，12(開始事由)， 51，52，53(嘱託事由)の時移送
	未成年後見人の生年月日				生年月日(未成年後見人)				
	未成年後見人の住所	住所			未成年後見人の住所				後見人区分＝3(未成年後見人) かつ，未成年後見人の資格＝スペースかつ， 未成年後見人の住所≠スペースかつ， 届出原因＝11，12(開始事由)， 51，52，53(嘱託事由)の時移送
	辞任した 未成年後見人	資格							
		資格名称							
		氏名							
	解任された 未成年後見人	資格							
		資格名称							
		氏名							
	職務執行停止を受けた者	資格							
		資格名称							
		氏名							

50334-2

926－1－020

第 2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(未成年者の後見届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成31年 3月31日	22	12／12

処理名	4.1 身分事項 未成年被後見人 4／4	(受取側) 中間ファイル(仮戸籍)／身分事項	←	(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側				引渡側						
DB・ファイル名	項目			DB・ファイル名	項目		コード変換有無	出力形態	備考	
画面名称	名称		記号名	画面名称	名称	記号名	(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	Z9.，		
	未成年後見監督人	資格			未成年後見人の資格				後見人区分＝4(未成年後見監督人) かつ, 届出原因＝16(開始事由), 54(嘱託事由)の時, 未成年後見人の資格＝スペースの時, 漢字氏名(未成年後見人) を移送 未成年後見人の資格≠スペースの時, 未成年後見人の資格 を移送	
		資格名称								
		氏名			漢字氏名(未成年後見人)					
	未成年後見監督人の戸籍	本籍			本籍(未成年後見人)				後見人区分＝4(未成年後見監督人) かつ, 未成年後見人の資格＝スペースかつ, 外国人区分(未成年後見人)＝日本人 かつ, 届出原因＝16(開始事由), 54(嘱託事由)の時移送	
		筆頭者			筆頭者(未成年後見人)					
	未成年後見監督人の国籍				本籍(未成年後見人)				後見人区分＝4(未成年後見監督人) かつ, 未成年後見人の資格＝スペースかつ, 外国人区分(未成年後見人)＝外国人 かつ, 届出原因＝16(開始事由), 54(嘱託事由)の時移送	
	未成年後見監督人の生年月日				生年月日(未成年後見人)					
	未成年後見監督人の住所	住所			未成年後見人の住所				後見人区分＝4(未成年後見監督人) かつ, 未成年後見人の資格＝スペースかつ, 未成年後見人の住所≠スペースかつ, 届出原因＝16(開始事由), 54(嘱託事由)の時移送	
	辞任した未成年後見監督人	資格								
		資格名称								
		氏名								
	解任された未成年後見監督人	資格								
		資格名称								
		氏名								
	未成年後見代行者									
	未成年後見代行者の戸籍	本籍								
		筆頭者								
	未成年後見代行者の国籍									
	未成年後見代行者の生年月日									
	未成年後見監督代行者									

第 2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(未成年者の後見届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成31年 3月31日	22	12-1／12

処理名	4.1 身分事項 未成年被後見人 4／4	(受取側) 中間ファイル(仮戸籍)／身分事項	←	(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード	出力形態	
DB・ファイル名	項目		DB・ファイル名	項目		変換有無		備考
画面名称	名称	記号名	画面名称	名称	記号名	(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	Z9.，	
	未成年後見監督代行者の戸籍 本籍							
	未成年後見監督代行者の戸籍 筆頭者							
	未成年後見監督代行者の国籍							
	未成年後見監督代行者の生年月日							
	(削除)							
	(削除)							
	(削除)							
	(削除)							
	(削除)							
	届出日			受領日				
	届出人 資格			届出人資格				届出人資格＝113(後任未成年後見人) 又は 114(後任未成年後見監督人)の時に移送
	届出人 資格名称							
	届出人 氏名			届出人氏名				
	記録嘱託日			記録嘱託日				記録嘱託日≠0の時, 移送
	送付を受けた日			送付日				送付日≠0の時, 移送
	受理者			発送元				送付日≠0の時, 移送
	許可日							
	許可書謄本の送付を受けた日							
	許可を受けた者							
	従前の記録							
	記録日			処理日				処理日≠0の時, 移送
	特記事項							届出原因＝37(未成年被後見人成年)の時, 「成年に達したため」 届出原因＝32(親権者親権回復)の時, 「親権喪失の審判取消しの裁判確定のため」 届出原因＝33(親権者管理権回復)の時, 「管理権喪失の審判取消しの裁判確定のため」 届出原因＝38(未成年被後見人親権に服する)の時, 「親権を行う者があるに至ったため」 届出原因＝39(未成年被後見監督人任務終了)の時, 「未成年後見監督人」＋漢字氏名(未成年後見人)＋「に欠格事由が生じたため」を編集し移送

50337

第7.2.(5)「異動」処理

14.保佐届

標準仕様書修正履歴

平成12年3月

項番	業務(届書)名	修正内容	ページ	添付資料NO
1	第7.2.(5).14 (保佐届)	成年後見制度による対応 1.審査 1.1 システム処理の概要説明書 (1)その他添付書類について ・保佐開始届がなくなるため準禁治産宣告の審判の謄本及び確定証明書等は削除 (2)保佐人となる条件について ・「禁治産者及び準禁治産者」を削除 1.2 単体チェック (1)届出原因チェック修正 ・「11:準禁治産裁判確定」を削除 (2)届出人資格チェック修正 ・「70:後任保佐人」を削除 1.3 関連チェック (1)届出原因が「11:準禁治産裁判確定」に関するチェックを削除 ・項番30, 31 (2)届出人資格に関するチェックを修正 ・項番37:届出人資格に関する条件を削除 ・項番38, 39:削除 1.4 審査 (1)届出原因が「11:準禁治産裁判確定」に関する審査を修正 ・審査(4)～(6), (8)(9):削除 ・審査(13):条件から「11:準禁治産裁判確定」を削除 (2)保佐人が禁治産・準禁治産者か否かの審査を削除 ・審査(23)～(28) (3)法改正による根拠法令修正 ・審査(14)(29)(34)(44)(51)(58) 2.入力確認 2.1 仮受付編集 (1)受付事件コード ・届出原因が「11:準禁治産裁判確定」の際の設定条件削除 (2)事件発生日 ・届出原因が「11:準禁治産裁判確定」の際の設定条件削除 (3)届出人資格 ・設定不要のため削除 (4)届出人氏名 ・設定不要のため削除 (5)筆頭者 ・受理証明書対応における追加 (2版の内容のため改訂履歴は2版で作成)	001 005 007 008 008 008, 009 019 019 019 020 021	

標準仕様書修正履歴

平成12年3月

項番	業務(届書)名	修正内容	ページ	添付資料NO
1	第7.2.(5).14 (保佐届)	2.2 身分事項編集:被保佐人 (1)事件発生日 ・届出原因が「11:準禁治産裁判確定」の際の設定条件削除 (2)準禁治産宣告の裁判確定日 ・設定不要のため削除 (3)保佐人就職日 ・設定不要のため削除 (4)保佐人 ・届出原因が「11:準禁治産裁判確定」の際の設定条件削除 (5)保佐人の戸籍(本籍) ・届出原因が「11:準禁治産裁判確定」の際の設定条件削除 (6)保佐人の戸籍(筆頭者) ・届出原因が「11:準禁治産裁判確定」の際の設定条件削除 (7)保佐人の国籍 ・届出原因が「11:準禁治産裁判確定」の際の設定条件削除 (8)保佐人の生年月日 ・届出原因が「11:準禁治産裁判確定」の際の設定条件削除 (9)届出人資格 ・設定不要のため削除 (10)届出人氏名 ・設定不要のため削除 地方分権一括法による対応 1.審査 1.1 届書ファイル編集 ・処分区分の備考欄中の「受理伺い」を「受理照会」に修正	022 022 022 023 023 023 023 023 023 023 012	

標準仕様書修正履歴

平成15年3月

項番	業務(届書)名	修正内容	ページ	添付資料NO
1	第7.2.(5).14 (保佐届)	標準仕様書の記載漏れ 1. 中間ファイル(届書)編集 涉外区分の備考欄に「0(日本人)を移送」を追加 については、処理日を移送しない。 1. 中間ファイル(仮受付)編集 引渡側項目名称に「涉外区分」を追加	011 019	

標準仕様書修正履歴

平成18年3月

項番	業務(届書)名	修正内容	ページ	添付資料NO
1	第7. 2. (5). 14 (保佐届)	1. 4.1身分事項編集:被保佐人 特記事項の『禁治産宣告取消の裁判確定のため』を 『準禁治産宣告取消しの裁判確定のため』に修正した	023	

標 準 仕 様 書 修 正 履 歴

版数:20　1／1
平 成 ２９年３月

項番	業務(届書)名	修　正　内　容	ページ	添付資料NO
1	第7．2．(5)．14 (保佐届)	1．標準仕様書見直しによるシステムの対応 (1)2．0関連チェック (保佐23) No.8のチェックを変更 処理日の入力について受領日と同一日付の場合エラーとする (2)3．0　審査 (保佐22) 審査(14)の条件修正 年齢判定の書き方修正 (保佐21) 審査(44)(51)の条件修正 日付判定の書き方修正	006 008 009	

第23(1)	システム処理の概要説明書	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(保佐届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成12年 3月 1日	4	1/13

1. 保佐業務処理範囲外の処理

・裁判所書記官からの戸籍の記録嘱託

・保佐開始届(法改正後は不要となるため)

2. 保佐届書入力画面の意義

(1)その1画面:被保佐人及び保佐人の入力

(2)その2画面:届出事項及び届出人の入力

(3)ガイダンス画面:業務処理範囲外の処理及び処理の注意事項

3. その他

(1)添付書類
・保佐人更迭届については、法定保佐人が届出をするときには、準禁治産者の配偶者であることを証するため戸籍謄本の添付を要する。(本籍地に届出の場合は不要)
選定保佐人が届出をするときは、保佐人選任の審判の謄本を添付する。

・保佐終了届については、準禁治産宣告取消の審判の謄本の添付を要する。

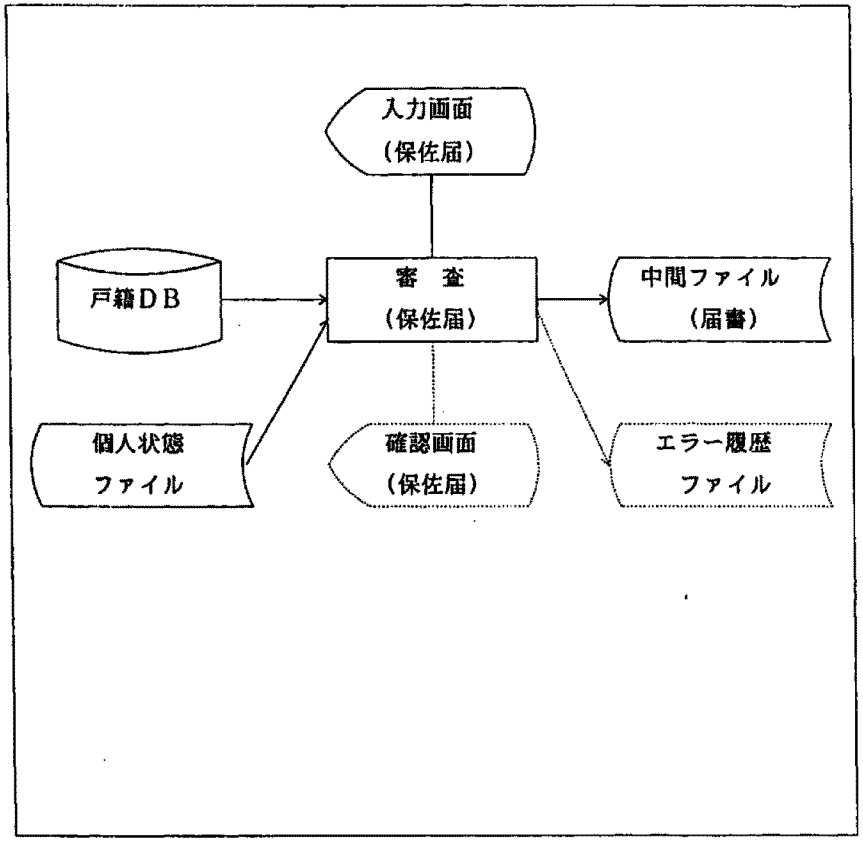
(2)保佐人は1人でなければならない。

(3)未成年者、家庭裁判所で免ぜられた法定代理人又は保佐人、補助人、破産者、被後見人に対して訴訟をし又はした者及びその配偶者
並びに直系血族、行方の知れないものは、保佐人となることはできない。

50344

002

1．詳細フロー



2．使用DB・ファイル一覧

名 称	入出力区分	名 称	入出力区分
戸籍DB	入力		
個人状態ファイル	入力		
中間ファイル（届書）	出力		
エラー履歴ファイル	出力		

3．処理概要

(1) 保佐届の内容を画面入力する。
(2) 保佐届で入力された項目の単体チェックを行う。
(3) 保佐届で入力された項目の関連チェックを行う。
(4) 審査を行う。
(5) 保佐届から中間ファイル（届書）を編集し、出力する。
(6) 入力確認（保佐届）に制御を渡す。

4．機能体系（要件定義書の構成）

0.0 本紙
- 1.0 データチェック（単体表）
- 2.0 データチェック（関連表）
- 3.0 審査
- 4.0 データ編集表（中間ファイル（届書））

5．備考（特記事項含む）

第2 3 3 (3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		審査（保佐届）	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	3／13

処理名	0．0 本紙	根拠法令 （マニュアル処理）

(1) 届書内容を画面入力する										／		「届書メニュー」で受領番号が入力された場合，届書ファイルから画面編集を行う
(2) キー選択(実行キー，PF1，PF2，PF7，PF8，PF10，PF11，PF12，その他)										／		
実行キー	(3) 入力項目の単体チェック（OK：YES，NG：NO） [1.0]									／		
	YES	(4) 入力項目の関連チェック（OK：YES，NG：NO） [2.0]								／		
		YES	(5) 画面の入力項目を全て入力禁止とする							／		
			(6) 審査（OK：YES，NG：NO） [3.0]							／		
			YES	(7) 中間ファイル（届書）編集・出力 [4.0]							(8) 入力確認画面に制御を渡す	
			N O	(9) メッセージの種類（審査エラー，確認）						／		
				審査エラー	(10)エラーメッセージを表示する						(11)同画面を編集する	メッセージをエラー履歴に出力する
				確認	(12)確認メッセージを表示し，メッセージに対して応答する。							メッセージと応答をエラー履歴に出力する
		N O	(13)エラーメッセージを表示する									
	N O	(14)エラーメッセージを表示する										
PF1	⟶										(15)業務選択に制御を渡す	
PF2	⟶										(16)届出選択に制御を渡す	
PF7	(17)前ページがあるか（ある：YES，ない：NO）									／	(19)同画面を編集する	
	YES	(18)前ページ「保佐届」画面を編集										
	N O	(20)エラーメッセージ「先頭ページです」を表示										
PF8	(21)次ページがあるか（ある：YES，ない：NO）									／		
	YES	(22)次ページ「保佐届」画面を編集										
	N O	(23)エラーメッセージ「最終ページです」を表示										
PF10	(24)画面の入力項目の入力禁止を解除する									／		入力項目が入力禁止の時のみ有効
PF11	(25)当該審査エラーの確認後、以後の審査を継続する											審査エラー発生時のみ有効
PF12	(26)入力画面を初期化する											
その他	(27)エラーメッセージ「無効なキーが入力されました。」を表示する											

50346

第2-3-(5)	データチェック（単体表）	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		審査（保佐届）	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	4／13

処理名	画面名	画面ID	
1．0 入力項目単体チェック 1／2	入力画面（保佐届）		

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	エラーコード	備考
1	支所番号		数字		「項目エラーがあります。 正しく入力して下さい。」		
2	受領番号		数字				
3	受領日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
4	送付日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
5	在外送付区分	○	漢字	（0：受理分，1：国内からの送付， 2：在外公館の直接送付，3：在外公館の国内経由） であること			
6	発送元		漢字				
7	処理日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
8	本非区分	○	数字	（1：本籍，2：非本籍）であること			
9	郵送日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
10	被保佐人の外国人区分	○	数字	（0：日本人，1：外国人）であること			
11	被保佐人の本非区分	○	数字	（1：本籍，2：非本籍）であること			
12	被保佐人の生年月日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
13	被保佐人のカナ氏名	○	カナ				
14	被保佐人の漢字氏名	○	漢字				
15	被保佐人の本籍	○	漢字				
16	被保佐人の筆頭者		漢字				
17	保佐人の外国人区分	○	数字	（0：日本人，1：外国人）であること			
18	保佐人の本非区分	○	数字	（1：本籍，2：非本籍）であること			
19	保佐人の生年月日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
20	保佐人のカナ氏名	○	カナ				
21	保佐人の漢字氏名	○	漢字				
22	保佐人の本籍	○	漢字				
23	保佐人の筆頭者		漢字				
24	保佐人資格		数字	（1：父，2：母，6：夫，7：妻）であること			

004

第2 3 (5)	データチェック(単体表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(保佐届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成12年 3月 1日	4	5/13

処理名	画面名	画面ID	
1.0 入力項目単体チェック 2/2	入力画面(保佐届)		

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	エラーコード	備考
25	届出原因	○	数字	(21:前任者死亡, 22:前任者辞任, 23:前任者解任, 24:前任者資格喪失, 31:準禁治産取消確定) であること	「項目エラーがあります。 正しく入力して下さい。」		
26	開始日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
27	就職日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
28	終了日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
29	前任者氏名		数字				
30	届出人資格	○	英数	(63:保佐人)であること			
31	届出人の氏名		数字				

第 2 3 (6)	データチェック(関連表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(保佐届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成29年 3月31日	20	6／13

処理名	画面名	画面ID	
2.0 入力項目関連チェック 1／2	入力画面(保佐届)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	(No.4) 送付日＝スペースのとき、(No.5) 発送元＝スペースであること	「関連エラーがあります。 正しく入力して下さい。」		
2	(No.4) 送付日≠スペースのとき、(No.5) 発送元≠スペースであること			
3	(No.4) 送付日≠スペースのとき、(No.4) 送付日≧(No.2)受領日であること			
4	(No.4) 送付日＝スペースのとき、(No.6) 在外送付区分＝0(受理分)であること			
5	(No.4) 送付日≠スペースのとき、(No.6) 在外送付区分≠0(受理分以外)であること			
6	(No.5) 発送元≠スペースかつ,(No.5) 発送元の最終文字が『市』『区』『町』『村』『長』のとき (No.6) 在外送付区分＝1(国内からの送付)であること			
7	(No.5) 発送元≠スペースかつ、(No.5) 発送元の最終文字が『市』『区』『町』『村』『長』以外の とき(No.6) 在外送付区分＝2(在外公館の直接送付)または (No.6) 在外送付区分＝3(在外公館の国内経由)であること			
8	(No.7) 処理日≠スペースのとき、(No.7) 処理日＞(No.2) 受領日であること			
9	(No.9) 郵送日≠スペースのとき、(No.4) 送付日＝スペースであること			
10	(No.9) 郵送日≠スペースのとき、(No.9) 郵送日≦(No.2) 受領日であること			
11	(No.10) 被保佐人の外国人区分＝1(外国人)の時、(No.11)被保佐人の本非区分＝2(非本籍) であること			
12	(No.10) 被保佐人の外国人区分＝0(日本人)の時、(No.12)被保佐人の生年月日＝和暦であること			
13	(No.10) 被保佐人の外国人区分＝1(外国人)の時、(No.12)被保佐人の生年月日＝西暦であること			
14	(No.10) 被保佐人の外国人区分＝0(日本人)の時、(No.15)被保佐人の本・国籍＝本籍であること			
15	(No.10) 被保佐人の外国人区分＝1(外国人)の時、(No.15)被保佐人の本・国籍＝国籍であること			
16	(No.10) 被保佐人の外国人区分＝0(日本人)の時、(No.16)被保佐人の筆頭者が入力されていること			
17	(No.10) 被保佐人の外国人区分＝1(外国人)の時、(No.16)被保佐人の筆頭者は未入力であること			
18	(No.11) 被保佐人の本非区分＝1(本籍)の時、(No.15)被保佐人の本・国籍＝管内であること			
19	(No.11) 被保佐人の本非区分＝2(非本籍)の時、(No.15)被保佐人の本・国籍＝管外であること			
20	(No.17) 保佐人の外国人区分＝1(外国人)の時、(No.18)保佐人の本非区分＝2(非本籍) であること			
21	(No.17) 保佐人の外国人区分＝0(日本人)の時、(No.19)保佐人の生年月日＝和暦であること			
22	(No.17) 保佐人の外国人区分＝1(外国人)の時、(No.19)保佐人の生年月日＝西暦であること			
23	(No.17) 保佐人の外国人区分＝0(日本人)の時、(NO.22) 保佐人の本・国籍＝本籍であること			

第2 3 (6)	データチェック(関連表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(保佐届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成12年 3月 1日	4	7/13

処理名	画面名	画面ID	
2.0 入力項目関連チェック 2/2	入力画面(保佐届)		

No	内容	出力エラーメッセージ	エラーコード	備考
24	(No.17) 保佐人の外国人区分＝1(外国人)の時、(NO.22) 保佐人の本・国籍＝国籍であること	「関連エラーがあります。 正しく入力して下さい。」		
25	(No.17) 保佐人の外国人区分＝0(日本人)の時、(NO.23) 保佐人の筆頭者が入力されていること			
26	(No.17) 保佐人の外国人区分＝1(外国人)の時、(NO.23) 保佐人の筆頭者は未入力であること			
27	(No.18) 保佐人の本非区分＝1(本籍)の時、(NO.22) 保佐人の本・国籍＝管内であること			
28	(No.18) 保佐人の本非区分＝2(非本籍)の時、(NO.22) 保佐人の本・国籍＝管外であること			
29	(No.24) 保佐人資格＝6, 7(夫, 妻)かつ, (No.10) 被保佐人の外国人区分, (No.18) 保佐人の外国人区分＝0(日本人)の時, (No.15) 被保佐人の本籍＝(No.22) 保佐人の本籍 かつ, (No.16) 被保佐人の筆頭者＝(No.23) 保佐人の筆頭者 であること			
30	【削除】			
31	【削除】			
32	(No.25) 届出原因＝21～24(更迭事由)の時, (No.26) 開始日, (No.27) 就職日, (No.29) 前任者氏名は必須入力であること			
33	(No.25) 届出原因＝21～24(更迭事由)の時, (No.28) 終了日には入力がないこと			
34	(No.25) 届出原因＝31(準禁治産取消確定)の時, (No.28) 終了日は必須入力であること			
35	(No.25) 届出原因＝31(準禁治産取消確定)の時, (No.26) 開始日, (No.27) 就職日, (No.29) 前任者氏名には, 入力がないこと			
36	(No.26) 開始日 ≦ (No.27) 就職日であること			
36-1	(No.27) 就職日≠スペースの場合, (No.9) 郵送日≠スペースの時, (No.9) 郵送日≦(No.27) 就職日であり, (No.9) 郵送日＝スペースの時, (No.2) 受領日≦(No.27) 就職日であること			
36-2	(No.28) 終了日≠スペースの場合, (No.9) 郵送日≠スペースの時, (No.9) 郵送日≦(No.28) 終了日であり, (No.9) 郵送日＝スペースの時, (No.2) 受領日≦(No.28) 終了日であること			
37	(No.31) 届出人氏名≠スペースの時, (No.31) 届出人氏名＝(No.21) 保佐人漢字氏名であること			
38	【削除】			【削除】
39	【削除】			
40	(No.11) 被保佐人の本非区分＝1(本籍)又は, (No.18) 保佐人の本非区分＝1(本籍)ならば (No. 8) 本非区分＝1(本籍)であること			
41	(No.11) 被保佐人の本非区分＝2(非本籍)かつ, (No.18) 保佐人の本非区分＝2(非本籍)ならば (No. 8) 本非区分＝2(非本籍)であること			

第 2 3 (3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(保佐届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成29年 3月31日	20	8／13

処理名	3.0 審査 1/3				備考
(1)被保佐人の外国人区分(0:日本人，1:外国人)			／		
0	(2)被保佐人の本非区分(1:本籍，2:非本籍)		／		
	1	(3)被保佐人は準禁治産者であるか	／		審査(4)～(6)削除
		YES (7) → (13)	／		審査(8)(9)削除
		ＮＯ (10)エラーメッセージ 「準禁治産者ではありません」を表示		(11) 本紙へ	不受理
	2	(12) → (13)	／		
1			／		
(13)届出原因は21～24(更迭事由)であるか			／		
YES	(14)保佐人の生年月日 ＋ 20年(20歳以上) ≦ 就職日		／		民847，平11改正前 民847
	YES	(15) → (21)	／		
	ＮＯ	(16)確認メッセージ (YES, NO) 「保佐人は20歳未満ですが、よろしいですか」を表示		(17) 本紙へ	
		YES (18) → (21)	／		
		ＮＯ (19) →		(20) 本紙へ	不受理
	(21)保佐人の外国人区分(0:日本人，1:外国人)		／		
	0	(22)保佐人の本非区分(0:本籍，1:非本籍)	／		審査(23)～(28)削除
		1 (29)保佐人は破産宣告を受けているか	／		民847，平11改正前 民847
		YES (30)エラーメッセージ 「保佐人は破産宣告を受けています」を表示		(31) 本紙へ	不受理

第 2 3 (3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(保佐届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成29年 3月31日	20	9／13

処理名			3.0 審査 2/3			備考
YES	0	1	ＮＯ (32) → (34)	／		
		2	(33) → (34)	／		
	1					
	(34)届出原因＝24(資格喪失)、且つ、保佐人資格＝6(夫)、7(妻)、且つ、届出人資格＝63(保佐人)である(YES, NO)			／		平11改正前 民847, 平11改正前 民840
	YES	(35)保佐人の本非区分＝1 (本籍人) (YES, NO)		／		
		YES	(36)保佐人と被保佐人の婚姻日＝就職日(YES, NO)	／		
			YES (36) → (44)	／		
			ＮＯ (37)エラーメッセージ「保佐人の就職日は、被保佐人との婚姻日でなければなりません」を表示		(38) 本紙へ	
		NO	(39)確認メッセージ (YES, NO)「保佐人の就職日は、被保佐人との婚姻日であるものとして処理を続行しますか。」を表示			
			YES (40) → (44)	／		
			ＮＯ (41) →		(42) 本紙へ	不受理
		ＮＯ	(43) → (44)	／		
		(44)保佐人の就職日＋10日＞受領日		／		平11改正前 戸81, 平11改正前 戸82
		YES	(45) → (58)	／		平11改正前 戸85
		ＮＯ	(46)確認メッセージ (YES, NO)「届出期間が過ぎていますがよろしいですか」を表示		(47) 本紙へ	
			YES (48) → (58)	／		
			ＮＯ (49) →		(50) 本紙へ	不受理
NO		(51) 保佐人の終了日＋10日＞受領日		／		平11改正前 戸84, 平11改正前 戸85
		YES	(52) → (58)	／		
		ＮＯ	(53) 確認メッセージ(YES, NO)「届出期間が過ぎていますがよろしいですか」を表示		(54) 本紙へ	
			YES (55) → (58)	／		
			NO (56) →		(57) 本紙へ	不受理
(58) 届出人は保佐人本人であるか				／		平11改正前 戸81・戸82・戸84・戸85
YES	(59) →				(60) 本紙へ	受理

第2 (33)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		審査（保佐届）	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	10／13

処理名	3．0 審査 3／3	根拠法令 （マニュアル処理）
N O	(61)確認メッセージ（YES,NO） 「届出人は、保佐人ではありませんがよろしいですか」を表示	
YES	(62) →	受理
N O	(63) →	不受理

第2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(保佐届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成15年 3月 1日	7	11/13

処理名	4.0 中間ファイル(届書)編集 1/3	(受取側) 中間ファイル(届書)／共通 ← (引渡側)入力画面(保佐届)

受取側			引渡側			コード変換有無 (サブルーチン)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (届書) 共通	受領番号		保佐届(その1) 入力画面	受領番号				受領番号が取得済みの場合は設定
	選択事件コード							15(保佐届)
	出張所番号			支所番号				
	受領日			受領日				
	送付日			送付日				
	発送元			発送元				
	在外送付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日				
	指示日							
	許可日							
	受理送付区分							在外送付区分＝0のとき:1 在外送付区分＝1, 2, 3のとき:2 を移送
	本非区分			本非区分				
	郵送日			郵送日				
	動態区分							
	届区分							2(報告)を移送
	渉外区分							0(日本人)を移送
	同時決裁受領番号 (1)～(5)							
	ロック戸籍番号(1)		本籍人検索 サブシステム インターフェース	戸籍番号				被保佐人が本籍人の場合、 選択戸籍番号を移送
	ロック戸籍番号(2)～(5)							
	事件別内容							3／3参照
	不受理申出処分区分							

011

第2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(保佐届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成12年 3月 1日	4	12/13

処理名	4.0中間ファイル(届書)編集 2/3	(受取側) 中間ファイル(届書)/共通 ← (引渡側) 入力画面(保佐届)

受取側			引渡側			コード変換有無 (サブルーチン)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (届書) 共通	処分区分							審査結果により、1=受理、又は、2=不受理、又は、3=受理照会をセットする。 審査において一つでもエラーがある場合は不受理とする
	決裁区分							何も設定されていない場合に0(未決裁)を移送
	届書排他区分							再入力の場合に1(排他)を移送

50355

第2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		審査（保佐届）	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	13／13

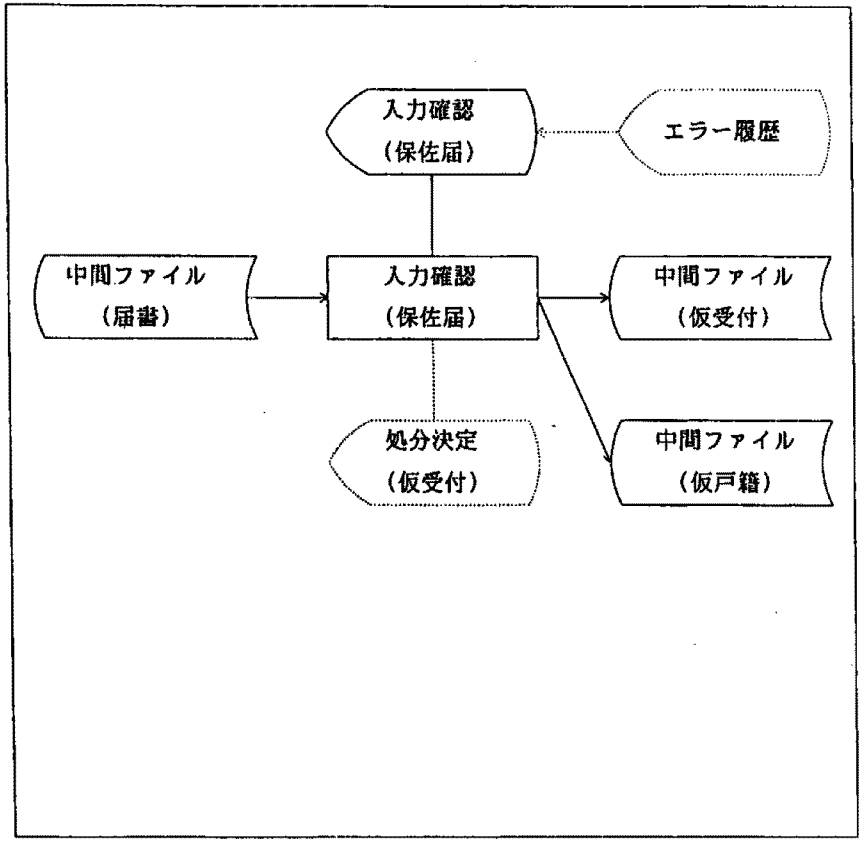
処理名	4．0 中間ファイル（届書）編集 3／3	（受取側） 中間ファイル（届書）／事件別内容	← （引渡側） 入力画面（保佐届）

受取側			引渡側			コード変換有無（ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ）	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
中間ファイル（届書）事件別内容	外国人区分(被保佐)		保佐届（その１）入力画面	被保佐人外国人区分				
	本非区分（被保佐）			被保佐人本非区分				
	生年月日（被保佐）			被保佐人生年月日				
	カナ氏名（被保佐）			被保佐人カナ氏名				
	漢字氏名（被保佐）			被保佐人漢字氏名				
	本籍コード(被保佐)			被保佐人本籍				
	本籍（被保佐）							
	筆頭者（被保佐）			被保佐人筆頭者				
	外国人区分(保佐人)			保佐人外国人区分				
	本非区分（保佐人）			保佐人本非区分				
	生年月日（保佐人）			保佐人生年月日				
	カナ氏名（保佐人）			保佐人カナ氏名				
	漢字氏名（保佐人）			保佐人漢字氏名				
	本籍コード(保佐人)			保佐人本籍				
	本籍（保佐人）							
	筆頭者（保佐人）			保佐人筆頭者				
	保佐人資格			保佐人資格				
	届出原因		保佐届（その２）入力画面	届出原因				
	開始日			開始日				
	就職日			就職日				
	終了日			終了日				
	前任者氏名			前任者氏名				
	届出人資格			届出人資格				
	届出人氏名			届出人氏名				

013

第2章（2）	システム環境仕様書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認（保佐届）	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	1／10

1．詳細フロー



2．使用ＤＢ・ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ファイル（届書）	入力		
中間ファイル(仮受付)	出力		
中間ファイル(仮戸籍)	出力		

3．処理概要

(1) 中間ファイル（届書）画面表示する。

(2) 戸籍変動状況を確定する。

(3) 中間ファイル（仮受付）を編集・出力する。

(4) 中間ファイル（仮戸籍）を編集・出力する。

(5) 処分決定処理に制御を渡す。

4．機能体系（要件定義書の構成）

- 0.0 本紙
  - 1.0 データ編集表（保佐届確認画面）
  - 2.0 補足説明書（戸籍編製マトリックス表）
  - 3.0 データ編集表（中間ファイル（仮受付））
  - 4.0 データ編集表（中間ファイル（仮戸籍））
    - 4.1 身分事項（変動なし）

5．備考（特記事項含む）

第2(3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		入力確認（保佐届）	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	2／10

処理名	0．0 本紙	根拠法令（マニュアル処理）

(1) 中間ファイル（届書）の内容を確認画面に出力し、メッセージ「入力項目を確認し、誤りがなければ実行キーを押してください。」を表示する [1.0]			／		
(2) キー選択（実行キー，PF1，PF2，PF5，PF7，PF8，PF11，その他）			／		
実行キー	(3) 中間ファイル（届書）の内容から戸籍編製マトリックス表を参照し、事件本人の戸籍の変動状況を決定する [2.0]		／		
	(4) 中間ファイル（仮受付［受付］）を編集・出力する [3.0]		／		
	(5) 中間ファイル（仮受付［事件本人］）を編集・出力する [3.0]		／		
	(6) 事件本人（被保佐人）は本籍人である（YES，NO）		／		
	YES	(7) 戸籍の変動状況をもとに中間ファイル（仮戸籍）を編集・出力する [4.0]	／	(9) 処分決定に制御を渡す	
		身分事項（変動なし） (8) 現戸籍（被保佐人）に保佐事項の編集 [4.1]			
	NO	⟶			
PF1	⟶			(10)業務選択に制御を渡す	
PF2	⟶			(11)届出選択に制御を渡す	
PF5	⟶			(12)審査に制御を渡す	
PF7	(13)前ページがあるか（ある：YES，ない：NO）		／	(15)同画面を編集する	
	YES	(14)前ページ「保佐届」画面編集			
	NO	(16)エラーメッセージ「先頭ページです」を表示			
PF8	(17)次ページがあるか（ある：YES，ない：NO）		／		
	YES	(18)次ページ「保佐届」画面編集			
	NO	(19)エラーメッセージ「最終ページです」を表示			
PF11	⟶			(20)エラー履歴表示に制御を渡す	
その他	(21)エラーメッセージ「無効なキーが入力されました」を表示			(22)同画面を編集する	

50357

015

第2章3節(4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		入力確認（保佐届）	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	3／10

処理名	1．0 確認画面編集（保佐届） 1／2	（受取側） 確認画面（保佐届）	← （引渡側） 中間ファイル（届書）

受取側			引渡側			コード変換有無（ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ）	出力形態 Z9．，	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
保佐届（その1） 確認画面	画面ＩＤ		中間ファイル （届書）					画面ＩＤ
	システム日付							システム日付
	支所番号		共通	出張所番号				
	受領番号			受領番号				
	受領日			受領日				
	送付日			送付日				
	発送元			発送元				
	在外送付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日				
	本非区分			本非区分				
	郵送日			郵送日				
	被保佐人外国人区分		中間ファイル （届書）	外国人区分（被保佐）		有		
	被保佐人本非区分			本非区分（被保佐）		有		
	被保佐人生年月日		事件別内容	生年月日（被保佐）				
	被保佐人カナ氏名			カナ氏名（被保佐）				
	被保佐人漢字氏名			漢字氏名（被保佐）				
	被保佐人本籍			本籍（被保佐）				
	被保佐人筆頭者名			筆頭者（被保佐）				
	保佐人外国人区分			外国人区分（保佐人）		有		
	保佐人本非区分			本非区分（保佐人）		有		
	保佐人生年月日			生年月日（保佐人）				
	保佐人カナ氏名			カナ氏名（保佐人）				
	保佐人漢字氏名			漢字氏名（保佐人）				
	保佐人本籍			本籍（保佐人）				
	保佐人筆頭者			筆頭者（保佐人）				
	保佐人資格			保佐人資格				

50359

第2回3回(4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		入力確認（保佐届）	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	4／10

処理名	1．0 確認画面編集（保佐届） 2／2	（受取側） 確認画面編集（保佐届）	← （引渡側） 中間ファイル（届書）

受取側			引渡側			コード変換有無（サブルーチン）	出力形態 Z9．，	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
保佐届（その2）確認画面	届出原因		中間ファイル（届書）事件別内容	届出原因				
	開始日			開始日				
	就職日			就職日				
	終了日			終了日				
	前任者氏名			前任者氏名				
	届出人資格			届出人資格				
	届出人氏名			届出人氏名				

017

第2 3 (7)	補足説明書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		入力確認（保佐届）	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	5／10

処理名　2．0　戸籍編製マトリックス表

項番	条件				被保佐人の現在戸籍
	被保佐人				変動なし
	外国人区分		本非区分		
	日本人	外国人	本籍	非本籍	
1	○		○		被保佐人（4.1）
2	○			○	
3		○	－	－	

50360

018

第23(4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(保佐届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成15年 3月 1日	7	6/10

処理名	3.0中間ファイル(仮受付)編集・出力 1/3	(受取側) 中間ファイル(仮受付)/共通 ← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 (サブルーチン)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮受付) 共通	受領番号		中間ファイル (届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	受付事件コード							届出原因=21～24(更迭事由) 1503(保佐人更迭) 届出原因=31(準禁治産取消) 1502(保佐終了) を移送
	受付日			受領日				送付日=0の時、移送
				送付日				送付日≠0の時、移送
	事件発生日			就職日				届出原因=21～24の時
				終了日				届出原因=31の時
	事件発生時分							
	事件発生日時							
	受理送付区分			受理送付区分				
	本非区分			本非区分				
	渉外区分			渉外区分				
	発送日							
	郵送日			郵送日				
	発日							
	収日							
	指示日			指示日				
	許可日			許可日				
	関連受領番号							
	届出人資格区分1			【削除】				【削除】
	届出人資格名称1			【削除】		【削除】		

第2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(保佐届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成12年 3月 1日	4	7/10

処理名	3.0中間ファイル(仮受付)編集・出力 2/3	(受取側) 中間ファイル(仮受付)/共通 ← (引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 (サブルーチン)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮受付) 共通	届出人氏名1		中間ファイル (届書)	【削除】				【削除】
	届出人資格区分2							
	届出人資格名称2							
	届出人氏名2							
	届後本籍区分							
	届後本籍コード							
	届後本籍							
	届後本籍の筆頭者							
	送達確認1							0を移送
	証書提出区分							0を移送
	届書送付目録区分							ファイル仕様書参照
	処分区分			処分区分				
	決裁区分			決裁区分				

第23(4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(保佐届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成10年 2月27日	2	8/10

処理名	3.0中間ファイル(仮受付)編集・出力 3/3	(受取側) 中間ファイル(仮受付)/事件本人	←	(引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(サブルーチン)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮受付) 事件本人	受領番号		中間ファイル (届書)	受領番号				
	行番号							
	事件本人区分							被保佐人=29 保佐人=30
	届出人区分							事件本人が届出人の場合1を設定
	カナ氏名			カナ氏名				被保佐人=カナ氏名(被保佐人) 保佐人=カナ氏名(保佐人)
	漢字氏名			漢字氏名				被保佐人=漢字氏名(被保佐人) 保佐人=漢字氏名(保佐人)
	生年月日			生年月日				被保佐人=生年月日(被保佐人) 保佐人=生年月日(保佐人)
	本籍コード			本籍コード				被保佐人=本籍コード(被保佐人) 保佐人=本籍コード(保佐人)
	本籍			本籍				被保佐人=本籍(被保佐人) 保佐人=本籍(保佐人)
	筆頭者			筆頭者				被保佐人=筆頭者(被保佐人) 保佐人=筆頭者(保佐人)
	送達確認2							本籍が非本籍かつ在外送付区分=0の時、1を移送(被保佐人のみ設定) 上記以外の時、0を移送

※仮受付の事件本人を該当事件本人分出力する

※出力順序

1. 被保佐人
2. 保佐人

第2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(保佐届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成12年 3月 1日	4	9/10

処理名	4.1 身分事項 被保佐人編集 1/2	(受取側) 中間ファイル(仮戸籍)/身分事項	←	(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 (サブルーチン)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名	項目		DB・ファイル名	項目				
画面名称	名称	記号名	画面名称	名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号		中間ファイル (届書)	個人番号(被保佐人)				
	行番号							
	出力区分							0を移送
	タイトルコード							1501を移送
	記録コード							1501を移送
	管掌者コード							
	事件発生日			就職日				届出原因=21～24の時、移送
				終了日				届出原因=31の時、移送
	準禁治産宣告の裁判確定日			【削除】				【削除】
	保佐人更迭事由の発生日			開始日				届出原因=21, 24の時、(前任者死亡、前任者資格喪失)の時、移送
	更迭事由							届出原因=21(前任者死亡)の時、『保佐人の死亡』 届出原因=24(前任者資格喪失)の時、保佐人資格=6, 7 (夫、妻)ならば『任務完了』 保佐人資格≠6, 7 (夫、妻以外)ならば『欠格事由が生じたため』を移送
	前任の保佐人			前任者氏名				届出原因=21, 24の時、(前任者死亡、前任者資格喪失)の時、移送
	保佐人就職日			【削除】				【削除】
	後任の保佐人就職日			就職日				届出原因=21～24の時、移送
	保佐終了日			終了日				届出原因=31(準禁治産取消確定)の時、移送

第2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(保佐届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成18年 3月 1日	10	10/10

処理名	4.1 身分事項 被保佐人編集 2/2	(受取側) 中間ファイル(仮戸籍)/身分事項	←	(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無	出力形態	備考
DB・ファイル名	項目		DB・ファイル名	項目				
画面名称	名称	記号名	画面名称	名称	記号名	(サブルーチン)	Z9.,	
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	保佐人		中間ファイル(届書)	漢字氏名(保佐人) 保佐人資格		有		届出原因=21～24 (開始、更迭事由)の時、 保佐人資格=スペースならば 漢字氏名 (保佐人) 保佐人資格≠スペースならば 保佐人資格 を移送
	保佐人の戸籍 (本籍)			本籍 (保佐人)				保佐人資格=スペースかつ 外国人区分(保佐人)=日本人かつ 届出原因=21～24 (開始、更迭事由)の時、移送
	保佐人の戸籍 (筆頭者)			筆頭者 (保佐人)				保佐人資格=スペースかつ 外国人区分(保佐人)=日本人かつ 届出原因=21～24 (開始、更迭事由)の時、移送
	保佐人の国籍			本籍 (保佐人)				保佐人資格=スペースかつ 外国人区分(保佐人)=日本人かつ 届出原因=21～24 (開始、更迭事由)の時、移送
	保佐人の生年月日			生年月日(保佐人)				保佐人資格=スペースかつ 外国人区分(保佐人)=日本人かつ 届出原因=21～24 (開始、更迭事由)の時、移送
	届出日			受領日				
	届出人 (資格)			【削除】				【削除】
	届出人 (資格名称)			【削除】		【削除】		【削除】
	届出人 (氏名)			【削除】				【削除】
	送付を受けた日			送付日				送付日≠0の時、移送
	受理者			発送元				送付日≠0の時、移送
	記録日			処理日				処理日≠0の時、移送
	特記事項							届出原因=31 (準禁治産取消確定)の時, 『準禁治産宣告取消しの裁判確定のため』を移送

※データ編集表(4. 1身分事項編集)の仮戸籍、身分事項は、ノーマルケース時の項目のみ記述している。

50367

第7. 2. (5)「異動」処理

15. 死亡届

標準仕様書修正履歴

平成１１年３月

項番	業務（届書）名	修正内容	ページ	添付資料No.
1	第 7. 2. (5). 15 （死亡届）	公職選挙法改正によるシステムの対応（サンプル提示） １．入力確認 （１）システム環境仕様書 ・詳細フロー及び使用ＤＢ・ファイル一覧に入力ファイルとして附票データベース、出力ファイルとして中間ファイル（３０条の１２第１項）を追加 ・処理概要、機能体系に中間ファイル（３０条の１２第１項）の編集に関する記述を追加 （２）本紙の処理内容 ・死亡者が在外選挙人の場合の中間ファイル（３０条の１２第１項）の編集・出力処理の追加 （３）中間ファイル編集（３０条の１２第１項） ・死亡者に関して新規追加	０１７ ０１７ ０１８ ０３１－１	

標準仕様書修正履歴

平成１１年３月

項番	業務（届書）名	修正内容	ページ	添付資料No.
1	第 7. 2. (5). 15 （死亡届）	標準仕様書見直しによるシステムの対応 1．審査 （1）データ編集表 ・動態区分の設定を修正 2．入力確認 （1）中間ファイル編集 ・仮受付共通部分の受付事件コードの設定を修正 ・事件本人の編集項目に筆頭者を追加	 ０１３ ０２２ ０２５	

標準仕様書修正履歴

版数:8.0
平成16年3月1日

項番	業務（届書）名	修正内容	ページ	添付資料No.
1	第7．2．（5）．15 （死亡届）	標準仕様書見直しによるシステムの対応 1．入力確認 （1）データ編集表 3.0中間ファイル（仮受付）編集・出力　3／4 レア入力処理の項番2の日付を修正	024	

標準仕様書修正履歴

版数：9.0
平成１７年　３月　１日

項番	業務（届書）名	修　正　内　容	ページ	添付資料No.
1	第7.2.(5).15 （死亡届）	標準仕様書修正 Ⅰ.関連チェックの項番１８－３を修正 「本籍不分明区分が 1:92Ⅱ報告」 → 「本籍不分明区分が 1:92Ⅰ報告」 Ⅱ.関連チェックの項番１９を修正 レア入力処理の「昭和３０年春頃（推定月を補記）」の場合の 「死亡の年」「死亡の月」の表記が誤っていたので修正 Ⅲ.データ編集表、中間ファイル仮受付の事件コードの移送条件を修正 Ⅳ.データ編集表、中間ファイル事件本人の「筆頭者」と「送達確認２」 の順序を修正	 ００８ ００９ ０２２ ０２５	

50372

標準仕様書修正履歴

版数：10.0
平成１８年　3月　1日

項番	業務（届書）名	修　正　内　容	ページ	添付資料No.
1	第7.2.(5).15 （死亡届）	標準仕様書見直しによる修正 Ⅰ.データ編集表、中間ファイル事件本人の「筆頭者」と「送達確認２」の順序を修正	０２５	

標準仕様書修正履歴

版数:11.0
平成19年 3月 1日

項番	業務（届書）名	修正内容	ページ	添付資料No.
1	第7.2.(5).15 (死亡届)	標準仕様書見直しによるシステムの対応 1．要件定義ワークシート （1）3.0 審査 受領日と送付日が同一の場合の審査を追加。 2.データ編集表 （1）4.0 中間ファイル（届書）編集・出力　1／4 本籍不詳の場合、受付の渉外区分がセットされていなかったため、 本籍不分明区分＝1，4の場合にも、0（日本人）を設定するよう 記載追加。 （2）5.1 死亡者　編集・出力 9条2項のファイル編集時に、受理日に対して届書ファイルから 処理日が設定されていたため、「送付日or受領日」に変更。 （3）6.1 死亡者　編集・出力 30条12第1項のファイル編集時に、受理日に対して届書ファイルから 処理日が設定されていたため、「送付日or受領日」に変更。	010 013 031 031－1	

標準仕様書修正履歴

版数:12.0
平成20年 3月 1日

項番	業務（届書）名	修正内容	ページ	添付資料No.
1	第7．2．（5）.15 （死亡届）	改正戸籍法施行によるシステムの対応及び第１２版により仕様書改訂 1．システム処理の概要説明書 （1）死亡で使用する「資格区分」の一覧に、以下のコードを追加。 ０６３：保佐人　　１０７：成年後見人 １１６：補助人　　１１７：任意後見人 （2）本籍不分明区分「0：死亡届」の資格に以下のコードを追加。 ０６３：保佐人　　１０７：成年後見人 １１６：補助人　　１１７：任意後見人 （3）本籍不分明区分「0：９２条Ⅲの届出」の資格に以下のコードを追加する。また注書も追加。 ０６３：保佐人　　１０７：成年後見人 １１６：補助人　　１１７：任意後見人 2．データチェック（単体表） （1）届出人資格に以下のコードを追加。 ０６３：保佐人　　１０７：成年後見人 １１６：補助人　　１１７：任意後見人 3．要件定義ワークシート（審査） （1）死亡日から届出日が1ヶ月を経過している場合に、確認メッセージ「死亡日から届出日まで1ヶ月を経過しています。処理をしてよろしいですか?」を表示するように審査を修正。 （2）本籍不分明区分：3の審査に以下のコードを追加。 ０６３：保佐人　　１０７：成年後見人 １１６：補助人　　１１７：任意後見人 4．データ編集表 ・中間ファイル（仮受付）編集・出力 （1）届出人資格区分1、届出人資格名称1の編集について、備考欄に「０６３」「１０７」「１１６」「１１７」は設定不要の旨を記載。 ・身分事項　死亡者（除籍）編集 （1）届出日の編集に「０６３」「１０７」「１１６」「１１７」の資格区分の場合にも設定する旨を記載。 （2）届出人氏名の編集に「０６３」「１０７」「１１６」「１１７」の資格区分の場合にも設定する旨を記載。 （3）報告日と報告者の編集について、備考の記載が誤っていたので、修正。 5．補足説明書 （1）死亡届について、資格区分の追加の旨を記載。 （2）死亡届の追加された資格区分の詳細を記載し、頁を追加。	００３ ００７ ０１０ ０１１ ０２２ ０２７ ０２８ ０３２ ０３３	

標 準 仕 様 書 修 正 履 歴

版数:13.0
平成22年 3月 1日

項番	業務（届書）名	修　　正　　内　　容	ページ	添付資料№
1	第7．2．(5)．15 （死亡届）	標準仕様書見直しによる第１３版の仕様書改訂 １．要件定義ワークシート（審査） （１）届出人資格が「063:保佐人、107:成年後見人、116:補助人、117:任意後見人」の場合、「後見人等の資格を証明する登記事項証明書または裁判所の謄本が添付されていますか？」を表示するよう審査を修正。 ２．データ編集表 ・中間ファイル（届書）編集・出力 （１）渉外区分の備考欄の説明について、本籍不分明区分=1or4の場合の設定を明確に判断できるように修正。 ３．補足説明書 ・戸籍編製マトリックス表 （１）「死亡者以外に在籍者が存在する」場合に、その在籍者が生存配偶者とならない場合、婚姻解消事項の記録は行わないよう、注書き追記。 ４．データ編集表 ・身分事項　死亡者（除籍）編集 （１）報告日の備考欄に、本籍不分明区分=2(92条Ⅱ)の場合に、報告日には関連受領番号より受付を参照し、９２条Ⅰの受領日を設定する旨を記載。	０１２ ０１３ ０２１ ０２８	

標 準 仕 様 書 修 正 履 歴

版数:14.0
平成23年 3月 1日

項番	業務（届書）名	修　　正　　内　　容	ページ	添付資料№
1	第７．２．（５） （死亡届）	標準仕様書見直しによる第１４版の仕様書改訂 １．システム処理の概要説明書 （１）本籍不分明区分=0（死亡届）の場合に、チェックする届出人資格に「030:後見人」を追加。 （２）本籍不分明区分=3（92Ⅲ報告）の場合に、チェックする届出人資格に「030:後見人」を追加。 （３）「死亡届で使用する資格区分の一覧」に、「030:後見人」を追加。 ２．データチェック（単体表） ・単体チェック表 （１）届出人資格について、実際の届書と資格をあわせ、「後見人」を復活させ、成年後見人は外すように修正。 ３．データチェック（関連表） ・関連チェック表 （１）死亡者の外人区分が日本人の場合、筆頭者に入力があることをチェックするように修正。 ４．要件定義ワークシート ・審査 （１）本籍不分明区分=3（92Ⅲ報告）の場合に、チェックする届出人資格に「030:後見人」を追加。 （２）確認メッセージ「後見人等の資格を証明する登記事項証明書または裁判所の謄本が添付されていますか？」を表示する対象に、届出人資格「030:後見人」を追加。 （３）１２ページへの審査の追加によりページ溢れした部分を、ページ追加して記載。 ５．データ編集表 ・中間ファイル（仮受付）編集・出力 （１）届出人資格区分１，届出人資格名称１の備考欄に、届出人資格が「030:後見人」の場合は設定不要を追加。 ６．データ編集表 ・身分事項　死亡者（除籍）編集 （１）届出人氏名の備考欄に、届出人資格が「030:後見人」の場合は設定する旨ををを追加。 （２）除籍日の備考欄に、「９２条Ⅰと同じ自治体（本籍地）に９２条Ⅱが報告された場合は、死亡を記録した日が分からないため、分明の日（受領日）を「除籍日」に設定する。」旨を記載。 ７．補足説明書 ・届出人コード一覧（死亡） （１）届出人資格コード「030:後見人」の記載を追加するとともに、編集方法の記載を追加。	003 003 003 007 008 011 012 012-1 022 027 028 033	

標 準 仕 様 書 修 正 履 歴

版数:15.0
平成24年 3月 1日

項番	業務（届書）名	修　　正　　内　　容	ページ	添付資料No.
1	第７．２．（５） （死亡届）	標準仕様書見直しによる第１５版の仕様書改訂 １．データ編集表 ・4.0中間ファイル（届書）編集・出力 （１）動態区分の編集について、死亡区分ではなく本籍不分明区分の誤りである ため修正。	０１３	

標 準 仕 様 書 修 正 履 歴

版数:16.0
平成25年 3月 1日

項番	業務（届書）名	修　　正　　内　　容	ページ	添付資料No.
1	第７．２．（５） （死亡届）	標準仕様書見直しによる第１６版の仕様書改訂 １．データ編集表 ・4.0中間ファイル（届書）編集・出力 （１）動態区分の編集について、備考欄の設定方法が誤っていたため修正。 １．データ編集表 ・4.2身分事項　死亡者(除籍）編集 （１）届出日について、届出人氏名と同様に届出人資格：０３０を追加すべきであったが、漏れていたため修正。	０１３ ０２７	

標 準 仕 様 書 修 正 履 歴

版数:17.０
平成26年 3月 1日

項番	業務（届書）名	修　　正　　内　　容	ページ	添付資料№
1	第７．２．（５） （死亡届）	標準仕様書見直しによる第１７版の仕様書改訂 １．データ編集表 ・３．０　審査 （１）戸籍法９２条２項が９２条１項と同時に報告された場合、確認メッセージを表示し、同時に報告されている場合には、審査を続行するように修正。 １．データ編集表 ・4.2身分事項　死亡者（除籍）編集 （１）本籍不分明区分=2(92条Ⅱ)で関連受領番号が未入力の場合、９２条Ⅱの受領日を設定するように修正。	０１２ ０２８	

標 準 仕 様 書 修 正 履 歴

版数:18.0
平成27年 3月 1日

項番	業務（届書）名	修　　正　　内　　容	ページ	添付資料№.
1	第７．２．（５）．１５ （死亡届）	標準仕様書見直しによる第１８版の仕様書改訂 １．データチェック（関連表） ・２．０ 関連チェック表 （１）漢字氏名の氏と筆頭者の氏の関連チェックを追加。 上記チェックの追加により、「００８－１」のページを追加。	００８－１	

標 準 仕 様 書 修 正 履 歴

版数:20.0
平成２９年　３月３１日

項番	業務（届書）名	修　　正　　内　　容	ページ	添付資料№
1	第７．２．（５）．１５（死亡届）	標準仕様書見直しによる第２０版の仕様書改訂 １．データ編集表 ・４．２ 身分事項　死亡者（除籍）編集　２／２ （１）死亡届の９２条１項と２項の届出を送付で受けたときに、送付日より前の日付で除籍日が記載されてしまうため、「在外送付区分＝０：受理分」の条件を追加。	０２８	

標 準 仕 様 書 修 正 履 歴

版数:21
平成３０年　３月３１日

項番	業務（届書）名	修　　正　　内　　容	ページ	添付資料№
1	第７．２．（５）．１５ （死亡届）	標準仕様書見直しによる第２１版の仕様書改訂 ・システム処理の概要説明書 （１）107:成年後見人は不要のため、削除。 ・２．０関連チェック表 （１）関連チェックにおいて、住所と世帯主のチェックに、 「世帯主≠スペースの時、住所≠スペースであること」を追加 （死亡№98） ・要件定義ワークシート （１）107:成年後見人は不要のため、削除。 ・データ編集表 （１）107:成年後見人は不要のため、削除。 （２）身分事項の死亡日の設定について、備考の記載の誤記を修正。 ・届出人コード一覧（死亡）　　２／２ （１）107:成年後見人は不要のため、削除。	 ００３ ００８ ０１１ ０１２ ０２２ ０２７ ０３３	

標 準 仕 様 書 修 正 履 歴

版数:22.０
平成３１年　３月３１日

項番	業務（届書）名	修　　正　　内　　容	ページ	添付資料№
1	第７．２．（５）．１５ （死亡届）	標準仕様書見直しによる第２２版の仕様書改訂 ・要件定義ワークシート （死亡９９） 身元不明届の本籍分明届において、特記事項の記載が必要となる対応。 ・データ編集表 （死亡９９） ①身元不明届の本籍分明届において、関連受領番号の受付ファイルの項目を届書ファイルに移送するため、項目を追加。 ②身元不明届の本籍分明届において、特記事項の記載が必要となる対応。 ２１版で修正した９２条Ⅱの報告の場合の【報告日】の編集内容を、本籍分明届と同様の編集内容に修正。 ・要件定義ワークシート ①誤植の修正：ベンダーでの確認（及び修正）が必要 (63-1)で届出人資格の判断と確認メッセージが一緒に審査されているが、これを別の審査に分ける。 届出人資格の審査がＮＯの場合(64)へ分岐するロジックが増える。 ②過去の修正漏れの対応 ③記載仕様不統一の修正	０１２ ０１２－１ ０１６ ０２７ ０２８ ０１２ ０１６ ０２０ ００３ ０１０ ０１１ ０１２ ０１２－１ ０２２ ０２７ ０３３	

第2 3 (1)	システム処理の概要説明書	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		死亡届	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成 年 月 日	1	1/16

1. 死亡業務処理範囲外の処理

(1) 100歳以上の高齢者について市区町村長が監督局の長の許可を得て消除する場合の記録〔高齢者消除〕

(2) 非本籍地の死亡届が本籍地へ未着のため近親者から提出のあった資料及び受附帳の写しに基づき監督局の長に許可を得てする死亡事項の記録
〔24条2項による職権記録〕

(3) 失踪宣告により除籍された者の属していた戸籍が他の市区町村に転籍により除籍された後に失踪宣告者の死亡届があった場合の死亡事項の記録

(4) 出生届出前に死亡したものにつき死亡届が先に提出された場合の死亡事項の記録

(5) 外国人の死亡における日本人配偶者の婚姻解消事項の記録(生存配偶者が本籍人の場合)〔申し出による市区町村長限りの職権記録〕

(6) 正当な届出義務者以外からの届出により監督局の長に許可を得てする死亡事項の記録〔24条2項による職権記録〕

(7) 同時死亡と推定される場合(複数人の審査、記録)〔民882条〕

① (1) : バッチ(高齢者消除)で一括処理する

② (2), (3), (4), (6), (7) : 別途、審査結果入力で処理を行う

③ (5) : 「死亡届」の異動処理終了(志望者の死亡の記録)後、日本人配偶者の婚姻解消事項の記録を行う
⇒ 日本人配偶者の婚姻解消事項の記録については、別途、審査結果入力で処理を行う

2. 死亡届入力画面の意義

(1) 本籍不分明者・認識不能者の死亡(92条Ⅰの報告、身元不明の死亡届)について各項目(漢字氏名、本籍、住所等)を「不詳」として入力を行う

(入力画面で「不詳」と入力されることにより受付帳の氏名、本籍は「不詳」と記録される)

(2) 本籍不分明者・認識不能者の身元が判明した際(92条Ⅱの報告、92条Ⅲの届出、本籍分明)についても各項目(本籍、筆頭者、住所等)の入力を行う

① 先の死亡報告・死亡届との関連付けの入力(関連受領番号入力)を行う

② 本籍分明(先の身元不明の死亡届に対する追完)の際の届出人資格、届出人氏名の入力は先の身元不明の死亡届と同様の資格氏名を入力する
(本籍人と判明した場合、戸籍の記録で表記を要するため)

(3) 死亡日、死亡時分について推定あるいは不詳がある場合、「死亡日時」を直接日本語で入力を行い、それを戸籍の記録とする

ただし、「死亡日」(年・月)については死亡者の戸籍の事件発生日の設定及び生存配偶者の婚姻解消事項の配偶者死亡日の記録を要するため、必須入力である

(4) 死亡地の入力は「市区町村名」と「町丁目以降」に分けて入力を行う

① 「市区町村名」 ⟶ 「戸籍」への記録 (例外 : 北緯○○度東経○○○度等もあり得る)

② 「市区町村名」 + 「町丁目以降」 ⟶ 「死体埋火葬許可書」「相続税法58条通知書」への記録

(5) 「死亡区分」は届出人資格が92(取調官庁及び公署の報告)で戦争による死亡(戦死、戦傷死)の際に入力も行う(戦病死は通常の死亡)

3. その他

(1) 受付帳には「死亡地」を登載しない（出生における出生地も同様）

(2) 本籍不分明者・認識不能者の死亡（92条Ⅰの報告、身元不明の死亡届）の受付帳の氏名・本籍は基本的に「不詳」となっているが、
この者の身元が判明した場合でも、先の受付帳の氏名・本籍は訂正しない

503777

002

(3)　死亡の入力の流れとチェックについて 〔本籍不分明区分、届出資格、関連受領番号〕

〔本籍不分明区分〕　〔届出人資格〕

① 0：死亡届
本籍・氏名が判明している場合
〔096以外であること〕
- 083～089：同居の親族、同居していない親族、同居者、家主、地主、家屋管理人、土地管理人
- 092：船長(航海日誌の謄本提出)
- 093：公設所の長の届出(病院の長／管理人、監獄の長等)
- 094：公設所の長の報告(監獄の長等)
- 095：取調官庁及び公署の報告
- 030, 063, 116, 117:後見人、保佐人、補助人、任意後見人

死亡で使用する「資格区分」の一覧

083：同居の親族	063:保佐人
084：同居していない親族	116:補助人
085：同居者	117:任意後見人
086：家主	030:後見人
087：地主	
088：家屋管理人	
089：土地管理人	
092：船長(航海日誌の謄本提出)	
093：公設所の長の届出(病院の長／管理人、監獄の長等)	
094：公設所の長の報告(監獄の長等)	
095：取調官庁及び公署の報告	
096：警察官の報告	

〔本籍不分明区分〕　〔届出人資格〕

② 1：92条Ⅰの報告
本籍・氏名が判明していない場合
〔096であること〕
- 096：警察官の報告 → 後日 → ③

〔本籍不分明区分〕　〔届出人資格〕　〔関連受領番号〕*1

③ 2:92条Ⅱの報告
〔096であること〕
- 096：警察官の報告 → 入力可能
- 後日 → ④

〔本籍不分明区分〕　〔届出人資格〕　〔関連受領番号〕*1

④ 3:92条Ⅲの届出
〔083, 084, 085, 030, 063, 116, 117 であること〕
- 083：同居の親族 → 入力可能
- 084：同居していない親族
- 085：同居者
- 063:保佐人
- 116:補助人
- 117:任意後見人
- 030:後見人

〔本籍不分明区分〕　〔届出人資格〕

⑤ 4：身元不明
本籍・氏名が判明していない場合、死亡地の市区町村に届出
〔085, 086, 087, 088, 089, 093であること〕
- 085：同居者 → 後日 → ⑥
- 086：家主
- 087：地主
- 088：家屋管理人
- 089：土地管理人
- 093：公設所の長の届出(病院の長／管理人、監獄の長等)

〔本籍不分明区分〕　〔届出人資格〕　〔関連受領番号〕*1

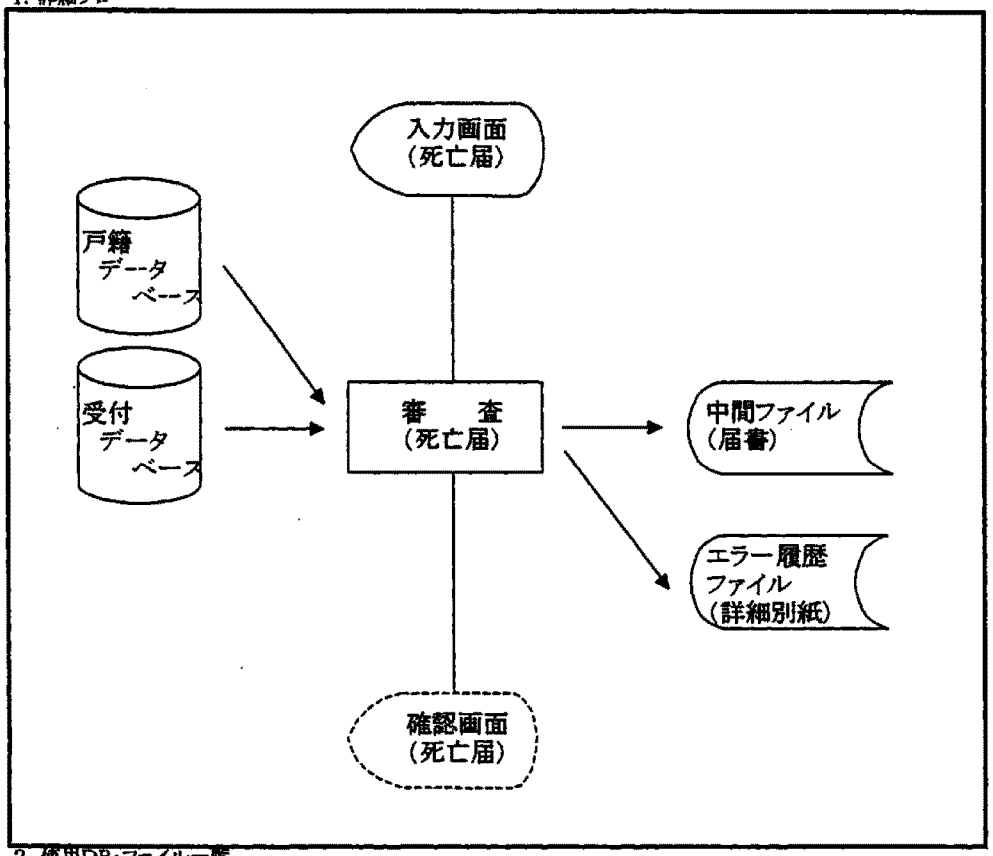
⑥ 5:本籍分明(本籍分明届、追完届)
身元不明の死亡届に対する追完
〔085, 086, 087, 088, 089, 093であること〕
- 085：同居者 → 入力可能
- 086：家主
- 087：地主
- 088：家屋管理人
- 089：土地管理人
- 093：公設所の長の届出(病院の長／管理人、監獄の長等)

「先の死亡届の届出人が追完を行うこと」：システムでチェックは行わない

*1 ：「関連受領番号」が入力された場合、
－存在する場合、「処分決定処理」で当該受付の「関連受領番号」に当届書の「受領番号」を設定する （当届書の受付に対しても同様）
－存在しない場合、「審査」で確認メッセージを表示する

第 2 3 (2)	システム環境仕様書	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(死亡届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成 年 月 日	1	4／16

1. 詳細フロー



3. 処理概要

(1)死亡届の内容を画面入力する。
(2)死亡届で入力された項目の単体チェックを行う。
(3)死亡届で入力された項目の関連チェックを行う。
(4)審査を行う。
(5)死亡届から中間ファイル(届書)を編集し、出力する。
(6)入力確認(死亡届)に制御を渡す。

4. 機能体系(要件定義書の構成)

- 0.0 本紙
  - 1.0 単体チェック
  - 2.0 関連チェック
  - 3.0 審査
  - 4.0 データ編集表(中間ファイル／届書)

2. 使用DB・ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
戸籍DB	入 力		
受付DB	入 力		
中間ファイル(届書)	出 力		
エラー履歴ファイル	出 力		

5. 備考(特記事項含む)

004

第2 3 (3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(死亡届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成 年 月 日	1	5/16

処理名							0.0 本紙			備考
(1) 届書内容を画面入力する								／		「届書メニュー」で受領番号が入力された場合、届書ファイルから画面編集を行う
(2) キー選択(実行キー、 PF1、 PF2、 PF10、 PF11、 PF12、 その他)								／		
実行キー	(3) 入力項目の単体チェック1(OK:YES NG:NO) [1.0]							／		
	YES	(4) 入力項目の関連チェック1(OK:YES NG:NO) [1.1]						／		
		YES	(5) 画面の入力項目をすべて入力禁止とする					／		
			(6) 審査1(OK:YES NG:NO) [1.1.1]					／		
			YES	(7) 中間ファイル(届書)の編集・出力 [2.0]				／	(8) 入力確認(死亡届)に制御を渡す	
				(9) メッセージの種類(審査エラー、確認)				／		
				審査エラー	(10) エラーメッセージを表示する			／	(11) 同画面を編集する	メッセージをエラー履歴に出力する
				確認	(12) 確認メッセージを表示し、メッセージに対して応答の後、以降の処理を続行する			／		メッセージと応答をエラー履歴に出力する
			N O	(13) エラーメッセージを表示する						
		N O	(14) エラーメッセージを表示する					／		
	N O	(15) エラーメッセージを表示する						／		
PF1	→							／	(16) 業務選択に制御を渡す	
PF2	→							／	(17) 届出選択に制御を渡す	
PF10	(18) 画面の入力項目の入力禁止を解除する							／	(19) 同画面を編集する	入力項目が入力禁止のときのみ有効
PF11	(20) 当該審査エラーの確認後、以降の審査を続行する							／	(21) 同画面を編集する	審査エラー発生時のみ有効
PF12	(22) 同画面を初期化する							／	(23) 同画面を編集する	
その他	(24) エラーメッセージ「無効なキーが入力されました。」を表示する							／	(25) 同画面を編集する	
								／		
								／		
								／		
								／		
								／		
								／		
								／		
								／		
								／		

第23(5)	データチェック(単体表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(死亡届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成 年 月 日	1	6/16

処理名	画面名	画面ID	
1.0単体チェック表	入力画面(死亡届)		

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	エラーコード	備考
1	出張所番号		数字		「項目エラーがあります。 正しく入力して下さい。」		
2	受領日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
3	送付日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
4	発送元		漢字				
5	在外送付区分	○	数字	(0:受理分、 1:国内からの送付 2:在外公館の直接送付、 3:在外公館の国内経由)であること			
6	処理日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
7	本非区分	○	数字	(1:本籍、 2:非本籍)であること			
8	郵送日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
9	動態区分	○	数字	(0:不要、 1:要)			
10	外人区分		数字	(0:日本人、 1:外国人)であること			
11	生年月日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
12	性別	○	数字	(1:男、 2:女、 3:不詳)であること			
13	本籍不分明区分	○	数字	(0:死亡届、 1:92条Ⅰ報告、 2:92条Ⅱ報告 3:92条Ⅲ届出、 4:身元不明の死亡届、 5:本籍分明)であること			
14	関連受領番号		数字				
15	カナ氏名		カナ				
16	漢字氏名	○	漢字				
17	死亡の年	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
18	死亡の月	○	英数				
19	死亡の日		英数				
20	推定区分		英数	(スペースまたは、 1:推定)であること			
21	死亡の午前午後区分		英数	(スペースまたは、 1:午前、 2:午後)であること			
22	死亡の時分		英数	12時間表示の入力であること(0～11)			
23	終期の死亡の午前午後区分		英数	(スペースまたは、 1:午前、 2:午後)であること			
24	終期の死亡の時分		英数	12時間表示の入力であること(0～11)			

第 2 3 (5)	データチェック(単体表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(死亡届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成23年 3月 1日	14	7／16

処理名	画面名	画面ＩＤ	
1.0単体チェック表	入力画面(死亡届)		

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
25	死亡区分		英数	(スペースまたは、 1:戦死、 2:戦傷死)であること	「項目エラーがあります。 正しく入力して下さい。」		
26	死亡日時		漢字				
27	死亡場所(市区町村)	○	漢字				
28	死亡場所(町丁目)		漢字				
29	住所		漢字				
30	世帯主		漢字				
31	本籍	○	漢字				
32	筆頭者		漢字				
33	届出人資格	○	数字	(083:同居の親族　084:同居していない親族 085:同居者　086:家主 087:地主　088:家屋管理者 089:土地管理者 092:船長(航海日誌の謄本提出) 093:公設所の長の届出 (病院の長／管理人、監獄の長等) 094:公設所の長の報告(監獄の長等) 095:取調官庁又は公署の報告　096:警察官の報告 030:後見人　063:保佐人　~~107:成年後見人~~ 116:補助人　117:任意後見人)　であること			
34	届出人資格名称		漢字				
35	届出人の氏名	○	漢字				
36	届出人の住所		漢字				
37	配偶者有無区分		数字	(0:無、 1:有)であること			
38	配偶者の外人区分		英数	(0:日本人、 1:外国人)であること			
39	配偶者の本非区分		英数	(1:本籍、 2:非本籍)であること			

第 2 3 (6)	データチェック(関連表)	作　業　名	作　成　者	作　成　日　付	改　訂　日 付	版	頁
		審査(死亡届)	システム化調査研究会	平成　6年12月　1日	平成30年　3月31日	21	8／16

処　理　名	画　面　名	画 面 Ｉ Ｄ	
2．0関連チェック表	入力画面(死亡届)		

No	内　容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備　考
1	(No.3)　送付日＝スペースのとき　(No.4)　発送元＝スペース　であること	「関連エラーがあります。 正しく入力して下さい。」		
2	(No.3)　送付日≠スペースのとき　(No.4)　発送元≠スペース　であること			
3	(No.3)　送付日≠スペースのとき　送付日≧　(No.2)　受領日　であること			
4	(No.3)　送付日＝スペースのとき　(No.5)　在外送付区分＝０　：受理分　であること			
5	(No.3)　送付日＝スペースのとき　(No.9)　動態区分＝１：要　であること			
6	(No.4)　発送元≠スペースのとき　(No.5)　在外送付区分≠０　：受理分　であること			
7	(No.4)　発送元≠スペースかつ　(No.4)　発送元の最終文字が『市』『区』『町』『村』『長』 のとき (No.5)　在外送付区分＝１：国内からの送付　であること			
8	(No.4)　発送元≠スペースかつ　(No.4)　発送元の最終文字が『市』『区』『町』『村』『長』 以外のとき (No.5)　在外送付区分＝２：在外公館の直接送付　　または (No.5)　在外送付区分＝３：在外公館の国内経由　　であること			
9	(No.4)　発送元≠スペースかつ　(No.5)　在外送付区分＝２：在外公館の直接送付　のとき (No.8)　動態区分＝１：要　であること			
10	(No.4)　発送元≠スペースかつ　(No.5)　在外送付区分＝１：国内からの送付　　　または (No.5)　在外送付区分＝３：在外公館の国内経由　のとき (No.8)　動態区分＝０：不要　であること			
11	(No.6)　処理日≠スペースのとき　処理日＞　(No.2)　受領日　であること			
12	(No.8)　郵送日≠スペースのとき　(No.3)　送付日＝スペース　であること			
13	(No.8)　郵送日≠スペースのとき　郵送日≦　(No.2)　受領日　であること			
14	(No.10)　外人区分＝０：日本人の場合、　(No.30)　本籍＝本籍　であること			
14-1	(No.10)　外人区分＝０：日本人の場合、　(No.31)　筆頭者≠空白　であること			
15	(No.10)　外人区分＝１：外国人の場合、　(No.30)　本籍＝国籍　であること			
16	(No.10)　外人区分＝１：外国人の場合、　(No.31)　筆頭者　が未入力であること			
17	(No.36)　配偶者有無区分＝１：有の場合、　(No.37)　配偶者外人区分≠空白　であること			
18	(No.13)　本籍不分明区分が０：死亡届、２：92Ⅱ報告、３：92Ⅲ届出、５：本籍分明の場合、 (No.36)　配偶者有無区分≠空白　であること			
18-1	(No.31)　本籍＝管内　のとき、　(No.7)　本非区分＝1(本籍)　であること			
18-2	(No.31)　本籍≠管内　のとき、　(No.7)　本非区分＝2(非本籍)　であること			
18-3	(No.13)　本籍不分明区分が１：92Ｉ報告、４：身元不明の死亡届　の場合、 (No.5)　在外送付区分＝0(受理分)　かつ　(No.7)　本非区分＝2(非本籍)　であること			
18-4	(No.29)　住所＝スペース　のとき、　(No.30)　世帯主＝スペース　であること			
18-5	(No.30)　世帯主≠スペースのとき　(No.29)　住所≠スペース　であること			

50383
800

第 2 3 (6)	データチェック(関連表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(死亡届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成27年 3月 1日	18	8−1／16

処理名	画面名	画面ID	
2.0関連チェック表	入力画面(死亡届)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
18-5	(№16) 漢字氏名≠スペース かつ (№32) 筆頭者≠スペース の場合、 (№16) 漢字氏名の氏 ＝ (№32) 筆頭者の氏 であること。	「関連エラーがあります。 正しく入力して下さい。」		日本人 かつ 本籍不分明区分が死亡届、92Ⅱ、92Ⅲ、本籍分明の場合実施する。

第2 3 (6)	データチェック(関連表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(死亡届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成 年 月 日	9	9/16

処理名	画面名	画面ID	
2.0関連チェック表	入力画面(死亡届)		

No	内容	出力エラーメッセージ	エラーコード	備考
19	(No.17) 死亡の年～(No.24) 終期の死亡の時分、(No.26) 死亡日時は以下のパターンであること	「関連エラーがあります。 正しく入力して下さい。」		

審査(死亡届) 入力画面

種別	No.	現行記録例	No.17 死亡の年	No.18 死亡の月	No.19 死亡の日	No.20 死亡時間	No.21 死亡時分	No.22 死亡の時	No.22 死亡の分	終期 No.23 区分	終期 No.24 時	終期 No.24 分	No.26 死亡日時
通常入力処理	1	平成7年2月1日午後1時	● 7年2月1日			×	● 午後	● 1時	×	×	×	×	×
	2	平成7年2月1日午後1時30分	● 7年2月1日			×	● 午後	● 1時30分		×	×	×	×
	3	平成7年2月1日 推定午後1時	● 7年2月1日			● 1	● 午後	● 1時	×	×	×	×	×
	4	平成7年2月1日 推定午後1時30分	● 7年2月1日			● 1	● 午後	● 1時30分		×	×	×	×
	5	平成7年2月1日 推定午後1時から 午後2時の間	● 7年	● 2月	● 1日	● 1 推定	● 午後	● 1時	×	● 午後	● 2時	×	×
	6	平成7年2月1日 推定午後1時から 午後2時30分の間	● 7年	● 2月	● 1日	● 1 推定	● 午後	● 1時	×	● 午後	● 2時	● 30分	×
	7	平成7年2月1日 推定午後1時30分から 午後2時の間	● 7年	● 2月	● 1日	● 1 推定	● 午後	● 1時	● 30分	● 午後	● 2時	×	×
	8	平成7年2月1日 推定午後1時30分から 午後2時30分の間	● 7年	● 2月	● 1日	● 1 推定	● 午後	● 1時	● 30分	● 午後	● 2時	● 30分	×
レア入力処理	9	昭和30年3月上旬 ↓ 昭和30年3月1日から10日までの間	● 30年	● 3月	● 10日	×	×	×	×	×	×	×	●
	10	昭和30年春頃(推定月を補記) ↓ 昭和30年推定4月	● 30年	● 4月	×	×	×	×	×	×	×	×	●

No	内容
20	〔(No.23) 終期の死亡の午前午後区分 ＋ (No.24) 終期の死亡の時分〕 ≠空白 の場合、 〔(No.21) 死亡の午前午後区分 ＋ (No.22) 死亡の時分〕 ≦ 〔(No.23) 終期の死亡の午前午後区分 (No.24) 終期の死亡の時分〕 であること

第 2 3 (3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(死亡届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成31年 3月31日	22	10／16

処理名	3.0 審査			備考
(0-1)受領日＝送付日の場合、 確認メッセージ「受領日と送付日が同一です。処理をしてよろしいですか。」			(0-2) 本紙へ	
YES	(0-3) → (0-6) へ		／	
N O	(0-4) →		(0-5) 本紙へ	
(0-6)死亡日 ＋ 1ヶ月 ≦ 受領日の場合、 確認メッセージ「死亡日から届出日まで1ヶ月を経過しています。処理をしてよろしいですか。」				
YES	(0-7) → (1) へ		／	
N O	(0-8) →		(0-9) 本紙へ	
(1) 外人区分は何か？ (0:日本人、 1:外国人)			／	
0	(2) 本非区分は何か？ (1:本籍、 2:非本籍)		／	
1	(3) 届書の死亡者が除籍となっているか？		／	〔除籍者でないこと〕
YES	(4) エラーメッセージ 「届書の死亡者は既に除籍となっています。」		(5) 本紙へ	
N O	(6) → (7) へ		／	
	(7) 死亡者の身分事項DBの最初の「身分事項」を検索する		／	〔死亡後に発生した事件が記録されていないこと〕
	(8) 身分事項DBが終了するまで(9) ～ (15)を繰り返す		／	
	(9) 死亡日:身分事項DB・事件発生日は？ (＜、＝、＞、事件発生日未設定)		／	
＜	(10) 確認メッセージ 「死亡の記録前に 死亡日後発生した身分事項が記録されています。」		(11) 本紙へ	応答する
＝	(12) 確認メッセージ 「死亡の記録前に 死亡日当日に発生した身分事項が記録されています。」		(13) 本紙へ	応答する
＞	(14) → (16) へ		／	
事件発生日未設定	(15) 確認メッセージ 「事件発生日が不明の身分事項があります」		(15-1) 本紙へ	応答する
	(16) 次の身分事項を検索する		／	
	(17) 死亡者に配偶者が存在する場合、配偶者有無区分(画面)が 1: 有 となっていない (YES, NO)		／	戸規36Ⅰ 昭和23.1.13 民事甲第17号通達:配偶欄消除
YES	(18) エラーメッセージ 「配偶者の有無区分を'有'として下さい。」		(19) 本紙へ	〔死亡者に配偶者がいる場合 画面の配偶者の有無区分が 有となっていること〕
N O	(20) → (21) へ		／	
2				
1				

第 2 3 (3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(死亡届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成31年 3月31日	22	11／16

処理名		3.0 審査			備考
(21) 本籍不分明区分は何か？ (0：死亡届、 1：92Ⅰ報告、 2：92Ⅱ報告、 3：92Ⅲ報告、 4：身元不明の死亡届、 5：本籍分明)			／		
0	(22) 届出人資格は〔(096：警察官報告)以外〕であるか？		／		〔死亡届〕 戸87：届出義務者・資格者 戸93(戸55)：船長 戸93(戸56)：公設所の長等 戸89：取調官庁又は公署報告 戸90：公設所の長報告
	YES	(23) → (46) へ	／		
	N O	(24) エラーメッセージ 「入力された本籍不分明区分に対する届出人資格が誤っています。」		(25) 本紙へ	
1	(26) 届出人資格は(096：警察官報告)であるか？		／		〔92条Ⅰの報告〕 戸92Ⅰ
	YES	(27) → (46) へ	／		
	N O	(28) エラーメッセージ 「入力された本籍不分明区分に対する届出人資格が誤っています。」		(29) 本紙へ	
2	(30) 届出人資格は(096：警察官報告)であるか？		／		〔92条Ⅱの報告〕 戸92Ⅱ
	YES	(31) → (46) へ	／		
	N O	(32) エラーメッセージ 「入力された本籍不分明区分に対する届出人資格が誤っています。」		(33) 本紙へ	
3	(34) 届出人資格は〔 (083：同居の親族) または (084：同居していない親族) または (085：同居者) または (030:後見人) または (063:保佐人) または (116:補助人) または (117:任意後見人) 〕であるか？		／		〔92条Ⅲの報告〕 戸92Ⅲ 第21版で(107:成年後見人)を削除
	YES	(35) → (46) へ	／		
	N O	(36) エラーメッセージ 「入力された本籍不分明区分に対する届出人資格が誤っています。」		(37) 本紙へ	
4	(38) 届出人資格は〔 (085：同居者) または (086：家主) または (087：地主) または (088：家屋管理人) または (089：土地管理人) または (093：公設所の長の届出) 〕であるか？		／		〔身元不明の死亡届〕
	YES	(39) → (46) へ	／		
	N O	(40) エラーメッセージ 「入力された本籍不分明区分に対する届出人資格が誤っています。」		(41) 本紙へ	
5	(42) 届出人資格は〔 (085：同居者) または (086：家主) または (087：地主) または (088：家屋管理人) または (089：土地管理人) または (093：公設所の長の届出) 〕であるか？		／		〔本籍分明〕 戸26
	YES	(43) → (46) へ	／		
	N O	(44) エラーメッセージ 「入力された本籍不分明区分に対する届出人資格が誤っています。」		(45) 本紙へ	

第 2 3 (3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(死亡届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成31年 3月31日	22	12／16

処理名	3.0 審査			備考
(46) 本籍不分明区分が （0：死亡届） または （1：92Ⅰ報告） または （4：身元不明の死亡届） の場合、関連受領番号は入力されたか？		／		〔本籍不分明者・認識不能者等の身元不明者の身元が判明した場合のみ関連受領番号の入力を可能とする〕
YES	(47) エラーメッセージ 「入力された本籍不分明区分の場合、関連受領番号は入力できません。」		(48) 本紙へ	
ＮＯ	(49) → (50) へ	／		
(50) 画面に関連受領番号の入力があるか？ （入力、未入力）		／		〔本籍不分明者・認識不能者等の身元不明の受付帳の関連受領番号に身元不明の受領番号を設定するための受付帳の存在チェックを行う〕
入力	(51) 関連受領番号をキーに受付ファイルを読み(有り、無し)	／		
有り	(53) 受付ファイルの受付事件ｺｰﾄﾞが(1601：死亡)か？	／		
YES	(54) 受付ファイルの受付日を、身元不明届出時受付日に移送する。	／		本籍不分明区分＝2(92条Ⅱの報告)のとき、【報告日】の編集を行うために受付日を届書ファイルに移送する。本籍不分明区分＝5(本籍分明)のとき、【届出日】の編集を行うために受付日を、【特記事項】の編集を行うために届出人資格(コード、名称)と届出人氏名を届書ファイルに移送する。
	(54-1) 受付ファイルの届出人資格コード1を、身元不明届出時届出人資格コードに移送する。	／		
	(54-2) 受付ファイルの届出人資格名称1を、身元不明届出時届出人資格名称に移送する。	／		
	(54-3) 受付ファイルの届出人氏名を 身元不明届出時届出人氏名に移送する。	／		
ＮＯ	(55) エラーメッセージ 「関連受領番号の受付帳は『死亡』の受付帳ではありませんので処理できません。」		(56) 本紙へ	
無し	(57) エラーメッセージ 「関連受領番号の受付帳は削除済ですので、手処理で記録して下さい。」		(58) 本紙へ	
未入力	(58-1) 本籍不分明区分は （2：92Ⅱ報告)か？	／		
YES	(58-1-1) 確認メッセージ 「戸籍法第92条2項の報告は、戸籍法第92条1項と同時に報告されていますか？」		(58-1-2) 本紙へ	
YES	(58-1-3) → (60) へ	／		
NO	(58-2) エラーメッセージ 「関連受領番号の入力がないため、正しい処理ができません。審査結果業務より処理してください。」		(58-3) 本紙へ	
ＮＯ	(59) 本籍不分明区分は （5：本籍分明)か？	／		
YES	(59-1) エラーメッセージ 「関連受領番号の入力がないため、正しい処理ができません。審査結果業務より処理して下さい。」		(59-2) 本紙へ	
NO	(59-3) → (60) へ	／		

第 2 3 (3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(死亡届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成31年 3月31日	22	12-1／16

処理名	3.0 審査			備考
(60) 届出人資格が(095：取調官庁及び公署の長の報告)以外 の場合、死亡区分はスペースか？		／		〔知事からの戦時死亡(戦死、戦病死)の入力のチェック〕
YES	(61) エラーメッセージ 「入力された本籍不分明区分では、死亡区分の入力はできません。」		(62) 本紙へ	
N O	(63) → (63-1) へ	／		
(63-1) 届出人資格が 030:後見人, 063:保佐人, 116:補助人, 117:任意後見人 であるか？		／		第21版で107:成年後見人を削除
YES	(63-2) 確認メッセージ 「後見人等の資格を証明する登記事項証明書または裁判所の謄本が添付されていますか？」			
YES	(63-2) → (64) へ	／		
N O	(63-3) →		(63-4) 本紙へ	
N O	(63-5) → (64) へ	／		
(64) 外人区分が(1：外国人) で 配偶者有無区分が(1：有) かつ 配偶者の外国人区分が(0：日本人) であるか？		／		〔外国人死亡者の日本人生存配偶者の処理〕
YES	(65) 確認メッセージ 「日本人生存配偶者に対する婚姻解消記録事項の手続きが必要です。」		(66) 本紙へ	
N 0	(67) →			

第 2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(死亡届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成25年 3月 1日	16	13／16

処理名	4.0中間ファイル(届書)編集・出力 1／4	(受取側) 中間ファイル(届書)／共通	←	(引渡側) 入力画面(死亡届)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.，	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル(届書) 共通	受領番号		死亡届入力画面	受領番号				受領番号が取得済みの場合に設定
	選択事件コード							16(死亡届)
	出張所番号			出張所番号				
	受領日			受領日				
	送付日			送付日				
	発送元			発送元				
	在外送付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日				
	指示日							
	許可日							
	受理送付区分							在外送付区分＝0のとき1 在外送付区分≠0のとき2
	本非区分			本非区分				
	郵送日			郵送日				
	動態区分			動態区分				本籍不分明区分＝0、1、4のときは入力画面で設定された値を、本籍不分明区分＝2、3、5のとき0を設定する
	届区分							2(報告)
	渉外区分							外人区分が0(日本人)の場合、0(日本人)を設定する 外人区分が1(外国人)の場合、2(外国人)を設定する 本籍不分明区分＝1、4の場合も、0(日本人)を設定する
	同時決裁受領番号1～5							
	ロック戸籍番号1～5							
	事件別内容							3／4、4／4参照
	不受理申出処分区分							

第2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(死亡届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成 年 月 日	1	14/16

処理名	4.0中間ファイル(届書)編集・出力 2/4	(受取側) 中間ファイル(届書)/共通	←	(引渡側) 入力画面(死亡届)

受取側			引渡側			コード変換有無 (ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
中間ファイル(届書) 共通	処分区分		死亡届入力画面					審査の結果により、1＝受理または 2＝不受理をセットする (審査において一つでもエラーがある場合は不受理とする)
	決裁区分							何も設定されていない場合に 0:未決裁を設定
	届書排他区分							

50389

014

第2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(死亡届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成 年 月 日	1	15/16

処理名	4.0中間ファイル(届書)編集・出力 3/4	(受取側) 中間ファイル(届書)/事件別内容	←	(引渡側) 入力画面(死亡届)

受取側			引渡側			コード変換有無(サブルーチン)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル(届書) 事件別内容	死亡者個人番号		死亡届入力画面	死亡者個人番号				
	外人区分			外人区分				
	生年月日			生年月日				
	本籍不分明区分			本籍不分明区分				
	関連受領番号			関連受領番号				
	カナ氏名			カナ氏名				
	漢字氏名			漢字氏名				
	性別			性別				
	死亡日			死亡日				(画面) 死亡の年 (画面) 死亡の月 (画面) 死亡の日
	推定区分			推定区分				
	死亡の午前午後区分			死亡の午前午後区分				
	死亡の時分			死亡の時分				
	終期の死亡の 午前午後区分			終期の死亡の 午前午後区分				
	終期の死亡の時分			終期の死亡の時分				
	死亡区分			死亡区分				
	死亡日時			死亡日時				
	死亡場所(市町村)			死亡場所(市町村)				
	死亡場所(町丁目)			死亡場所(町丁目)				
	住所コード			住所				
	住所							
	世帯主			世帯主				
	本籍コード			本籍				
	本籍							
	筆頭者			筆頭者				

50390
015

第 2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(死亡届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成31年 3月31日	22	16／16

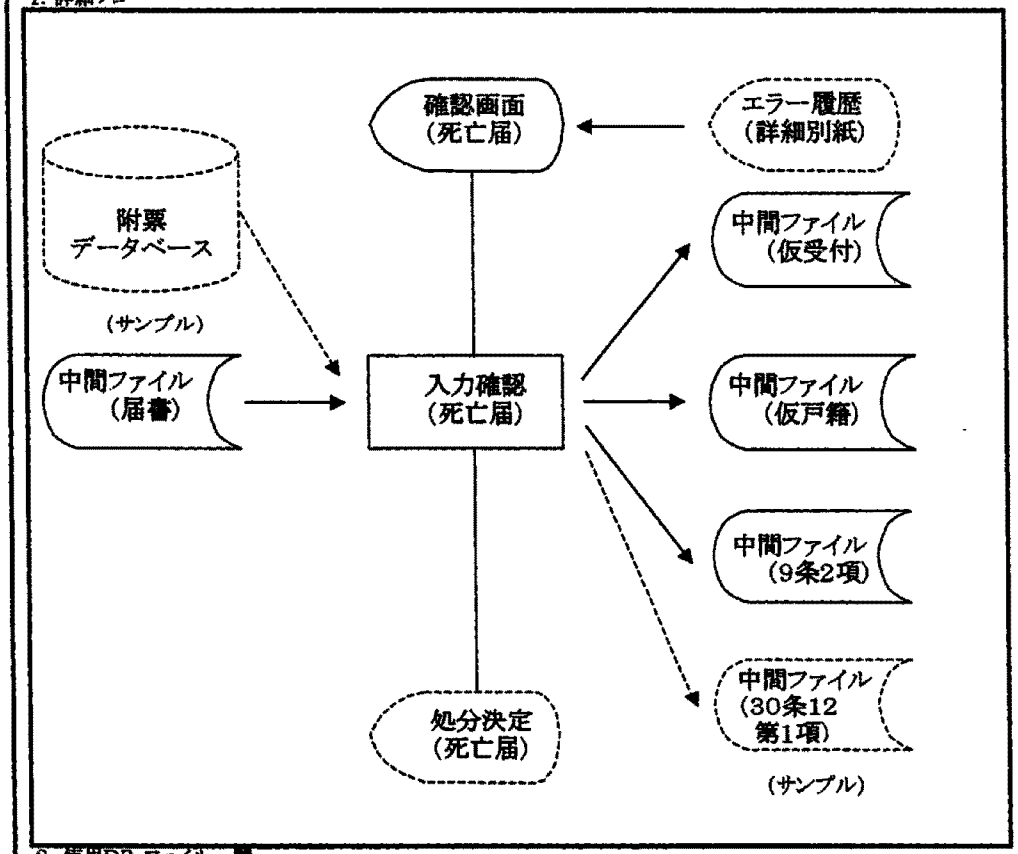
処理名	4.0中間ファイル(届書)編集・出力 4／4	(受取側) 中間ファイル(届書)／事件別内容	←	(引渡側) 入力画面(死亡届)

受取側			引渡側			コード変換有無 (ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.，	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
中間ファイル(届書) 事件別内容	届出人資格		死亡届入力画面	届出人資格				
	届出人資格名称			届出人資格名称				
	届出人氏名			届出人の氏名				
	届出人住所			届出人住所				
	配偶者有無区分			配偶者有無区分				
	配偶者外人区分			配偶者の外人区分				
	配偶者の本非区分			配偶者の本非区分				
	身元不明届出時受付日		審査処理					
	身元不明届出時届出人資格コード							
	身元不明届出時届出人資格名称							
	身元不明届出時届出人資格氏名							

50391
910

第2章(2)	システム環境仕様書	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(死亡届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成11年 3月 1日	2.1	1/15

1. 詳細フロー



3. 処理概要

(1) 中間ファイル(届書)を画面表示する。
(2) 戸籍変動状況を確定する。
(3) 中間ファイル(仮受付)を編集、出力する。
(4) 中間ファイル(仮戸籍)を編集、出力する。
(5) 中間ファイル(9条2項)を編集、出力する。
(6) 中間ファイル(30条の12第1項)を編集、出力する。----------(サンプル提示)
(7) 処分決定処理に制御を渡す。

4. 機能体系(要件定義書の構成)

- 0.0 本紙
  - 1.0 データ編集表(入力確認画面)
  - 2.0 戸籍編製マトリックス表
  - 3.0 データ編集表(中間ファイル／仮受付)
  - 4.0 データ編集表(中間ファイル／仮戸籍)
    - 4.1 個人特定 死亡者(配偶者区分)
    - 4.2 身分事項 死亡者(除籍)
    - 4.3 個人特定 生存配偶者(配偶者区分)
    - 4.4 身分事項 生存配偶者(記録)
  - 5.0 データ編集表(中間ファイル／9条2項)
    - 5.1 死亡者
  - 6.0 データ編集表(中間ファイル／30条12第1項)---------- (サンプル提示)
    - 6.1 失踪者

2. 使用DB・ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ファイル(届書)	入力		
附票データベース	入力(サンプル)		
中間ファイル(仮受付)	出力		
中間ファイル(仮戸籍)	出力		
中間ファイル(9条2項)	出力		
中間ファイル(30条12第1項)	出力(サンプル)		

5. 備考(特記事項含む)

第23(3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(死亡届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成11年 3月 1日	2.1	2/15

処理名	0.0 本紙				備考
(1) 中間ファイル(届書)の内容を確認画面に出力し、メッセージを表示する「入力項目を確認し、よければ実行キーを押下して下さい。」			[1.0]	／	
(2) キー選択(実行キー、 PF1、 PF2、 PF5、 PF11、 その他)				／	
実行キー	(3) 中間ファイル(届書)の内容から戸籍編製マトリックス表を参照し、死亡者の戸籍変動状況を決定する		[2.0]	／	
	(4) 中間ファイル(仮受付)を編集・出力する		[3.0]	／	
	(5) 死亡者が本籍人である(YES, NO)			／	
	YES	(6) 戸籍の変動状況をもとに、中間ファイル(仮戸籍)を編集・出力する		／	非本籍人及び外国人は記録不要
		個人特定(死亡者の配偶者区分)	(7) 死亡者の配偶者区分の編集 [4.1]	／	
		身分事項(死亡者の除籍)	(8) 死亡者の除籍事項の編集 [4.2]	／	
		個人特定(生存配偶者の配偶者区分)	(9) 生存配偶者の配偶区分の編集 [4.3]	／	死亡者に配偶者がいる場合記録
		身分事項(生存配偶者の記録)	(10) 生存配偶者の記録事項の編集 [4.4]	／	死亡者に配偶者がいる場合記録
		(10.2) 死亡者は在外選挙人である(YES, NO)			※サンプル提示
		YES	(10.3) 死亡者について中間ファイル(30条の12第1項)を編集・出力する [6.1]	／	附票情報との連動により在外選挙人関連の対応が戸籍システムで可能な場合処理
		N O	(10.1) → (11)	／	(10.2) (10.3)
	N O			／	
	(11) (在外送付区分＝0：受理分 又は 2：在外公館の直接送付 である) かつ (外人区分＝0：日本人 である) (YES, NO)			／	
	YES	(12) 死亡者について中間ファイル(9条2項)を編集・出力する [5.0]			(13) 処分決定に制御を渡す
	N O	→			
PF1	→				(14) 業務選択に制御を渡す
PF2	→				(15) 届出選択に制御を渡す
PF5	→				(16) 審査(死亡届)に制御を渡す
PF11	→				(17) エラー履歴表示に制御を渡す
その他	(18) エラーメッセージ「無効なキーが入力されました。」を表示する				(19) 同画面を編集する

第23(4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(死亡届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成 年 月 日	1	3/15

処理名	1.0入力確認(死亡)表示 1/2	(受取側) 死亡届確認画面	←	(引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 (ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
死亡届確認画面	画面ID			画面ID				
	システム日付			システム日付				
	出張所番号		中間ﾌｧｲﾙ(届書) 共通	出張所番号				
	受領番号			受領番号				
	受領日			受領日		有		
	送付日			送付日		有		
	発送元			発送元				
	在外送付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日		有		
	本非区分			本非区分				
	郵送日			郵送日		有		
	動態区分			動態区分				
	外人区分		中間ﾌｧｲﾙ(届書) 事件別内容	外人区分				
	生年月日			生年月日		有		
	本籍不分明区分			本籍不分明区分				
	本籍不分明区分名称					有		
	性別			性別				
	性別名称					有		
	関連受領番号			関連受領番号				
	カナ氏名			カナ氏名				
	漢字氏名			漢字氏名				
	死亡の年			死亡日		有		
	死亡の月							
	死亡の日							
	推定区分			推定区分				

50394

019

第２３（４）	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(死亡届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成31年 3月31日	22	4／15

処理名	1.0入力確認(死亡)表示 2／2	(受取側) 死亡届確認画面	←	(引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.，	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
死亡届確認画面	死亡の午前午後区分		中間ﾌｧｲﾙ(届書) 事件別内容	死亡の午前午後区分				
	死亡の時分			死亡の時分				
	終期の死亡の午前午後区分			終期の死亡の午前午後区分				
	終期の死亡の時分			終期の死亡の時分				
	死亡区分			死亡区分				
	死亡日時			死亡日時				
	死亡場所(市区町村)			死亡場所(市区町村)				
	死亡場所(町丁目)			死亡場所(町丁目)				
	住所			住所コード		有		
				住所				
	世帯主			世帯主				
	本籍			本籍コード		有		
				本籍				
	筆頭者			筆頭者				
	届出人資格			届出人資格				
	届出人資格名称			届出人資格名称				
	届出人の氏名			届出人氏名				
	届出人住所			届出人住所				
	配偶者有無区分			配偶者有無区分				
	配偶者の外人区分			配偶者外人区分				
	配偶者の本非区分			配偶者の本非区分				

50395
020

処理名　2.0 戸籍編製マトリックス表

項番	条件						死亡者の戸籍		
	死亡者		日本人生存配偶者が在籍する		死亡者以外に在籍者が存在する		一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動なし
	本籍人	本籍人以外	有	無	有	無			
1	○			○	○		死亡者 (4. 1, 4. 2)		
2	○			○		○		死亡者 (4. 1, 4. 2)	
3 *3	○		○		○		死亡者 (4. 1, 4. 2)		生存配偶者 (4. 3, 4. 4)
4 *1		○		○	——	——	——	——	——
5 *2		○	○		——	——	——	——	——

A.2：戸籍特定（記録） ⇒ 戸籍の消除
B.2：戸籍事項（消除） ⇒ 消除事項の記録
C.2：個人特定（記録） ⇒ 個人の除籍

*1：戸籍の処理は不要

*2：戸籍の処理は不要。生存配偶者の婚姻解消事項の記録は「死亡届」の異動処理終了後（死亡者の除籍記録）後、別途、審査結果入力で処理を行う。
〔申し出による市区町村長限りの職権記録〕

*3：「死亡者以外に在籍者が存在する」場合、その在籍者が生存配偶者とならない場合、死亡者の戸籍の記載で婚姻解消事項の記録は行わない。

第 2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(死亡届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成31年 3月31日	22	6／15

処理名	3.0中間ファイル(仮受付)編集・出力 1／4	(受取側) 中間ファイル(仮受付)／共通	← (引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.，	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
中間ファイル (仮受付) 共通	受領番号		中間ﾌｧｲﾙ(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	受付事件コード							・本籍不分明区分＝0，1，4のとき、1601(死亡)を設定 ・本籍不分明区分＝3のとき、受理送付区分＝1であれば4404(その他(死亡))、受理送付区分≠1であれば1601(死亡)を設定 ・上記以外のとき、受理送付区分＝1であれば4402(その他(本籍分明))、受理送付区分≠1であれば1601(死亡)を設定
	受領日			送付日 または 受領日				送付日があれば送付日 送付日がなければ受領日
	事件発生日			死亡日				(3／4参照)
	事件発生時分			死亡の午前午後区分 死亡の時分				(3／4参照)
	事件発生日時							
	受理送付区分			受理送付区分				
	本非区分			本非区分				
	渉外区分			渉外区分				
	発送日							
	郵送日			郵送日				
	発日							
	収日							
	指示日							
	許可日							
	関連受領番号			関連受領番号				
	届出人資格区分1			届出人資格				資格区分083、084のとき、082を設定、名称は「親族」 093～096、030，063、116、117の時は設定不要
	届出人資格名称1			届出人資格名称				
	届出人氏名1			届出人氏名				
	届出人資格区分2							
	届出人資格名称2							

第2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(死亡届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成 年 月 日	1	7/15

処理名	3.0中間ファイル(仮受付)編集・出力 2/4	(受取側) 中間ファイル(仮受付)/共通	←	(引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード	出力形態	
DB・ファイル名	項目		DB・ファイル名	項目		変換有無		備考
画面名称	名称	記号名	画面名称	名称	記号名	(サブルーチン)	Z9.,	
中間ファイル(仮受付) 共通	届出人氏名2		中間ファイル(届書)					
	届後本籍区分							
	届後本籍コード							
	届後本籍							(3/4参照)
	届後本籍の筆頭者							
	送達確認1							
	証書提出区分							
	届書送付目録区分							本非区分=1(本籍分届)のとき 1(送付要)を設定 本非区分=2(非本籍分届)のとき 0(送付不要)を設定
	処分区分							
	決裁区分							

第2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(死亡届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成16年 3月 1日	8	8/15

処理名	3.0中間ファイル(仮受付)編集・出力 3/4	(受取側) 中間ファイル(仮受付)/共通	←	(引渡側) 審査(死亡届) 入力画面

審査(死亡届) 入力画面													受付帳				
種別	No.	現行記録例	①死亡の年	②死亡の月	③死亡の日	④死亡推定時間区分	⑤午前午後区分	⑥死亡の時	⑦死亡の分	終期 ⑧区	終期 ⑨時	終期 ⑩分	⑪死亡日時	種別	事件発生日	事件発生時分*1	届出後本籍*2	備考
通常入力処理	1	平成7年2月1日午後1時	● 7年	● 2月	● 1日	×	● 午後	● 1時	×	×	×	×	×	通常	1995.2.1	13:00	――	①②③を転送 ④⑤⑥から編集転送
	2	平成7年2月1日午後1時30分	● 7年	● 2月	● 1日	×	● 午後	● 1時30分	●	×	×	×	×		1995.2.1	13:30	――	
	3	平成7年2月1日 推定午後1時	● 7年	● 2月	● 1日	● 1	● 午後	● 1時	×	×	×	×	×	レア	――	――	平成7年2月1日 推定午後1時	①～⑩から編集転送
	4	平成7年2月1日 推定午後1時30分	● 7年	● 2月	● 1日	● 1	● 午後	● 1時30分	●	×	×	×	×		――	――	平成7年2月1日 推定午後1時30分	
	5	平成7年2月1日 推定午後1時から 午後2時の間	● 7年	● 2月	● 1日	● 1 推定	● 午後	● 1時	×	● 午後	● 2時	×	×		――	――	平成7年2月1日 推定午後1時から 午後2時の間	
	6	平成7年2月1日 推定午後1時から 午後2時30分の間	● 7年	● 2月	● 1日	● 1 推定	● 午後	● 1時	×	● 午後	● 2時	● 30分	×		――	――	平成7年2月1日 推定午後1時から 午後2時30分の間	
	7	平成7年2月1日 推定午後1時30分から 午後2時の間	● 7年	● 2月	● 1日	● 1 推定	● 午後	● 1時	● 30分	● 午後	● 2時	×	×		――	――	平成7年2月1日 推定午後1時30分から 午後2時の間	
	8	平成7年2月1日 推定午後1時30分から 午後2時30分の間	● 7年	● 2月	● 1日	● 1 推定	● 午後	● 1時	● 30分	● 午後	● 2時	● 30分	×		――	――	平成7年2月1日 推定午後1時30分から 午後2時30分の間	
レア入力処理	1	昭和30年3月上旬 ↓ 昭和30年3月1日から10日までの間	● 30年	● 3月	● 10日	×	×	×	×	×	×	×	●		――	――	昭和30年3月1日から10日までの間	⑪を転送
	2	昭和30年春頃(推定月を補記) ↓ 昭和30年推定4月	● 30年	● 4月	×	×	×	×	×	×	×	×	●		――	――	昭和30年推定4月	

*1：24時間で格納
*2：日本語編集で格納

50400

第2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(死亡届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成18年 3月 1日	10	9/15

処理名	3.0中間ファイル(仮受付)編集・出力 4/4	(受取側) 中間ファイル(仮受付)／事件本人	←	(引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード	出力形態	
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	変換有無 (サブルーチン)	Z9.，	備考
中間ファイル (仮受付) 事件本人	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	行番号							
	事件本人区分							31(死亡者)
	届出人区分							0(事件本人が届出人ではない)
	カナ氏名			カナ氏名				
	漢字氏名			漢字氏名				
	生年月日			生年月日				
	本籍コード			本籍コード				
	本籍			本籍				
	筆頭者			筆頭者				
	送達確認2							現本籍が非本籍なら1を設定 (在外送付区分＝0のとき)

025

第2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(死亡届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成 年 月 日	1	10/15

処理名	4.1個人特定 死亡者(区分)編集	(受取側) 中間ファイル(仮戸籍)／個人特定 ← (引渡側)

受取側			引渡側			コード変換有無 (サブルーチン)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル(仮戸籍) 個人特定	個人番号							
	戸籍番号							
	戸籍記録順位番号							
	入籍日		———					
	除籍日							
	性別							
	生年月日							
	筆頭者区分							
	配偶者区分							0：未を設定
	父							
	母							
	父母との続柄							
	養父							
	養母							
	養父母との続柄							
	前個人番号							
	個人除区分							1：除籍者を設定
	審査不可区分							

50401

026

第 2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(死亡届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成31年 3月31日	22	11／15

処理名	4.2身分事項 死亡者(除籍) 編集 1／2	(受取側) 中間ファイル(仮戸籍)／身分事項	←	(引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 (ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.，	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル(仮戸籍) 身分事項	個人番号		中間ファイル(届書)					決裁処理で設定
	行番号							
	出力区分							
	タイトルコード							1601(死亡)
	記録コード							1601(死亡者の記録)
	管掌者コード							
	事件発生日			死亡日				＊1
	死亡 死亡日		中間ファイル(届書)	死亡日				死亡日時＝スペースのとき設定
	死亡 死亡時分 推定区分			推定区分				
	死亡 死亡時分 午前午後区分			死亡の午前午後区分				
	死亡 死亡時分 死亡時分			死亡の時分				
	死亡 死亡時分 午前午後区分(終期)			終期の死亡の午前午後区分				
	死亡 死亡時分 死亡時分(終期)			終期の死亡の時分				
	死亡 死亡日時			死亡日時				
	死亡 死亡地			死亡地(市町村)				
	死亡 死亡区分			死亡区分				
	届出 届出日			受領日 または 身元不明届出時受付日				届出人資格が、083(同居の親族)～089(土地管理人)、093(公設所の長の届出)、030、063、116、117のとき、受領日を設定する
	届出 届出人 資格			届出人資格 または 身元不明届出時届出人資格コード				届出人資格が、083(同居の親族)～089(土地管理人)のとき、届出人(資格、名称)を設定する 083(同居の親族)～084(同居していない親族)のときは082(親族)を設定する
	届出 届出人 資格名称			届出人資格名称 または 身元不明届出時届出人資格名称				
	届出 届出人 氏名			届出人氏名 または 身元不明届出時届出人資格氏名				届出人資格が、083(同居の親族)～089(土地管理人)、093(公設所の長の届出)、030、063、116、117のとき、届出人氏名を設定する
	届出 航海日誌謄本提出日			受領日				届出人資格が、092(船長)のとき設定する

本籍不分明区分＝5(本籍分明)で、身元不明届出時受付日≠スペースの場合、
それぞれ身元不明届出時受付日、身元不明届出時届出人資格コード、身元不明届出時届出人資格名称、身元不明届出時届出人氏名を設定する。
それ以外は右記指示に従う。

第 2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(死亡届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成31年 3月31日	22	12／15

処理名	4.2身分事項 死亡者(除籍)編集 2／2	(受取側) 中間ファイル(仮戸籍)／身分事項	←	(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側				引渡側						
DB・ファイル名	項目			DB・ファイル名	項目		コード変換有無 (ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態	備考
画面名称	名称		記号名	画面名称	名称	記号名		Z9.，	
中間ﾌｧｲﾙ(仮戸籍) 身分事項	届出	報告日		中間ﾌｧｲﾙ(届書)	受領日 または 身元不明届出時受付日				本籍不分明区分＝2(92条Ⅱ)で、身元不明届出時受付日≠スペースの場合、身元不明届出時受付日を設定する。 上記以外で、届出人資格が、094(公設所の長の報告)～096(警察官の報告)のとき、受領日を設定する。
		報告者			届出人氏名				
	送付	送付を受けた日			送付日				
		受理者			発送元				
	許可	許可日			――――――				
		許可書謄本の 送付を受けた日			――――――				
		許可を受けた者			――――――				
	除籍	除籍日			処理日 または 受領日				処理日≠スペースの場合、処理日を設定する。 本籍不分明区分＝2(92条Ⅱ)で、在外送付区分＝0:受理分の場合、受領日を設定する。 本籍不分明区分＝5(本籍分明)で、送付日＝スペースの場合、受領日を設定する。
	特記	特記事項			受領日 届出人資格名称 届出人氏名				本籍不分明区分＝5(本籍分明)の場合、以下の編集後移送。 受領日＋届出人資格名称＋届出人氏名＋”本籍追完(本籍分明)届出″
									*1死亡日の「日」が入力されていない場合、入力されている「年月」の最終年月日を事件発生日とする。

第2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(死亡届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成 年 月 日	1	13/15

処理名	4.3個人特定 生存配偶者(配偶者区分)	(受取側) 中間ファイル(仮戸籍)／個人特定 ← (引渡側)

受取側			引渡側			コード変換有無	出力形態	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	Z9.,	
中間ファイル(仮戸籍) 個人特定	個人番号							
	戸籍番号							
	戸籍記録順位番号							
	入籍日		———					
	除籍日							
	性別							
	生年月日							
	筆頭者区分							
	配偶者区分							3：生存配偶者区分を設定
	父							
	母							
	父母との続柄							
	養父							
	養母							
	養父母との続柄							
	前個人番号							
	個人除区分							
	審査不可区分							

50404
020

50405

第2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(死亡届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成 年 月 日	1	14/15

処理名	4.4身分事項 生存配偶者(記録)編集	(受取側) 中間ファイル(仮戸籍)/身分事項	←	(引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 (サブルーチン)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル(仮戸籍) 身分事項	個人番号							決裁処理で設定
	行番号							1を設定(RDBのみ)
	出力区分							
	タイトルコード							1602(配偶者の死亡)
	記録コード							1602(死亡者の配偶者の記録)
	管掌者コード							
	事件発生日		中間ファイル(届書)	死亡日				*1
	配偶者の死亡 配偶者の死亡日		中間ファイル(届書)	死亡日				
	婚姻 配偶者氏名			———				
	許可 許可日			———				
	許可 許可書謄本の送付を受けた日			———				
	許可 許可を受けた者			———				
	記録 記録日			———				
	特記 特記事項			———				
								*1死亡日の「日」が入力されていない場合、入力されている「年月」の最終年月日を事件発生日とする。

030

第2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(死亡届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成19年 3月 1日	11	15/15

処理名	5.1死亡者 編集・出力	(受取側) 中間ファイル(9条2項)／死亡者	←	(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(サブルーチン)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
中間ファイル(9条2項) 死亡者	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード			住所コード				市区町村部分だけのコード
	宛名							市区町村ｺｰﾄﾞを宛名に変換した項目
	事件コード							16(死亡届)
	受理日			送付日 or 受領日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号							
	新氏名							
	旧氏名			漢字氏名				
	新生年月日							
	旧生年月日			生年月日				
	新父母との続柄							
	旧父母との続柄							
	新本籍コード							
	新本籍							
	旧本籍コード			本籍コード				
	旧本籍			本籍				
	新筆頭者							
	旧筆頭者			筆頭者				
	住所コード			住所コード				
	住所			住所				
	方書							
	住定日							
	住民日							
	世帯主			世帯主				
	世帯主との続柄							

第2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(死亡届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成19年 3月 1日	11	15-1/15

処理名	6.1死亡者 編集・出力	(受取側) 中間ファイル(30条12第1項)／死亡者	←	(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(サブルーチン)	出力形態 Z9.，	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (30条12第1項) 死亡者	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード		附票データベース	在外選挙人名簿 登録市町村コード				市区町村部分だけのコード
	宛名							市区町村を宛名に変換した項目
	事件コード		中間ファイル(届書)					16:死亡届
	受理日			送付日 or 受領日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号							
	新氏名							
	旧氏名			漢字氏名				
	新生年月日							
	旧生年月日			生年月日				
	新性別							
	旧性別							
	新本籍コード							
	新本籍							
	旧本籍コード			本籍コード				
	旧本籍			本籍				
	新筆頭者							
	旧筆頭者			筆頭者				
	住所コード			住所コード				
	住所			住所				
	方書							
	事件発生日			死亡日				死亡日の「日」が入力されていない場合、入力されている「年月」の最終日を事件発生日とする。

第2 3 (7)	補足説明書	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		届出人コード一覧	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成20年 3月 1日	12.0	／

処理名　届出人コード一覧(死亡)　1／2　　〔職権記載は審査結果入力で行う〕

届出事件細別	届出義務者・届出人	届出入力 資格区分		氏名	その他	受付帳 資格	氏名	身分事項DB 届出資格	届出人	報告資格	報告者	航海日誌提出の日	項目化記載例	備考
死亡届 平成20年 5月 1日法施行による届出人資格の追加分は次頁に記載	同居の親族、その他の同居者、家主、地主、家屋若しくは土地管理人、同居の親族以外の親族	83	同居の親族	○	×	○	○	○	○	×	×	×	【届出日】平成4年... 【届出人】親族〔氏名〕	
		84	同居していない親族	○	×	82 親族		82 親族						
		85	同居者	○	×	○同居者	○	○	○	×	×	×	【届出日】平成4年... 【届出人】同居者〔氏名〕	
		86	家主	○	×	○家主	○	○	○	×	×	×	【届出日】平成4年... 【届出人】家主〔氏名〕	
		87	地主	○	×	○地主	○	○	○	×	×	×	【届出日】平成4年... 【届出人】地主〔氏名〕	
		88	家屋管理人	○	×	○家屋管理人	○	○	○	×	×	×	【届出日】平成4年... 【届出人】家屋管理人〔氏名〕	
		89	土地管理人	○	×	○土地管理人	○	○	○	×	×	×	【届出日】平成4年... 【届出人】土地管理人〔氏名〕	
航海中の死亡につき航海日誌の謄本の送付	船長	92	船長	○	×	○船長	○	×	×	×	×	○	【航海日誌の謄本提出日】 平成4年...	戸93条(戸56条) 「～丸船長」の形にはしない。
病院、その他の公設所において死亡した場合の死亡届	公設所の長	93	公設所の長の届出	○ *1	×	×	○	×	○	×	×	×	【届出日】平成4年... 【届出人】〔氏名〕	戸93条(戸56条) *1：公設所長名(個人名)を入力する
・公設所で死亡した者につき、戸87条に規定する届出義務者が届出をすることができないため、戸93条・戸56条の規定により当該公設所の長又は管理人から死亡地の市区町村長から届出た死亡届														
・刑務所又は拘置所で死亡した者につき、戸87条に規定する届出義務者が届出をすることができないため、戸93条・戸56条の規定により当該公設所の長又は管理人から死亡地の市区町村長から届出た死亡届														
在監者の死亡及び死刑執行による死亡報告	監獄の長 (在監者の死亡の場合は取引人がいないとき)	94	公設所の長の報告	○ *2	×	×	○	×	×	×	○	×	【報告日】平成4年... 【報告者】〔氏名〕	戸90条 *2：監獄長名(個人名)を入力する
・死刑の執行があった者につき、戸90条1項の規定により監獄の長(刑務所長)から所在地の市区町村になされた死亡報告書														
・在監中の死亡者につき、戸90条2項の規定に監獄の長(刑務所長)から所在地の市区町村になされた死亡報告書														
水難、火災その他の事変による死亡報告	取調官庁及び公署	95	取調官庁及び公署の報告	○*3〔警察署長〕	×	×	○〔警察署長〕	×	×	×	○〔警察署長〕	×	【報告日】平成4年... 【報告者】〔○○署長〕	戸89条 *3：「○○署長」と入力する　※直接入力
本籍不分明者及び認識不能者の死亡報告又は分明報告	警察官	96	警察官の報告	○*4〔警察署長〕	×	×	○〔警察署長〕	×	×	×	○〔警察署長〕	×	【報告日】平成4年... 【報告者】〔○○署長〕	戸92条1項、2項 *4：「○○署長」と入力する　※直接入力
職権記載 (届出資格／届出人がいない)		—	———	—	—	×	×	×	×	×	×	×	———	

第 2 3 (7)	補足説明書	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		届出人コード一覧	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成31年 3月31日	22	／

処理名　届出人コード一覧(死亡)　2／2　〔職権記載は審査結果入力で行う〕

届出事件細別	届出義務者・届出人	届出入力 資格区分		氏名	その他	受付帳 資格	受付帳 氏名	身分事項DB 届出資格	身分事項DB 届出人	身分事項DB 報告資格	身分事項DB 報告者	航謄海本日提誌出	項目化記載例	備考
死亡届 平成20年 5月 1日 法施行による届出人 資格の追加分	保佐人、補助人、任意後見人、後見人												【届出日】平成4年. . . 【届出人】〔氏名〕	
		63	保佐人	○	×	×	○	×	○	×	×	×		
		116	補助人	○	×	×	○	×	○	×	×	×		
		117	任意後見人	○	×	×	○	×	○	×	×	×		
		30	後見人	○	×	×	○	×	○	×	×	×		

ファイル項目にない。

第７,２,（５）「異動」処理

１６．失踪宣告届

標準仕様書修正履歴

平成１１年３月

項番	業務（届書）名	修正内容	ページ	添付資料No.
1	第 7. 2. (5). 16 （失踪宣告届）	公職選挙法改正によるシステムの対応（サンプル提示） １．入力確認 （１）システム環境仕様書 ・詳細フロー及び使用ＤＢ・ファイル一覧に入力ファイルとして附票データベース、出力ファイルとして中間ファイル（３０条の１２第１項）を追加 ・処理概要、機能体系に中間ファイル（３０条の１２第１項）の編集に関する記述を追加 （２）本紙の処理内容 ・失踪者が在外選挙人の場合の中間ファイル（３０条の１２第１項）の編集・出力処理の追加 （３）中間ファイル編集（３０条の１２第１項） ・失踪者に関して新規追加	０１０ ０１０ ０１１ ０２２－１	

50412

標準仕様書修正履歴

平成１１年３月

項番	業務（届書）名	修正内容	ページ	添付資料No.
1	第 7. 2. (5). 16 （失踪宣告届）	標準仕様書見直しによるシステムの対応 1．入力確認 （1）中間ファイル編集 ・事件本人の編集項目に筆頭者を追加	017	

50413

標準仕様書修正履歴

版数：9.0
平成17年　3月　1日

項番	業務（届書）名	修　正　内　容	ページ	添付資料No.
1	第7.2.(5).16 (失踪宣告届)	標準仕様書修正 1.データ編集表、中間ファイル事件本人の「筆頭者」と「送達確認2」の順序を修正	017	

50414

標準仕様書修正履歴

版数：10.0

平成１８年　３月　１日

項番	業務（届書）名	修　正　内　容	ページ	添付資料No.
1	第7.2.(5).16 （失踪宣告届）	標準仕様書見直しによる修正		
		Ⅰ.データ編集表、中間ファイル事件本人の「筆頭者」と「送達確認２」の順序を修正	０１７	
		Ⅱ.データ編集表、中間ファイル身分事項の「届出人氏名」の書き出し条件を「届出人資格＝９９（その他）の時，移送」に変更	０１９	

標準仕様書修正履歴

版数:11.0
平成19年 3月 1日

項番	業務（届書）名	修正内容	ページ	添付資料No.
1	第7.2.(5).16 (失踪宣告届)	標準仕様書見直しによるシステムの対応 1．要件定義ワークシート （1）3.0 審査 受領日と送付日が同一の場合の審査を追加。 上記審査を追加したことによるページ溢れのため、「006－1」を追加。 2.データ編集表 （1）5.1 失踪者　編集・出力 9条2項のファイル編集時に、受理日に対して届書ファイルから処理日が設定されていたため、「送付日又は受領日」に変更。	006 006－1 022	

標準仕様書修正履歴

版数:12.0
平成20年 3月 1日

項番	業務（届書）名	修正内容	ページ	添付資料No.
1	第７．２．（５）16 （失踪宣告届）	改正戸籍法施行によるシステムの対応及び第１２版により仕様書改訂 １．審査処理 （１）審査時に届出人資格が「００１：父、００２：母、００６：夫、００７：妻」でないとき、その他の届出人資格名称が「親族」で無い場合、確認メッセージを表示するように修正。 （２）上記の審査追加により頁溢れした審査を次頁に移動。	 ００６ ００６－１	

標 準 仕 様 書 修 正 履 歴

版数:14.0
平成23年 3月 1日

項番	業務（届書）名	修　　正　　内　　容	ページ	添付資料No.
1	第７．２．（５） （失踪宣告届）	標準仕様書見直しによる第１４版の仕様書改訂 １．データ編集表 （１）3.0 中間ファイル（仮受付）編集・出力 事件発生日に「死亡とみなされる日」を移送していたが、「審判確定日」を移送するように修正。 （２）4.2 身分事項　失踪者（除籍）編集 事件発生日に「死亡とみなされる日」を移送していたが、「審判確定日」を移送するように修正。	 015 019	

標 準 仕 様 書 修 正 履 歴

版数:18.0
平成27年 3月 1日

項番	業務（届書）名	修　　正　　内　　容	ページ	添付資料No.
1	第７．２．（５）．１６ （失踪宣告届）	標準仕様書見直しによる第１８版の仕様書改訂 １．データチェック（関連表） ・２．０ 関連チェック表 （１）漢字氏名の氏と筆頭者の氏の関連チェックを追加。 （２）№11と№14の筆頭者の項目番号が誤っていたので修正	００５	

標 準 仕 様 書 修 正 履 歴

版数:21
平成３０年　３月３１日

項番	業務（届書）名	修　　正　　内　　容	ページ	添付資料No.
1	第７．２．（５）．１６ （失踪宣告届）	標準仕様書見直しによる第２１版の仕様書改訂 ・２．０関連チェック表 （１）関連チェックにおいて、住所と世帯主のチェックに、 「世帯主≠スペースの時、住所≠スペースであること」を追加 （失踪№.３２） 上記の関連チェック項目と文言を合わせるために、№.18の文言を 空白からスペースに変更	００５	

第 2 3 (1)	システム処理の概要説明書	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		失踪宣告届	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成 年 月 日	1	1/9

1. 失踪業務処理範囲外の処理

(1)海難による行方不明者につき戸籍法第89条に規定する死亡があり戸籍に記録した後、同人につき失踪宣告の届出があり死亡とみなされた日が

死亡報告と異なる日の記録

→ 別途、審査結果入力(失踪宣告者)及び訂正(先の死亡事項)で処理を行う

(2)戦時死亡宣告(未帰還者に対する特別措置法)による記録

→ 別途、審査結果入力で処理を行う

2. 失踪宣告届出入力画面の意義

(1)生死不明となった年月日のうち月日が明示されていない失踪宣告の審判書を添付して失踪宣告の届出があった場合、

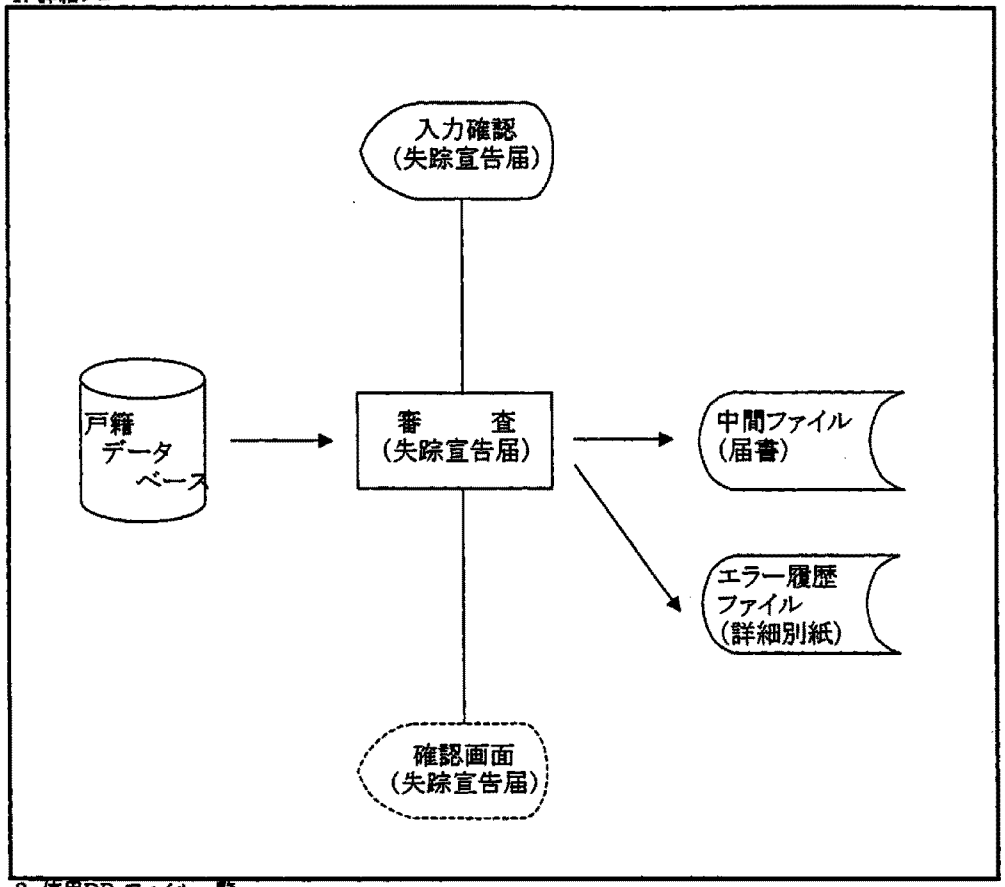
「死亡とみなされる日」には失踪期間の始期を基に失踪期間満了日をもとめた後、入力を行う

3. その他

特になし

第 2 3 (2)	システム環境仕様書	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(失踪宣告届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成 年 月 日	1	2/9

1. 詳細フロー



3. 処理概要

(1)失踪宣告届の内容を画面入力する。
(2)失踪宣告届で入力された項目の単体チェックを行う。
(3)失踪宣告届で入力された項目の関連チェックを行う。
(4)審査を行う。
(5)失踪宣告届から中間ファイル(届書)を編集し、出力する。
(6)入力確認(失踪宣告届)に制御を渡す。

4. 機能体系(要件定義書の構成)

- 0.0 本紙
  - 1.0 単体チェック
  - 2.0 関連チェック
  - 3.0 審査
  - 4.0 データ編集表(中間ファイル／届書)

2. 使用DB・ファイル一覧

名 称	入出力区分	名 称	入出力区分
戸籍DB	入 力		
中間ファイル(届書)	出 力		
エラー履歴ファイル	出 力		

5. 備考(特記事項含む)

第2 3 (3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(失踪宣告届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成 年 月 日	1	3/9

処理名						0.0 本紙			備考
(1) 届書内容を画面入力する							／		「届書メニュー」で受領番号が入力された場合、届書ファイルから画面編集を行う
(2) キー選択(実行キー、 PF1、 PF2、 PF10、 PF11、 PF12、 その他)							／		
実行キー	(3) 入力項目の単体チェックを行う(OK:YES NG:NO) [1.0]						／		
	YES	(4) 入力項目の関連チェック(OK:YES NG:NO) [1.1]					／		
		YES	(5) 画面の入力項目をすべて入力禁止とする				／		
			(6) 審査(OK:YES NG:NO) [1.1.1]				／		
			YES	(7) 中間ファイル(届書)の編集・出力 [2.0]			／	(8) 入力確認(失踪宣告届)に制御を渡す	
			N O	(9) メッセージの種類(審査エラー、確認)			／		
				審査エラー	(10) エラーメッセージを表示する		／	(11) 同画面を編集する	メッセージをエラー履歴に出力する
				確認	(12) 確認メッセージを表示し、メッセージに対して応答の後、以降の処理を続行する		／		メッセージと応答をエラー履歴に出力する
		N O	(13) エラーメッセージを表示する				／		
	N O	(14) エラーメッセージを表示する					／		
PF1	→						／	(15) 業務選択に制御を渡す	
PF2	→						／	(16) 届出選択に制御を渡す	
PF10	(17) 画面の入力項目の入力禁止を解除する						／	(18) 同画面を編集する	入力項目が入力禁止のときのみ有効
PF11	(19) 当該審査エラーの確認後、以降の審査を続行する						／	(20) 同画面を編集する	審査エラー発生時のみ有効
PF12	(21) 同画面を初期化する						／	(22) 同画面を編集する	
その他	(23) エラーメッセージ「無効なキーが入力されました。」を表示する						／	(24) 同画面を編集する	
							／		
							／		
							／		
							／		
							／		
							／		
							／		
							／		
							／		
							／		

50421

第2 3 (5)	データチェック(単体表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(失踪宣告届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成 年 月 日	1	4/9

処理名	画面名	画面ID
1.0単体チェック表	入力画面(失踪宣告届)	

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	出張所番号		数字		「項目エラーがあります。 正しく入力して下さい。」		
2	受領日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
3	送付日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
4	発送元		漢字				
5	在外送付区分	○	数字	(0:受理分、 1:国内からの送付 2:在外公館の直接送付、 3:在外公館の国内経由)であること			
6	処理日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
7	本非区分	○	数字	(1:本籍、 2:非本籍)であること			
8	郵送日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
9	外人区分	○	数字	(0:日本人、 1:外国人)であること			
10	生年月日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
11	カナ氏名	○	カナ				
12	漢字氏名	○	漢字				
13	死亡とみなされる日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
14	確定日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
15	住所		漢字				
16	世帯主		漢字				
17	本籍	○	漢字				
18	筆頭者		漢字				
19	届出人資格	○	数字	(006:夫、 007:妻、 001:父、 002:母、 099:その他)であること			
20	その他の届出人資格名称		漢字				
21	届出人の氏名	○	漢字				
22	配偶者有無区分	○	数字	(0:無、 1:有)であること			
23	配偶者外人区分		英数	(0:日本人、 1:外国人)であること			

004

第 2 3 (6)	データチェック(関連表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(失踪宣告届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成30年 3月31日	21	5／9

処理名	画面名	画面ＩＤ	
2.0関連チェック表	入力画面(失踪宣告届)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	(No.3) 送付日＝スペースのとき (No.4) 発送元＝スペース であること	「関連エラーがあります。 正しく入力して下さい。」		
2	(No.3) 送付日≠スペースのとき (No.4) 発送元≠スペース であること			
3	(No.3) 送付日≠スペースのとき 発送日≧ (No.2) 受領日 であること			
4	(No.3) 送付日＝スペースのとき (No.5) 在外送付区分＝0 ：受理分 であること			
5	(No.4) 発送元≠スペースのとき (No.5) 在外送付区分≠0 ：受理分 であること			
6	(No.4) 発送元≠スペースかつ (No.4) 発送元の最終文字が『市』『区』『町』『村』『長』 のとき (No.5) 在外送付区分＝1：国内からの送付 であること			
7	(No.4) 発送元≠スペースかつ (No.4) 発送元の最終文字が『市』『区』『町』『村』『長』 以外のとき (No.5) 在外送付区分＝2：在外公館の直接送付 または (No.5) 在外送付区分＝3：在外公館の国内経由 であること			
8	(No.6) 処理日≠スペースのとき 処理日＞ (No.2) 受領日 であること			
9	(No.8) 郵送日≠スペースのとき (No.3) 送付日＝スペース であること			
10	(No.8) 郵送日≠スペースのとき 郵送日≦ (No.2) 受領日 であること			
11	(No.9) 外人区分＝0：日本人の場合、(No.16) 筆頭者 が入力されていること			
12	(No.9) 外人区分＝0：日本人の場合、(No.17) 本籍＝本籍 であること			
13	(No.9) 外人区分＝1：外国人の場合、(No.17) 本籍＝国籍 であること			
14	(No.9) 外人区分＝1：外国人の場合、(No.16) 筆頭者 が未入力であること			
15	(No.22) 配偶者有無区分＝1：有の場合、(No.23) 配偶者外人区分≠空白 であること			
16	(No.22) 配偶者有無区分＝0：無の場合、(No.23) 配偶者外人区分＝空白 であること			
17	(No.10) 生年月日≦ (No.13) 死亡とみなされる日≦ (No.14) 確定日≦ (No.2) 受領日 であること			
18	(No.15) 住所＝スペースのとき (No.16) 世帯主＝スペース であること			
18-1	(No.16) 世帯主≠スペースのとき (No.15) 住所≠スペース であること			
19	(No.12) 漢字氏名≠スペース かつ (No.18) 筆頭者≠スペース の場合、 (No.12) 漢字氏名の氏 ＝ (No.18) 筆頭者の氏 であること。			日本人の場合、 実施する。

第2 3 (3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(失踪宣告届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成20年 3月 1日	12	6/9

処理名	3.0 審査			備考
(0-1)受領日＝送付日の場合、 確認メッセージ「受領日と送付日が同一です。処理をしてよろしいですか。」(YES, NO) を表示する。		／		
YES	(0-2) → (0-5) へ	／		
N O	(0-3) →		(0-4) 本紙へ	
(0-5)届出人資格は(001:父 002:母 006:夫 007:妻)であるか？		／		
YES	(0-6) → (1)へ	／		
N O	(0-7)その他の届出人資格名称は「親族」か？	／		
YES	(0-8) → (1)へ	／		
N O	(0-9)確認メッセージ 「届出人資格名称が親族以外です。よろしいですか？」(YES, NO)を表示する。			
YES	(0-10) → (1)へ			
N O	(0-11) →		(0-12) 本紙へ	
(1) 外人区分は何か？ (0:日本人、 1:外国人)		／		
0	(2) 本非区分は何か？ (1:本籍、 2:非本籍)	／		
1	(3) 届書の死亡者が除籍となっているか？	／		〔除籍者でないこと〕
YES	(4) エラーメッセージ「届書の死亡者は既に除籍となっています。」		(5) 本紙へ	
N O	(6) → (7) へ	／		
	(7) 失踪者の身分事項DBの最初の「身分事項」を検索する	／		〔失踪宣告確定後に発生した事件
	(8) 身分事項DBが終了するまで(9) ～ (16)を繰り返す	／		が記録されていないこと〕
	(9) 確定日:身分事項DB・事件発生日は？ (<、＝、>、事件発生日未設定)			
<	(10) 確認メッセージ 「失踪の記録前に 失踪確定日後発生した身分事項が記録されています。」	／	(11) 本紙へ	応答する
＝	(11) 確認メッセージ 「失踪の記録前に 失踪確定日当日に発生した身分事項が記録されています。」	／	(13) 本紙へ	応答する
>	(14) → (16) へ	／		
事件発生日未設定	(15) 確認メッセージ 「事件発生日が不明の身分事項があります」	／		応答する
	(16) 次の身分事項を検索する	／		

第23(3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(失踪宣告届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成20年 3月 1日	12	6−1／9

処理名		3.0 審査			備考
0	1	(17) 失踪者に配偶者が存在する場合、配偶者有無区分(画面)が 1: 有 となっていない (YES, NO)	／		
		YES (18) エラーメッセージ 「配偶者の有無区分を'有'として下さい。」	／	(19) 本紙へ	〔失踪者に配偶者がいる場合
		NO →	／		画面の配偶者の有無区分が
	2				有となっていること〕
1					
(20) 外人区分が(1: 外国人)で 配偶者有無区分が(1: 有) かつ 配偶者の外国人区分が(0: 日本人) であるか？			／		〔外国人失踪者の日本人生存配偶者の処理〕 応答する
YES	(21) 確認メッセージ 「日本人生存配偶者に対する婚姻解消記録事項の手続きが必要です。」		／	(22) 本紙へ	
NO	→		／		

第23(4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(失踪宣告届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成 年 月 日	1	7/9

処理名	4.0中間ファイル(届書)編集・出力 1/3	(受取側) 中間ファイル(届書)/共通	←	(引渡側) 入力画面(失踪宣告届)

受取側			引渡側			コード変換有無 (サブルーチン)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
中間ファイル(届書) 共通	受領番号		失踪宣告届 入力画面	受領番号				受領番号が取得済みの場合に設定
	選択事件コード							17(失踪宣告届)
	出張所番号			出張所番号				
	受領日			受領日				
	送付日			送付日				
	発送元			発送元				
	在外送付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日				
	指示日							
	許可日							
	受理送付区分							在外送付区分=0のとき1 在外送付区分≠0のとき2
	本非区分			本非区分				
	郵送日			郵送日				
	動態区分							ZERO(不要)
	届区分							2(報告)
	渉外区分							外人区分が0(日本人)の場合、 0を設定する 外人区分が1(外国人)の場合、 2(外国人)を設定する
	同時決裁受領番号1～5							
	ロック戸籍番号1～5							
	事件別内容							3/3参照
	不受理申出処分区分							
	処分区分							審査の結果により、1=受理または 2=不受理をセットする (審査において一つでもエラーがある場合は不受理とする)

第2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(失踪宣告届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成 年 月 日	1	8/9

処理名	4.0中間ファイル(届書)編集・出力 2/3	(受取側) 中間ファイル(届書)/事件別内容 ← (引渡側) 入力画面(失踪宣告届)

受取側			引渡側			コード変換有無	出力形態	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	Z9.,	
中間ファイル(届書) 共通	決裁区分		失踪宣告届 入力画面					何も設定されていない場合に 0:未決裁を設定
	届書排他区分							

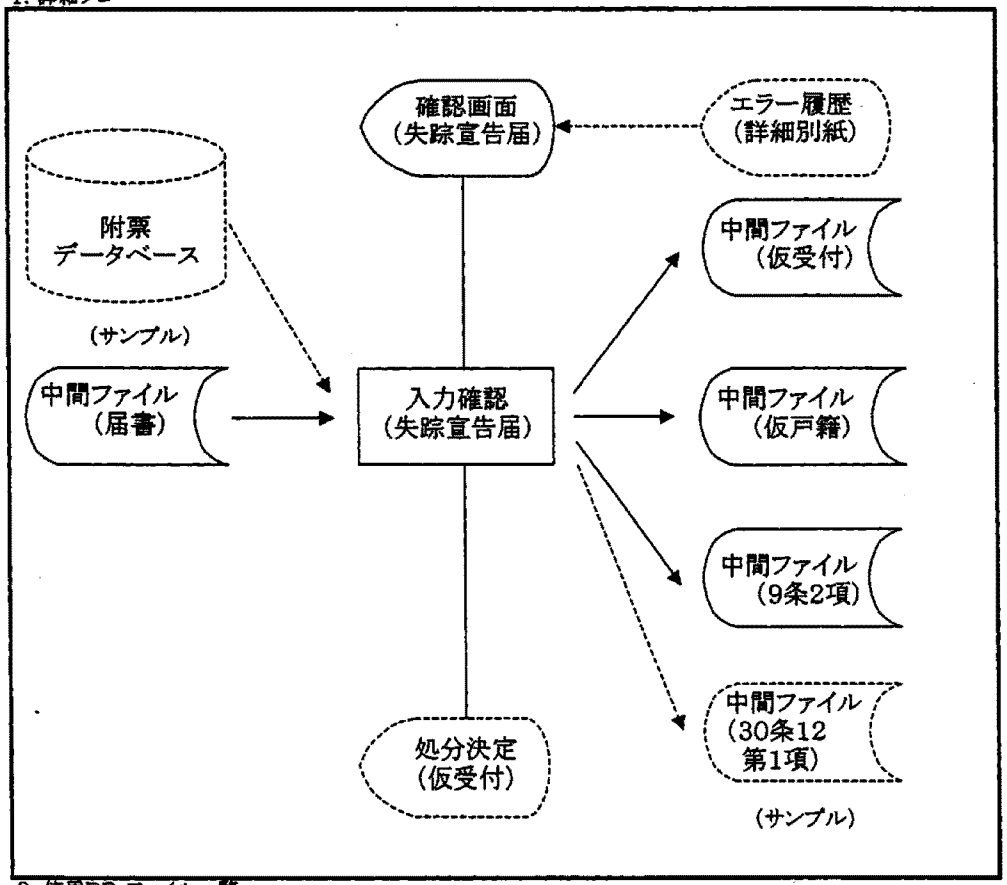
第2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(失踪宣告届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成 年 月 日	1	9/9

処理名	4.0中間ファイル(届書)編集・出力 3/3	(受取側) 中間ファイル(届書)／事件別内容 ← (引渡側) 入力画面(失踪宣告届)

受取側			引渡側			コード変換有無	出力形態	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	(サブルーチン)	Z9.,	
中間ファイル(届書) 事件別内容	外人区分		失踪宣告届 入力画面	外人区分				
	生年月日			生年月日				
	カナ氏名			カナ氏名				
	漢字氏名			漢字氏名				
	死亡日			死亡とみなされる日				
	審判確定日			確定日				
	住所コード			住所				
	住所							
	世帯主			世帯主				
	本籍コード			本籍				
	本籍							
	筆頭者			筆頭者				
	届出人資格			届出人資格				
	その他の届出人資格名称			その他の届出人資格名称				
	届出人氏名			届出人の氏名				
	配偶者有無区分			配偶者有無区分				
	配偶者外人区分			配偶者外人区分				

第 2 3 (2)	システム環境仕様書	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(失踪宣告届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成11年 3月 1日	2.1	1/13

1. 詳細フロー



2. 使用DB・ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ファイル(届書)	入力		
附票データベース	入力(サンプル)		
中間ファイル(仮受付)	出力		
中間ファイル(仮戸籍)	出力		
中間ファイル(9条2項)	出力		
中間ファイル(30条12第1項)	出力(サンプル)		

3. 処理概要

(1)中間ファイル(届書)を画面表示する。
(2)戸籍変動状況を確定する。
(3)中間ファイル(仮受付)を編集、出力する。
(4)中間ファイル(仮戸籍)を編集、出力する。
(5)中間ファイル(30条12第1項)を編集、出力する。---------- (サンプル提示)
(6)処分決定処理に制御を渡す。

4. 機能体系(要件定義書の構成)

- 0.0 本紙
  - 1.0 データ編集表(確認画面)
  - 2.0 戸籍編製マトリックス表
  - 3.0 データ編集表(中間ファイル／仮受付)
  - 4.0 データ編集表(中間ファイル／仮戸籍)
    - 4.1 個人特定 失踪者(配偶者区分)
    - 4.2 身分事項 失踪者(除籍)
    - 4.3 個人特定 生存配偶者(配偶者区分)
    - 4.4 身分事項 生存配偶者(記録)
  - 5.0 データ編集表(中間ファイル／9条2項)
    - 5.1 失踪者
  - 6.0 データ編集表(中間ファイル／30条12第1項)---------- (サンプル提示)
    - 6.1 失踪者

5. 備考(特記事項含む)

第23(3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(失踪宣告届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成11年 3月 1日	2.1	2/13

処理名						備考
(1) 中間ファイル(届書)の内容を確認画面に出力し、メッセージを表示する「入力項目を確認し、よければ実行キーを押下して下さい。」			[1.0]	／		
(2) キー選択(実行キー、 PF1、 PF2、 PF5、 PF11、 その他)				／		
実行キー	(3) 中間ファイル(届書)の内容から戸籍編製マトリックス表を参照し、失踪者の戸籍変動状況を決定する		[2.0]	／		
	(4) 中間ファイル(仮受付)を編集・出力する		[3.0]	／		
	(5) 失踪者が本籍人である(YES, NO)			／		
	YES	(6) 戸籍の変動状況をもとに、中間ファイル(仮戸籍)を編集・出力する		／		非本籍人及び外国人は記録不要
		個人特定(失踪者の配偶者区分)	(7) 失踪者の配偶者区分の編集 [4.1]	／		
		身分事項(失踪者の除籍)	(8) 失踪者の除籍事項の編集 [4.2]	／		
		個人特定(生存配偶者の配偶者区分)	(9) 生存配偶者の配偶区分の編集 [4.3]	／		失踪者に配偶者がいる場合
		身分事項(生存配偶者の記録)	(10) 生存配偶者の記録事項の編集 [4.4]	／		失踪者に配偶者がいる場合
		(10.1) 失踪者は在外選挙人である(YES, NO)		／		※サンプル提示
		YES	(10.2) 失踪者について中間ファイル(30条12第1項)を編集・出力する。 [6.1]	／		附票情報との連動により在外選挙人関連の対応が戸籍システムで可能な場合処理
		N O	(10.3) → (11)	／		(10.1) (10.2)
	N O			／		
	(11) (在外送付区分=0：受理分 又は 2：在外公館の直接送付 である) かつ (外人区分=0：日本人 である) (YES, NO)			／		
	YES	(12) 失踪者について中間ファイル(9条2項)を編集・出力する [5.1]			(13) 処分決定に制御を渡す	
	N O	→				
PF1	→				(14) 業務選択に制御を渡す	
PF2	→				(15) 届出選択に制御を渡す	
PF5	→				(16) 審査(失踪宣告届)に制御を渡す	
PF11	→				(17) エラー履歴表示に制御を渡す	
その他	(17) エラーメッセージ「無効なキーが入力されました。」を表示する				(18) 同画面を編集する	

50430

第2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(失踪宣告届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成 年 月 日	1	3/13

処理名	1.0入力確認(失踪)表示 1/2	(受取側) 失踪宣告届確認画面	←	(引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 (ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9..	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
失踪宣告届 確認画面	画面ID							画面ID
	システム日付							システム日付
	出張所番号		中間ファイル(届書) 共通	出張所番号				
	受領番号			受領番号				
	受領日			受領日		有		
	送付日			送付日		有		
	発送元			発送元				
	在外送付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日		有		
	本非区分			本非区分				
	郵送日			郵送日		有		
	外人区分		中間ファイル(届書) 事件別内容	外人区分				
	生年月日			生年月日		有		
	カナ氏名			カナ氏名				
	漢字氏名			漢字氏名				
	死亡とみなされる日			死亡日		有		
	確定日			審判確定日		有		
	住所			住所コード		有		
				住所				
	世帯主			世帯主				
	本籍			本籍コード		有		
				本籍				
	筆頭者			筆頭者				
	届出人資格			届出人資格				
	届出人資格名称					有		
	その他の届出人資格名称			その他の届出人資格名称				

012

第2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(失踪宣告届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成 年 月 日	1	4/13

処理名	1.0入力確認(失踪)表示 2/2	(受取側) 失踪宣告届確認画面	←	(引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(サブルーチン)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
失踪宣告届 確認画面	届出人の氏名		中間ファイル(届書) 事件別内容	届出人氏名				
	配偶者有無区分			配偶者有無区分				
	配偶者外人区分			配偶者外人区分				

第2 3 (7)	補足説明書	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(失踪宣告届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成 年 月 日	1	5/13

処理名　2.0 戸籍編製マトリックス表

項番	条件						失踪者の戸籍 *1		
	失踪者		日本人		生存配偶者が失踪者以外に在籍者が存在する		一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動なし
	本籍人	本籍人以外	有	無	有	無			
1	○			○	○		失踪者 (4.1, 4.2)		
2	○			○		○		失踪者 (4.1, 4.2)	
3	○		○		○		失踪者 (4.1, 4.2)		生存配偶者 (4.3, 4.4)
4 *2		○		○	——	——	——	——	——
5 *3		○	○		——	——	——	——	——

A.2：戸籍特定(記録) ⇒ 戸籍の消除
B.2：戸籍事項(消除) ⇒ 消除事項の記録
C.2：個人特定(記録) ⇒ 個人の除籍

*1：本籍の場合のみ処理し、非本籍の場合は処理しない。
*2：戸籍の処理は不要
*3：戸籍の処理は不要。生存配偶者の婚姻解消事項の記録は「失踪宣告届」の異動処理終了後(失踪者の除籍記録)後、別途、審査結果入力で処理を行う。
〔申し出による市区町村長限りの職権記録〕

第 2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(失踪宣告届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成23年 3月 1日	14	6／13

処理名	3.0中間ファイル(仮受付)編集・出力 1／3	(受取側) 中間ファイル(仮受付)／共通	←	(引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 (ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.，	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
中間ファイル (仮受付) 共通	受領番号		中間ﾌｧｲﾙ(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	事件コード							1701(失踪)
	受領日			送付日 または 受領日				送付日があれば送付日 送付日がなければ受領日
	事件発生日			審判確定日				
	事件発生時分							
	事件発生日時							
	受理送付区分			受理送付区分				
	本非区分			本非区分				
	渉外区分			渉外区分				
	発送日							
	郵送日			郵送日				
	発日							
	収日							
	指示日							
	許可日							
	関連受領番号(1～5)							
	届出人資格区分1			届出人資格				
	届出人資格名称1			届出人資格名称				
	届出人氏名1			届出人氏名				
	届出人資格区分2							
	届出人資格名称2							
	届出人氏名2							
	届後本籍区分							
	届後本籍コード							

50433
015

第2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(失踪宣告届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成 年 月 日	1	7/13

処理名	3.0中間ファイル(仮受付)編集・出力 2/3	(受取側) 中間ファイル(仮受付)/共通	←	(引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(サブルーチン)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
中間ファイル (仮受付) 共通	届後本籍		中間ファイル(届書)					
	届後戸籍の筆頭者							
	送達確認1							
	証書提出区分							
	届書送付目録区分							本非区分=1(本籍分届)のとき 1(送付要)を設定 本非区分=2(非本籍分届)のとき 0(送付不要)を設定
	処分区分							
	決裁区分							

第2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(失踪宣告届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成18年 3月 1日	10	8/13

処理名	3.0中間ファイル(仮受付)編集・出力 3/3	(受取側) 中間ファイル(仮受付)／事件本人	←	(引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(サブルーチン)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮受付) 共通	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	行番号							
	事件本人区分							32(失踪者)
	届出人区分							0(事件本人が届出人ではない)
	カナ氏名			カナ氏名				
	漢字氏名			漢字氏名				
	生年月日			生年月日				
	本籍コード			本籍コード				
	本籍			本籍				
	筆頭者			筆頭者				
	送達確認2							現本籍が非本籍なら1を設定 (在外送付区分＝0のとき)

第2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(失踪宣告届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成 年 月 日	1	9/13

処理名	4.1個人特定 死亡者(失踪)編集	(受取側) 中間ファイル(仮戸籍)／個人特定	←	(引渡側)

受取側			引渡側			コード	出力形態	
DB・ファイル名	項目		DB・ファイル名	項目		変換有無		備考
画面名称	名称	記号名	画面名称	名称	記号名	(サブルーチン)	Z9.，	
中間ファイル(仮戸籍)	個人番号							
個人特定	戸籍番号							
	戸籍記録順位番号							
	入籍日		———					
	除籍日							
	性別							
	生年月日							
	筆頭者区分							
	配偶者区分							0：未を設定
	父							
	母							
	父母との続柄							
	養父							
	養母							
	養父母との続柄							
	前個人番号							
	個人除区分							1：除籍者を設定
	審査不可区分							

第 2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(失踪宣告届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成23年 3月 1日	14	10／13

処理名	4.2身分事項 失踪者(除籍)編集	(受取側) 中間ファイル(仮戸籍)／身分事項 ← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側 DB・ファイル名 / 画面名称	項目 名称	項目 記号名	引渡側 DB・ファイル名 / 画面名称	項目 名称	項目 記号名	コード変換有無 (ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.，	備考
中間ﾌｧｲﾙ(仮戸籍) 身分事項	個人番号		中間ﾌｧｲﾙ(届書)					決裁処理で設定
	行番号							
	出力区分							
	タイトルコード							1701(失踪宣告)
	記録コード							1701(失踪宣告者の記録)
	管掌者コード							
	事件発生日			審判確定日				
	失踪宣告 死亡とみなされる日			死亡とみなされる日				
	失踪宣告 失踪宣告の裁判確定日			審判確定日				
	届出 届出日			受領日				
	届出 届出人 資格			届出人資格				
	届出 届出人 資格名称			届出人資格名				
	届出 届出人 氏名			届出人氏名				届出人資格＝99(その他)の時，移送
	送付 送付を受けた日			発送日				
	送付 受理者			発送元				
	届 許可日			――――				
	届 許可書謄本の送付を受けた日			――――				
	届 許可を受けた者			――――				
	除籍 除籍日			処理日				
	特記 特記事項							

50437

019

第2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(失踪宣告届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成 年 月 日	1	11／13

処理名	4.3個人特定 生存配偶者(配偶者区分)	(受取側) 中間ファイル(仮戸籍)／個人特定	←	(引渡側)

受取側			引渡側			コード	出力形態	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	変換有無 (サブルーチン)	Z9.，	
中間ファイル(仮戸籍) 個人特定	個人番号							
	戸籍番号							
	戸籍記録順位番号							
	入籍日		———					
	除籍日							
	性別							
	生年月日							
	筆頭者区分							
	配偶者区分							3：生存配偶者区分を設定
	父							
	母							
	父母との続柄							
	養父							
	養母							
	養父母との続柄							
	前個人番号							
	個人除区分							
	審査不可区分							

第23(4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(失踪宣告届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成 年 月 日	1	12/13

処理名	4.4身分事項 生存配偶者(記録)編集	(受取側) 中間ファイル(仮戸籍)／身分事項	←	(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側 DB・ファイル名 / 画面名称	受取側 項目 名称	受取側 項目 記号名	引渡側 DB・ファイル名 / 画面名称	引渡側 項目 名称	引渡側 項目 記号名	コード変換有無(サブルーチン)	出力形態 Z9.,	備考
中間ファイル(仮戸籍) 身分事項	個人番号		中間ファイル(届書)					決裁処理で設定
	行番号							
	出力区分							
	タイトルコード							1702(配偶者の失踪宣告)
	記録コード							1702(失踪宣告者の生存配偶者の記録)
	管掌者コード							
	事件発生日							
	配偶者の失踪宣告 配偶者の死亡とみなされる日			死亡とみなされる日				
	婚姻 配偶者氏名							
	許可 許可日							
	許可 許可書謄本の送付を受けた日							
	許可 許可を受けた者							
	記録 記録日							
	特記 特記事項							

第2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(失踪宣告届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成19年 3月 1日	11	13/13

処理名	5.1失踪者 編集・出力	(受取側) 中間ファイル(9条2項)／失踪者	←	(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(サブルーチン)	出力形態 Z9.，	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル(9条2項) 失踪者	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード			住所コード				市区町村部分だけのコード
	宛名							市区町村ｺｰﾄﾞを宛名に変換した項目
	事件コード							17(失踪宣告届)
	受理日			送付日又は受領日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号							
	新氏名							
	旧氏名			漢字氏名				
	新生年月日							
	旧生年月日			生年月日				
	新父母との続柄							
	旧父母との続柄							
	新本籍コード							
	新本籍							
	旧本籍コード			本籍コード				
	旧本籍			本籍				
	新筆頭者							
	旧筆頭者			筆頭者				
	住所コード			住所コード				
	住所			住所				
	方書							
	住定日							
	住民日							
	世帯主			世帯主				
	世帯主との続柄							

第2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(失踪宣告届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成11年 3月 1日	2.1	13-1／13

処理名	6.1失踪者 編集・出力	(受取側) 中間ファイル(30条12第1項)／失踪者 ← (引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 (サブルーチン)	出力形態 Z9.，	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
中間ファイル (30条12第1項) 失踪者	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード		附票データベース	在外選挙人名簿登録市町村コード				
	宛名							市区町村を宛名に変換した項目
	事件コード		中間ファイル(届書)					17(失踪宣告届)
	受理日			送付日又は受領日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号			個人番号				本籍人の場合は個人番号を設定
	新氏名							
	旧氏名			漢字氏名				
	新生年月日							
	旧生年月日			生年月日				
	新性別							失踪者の父母との続柄を性別に変換して性別コードを設定
	旧性別							
	新本籍コード							
	新本籍							
	旧本籍コード			本籍コード				
	旧本籍			本籍				
	新筆頭者							
	旧筆頭者			筆頭者				
	住所コード			住所コード				
	住所			住所				
	方書							
	転入届出日							